

柏市
教育・生涯学習・芸術文化に関する
アンケート
結果報告書

令和7年3月

柏市

目次

I 調査の概要

1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1

II 調査結果

1 市民

(1)	学校での教育について.....	3
(2)	地域との関わりについて.....	20
(3)	生涯学習について.....	22
(4)	芸術文化について.....	53
(5)	ご自身のことについて.....	72

2 小中学生

(1)	学校での生活について.....	74
(2)	地域の人との関わり方について.....	80
(3)	学校以外の勉強や活動（生涯学習）について.....	84
(4)	芸術文化について.....	86
(5)	あなた自身のことについて.....	89

3 高校生

(1)	学校での生活について.....	93
(2)	地域のかたとの関わり方について.....	101
(3)	学校以外の勉強や活動（生涯学習）について.....	105
(4)	芸術文化について.....	107
(5)	あなた自身のことについて.....	118

4 教職員

(1) 回答者属性.....	124
(2) 教育や学習に関する取組について.....	125
(3) 勤務の状況等について.....	139

Ⅲ 分析

1 学校教育.....	143
2 地域との関わり.....	151
3 生涯学習.....	153
4 芸術文化.....	163
5 基本属性.....	168

I 調査の概要

1 調査の目的

柏市では、「教育振興計画」「生涯学習推進計画」「芸術文化振興計画」の次期計画策定に当たり、有意義かつ実効性のある計画とするため、調査を実施しました。

2 調査対象

柏市に住民登録をされている 16 歳以上の市民
市立小中高等学校に通う児童生徒
市立小中高等学校の教職員

3 調査期間

令和 6 年 12 月 5 日～令和 6 年 12 月 27 日

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEB による回収

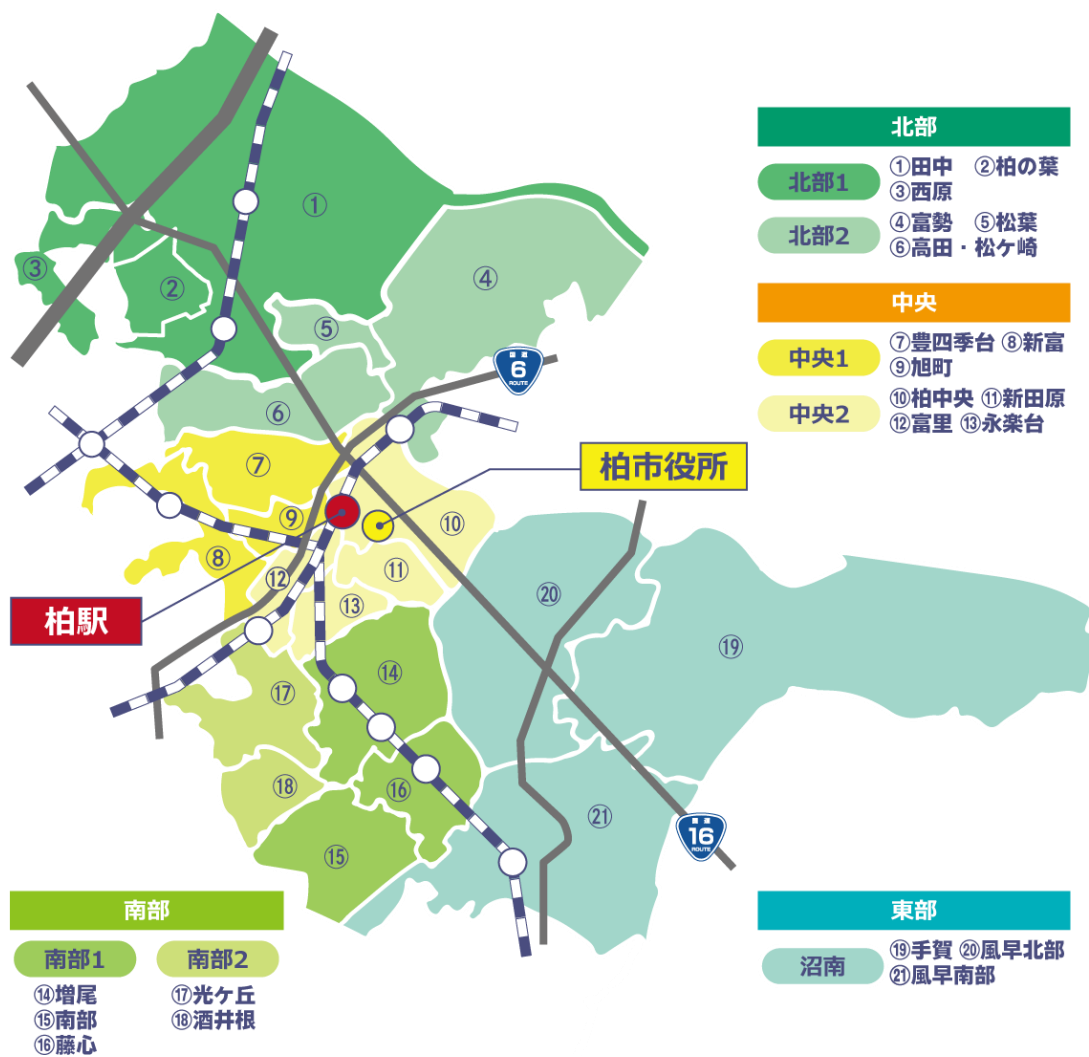
5 回収状況

対 象	配 布 数	有効回答数	有効回答率
全 体	17,243 通	9,623 通	55.8%
1 市民	4,000 通	1,574 通	39.4%
2 小中学生	10,049 通	6,874 通	68.4%
3 高校生	320 通	260 通	81.3%
4 教職員	2,874 通	915 通	31.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各設問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が 1 桁の場合は、コメントを差し控えています。

- ・在住地域別について、本報告書では市内を次の区域に分け、4圏域（北部，中央，南部，東部）と7圏域（北部1，北部2，中央1，中央2，南部1，南部2，沼南）で集計しています。



Ⅱ 調査結果

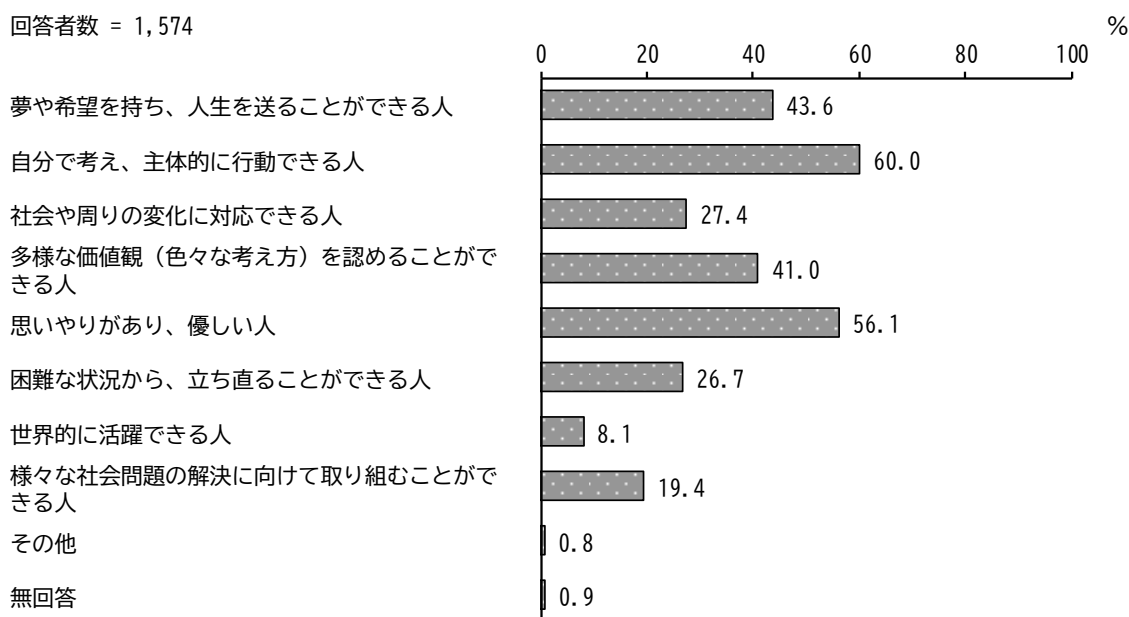
1 市民

(1) 学校での教育について

問1 将来の柏市を考えたとき、子どもたちにどのような大人になってほしいですか。
(○は3つまで)

「自分で考え、主体的に行動できる人」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「思いやりがあり、優しい人」の割合が 56.1%、「夢や希望を持ち、人生を送ることができる人」の割合が 43.6%となっています。

回答者数 = 1,574



【教職員の回答との比較】

教職員の回答との比較をみると、「様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人」で市民の方が高く、「自分で考え、主体的に行動できる人」「困難な状況から、立ち直ることができる人」で教職員の方が高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	夢や希望を持ち、人生を送ることができる人	自分で考え、主体的に行動できる人	社会や周りの変化に対応できる人	多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人	思いやりがあり、優しい人	困難な状況から、立ち直ることができる人	世界的に活躍できる人	様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人	その他	無回答
全 体	2,489	42.8	64.4	29.2	42.6	54.9	29.0	5.9	16.6	0.7	0.6
市民	1,574	43.6	60.0	27.4	41.0	56.1	26.7	8.1	19.4	0.8	0.9
教職員	915	41.4	71.9	32.5	45.4	52.8	33.1	2.2	11.7	0.5	0.2

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「自分で考え、主体的に行動できる人」について就学前の子どもと同居している方で高く、「困難な状況から、立ち直ることができる人」について小学生の子どもと同居している方で高くなっています。

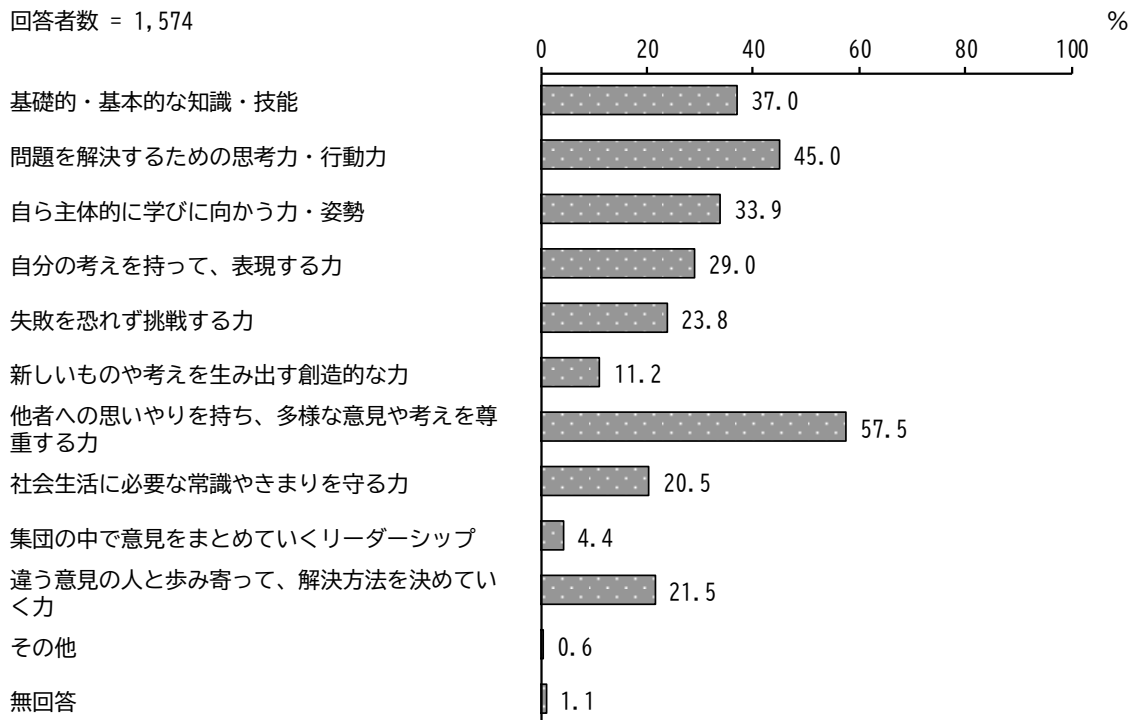
(単位：％)

区分	回答者数(件)	夢や希望を持ち、人生を送ることができる人	自分で考え、主体的に行動できる人	社会や周りの変化に対応できる人	多様な価値観(色々な考え方)を認めることができる人	思いやりがあり、優しい人	困難な状況から、立ち直ることができる人	世界的に活躍できる人	様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人	その他	無回答
全 体	1,574	43.6	60.0	27.4	41.0	56.1	26.7	8.1	19.4	0.8	0.9
就学前の子どもと同居している	179	50.3	72.1	25.1	38.5	58.1	27.4	8.9	8.9	—	—
小学生の子どもと同居している	200	49.0	67.0	30.5	35.5	49.0	35.0	7.5	12.0	0.5	—
中学生の子どもと同居している	115	51.3	60.0	33.0	32.2	55.7	29.6	8.7	15.7	—	—
高校生以上の子どもと同居している	307	43.6	57.7	26.7	44.3	50.8	28.0	9.8	20.2	1.3	0.7
子どもはいない	850	43.1	57.9	26.8	41.9	57.6	23.8	8.4	21.9	0.9	1.2

問2 問1のような大人になるためには、どのような資質や能力が必要だと思いますか。
(○は3つまで)

「他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「問題を解決するための思考力・行動力」の割合が 45.0%、「基礎的・基本的な知識・技能」の割合が 37.0%となっています。

回答者数 = 1,574



【どのような大人になってほしいか別】

どのような大人になってほしいか別にみると、夢や希望を持ち、人生を送ることができる人では「基礎的・基本的な知識・技能」、自分で考え、主体的に行動できる人では「自ら主体的に学びに向かう力・姿勢」、世界的に活躍できる人では「新しいものや考えを生み出す創造的な力」、多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人、様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人では「違う意見の人と歩み寄って、解決方法を決めていく力」の割合が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	基礎的・基本的な知識・技能	問題を解決するための思考力・行動力	自ら主体的に学びに向かう力・姿勢	自分の考えを持って、表現する力	失敗を恐れず挑戦する力	新しいものや考えを生み出す創造的な力	他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力	社会生活に必要な常識やきまりを守る力	集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ	違う意見の人と歩み寄って、解決方法を決めていく力	その他	無回答
全 体	1,574	37.0	45.0	33.9	29.0	23.8	11.2	57.5	20.5	4.4	21.5	0.6	1.1
夢や希望を持ち、人生を送ることができる人	687	45.1	47.9	34.9	31.4	26.9	11.4	54.1	18.3	3.6	15.7	0.6	0.3
自分で考え、主体的に行動できる人	945	36.5	49.8	43.8	33.1	23.8	9.5	54.0	19.6	4.1	18.8	0.4	0.2
社会や周りの変化に対応できる人	431	42.7	47.8	32.3	30.4	22.7	13.7	50.1	26.0	3.2	21.6	0.5	－
多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人	646	35.3	39.8	31.6	29.7	21.2	10.5	70.0	18.9	3.6	30.3	0.2	－
思いやりがあり、優しい人	883	35.9	40.4	31.1	27.9	21.7	9.3	72.9	25.5	3.2	20.3	0.3	0.2
困難な状況から、立ち直ることができる人	420	34.8	51.0	34.5	27.1	33.8	11.0	51.4	22.6	4.8	19.5	0.2	0.2
世界的に活躍できる人	128	36.7	45.3	27.3	23.4	38.3	28.1	37.5	10.2	18.0	22.7	－	0.8
様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人	305	32.8	54.1	33.4	23.6	17.7	17.0	49.8	18.4	9.8	35.1	0.7	－
その他	13	23.1	38.5	23.1	23.1	15.4	－	61.5	15.4	－	23.1	38.5	－

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「自ら主体的に学びに向かう力・姿勢」について中学生の子どもと同居している方で高く、「自分の考えを持って、表現する力」について就学前の子どもと同居している方で高く、「社会生活に必要な常識やきまりを守る力」について小学生の子どもと同居している方で低くなっています。

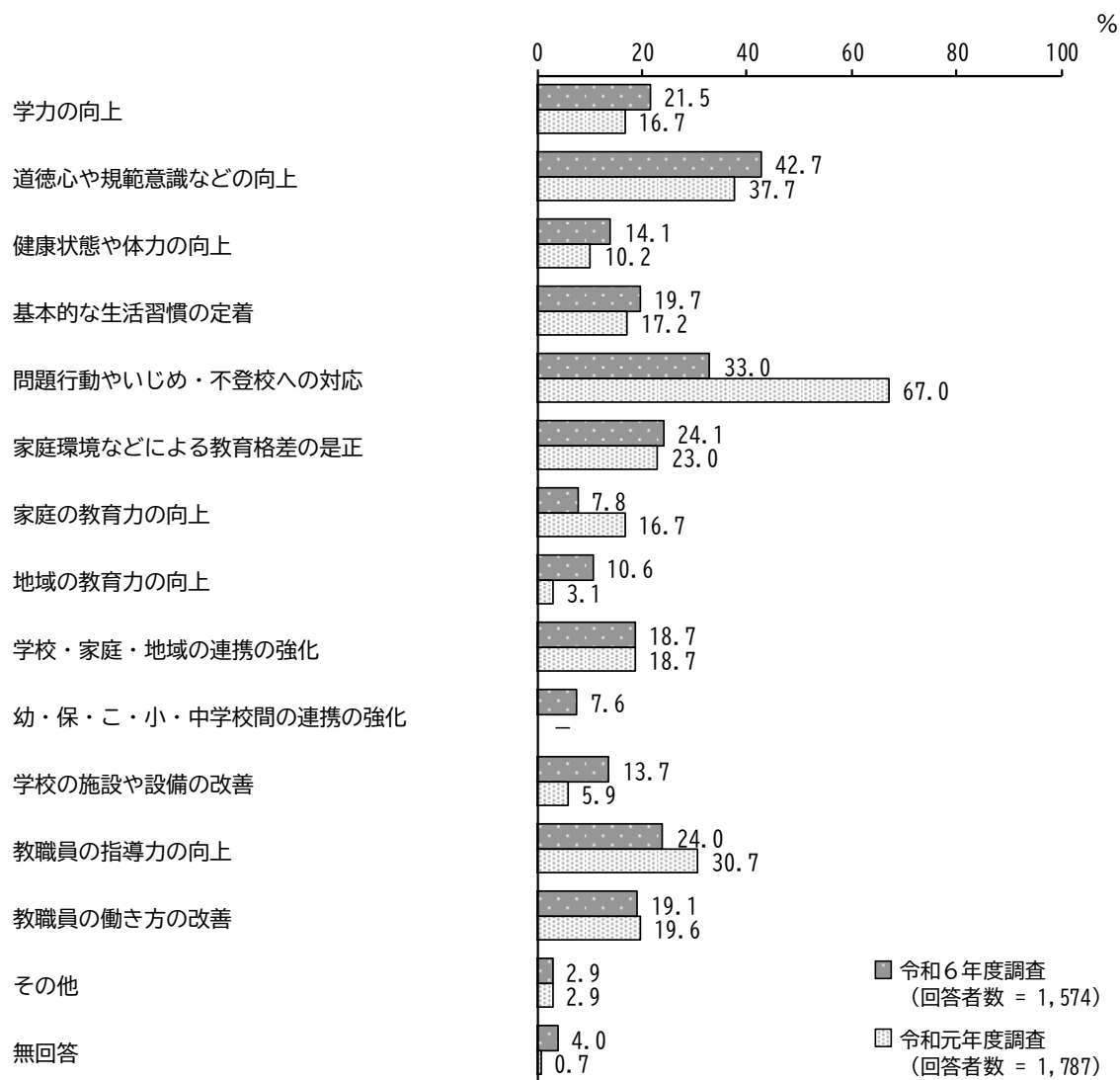
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	基礎的・基本的な知識・技能	問題を解決するための思考力・行動力	自ら主体的に学びに向かう力・姿勢	自分の考えを持って、表現する力	失敗を恐れず挑戦する力	新しいものや考えを生み出す創造的な力	他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力	社会生活に必要な常識やきまりを守る力	集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ	違う意見の人と歩み寄って、解決方法を決めていく力	その他	無回答
全 体	1,574	37.0	45.0	33.9	29.0	23.8	11.2	57.5	20.5	4.4	21.5	0.6	1.1
就学前の子どもと同居している	179	37.4	52.5	41.3	37.4	26.8	8.9	56.4	12.8	5.6	12.8	—	0.6
小学生の子どもと同居している	200	37.5	51.0	41.0	32.0	31.5	9.0	48.0	11.0	6.5	20.5	—	0.5
中学生の子どもと同居している	115	40.0	49.6	43.5	33.9	31.3	13.0	46.1	15.7	1.7	14.8	—	—
高校生以上の子どもと同居している	307	34.2	48.2	33.9	31.6	24.8	9.4	56.4	18.6	4.2	22.5	0.3	0.7
子どもはいない	850	39.1	41.4	31.8	25.6	21.1	12.1	59.6	23.8	4.4	24.1	0.8	1.4

問3 柏市における教育的課題だと感じるものは何ですか。(〇は3つまで)

「道徳心や規範意識などの向上」の割合が42.7%と最も高く、次いで「問題行動やいじめ・不登校への対応」の割合が33.0%、「家庭環境などによる教育格差の是正」の割合が24.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「地域の教育力の向上」「学校の施設や設備の改善」の割合が増加しています。一方、「問題行動やいじめ・不登校への対応」「家庭の教育力の向上」「教職員の指導力の向上」の割合が減少しています。



※令和元年度調査では「健康状態や体力の向上」は「子どもたちの運動能力」となっています。
また、「幼・保・こ・小・中学校間の連携の強化」はありませんでした。

【教職員の回答との比較】

教職員の回答との比較をみると、「道徳心や規範意識などの向上」「学校・家庭・地域の連携の強化」で市民の方が高く、「学力の向上」「基本的な生活習慣の定着」「家庭の教育力の向上」「教職員の働き方の改善」で教職員の方が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	学力の向上	道徳心や規範意識 などの向上	健康状態や体力の 向上	基本的な生活習慣 の定着	問題行動やいじ め・不登校への対 応	家庭環境などに よる教育格差の是正	上家庭の教育力の向
全 体	2,489	25.3	39.6	14.2	22.5	33.4	23.1	16.8
市民	1,574	21.5	42.7	14.1	19.7	33.0	24.1	7.8
教職員	915	31.8	34.3	14.3	27.2	34.1	21.4	32.2

区分	地域の教育力の向上	学校・家庭・地域の 連携の強化	幼・保・こ・小・中 学校間の連携の強化	学校の施設や設備の 改善	上教職員の指導力の向	善教職員の働き方の改	その他	無回答
全 体	8.9	15.3	6.4	15.3	22.8	24.2	2.1	2.6
市民	10.6	18.7	7.6	13.7	24.0	19.1	2.9	4.0
教職員	5.9	9.4	4.5	18.3	20.7	33.0	0.8	0.2

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「教職員の指導力の向上」について中学生の子どもと同居している方で高く、「教職員の働き方の改善」について小学生の子どもと同居している方で低くなっています。

(単位：％)

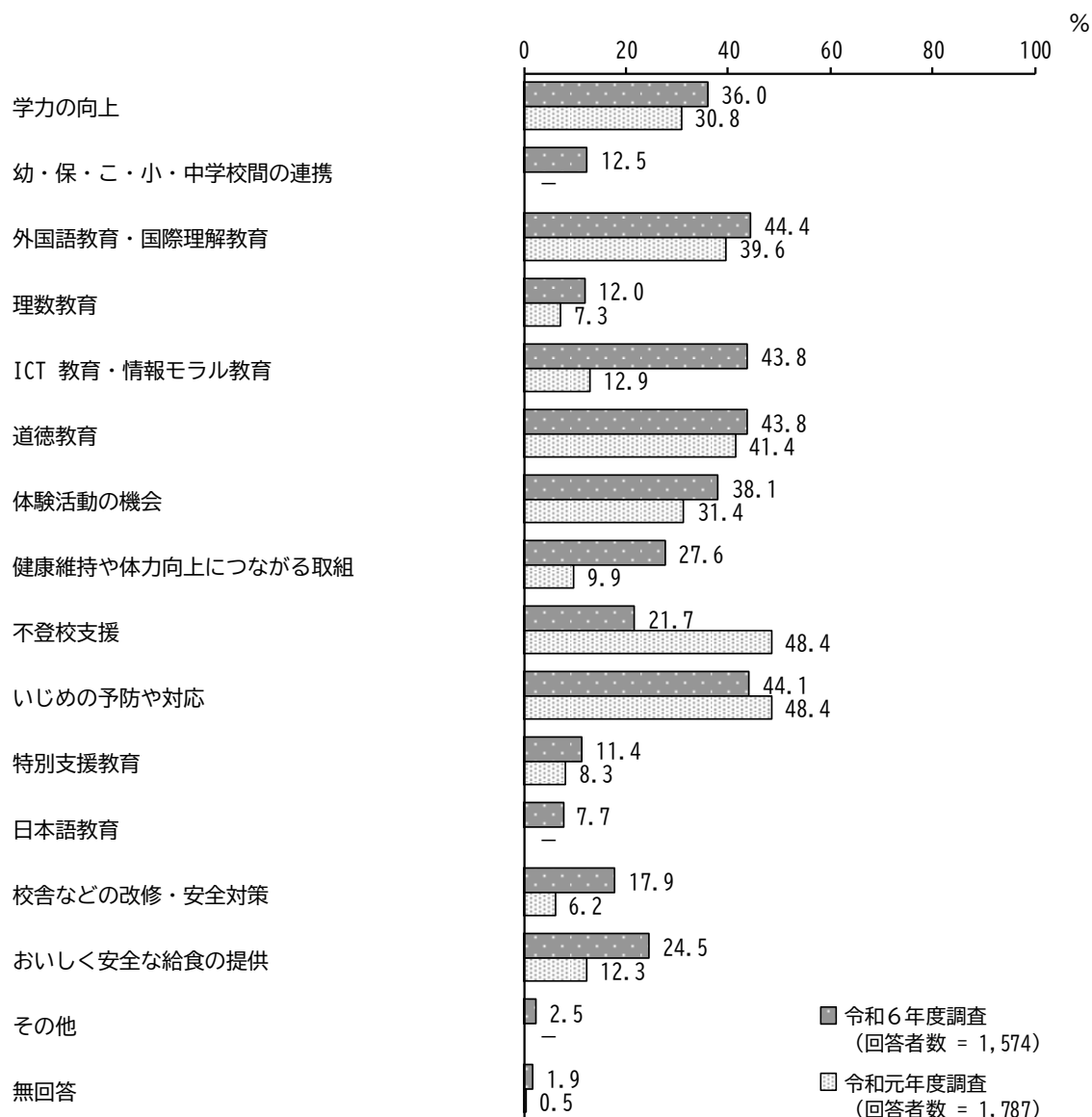
区分	回答者数 (件)	学力の向上	道徳心や規範意識 などの向上	健康状態や体力の 向上	基本的な生活習慣 の定着	問題行動やいじ め・不登校への対 応	家庭環境などによ る教育格差の是正	上 家庭の教育力の向
全 体	1,574	21.5	42.7	14.1	19.7	33.0	24.1	7.8
就学前の子どもと同居している	179	29.6	36.3	15.1	12.8	30.7	17.3	5.6
小学生の子どもと同居している	200	39.5	38.0	17.5	13.0	31.0	16.0	7.0
中学生の子どもと同居している	115	37.4	33.9	12.2	13.0	32.2	22.6	8.7
高校生以上の子どもと同居している	307	22.1	44.6	16.9	20.2	36.5	23.8	7.8
子どもはいない	850	16.4	45.5	12.4	22.2	32.6	28.1	7.8

区分	地域の教育力の向上	学校・家庭・地域の 連携の強化	幼・保・こ・小・中 学校間の連携の強化	学校施設の施設や設備の 改善	教職員の指導力の向 上	教職員の働き方の改 善	その他	無回答
全 体	10.6	18.7	7.6	13.7	24.0	19.1	2.9	4.0
就学前の子どもと同居している	12.3	17.9	16.8	30.7	18.4	19.6	6.1	0.6
小学生の子どもと同居している	12.0	15.0	9.0	24.0	35.5	12.0	2.5	1.0
中学生の子どもと同居している	9.6	11.3	4.3	20.9	34.8	19.1	3.5	1.7
高校生以上の子どもと同居している	9.8	16.6	5.5	11.7	28.7	17.6	1.6	2.6
子どもはいない	10.2	20.8	6.7	9.5	20.9	19.9	2.8	5.4

問4 あなたは、小中学校での教育において、どの取組を特に充実させるべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

「外国語教育・国際理解教育」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「いじめの予防や対応」の割合が 44.1%、「ICT 教育・情報モラル教育」、「道徳教育」の割合が 43.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「学力の向上」「ICT 教育・情報モラル教育」「体験活動の機会」「健康維持や体力向上につながる取組」「校舎などの改修・安全対策」「おいしく安全な給食の提供」の割合が増加しています。



※令和元年度調査では、「健康維持や体力向上につながる取組」が「体育活動」、「不登校支援」、「いじめの予防や対応」が「いじめ・不登校対策」となっています。

また、「幼・保・こ・小・中学校間の連携」、「不登校支援」、「日本語教育」、「その他」はありませんでした。

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「体験活動の機会」について小学生の子どもと同居している方で高く、「おいしく安全な給食の提供」について就学前の子どもと同居している、中学生の子どもと同居している方で高くなっています。

(単位：％)

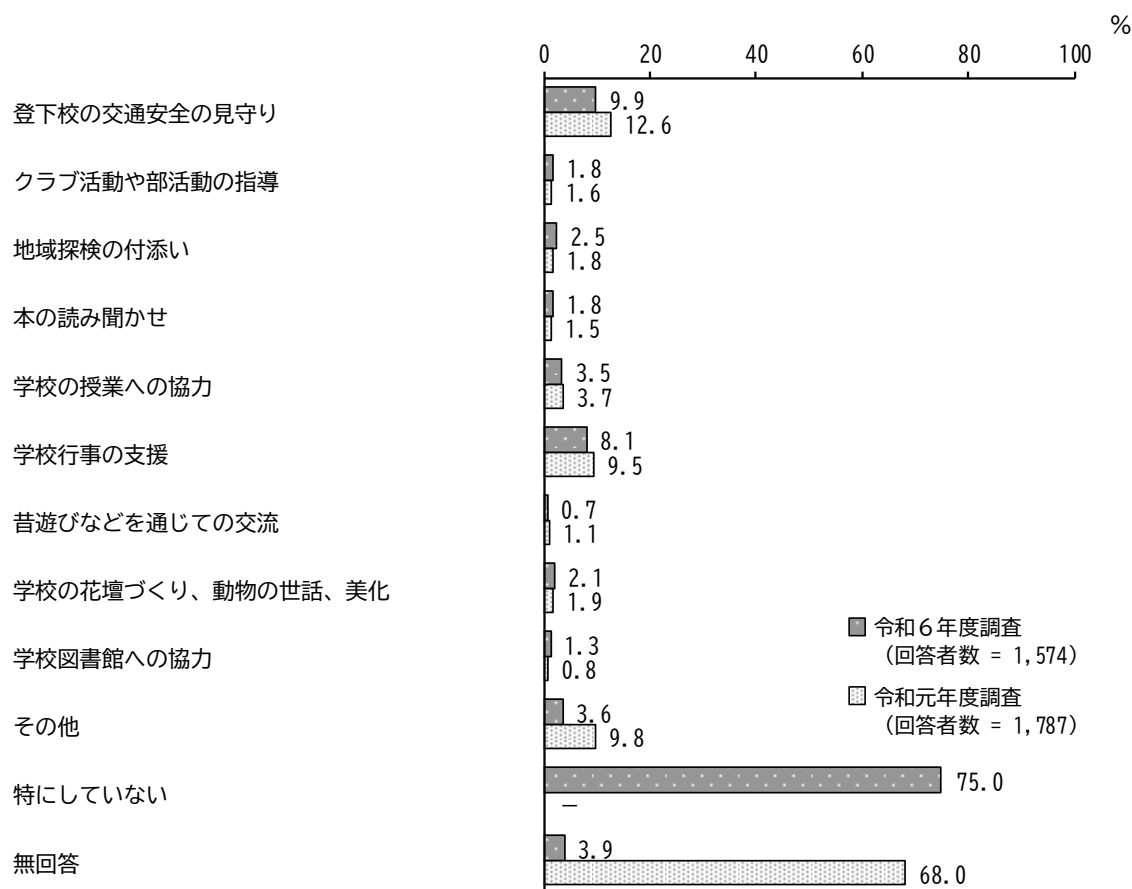
区分	回答者数 (件)	学力の向上	幼・保・こ・小・ 中学校間の連携	外国語教育・国際 理解教育	理数教育	ICT教育・情報モ ラル教育	道徳教育	体験活動の機会	健康維持や体力向 上につながる取組
全 体	1,574	36.0	12.5	44.4	12.0	43.8	43.8	38.1	27.6
就学前の子どもと同居している	179	42.5	18.4	45.8	16.8	47.5	41.9	40.8	26.8
小学生の子どもと同居している	200	44.0	13.5	41.5	22.0	49.0	38.5	46.0	28.5
中学生の子どもと同居している	115	46.1	10.4	41.7	21.7	48.7	43.5	38.3	27.0
高校生以上の子どもと同居している	307	32.2	9.8	47.2	8.5	41.4	41.4	37.8	28.7
子どもはいない	850	34.1	12.4	43.5	9.8	44.5	45.4	36.5	28.0

区分	不登校支援	いじめの予防や対応	特別支援教育	日本語教育	校舎などの改修・安全対策	おいしく安全な給食の提供	その他	無回答
全 体	21.7	44.1	11.4	7.7	17.9	24.5	2.5	1.9
就学前の子どもと同居している	17.9	38.5	14.0	2.8	32.4	35.2	2.8	0.6
小学生の子どもと同居している	19.5	41.0	13.5	3.5	22.5	29.5	2.0	—
中学生の子どもと同居している	22.6	33.0	11.3	2.6	17.4	31.3	0.9	0.9
高校生以上の子どもと同居している	19.2	40.7	10.1	4.2	14.3	22.5	2.6	1.6
子どもはいない	21.8	47.1	10.7	10.1	15.4	23.1	2.5	2.4

問5 あなたは、学校に対して協力していることがありますか。(〇はいくつでも)

「特にしていない」の割合が75.0%と最も高くなっています。協力している内容としては、「登下校の交通安全の見守り」の割合が9.9%、「学校行事の支援」の割合が8.1%と高くなっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査では「特にしていない」はありませんでした。

【在住地域別】

在住地域別にみても、大きな差はみられません。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	登下校の交通安全の見守り	クラブ活動や部活動の指導	地域探検の付添い	本の読み聞かせ	学校の授業への協力	学校行事の支援	昔遊びなどを通じての交流	学校の花壇づくり、動物の世話、美化	学校図書館への協力	その他	特にしていない	無回答
全 体	1,574	9.9	1.8	2.5	1.8	3.5	8.1	0.7	2.1	1.3	3.6	75.0	3.9
北部1	222	11.3	1.8	3.2	3.2	5.0	6.8	0.5	3.6	2.7	2.3	71.6	5.9
北部2	203	8.4	2.5	2.5	1.0	3.9	11.8	1.0	2.0	1.0	2.5	73.9	3.0
中央1	188	12.8	0.5	1.6	1.6	3.2	10.1	—	1.6	0.5	2.7	71.3	5.3
中央2	242	10.3	1.7	2.1	0.8	3.7	6.2	0.4	1.7	1.2	3.7	76.4	2.9
南部1	231	11.3	3.0	4.3	3.5	4.3	9.1	0.9	3.0	2.6	3.9	74.0	2.6
南部2	134	6.0	1.5	3.0	—	0.7	4.5	—	—	—	3.0	85.8	0.7
沼南	127	11.0	0.8	3.1	1.6	2.4	13.4	2.4	3.1	0.8	5.5	72.4	4.7

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「学校行事の支援」について小学生の子どもと同居している方で高くなっています。

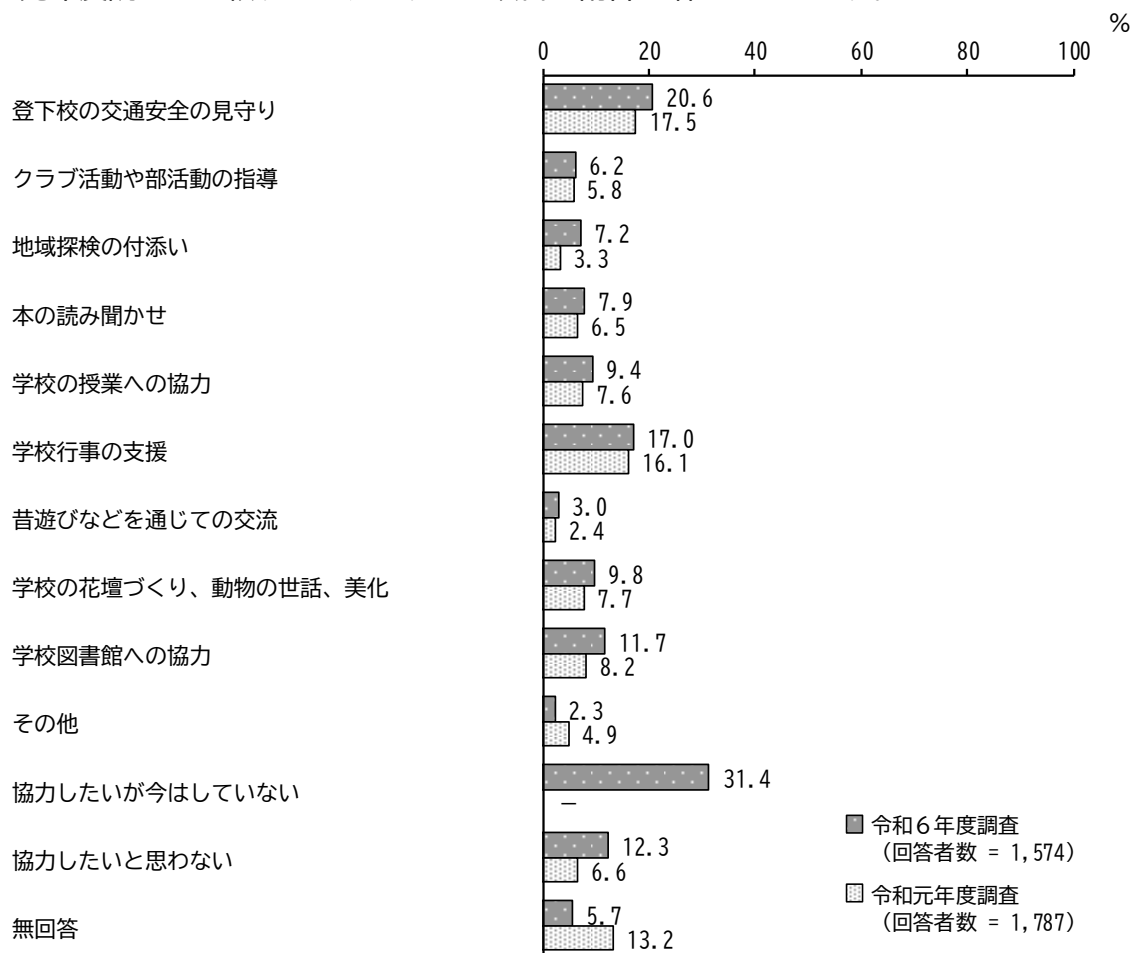
(単位：％)

区分	回答者数(件)	登下校の交通安全の見守り	クラブ活動や部活動の指導	地域探検の付添い	本の読み聞かせ	学校の授業への協力	学校行事の支援	昔遊びなどを通じての交流	学校の花壇づくり、動物の世話、美化	学校図書館への協力	その他	特にしていない	無回答
全 体	1,574	9.9	1.8	2.5	1.8	3.5	8.1	0.7	2.1	1.3	3.6	75.0	3.9
就学前の子どもと同居している	179	12.8	1.1	3.9	1.7	3.4	11.2	0.6	2.2	1.1	3.9	70.4	4.5
小学生の子どもと同居している	200	37.0	2.0	9.0	3.0	11.0	25.5	1.0	4.0	1.5	7.0	38.0	1.5
中学生の子どもと同居している	115	31.3	3.5	7.8	3.5	9.6	20.0	—	5.2	4.3	5.2	43.5	1.7
高校生以上の子どもと同居している	307	11.7	2.6	2.9	3.3	4.9	11.4	—	4.6	2.0	4.6	68.1	3.9
子どもはいない	850	4.7	1.9	1.3	0.9	1.6	3.9	0.8	1.3	0.9	2.7	83.9	4.1

問6 あなたは、学校に対して協力してもよいと思いますか。(○は3つまで)

「協力したいが今はしていない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「登下校の交通安全の見守り」の割合が20.6%、「学校行事の支援」の割合が17.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、いずれの項目も割合は増加しています。



※令和元年度調査では「協力したいが今はしていない」はありませんでした。

【在住地域別】

在住地域別にみると、北部1では「登下校の交通安全の見守り」、沼南では「学校行事の支援」の割合が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	登下校の交通安全 の見守り	クラブ活動や部活 の指導	地域探検の付添い	本の読み聞かせ	学校の授業への協 力	学校行事の支援	昔遊びなどを通じ ての交流	学校の花壇づくり、 動物の世話、美化	学校図書館への協 力	その他	協力したいが今は していない	協力したいと思わ ない	無回答
全 体	1,574	20.6	6.2	7.2	7.9	9.4	17.0	3.0	9.8	11.7	2.3	31.4	12.3	5.7
北部1	222	31.5	5.9	10.8	9.0	15.3	18.5	—	9.5	15.3	1.4	25.7	11.7	5.0
北部2	203	16.3	6.9	6.9	7.4	7.4	21.2	5.9	10.8	10.8	3.0	35.0	12.8	3.4
中央1	188	20.2	5.3	6.4	5.3	7.4	18.6	2.7	11.7	11.2	2.1	33.5	12.8	5.9
中央2	242	17.8	7.4	9.1	7.9	12.0	15.3	3.7	9.9	10.3	2.9	29.8	9.9	5.4
南部1	231	22.5	6.9	6.1	6.9	11.3	16.9	2.6	11.3	12.6	1.7	31.6	10.8	7.4
南部2	134	14.9	3.0	7.5	9.7	3.7	14.9	1.5	7.5	13.4	0.7	35.1	15.7	5.2
沼南	127	20.5	7.1	3.9	6.3	9.4	22.0	4.7	9.4	6.3	3.1	28.3	14.2	6.3

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「登下校の交通安全の見守り」、「学校の授業への協力」、「学校行事の支援」について就学前や小学生、中学生の子どもと同居している方で高くなっています。

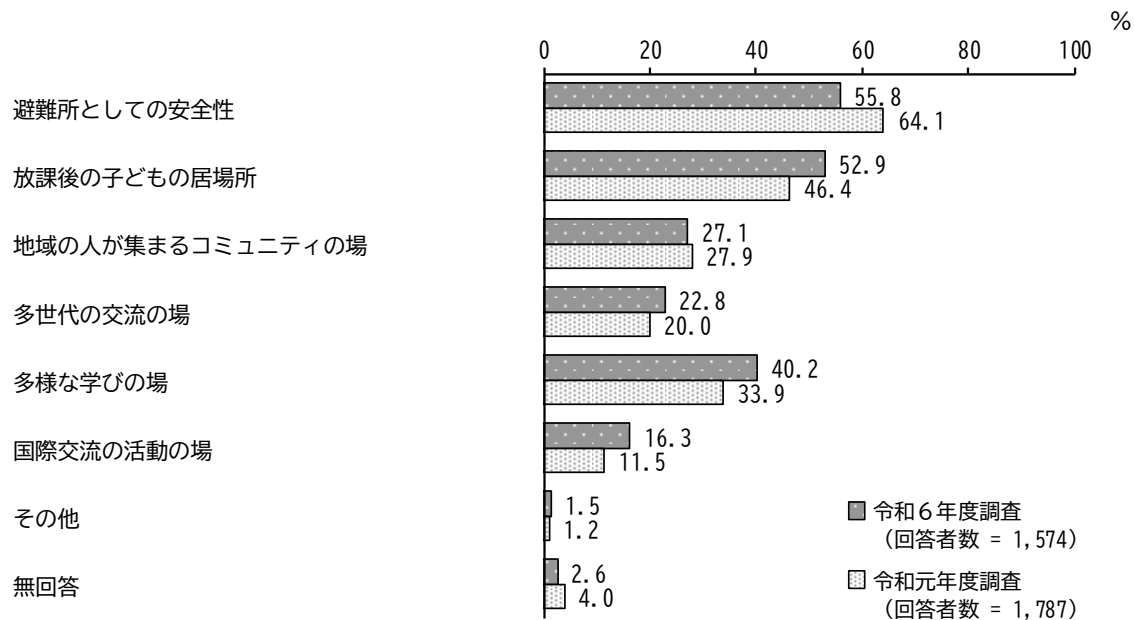
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	登下校の交通安全 の見守り	クラブ活動や部活 の指導	地域探検の付添い	本の読み聞かせ	学校の授業への協 力	学校行事の支援	昔遊びなどを通じ ての交流	学校の花壇づくり、 動物の世話、美化	学校図書館への協 力	その他	協力したいが今は していない	協力したいと思わ ない	無回答
全 体	1,574	20.6	6.2	7.2	7.9	9.4	17.0	3.0	9.8	11.7	2.3	31.4	12.3	5.7
就学前の子どもと 同居している	179	28.5	7.3	11.7	11.7	17.9	29.6	0.6	10.6	14.5	3.4	25.7	5.0	4.5
小学生の子どもと 同居している	200	38.0	7.0	16.5	8.5	18.5	36.0	1.5	11.5	13.0	2.0	15.0	6.0	3.5
中学生の子どもと 同居している	115	33.9	7.0	10.4	10.4	20.0	27.8	0.9	11.3	7.0	—	23.5	9.6	1.7
高校生以上の子ども と同居している	307	18.9	5.9	5.5	8.8	11.1	19.9	3.6	10.4	10.7	1.3	33.2	10.4	5.2
子どもはいない	850	16.6	6.4	6.0	7.1	6.2	11.8	3.8	9.9	11.6	2.5	33.2	14.9	6.2

問7 あなたは、学校に対して教育以外にどのようなことを期待していますか。
(○は3つまで)

「避難所としての安全性」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「放課後の子どもの居場所」の割合が 52.9%、「多様な学びの場」の割合が 40.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「放課後の子どもの居場所」「多様な学びの場」の割合が増加しています。一方、「避難所としての安全性」の割合が減少しています。



【在住地域別】

在住地域別にみると、「避難所としての安全性」について北部1、北部2で特に高く、中央2では「放課後の子どもの居場所」が最も高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	全 性	避 難 所 と し て の 安 全 性	居 場 所	放 課 後 の 子 ど も の 居 場 所	コ ミ ユ ニ テ ィ の 場	地 域 の 人 が 集 ま る コ ミ ユ ニ テ ィ の 場	多 世 代 の 交 流 の 場	多 様 な 学 び の 場	場	国 際 交 流 の 活 動 の 場	そ の 他	無 回 答
全 体	1,574	55.8	52.9	27.1	22.8	40.2	16.3	1.5	2.6				
北部1	222	62.2	49.5	25.7	22.1	42.3	17.6	0.5	3.2				
北部2	203	61.1	56.2	23.2	22.7	37.9	16.7	0.5	2.5				
中央1	188	55.3	53.7	33.5	23.4	41.0	16.0	1.1	2.1				
中央2	242	50.0	57.0	26.4	24.0	36.8	20.2	2.5	1.7				
南部1	231	56.3	49.4	28.1	19.9	40.3	11.7	2.2	3.0				
南部2	134	59.0	50.0	22.4	23.9	41.0	18.7	—	3.0				
沼南	127	52.8	52.0	25.2	26.0	40.2	15.7	2.4	1.6				

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、すべての区分で「避難所としての安全性」、「放課後の子どもの居場所」の割合が高くなっています。また、子どもと同居している方は「多様な学びの場」の割合も高くなっています。

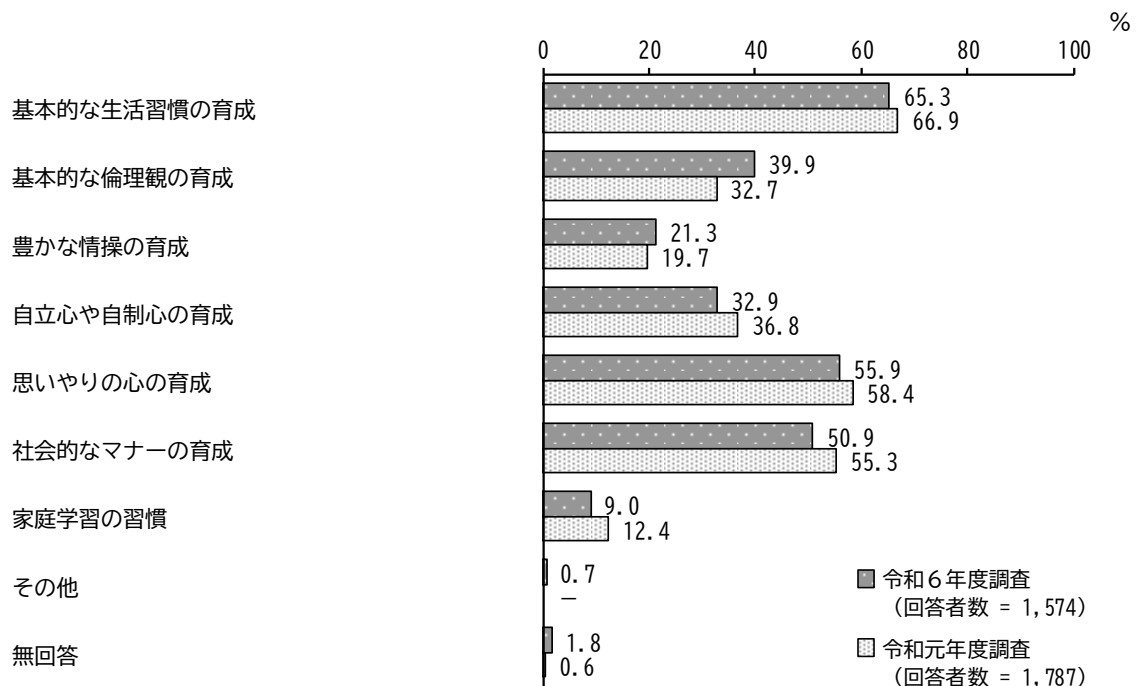
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	避難所としての安 全性	放課後の子ども の居場所	地域の人が集まる コミュニティの場	多世代の交流の場	多様な学びの場	国際交流の活動の 場	その他	無回答
全 体	1,574	55.8	52.9	27.1	22.8	40.2	16.3	1.5	2.6
就学前の子どもと同居している	179	54.7	69.3	23.5	16.2	46.9	20.1	1.1	0.6
小学生の子どもと同居している	200	50.5	54.5	18.5	15.5	54.5	18.0	3.5	1.0
中学生の子どもと同居している	115	55.7	41.7	22.6	18.3	49.6	21.7	1.7	—
高校生以上の子どもと同居している	307	52.1	49.2	28.7	26.1	44.6	18.2	1.3	2.0
子どもはいない	850	57.9	53.3	28.4	23.3	34.4	15.5	1.3	3.3

問8 あなたは、家庭における子どもの教育について、何が大事だと思いますか。
(○は3つまで)

「基本的な生活習慣の育成」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「思いやりの心の育成」の割合が 55.9%、「社会的なマナーの育成」の割合が 50.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「基本的な倫理観の育成」の割合が増加しています。



※令和元年度調査では「その他」はありませんでした。

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、子どもの有無や年代問わず、「基本的な生活習慣の育成」や「思いやりの心の育成」が高くなっていますが、小学生までの子どもと同居しているかたでは「基本的な倫理観の育成」が高く、中学生以上の子どもと同居しているかたでは「社会的なマナーの育成」が高くなっています。

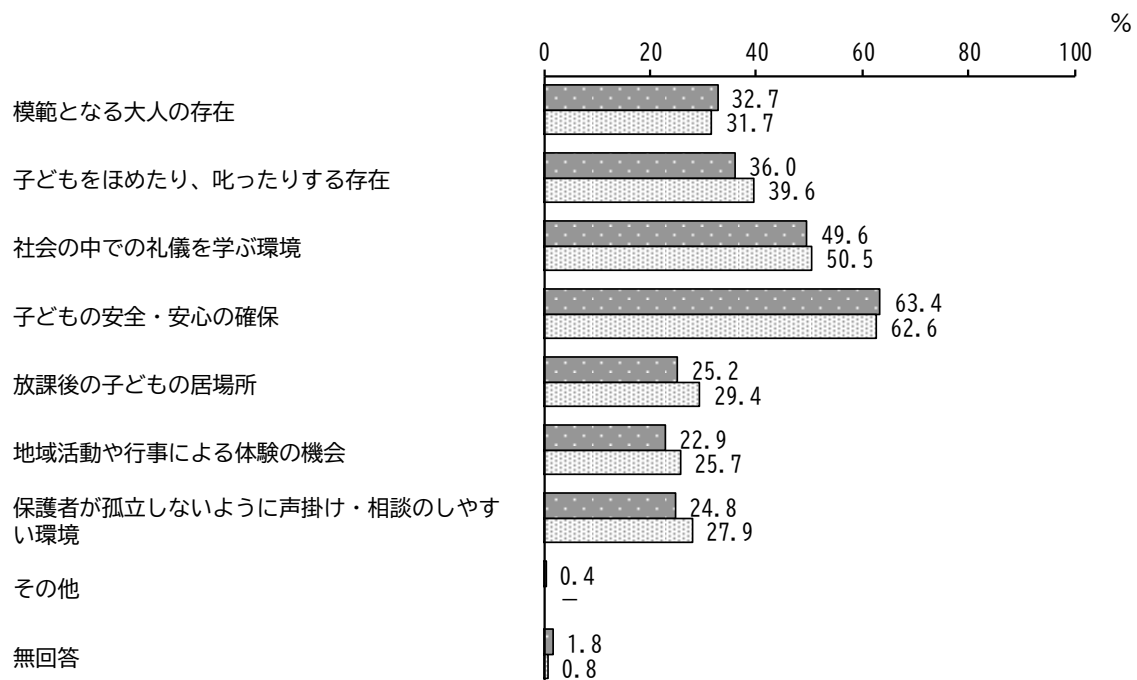
(単位：％)

区分	回答者数(件)	基本的な生活習慣の育成	基本的な倫理観の育成	豊かな情操の育成	自立心や自制心の育成	思いやりの心の育成	社会的なマナーの育成	家庭学習の習慣	その他	無回答
全 体	1,574	65.3	39.9	21.3	32.9	55.9	50.9	9.0	0.7	1.8
就学前の子どもと同居している	179	73.2	45.8	25.7	31.8	58.1	40.8	10.6	—	1.1
小学生の子どもと同居している	200	70.5	44.5	20.5	40.0	51.0	43.0	13.5	2.0	1.0
中学生の子どもと同居している	115	68.7	38.3	17.4	36.5	51.3	50.4	16.5	1.7	1.7
高校生以上の子どもと同居している	307	68.7	39.7	15.6	35.2	54.7	51.1	10.1	0.3	2.0
子どもはいない	850	61.3	39.1	23.9	30.8	57.3	53.8	7.4	0.7	1.8

問9 あなたは、地域における子どもの教育について、何が大事だと思いますか。 (○は3つまで)

「子どもの安全・安心の確保」の割合が63.4%と最も高く、次いで「社会の中での礼儀を学ぶ環境」の割合が49.6%、「子どもをほめたり、叱ったりする存在」の割合が36.0%となっています。

令和元年度調査と比較しても、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査では「その他」はありませんでした。

【子どもの有無別】

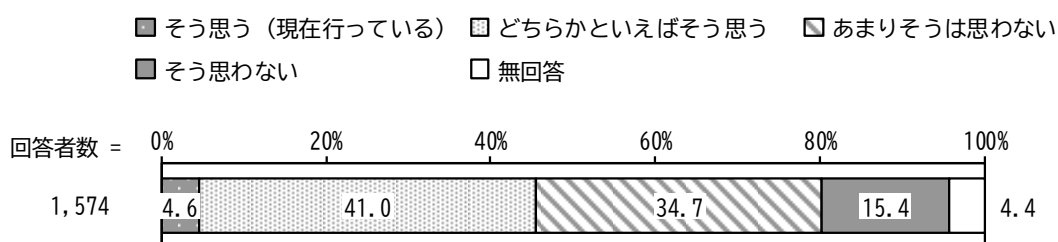
子どもの有無別にみると、「社会の中での礼儀を学ぶ環境」について小学生や中学生の子どもと同居している方で高く、「子どもの安全・安心の確保」については就学前の子どもと同居している方で高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	模範となる大人の存在	子どもをほめたり、叱ったりする存在	社会の中での礼儀を学ぶ環境	子どもの安全・安心の確保	放課後の子どもの居場所	地域活動や行事による体験の機会	保護者が孤立しないように声掛け・相談のしやすい環境	その他	無回答
全 体	1,574	32.7	36.0	49.6	63.4	25.2	22.9	24.8	0.4	1.8
就学前の子どもと同居している	179	44.1	33.5	45.8	77.1	35.2	25.7	10.1	0.6	0.6
小学生の子どもと同居している	200	38.5	37.5	55.0	69.5	26.5	24.0	15.5	—	0.5
中学生の子どもと同居している	115	40.9	40.0	54.8	67.0	15.7	24.3	20.9	—	1.7
高校生以上の子どもと同居している	307	33.6	35.5	51.1	64.8	18.9	23.1	24.8	0.3	1.6
子どもはいない	850	29.9	36.7	49.4	59.6	25.6	22.5	28.6	0.4	1.9

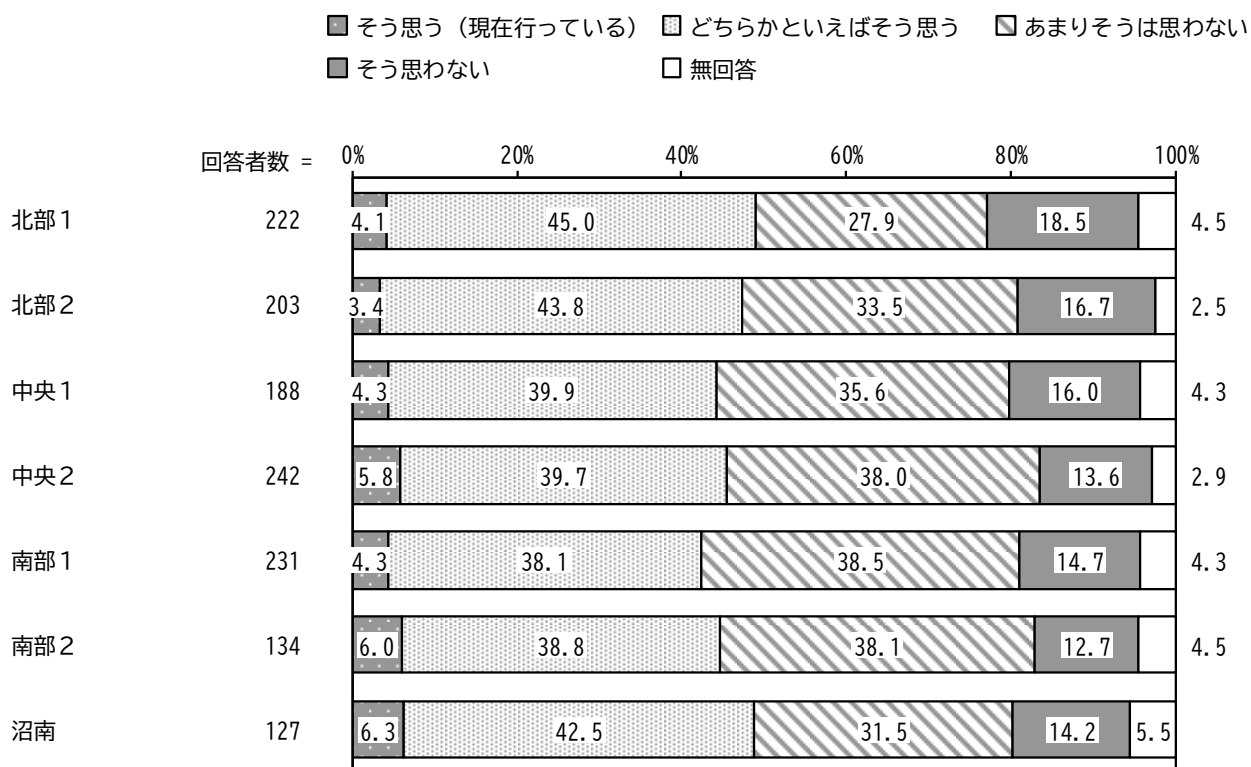
問 10 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）などの地域の教育活動に参加したり、学校支援ボランティアなどに協力したいと思いますか。（○は1つ）

「そう思う（現在行っている）」「どちらかといえばそう思う」を合わせた”そう思う”の割合が 45.6%、「あまりそうは思わない」「そう思わない」を合わせた”そう思わない”の割合が 50.1%となっています。



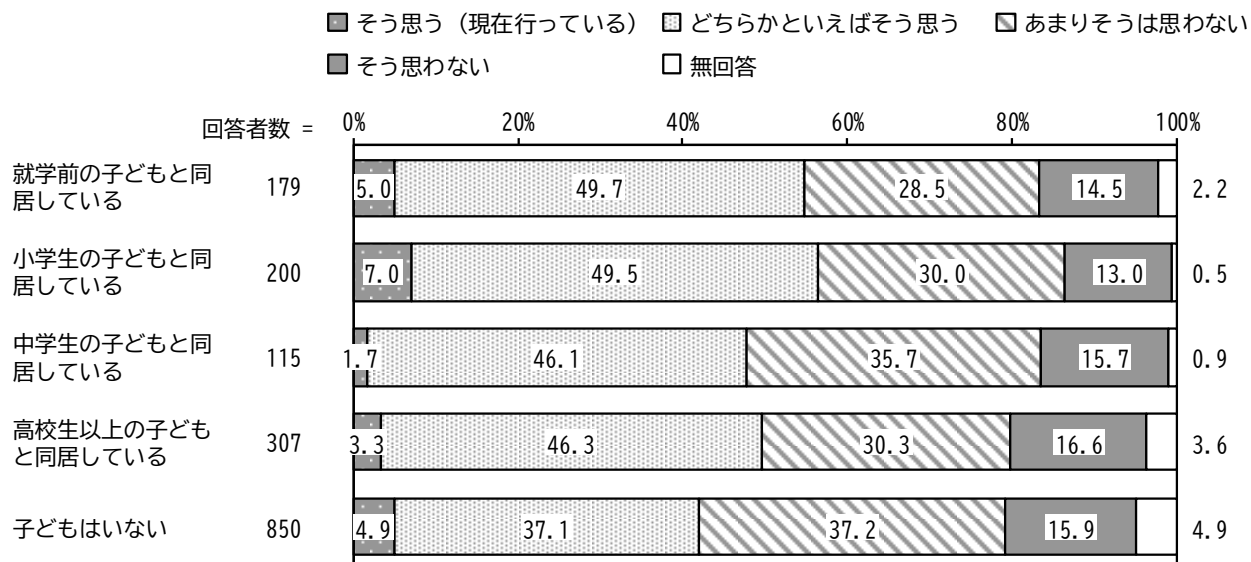
【在住地域別】

在住地域別にみても、大きな差はみられません。



【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、子どもと同居している方で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

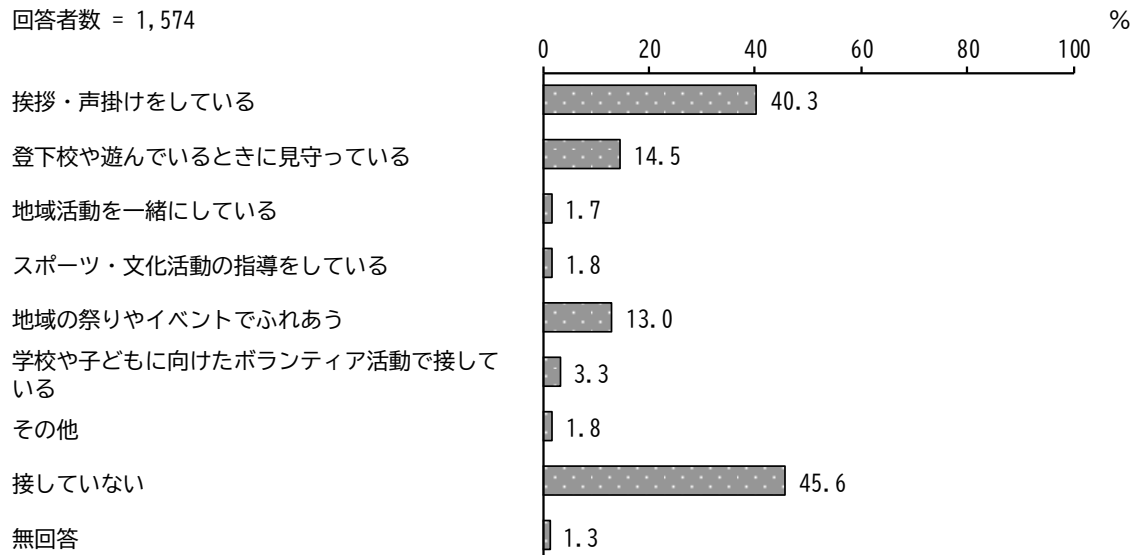


(2) 地域との関わりについて

問11 あなたは、普段、地域の子ども（小・中学生）とどのように接していますか。
（○は3つまで）

「接していない」の割合が45.6%と最も高く、次いで「挨拶・声掛けをしている」の割合が40.3%、「登下校や遊んでいるときに見守っている」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 1,574



【コミュニティスクール（学校運営協議会）に協力したいか別】

コミュニティスクール（学校運営協議会）に協力したいか別にみると、「学校や子どもに向けたボランティア活動で接している」についてそう思う（現在行っている）で高くなっています。

（単位：％）

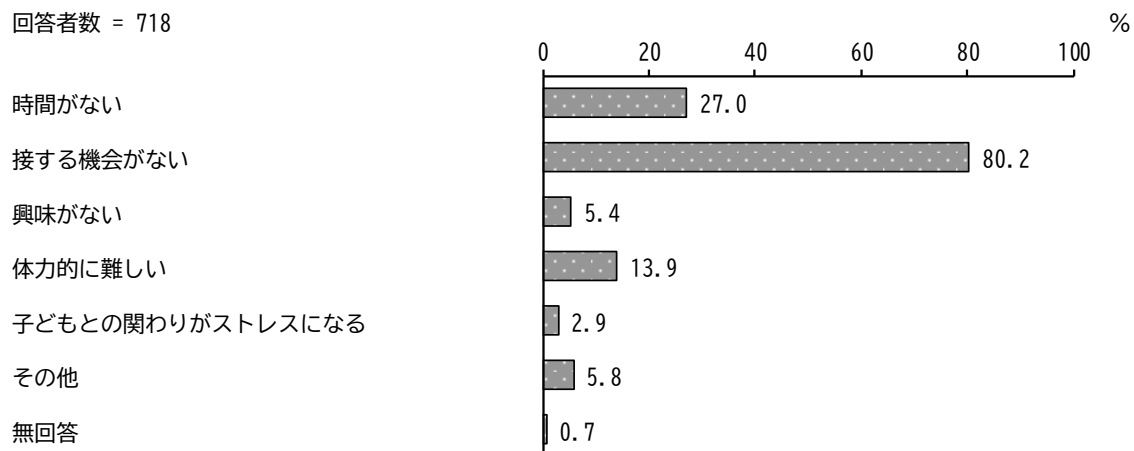
区分	回答者数（件）	挨拶・声掛けをしている	登下校や遊んでいるときに見守っている	地域活動を一緒にしている	スポーツ・文化活動の指導をしている	地域の祭りやイベントでふれあう	学校や子どもに向けたボランティア活動で接している	その他	接していない	無回答
全 体	1,574	40.3	14.5	1.7	1.8	13.0	3.3	1.8	45.6	1.3
そう思う（現在行っている）	72	59.7	19.4	9.7	8.3	30.6	20.8	4.2	23.6	1.4
どちらかといえばそう思う	645	47.9	19.5	2.2	2.2	18.3	3.4	2.3	36.1	0.2
あまりそうは思わない	546	36.6	13.0	1.1	0.9	8.8	2.2	1.1	50.0	0.2
そう思わない	242	25.2	5.0	—	1.2	3.7	1.2	1.7	69.0	0.8

問11で「8 接していない」と回答したかたにお尋ねします

問12 子どもと接していない理由を教えてください。(○は3つまで)

「接する機会がない」の割合が80.2%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が27.0%、「体力的に難しい」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 718

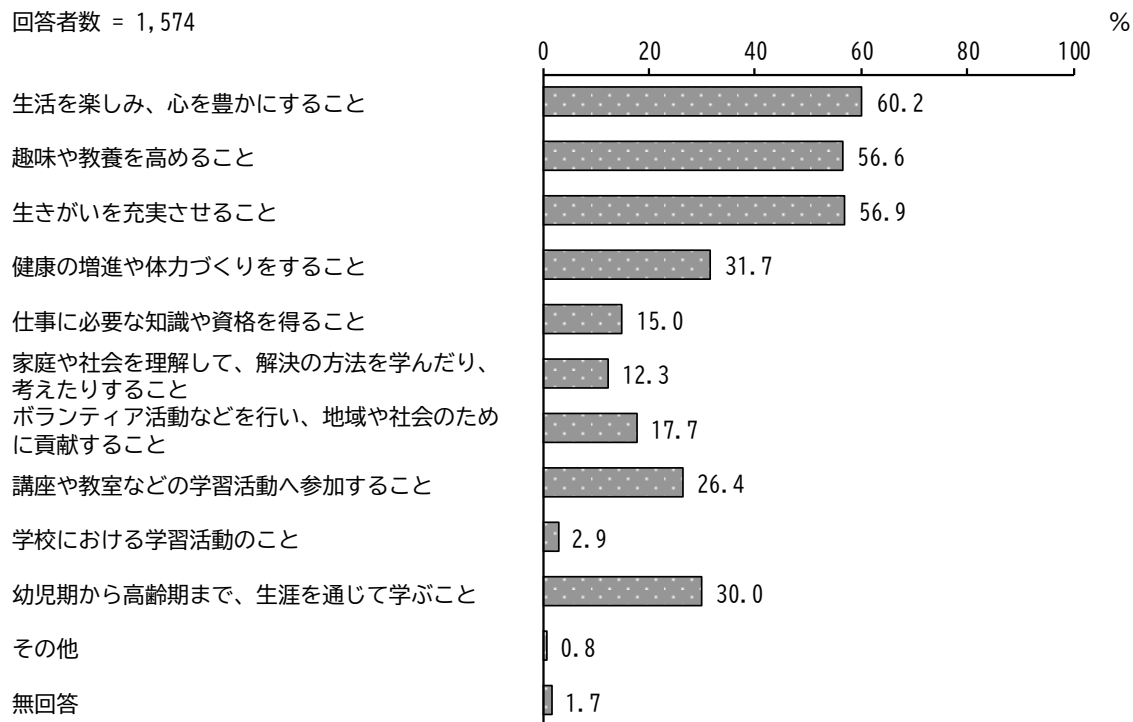


(3) 生涯学習について

問13 あなたは、「生涯学習」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。
(○はいくつでも)

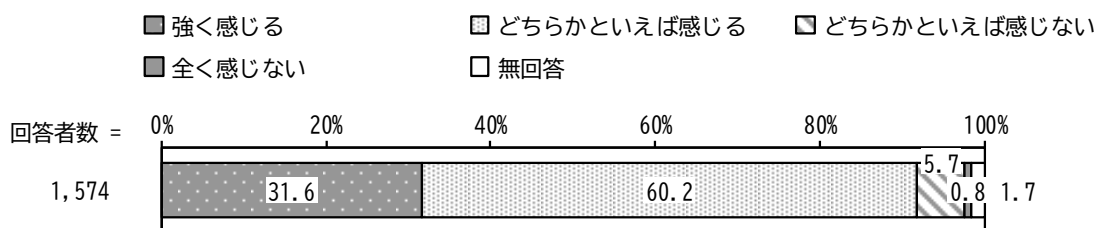
「生活を楽しみ、心を豊かにすること」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「生きがいを充実させること」の割合が 56.9%、「趣味や教養を高めること」の割合が 56.6%となっています。

回答者数 = 1,574



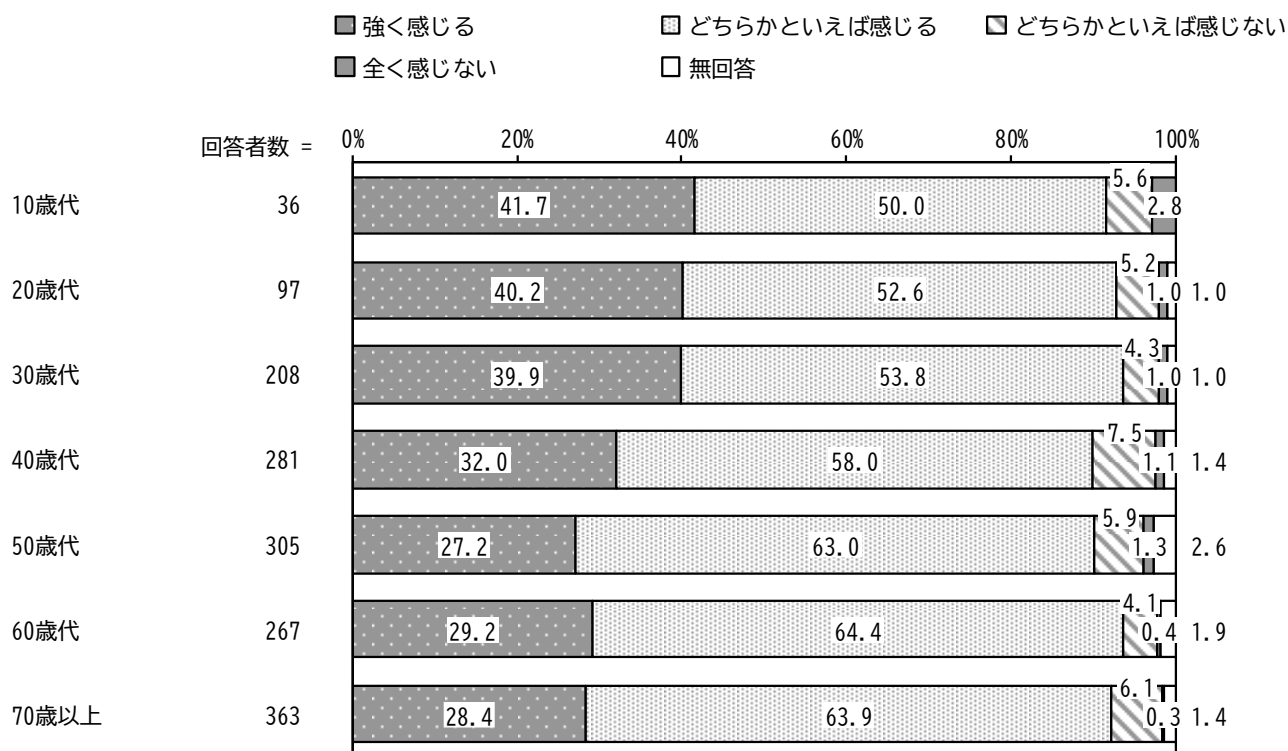
問14 あなたは、生涯学習を行うことは必要だと感じますか。(○は1つ)

「強く感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた”感じる”の割合が 91.8%、「どちらかといえば感じない」「全く感じない」を合わせた”感じない”の割合が 6.5%となっています。



【年代別】

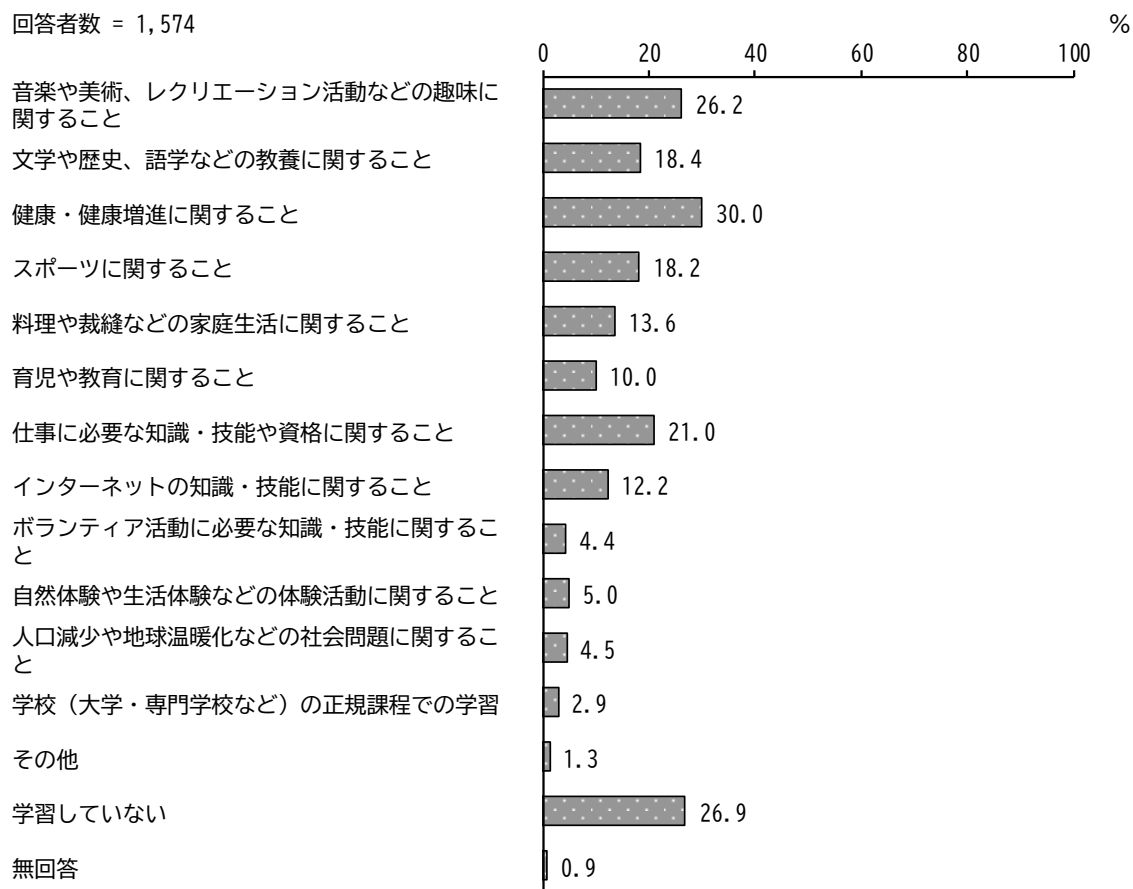
年代別にみると、「どちらかといえば感じる」と答えた割合が、10 歳代から 70 歳以上にかけて高くなる傾向にあります。また、「強く感じる」と答えた割合が、10 歳代から 70 歳以上にかけて低くなる傾向にあります。



問 15 あなたは、この1年間にどのような生涯学習をしましたか。(〇はいくつでも)

「健康・健康増進に関すること」の割合が30.0%と最も高く、次いで「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」の割合が26.2%、「仕事に必要な知識・技能に関すること」の割合が21.0%となっています。一方で、「学習していない」の割合も26.9%となっています。

回答者数 = 1,574



【年代別】

年代別にみると、「健康・健康増進に関すること」と答えた割合は、年代が上がるにつれ、高くなる傾向にあります。また、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」について10歳代で、「育児や教育に関すること」については30歳代で、「インターネットの知識・技能に関すること」については20歳代で高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数(件)	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	健康・健康増進に関すること	スポーツに関すること	料理や裁縫などの家庭生活に関すること	育児や教育に関すること	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること
全 体	1,574	26.2	18.4	30.0	18.2	13.6	10.0	21.0
10歳代	36	33.3	30.6	11.1	27.8	5.6	11.1	19.4
20歳代	97	34.0	17.5	18.6	18.6	16.5	15.5	36.1
30歳代	208	22.1	13.5	16.3	18.3	16.8	29.3	32.2
40歳代	281	22.8	18.1	27.4	16.4	16.4	16.0	30.2
50歳代	305	21.6	14.8	26.6	18.0	10.8	4.3	27.2
60歳代	267	32.6	18.7	33.0	16.9	10.5	2.6	12.0
70歳以上	363	28.1	22.9	46.0	20.1	13.5	3.6	5.0

区分	インターネットの知識・技能に関すること	ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること	学校(大学・専門学校など)の正規課程での学習	その他	学習していない	無回答
全 体	12.2	4.4	5.0	4.5	2.9	1.3	26.9	0.9
10歳代	19.4	16.7	11.1	5.6	13.9	—	25.0	—
20歳代	25.8	3.1	3.1	4.1	19.6	1.0	19.6	—
30歳代	15.4	3.4	5.3	3.8	4.8	1.4	25.5	—
40歳代	10.7	2.8	8.9	5.3	0.7	1.1	28.5	0.7
50歳代	11.5	2.3	2.3	1.6	—	1.3	29.5	1.3
60歳代	7.9	5.2	4.1	3.0	1.1	0.7	33.3	0.4
70歳以上	11.0	6.3	4.7	8.0	1.4	1.7	21.8	1.4

【幸福度別】

幸福度別にみると、いずれの学習内容も幸福度が高いかたの方が割合が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数(件)	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	文学や歴史、語学などの教養に関すること	健康・健康増進に関すること	スポーツに関すること	料理や裁縫などの家庭生活に関すること	育児や教育に関すること	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること
全 体	1,574	26.2	18.4	30.0	18.2	13.6	10.0	21.0
0～7点	879	23.3	14.2	28.0	16.6	12.3	8.0	19.2
8～10点	609	30.9	24.8	33.7	20.4	15.8	13.8	24.0

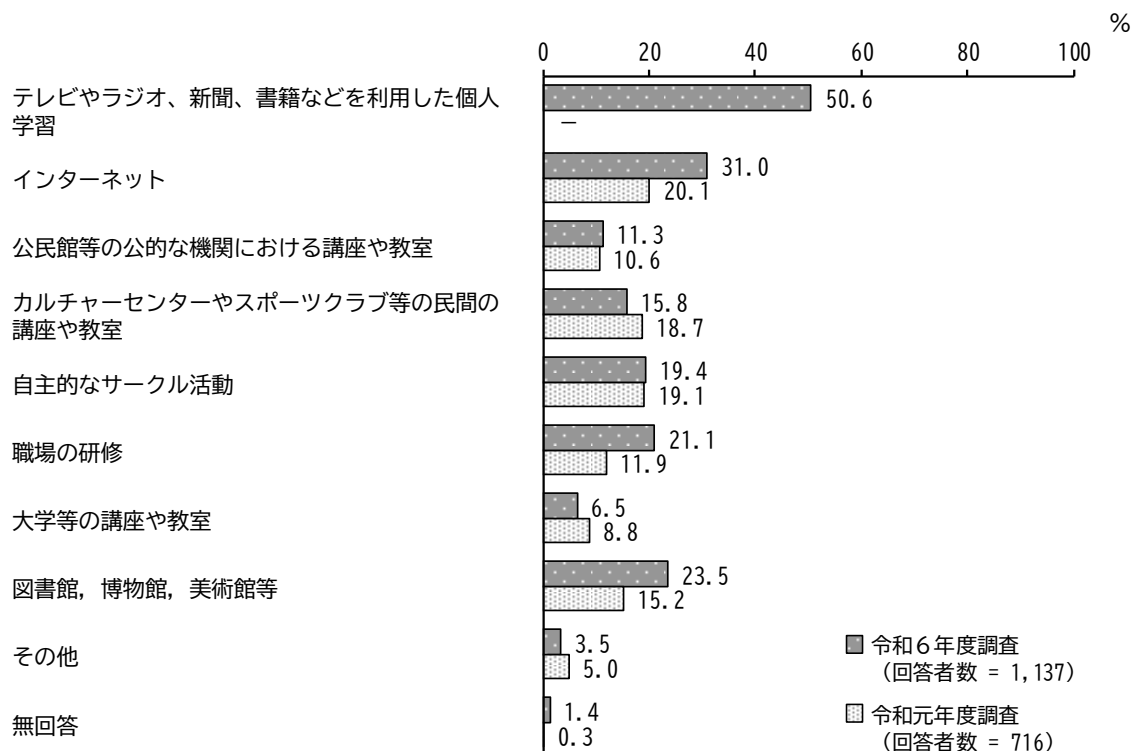
区分	インターネットの知識・技能に関すること	ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること	学校(大学・専門学校などの正規課程での学習)	その他	学習していない	無回答
全 体	12.2	4.4	5.0	4.5	2.9	1.3	26.9	0.9
0～7点	12.4	3.8	3.6	4.2	2.6	0.8	31.3	0.9
8～10点	12.8	5.4	7.2	5.3	3.4	2.0	19.9	0.8

問 15 で「1 音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」～「13 その他」を選択し、いずれかの生涯学習をしたと回答したかたにお尋ねします

問 16 あなたは、この 1 年間にどのような形態で生涯学習をしましたか。(○はいくつでも)

「テレビやラジオ、新聞、書籍などを利用した個人学習」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が 31.0%、「図書館、博物館、美術館等」の割合が 23.5%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「インターネット」「職場の研修」「図書館、博物館、美術館等」の割合が増加しており、個人学習の割合が増加しています。



※今回調査の選択肢の文言を令和元年度調査の選択肢の文言に合わせています。

今回調査では、

「インターネット」は「パソコンやスマートフォンなどを利用したオンライン講座」、

「公民館等の公的な機関における講座や教室」は「公民館などの公的な機関における講座や教室」、

「カルチャーセンターやスポーツクラブ等の民間の講座や教室」は「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室」、

「自主的なサークル活動」は「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」、

「職場の研修」は「職場の研修、教育」、

「大学等の講座や教室」は「学校（大学・専門学校など）における正規課程でない講座や教室（公開講座など）」、

「図書館、博物館、美術館等」は「図書館、博物館、美術館などの施設利用」となっています。

また、令和元年度調査には「テレビやラジオ、新聞、書籍などを利用した個人学習」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室」で、10 歳代から 70 歳以上にかけて高くなる傾向にあります。また、すべての年代で「テレビやラジオ、新聞、書籍などを利用した個人学習」、「パソコンやスマートフォンなどを利用したオンライン講座」の割合が高くなっています。

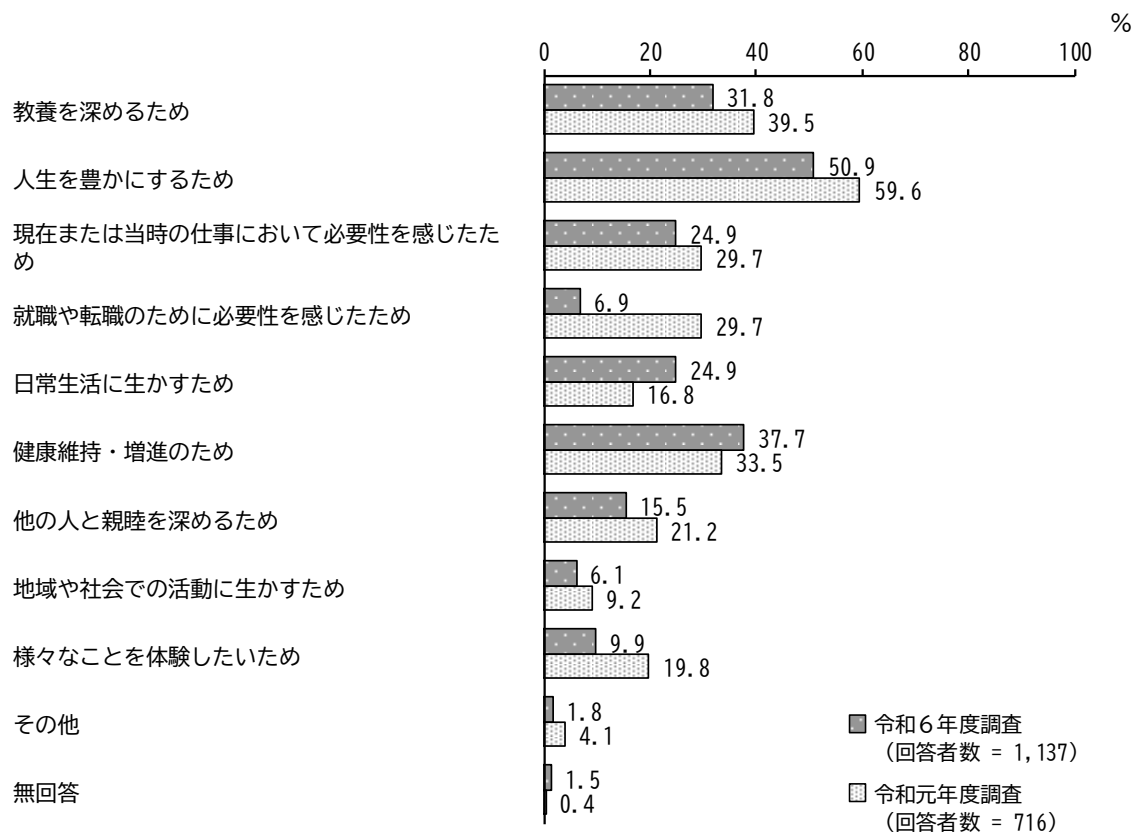
(単位：％)

区分	回答者数(件)	テレビやラジオ、新聞、書籍などを利用した個人学習	パソコンやスマートフォンなどを利用したオンライン講座	公民館などの公的な機関における講座や教室	カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	職場の研修、教育	学校(大学・専門学校など)における正規課程でない講座や教室(公開講座など)	図書館、博物館、美術館などの施設利用	その他	無回答
全 体	1,137	50.6	31.0	11.3	15.8	19.4	21.1	6.5	23.5	3.5	1.4
10 歳代	27	33.3	37.0	7.4	3.7	18.5	7.4	25.9	14.8	7.4	3.7
20 歳代	78	50.0	39.7	6.4	5.1	7.7	34.6	24.4	28.2	6.4	1.3
30 歳代	155	49.0	38.7	9.7	8.4	9.7	37.4	5.2	21.3	5.8	—
40 歳代	199	54.3	38.2	10.1	9.5	7.5	25.1	4.5	24.1	4.5	1.5
50 歳代	211	46.0	35.1	6.2	15.2	16.1	29.4	3.3	21.8	1.4	1.4
60 歳代	177	52.5	24.3	10.7	24.3	22.0	14.7	2.3	23.2	2.8	1.7
70 歳以上	279	52.0	20.1	19.4	24.0	37.6	5.0	6.8	25.4	2.2	1.8

問 17 あなたが、この 1 年間に生涯学習をした理由は何ですか。(○は 3 つまで)

「人生を豊かにするため」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「健康維持・増進のため」の割合が 37.7%、「教養を深めるため」の割合が 31.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「日常生活に生かすため」「健康維持・増進のため」の割合が増加しており、それ以外の項目は減少しています。



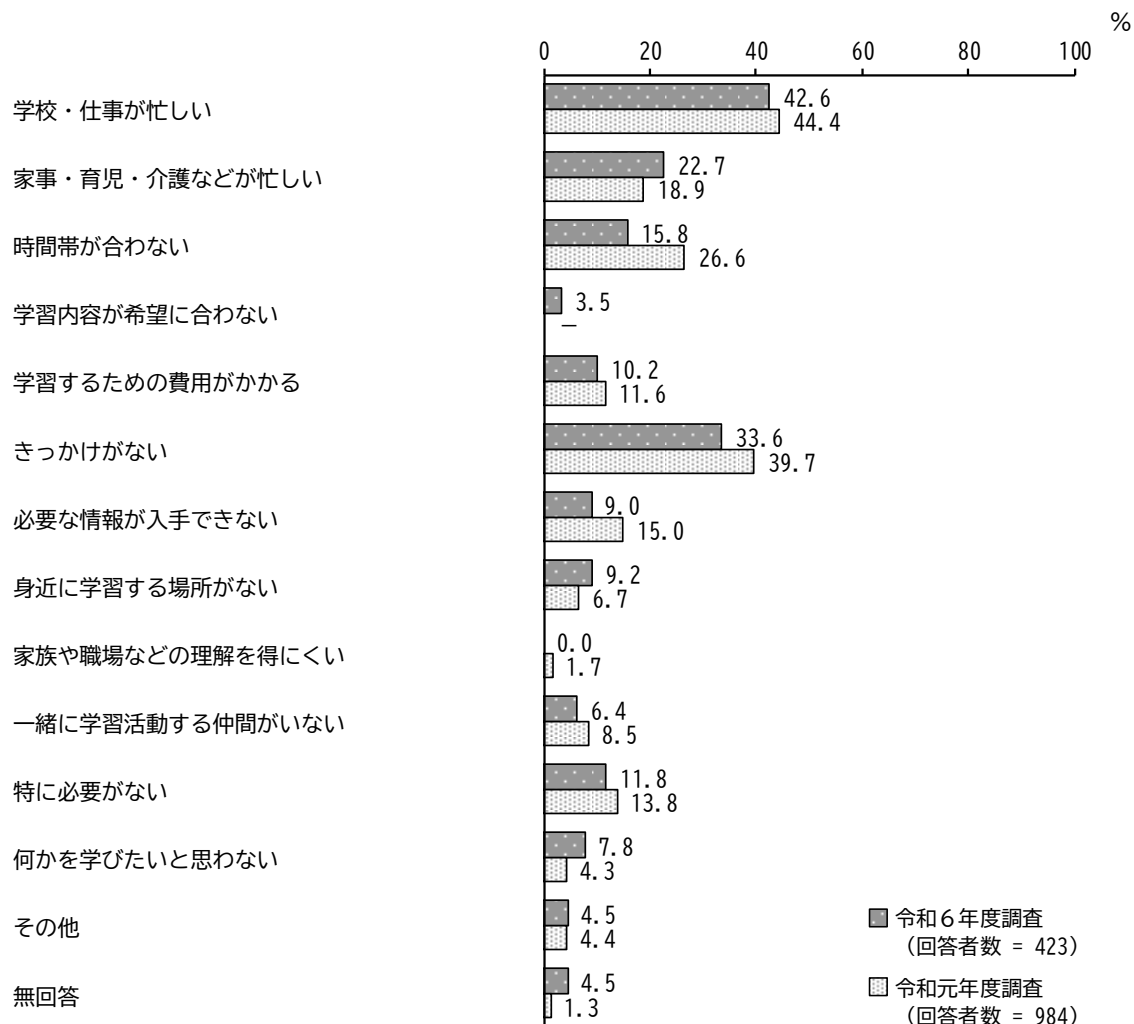
※令和元年度調査では「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」、「就職や転職のために必要性を感じたため」は「仕事で必要のため」となっていました。

問 15 で「14 学習していない」と回答したかたにお尋ねします

問 18 あなたが、この 1 年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。(〇は 3 つまで)

「学校・仕事が忙しい」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「きっかけがない」の割合が 33.6%、「家事・育児・介護などが忙しい」の割合が 22.7%となっています。

令和元年度調査と比較しても、上位 2 つの理由に変化はありません。



※令和元年度調査では、「学習内容が希望に合わない」はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、どの年代も約3割が「きっかけがない」を回答しています。また、10歳～60歳代は「学校・仕事が忙しい」を回答する割合が高くなっています。

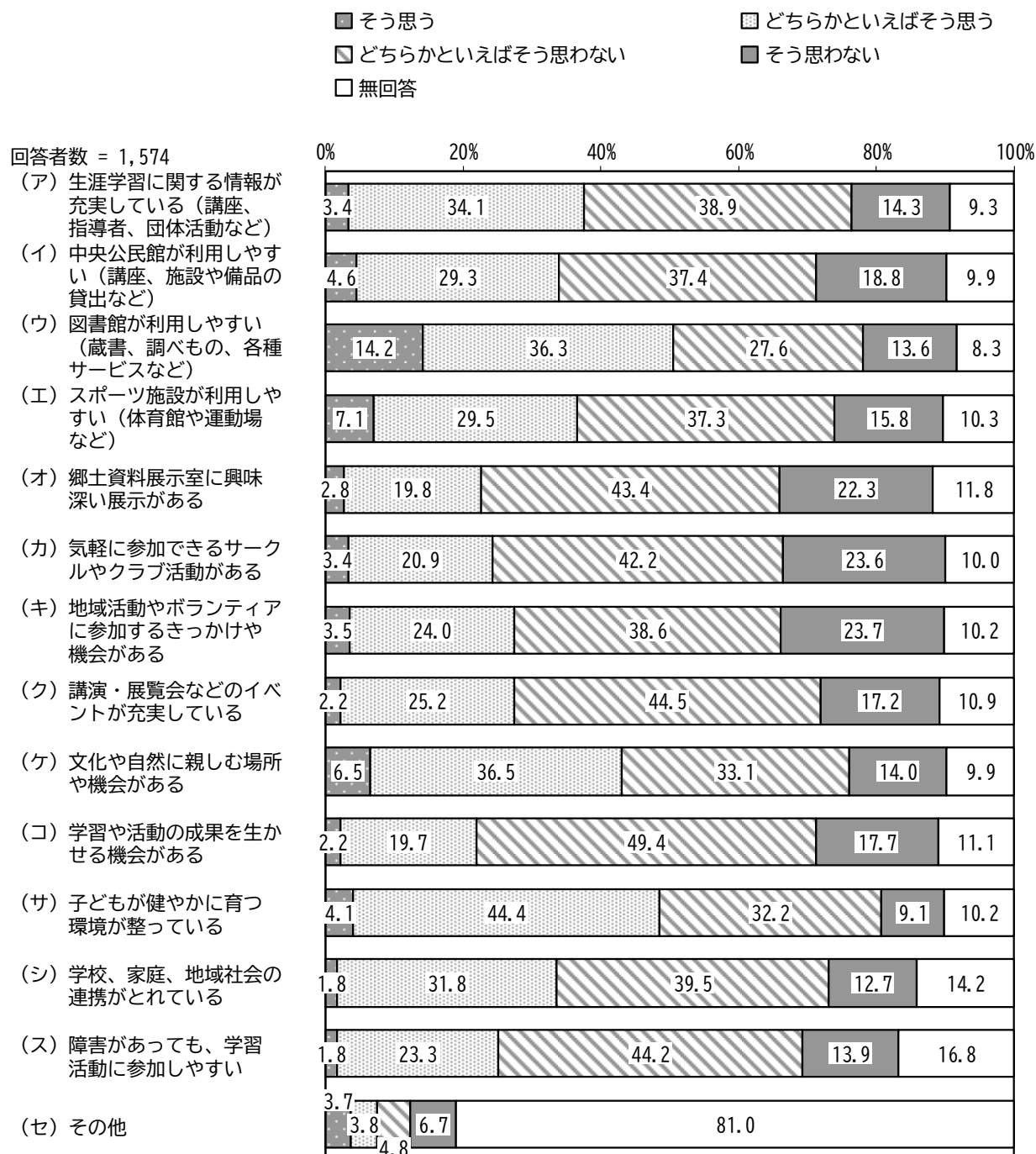
(単位：％)

区分	回答者数(件)	い学校・仕事が忙しい	家事・育児・介護などが忙しい	時間帯が合わない	学習内容が希望に合わない	学習するための費用がかかる	きっかけがない	必要な情報が入手できない	身近に学習する場所がない	家族や職場などの理解を得にくい	一緒に学習活動する仲間がいない	特に必要がない	何かを学びたいと思わない	その他	無回答
全 体	423	42.6	22.7	15.8	3.5	10.2	33.6	9.0	9.2	—	6.4	11.8	7.8	4.5	4.5
10歳代	9	55.6	—	11.1	11.1	—	44.4	—	22.2	—	11.1	22.2	22.2	—	—
20歳代	19	68.4	31.6	26.3	—	10.5	26.3	10.5	—	—	5.3	5.3	10.5	5.3	—
30歳代	53	49.1	49.1	11.3	3.8	15.1	28.3	9.4	1.9	—	1.9	13.2	7.5	5.7	5.7
40歳代	80	51.3	32.5	21.3	3.8	10.0	33.8	6.3	6.3	—	2.5	10.0	11.3	—	2.5
50歳代	90	55.6	23.3	24.4	1.1	10.0	32.2	6.7	4.4	—	10.0	13.3	8.9	1.1	2.2
60歳代	89	38.2	10.1	14.6	4.5	7.9	38.2	10.1	13.5	—	6.7	10.1	4.5	6.7	3.4
70歳以上	79	12.7	10.1	3.8	5.1	7.6	35.4	13.9	17.7	—	8.9	13.9	5.1	10.1	11.4

全てのかたにお尋ねします

問 19 現在の柏市の生涯学習環境について、あてはまると思うものをお答えください。

『(ウ) 図書館が利用しやすい(蔵書、調べもの、各種サービスなど)』『(サ) 子どもが健やかに育つ環境が整っている』で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。

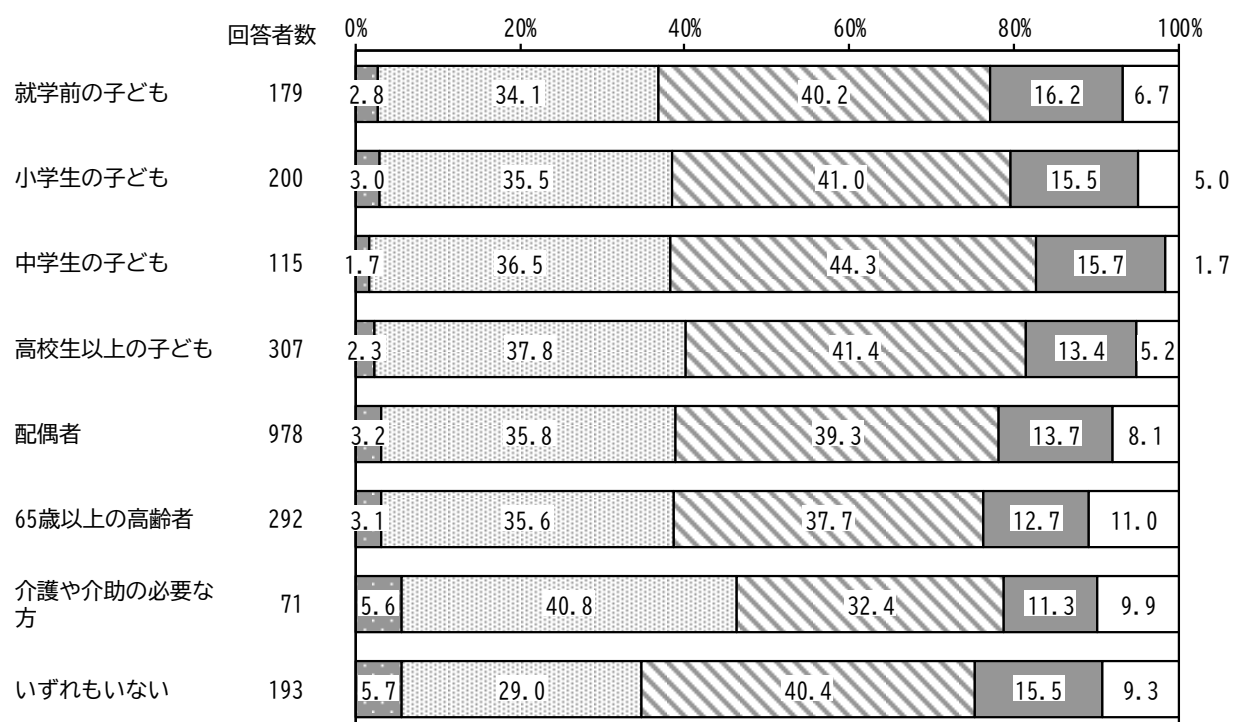


(ア) 生涯学習に関する情報が充実している（講座、指導者、団体活動など）

【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について介護や介助の必要な方と同居している方で高くなっています。

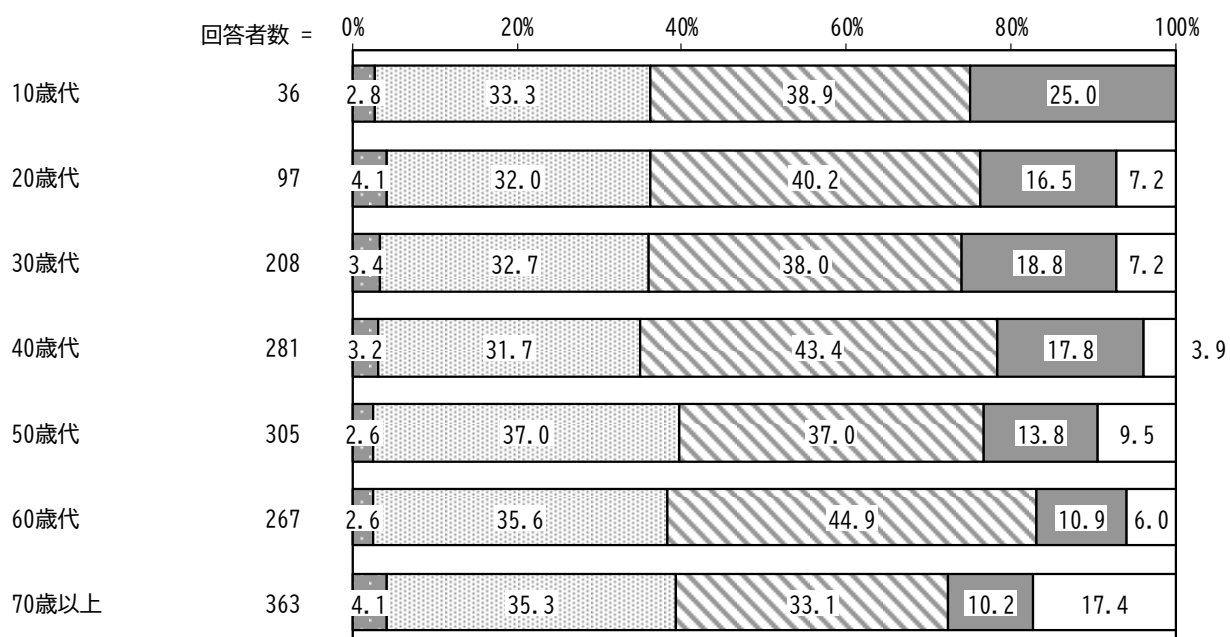
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



【年代別】

年代別にみると、「そう思わない」の割合が10歳代で高くなっています。

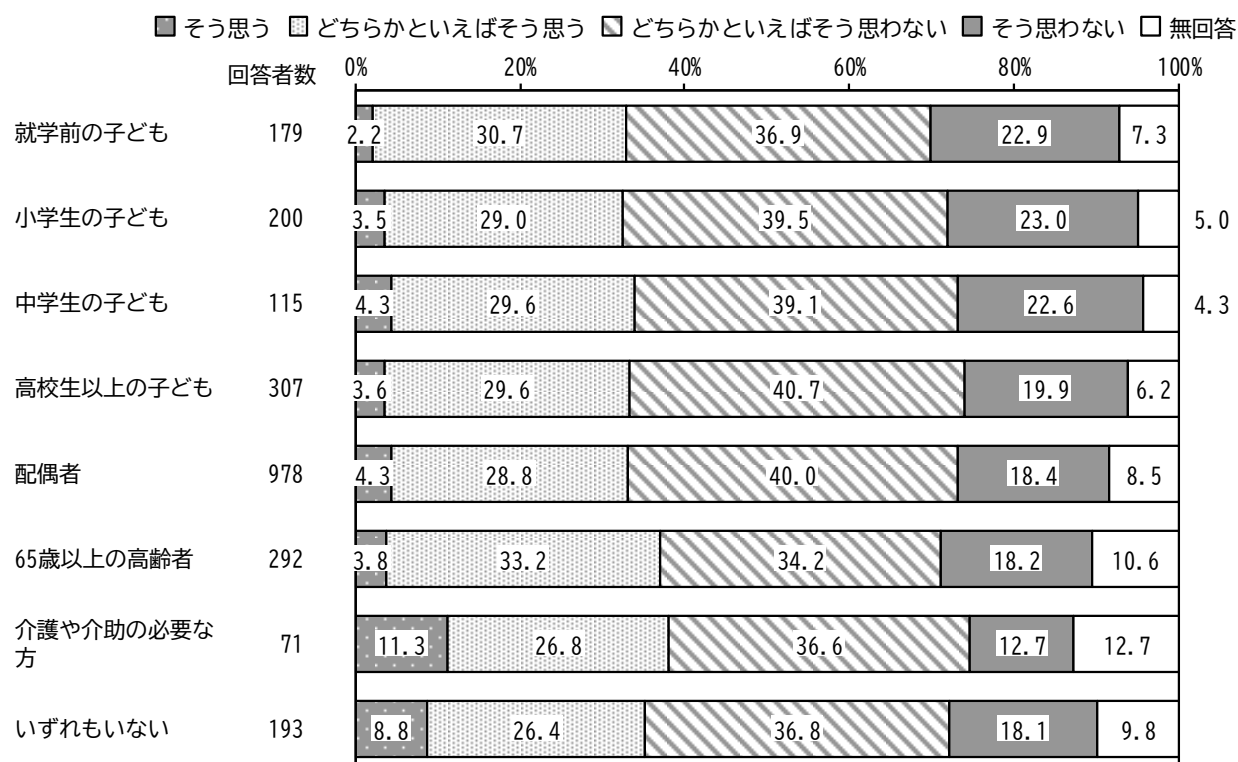
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



(イ) 中央公民館が利用しやすい（講座、施設や備品の貸出など）

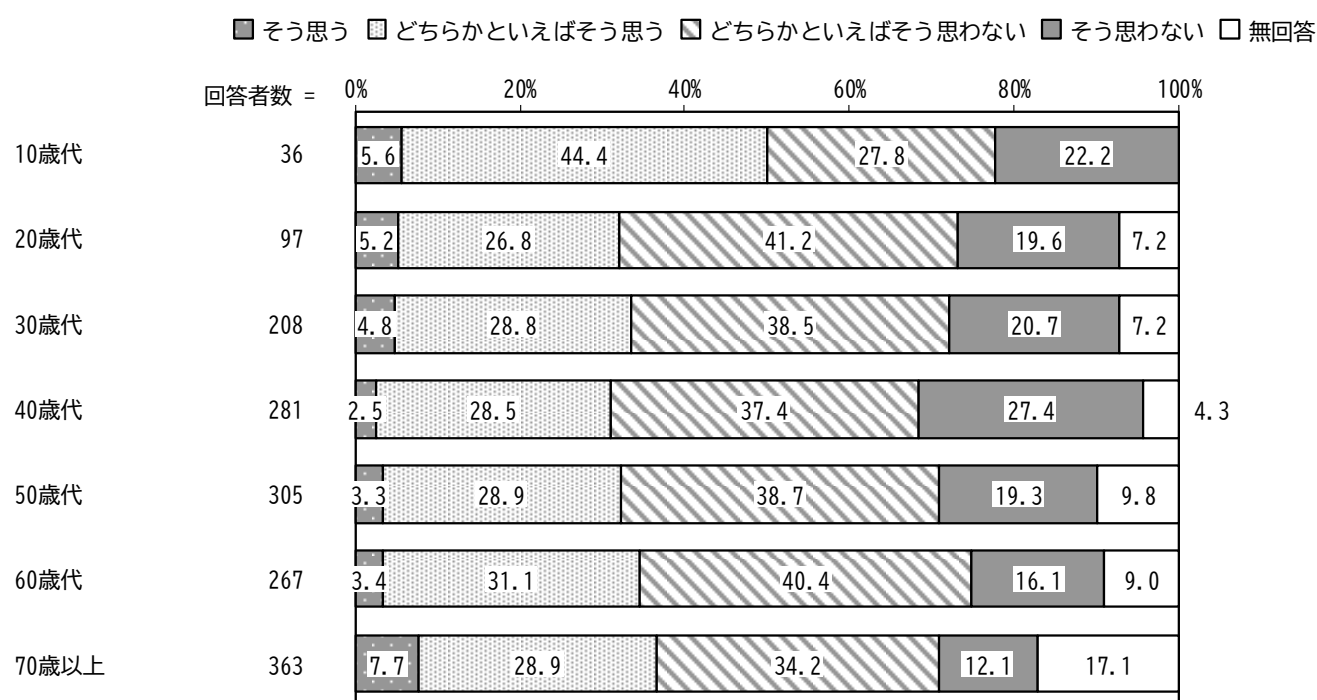
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について介護や介助の必要な方と同居している方で高くなっています。



【年代別】

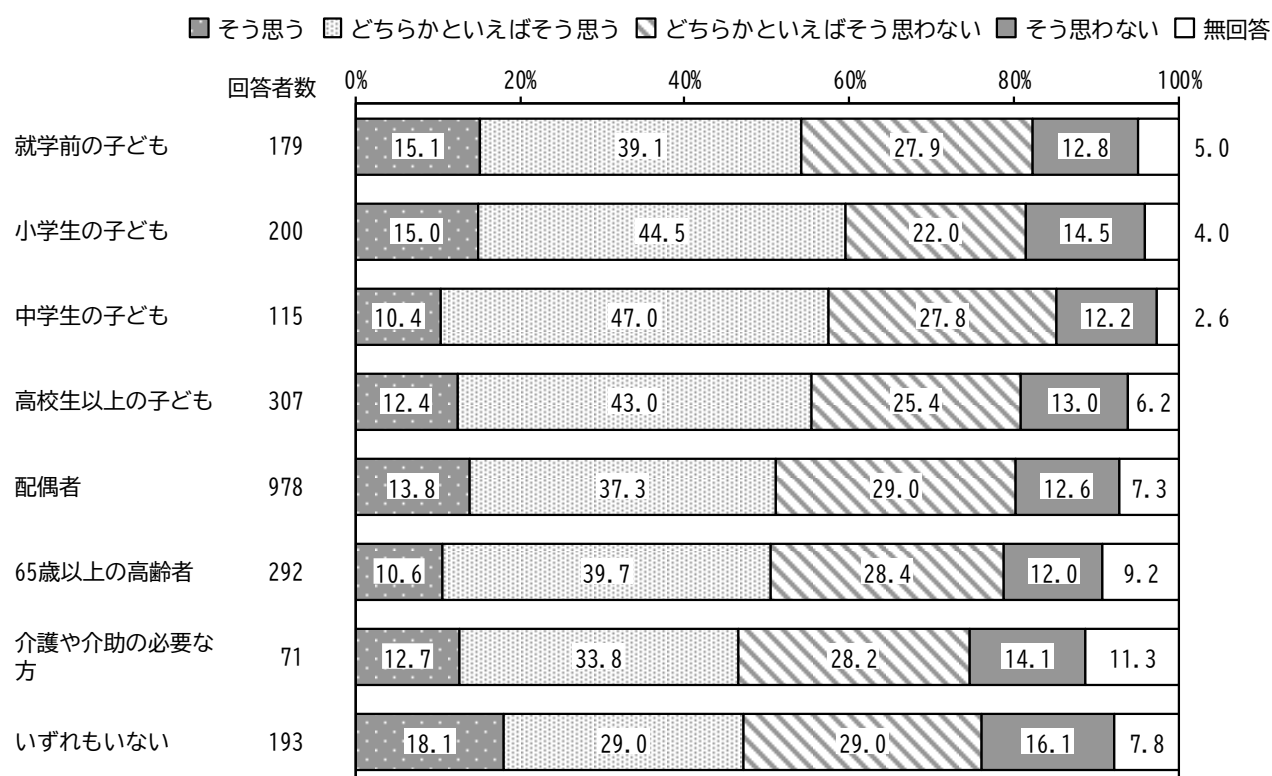
年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。



(ウ) 図書館が利用しやすい(蔵書、調べもの、各種サービスなど)

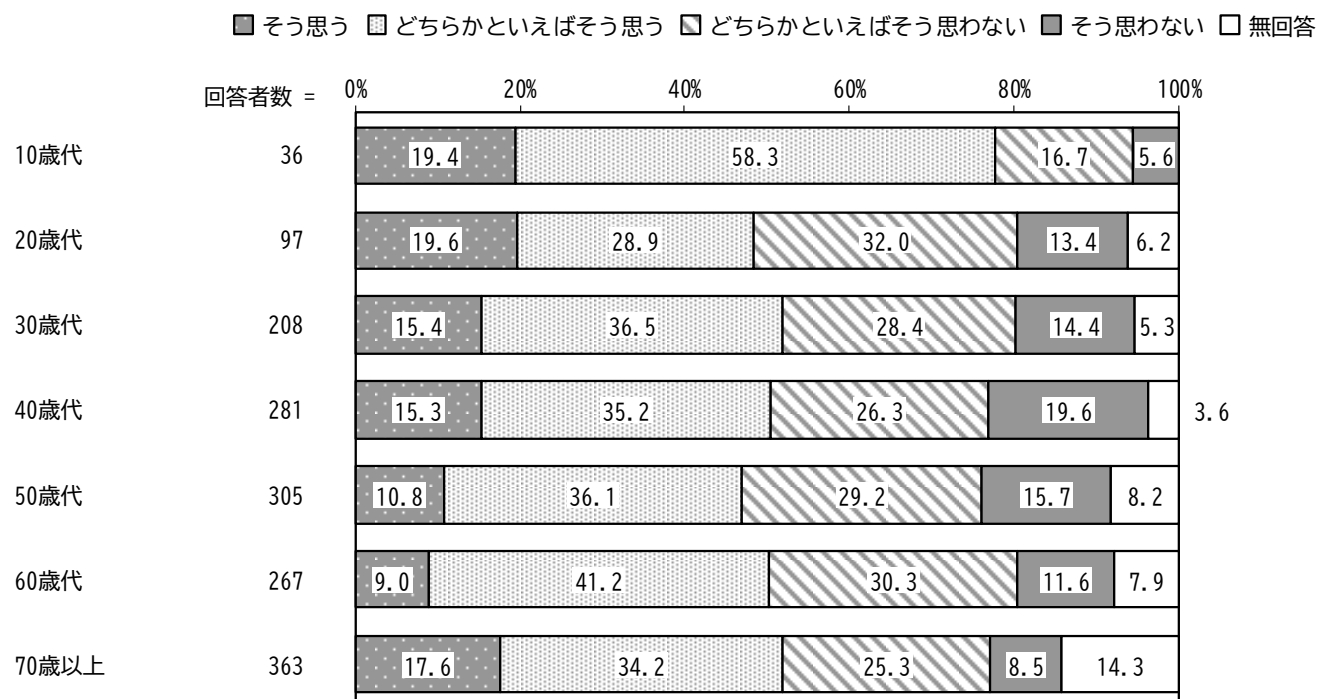
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について小学生の子どもと同居している方で高くなっています。



【年代別】

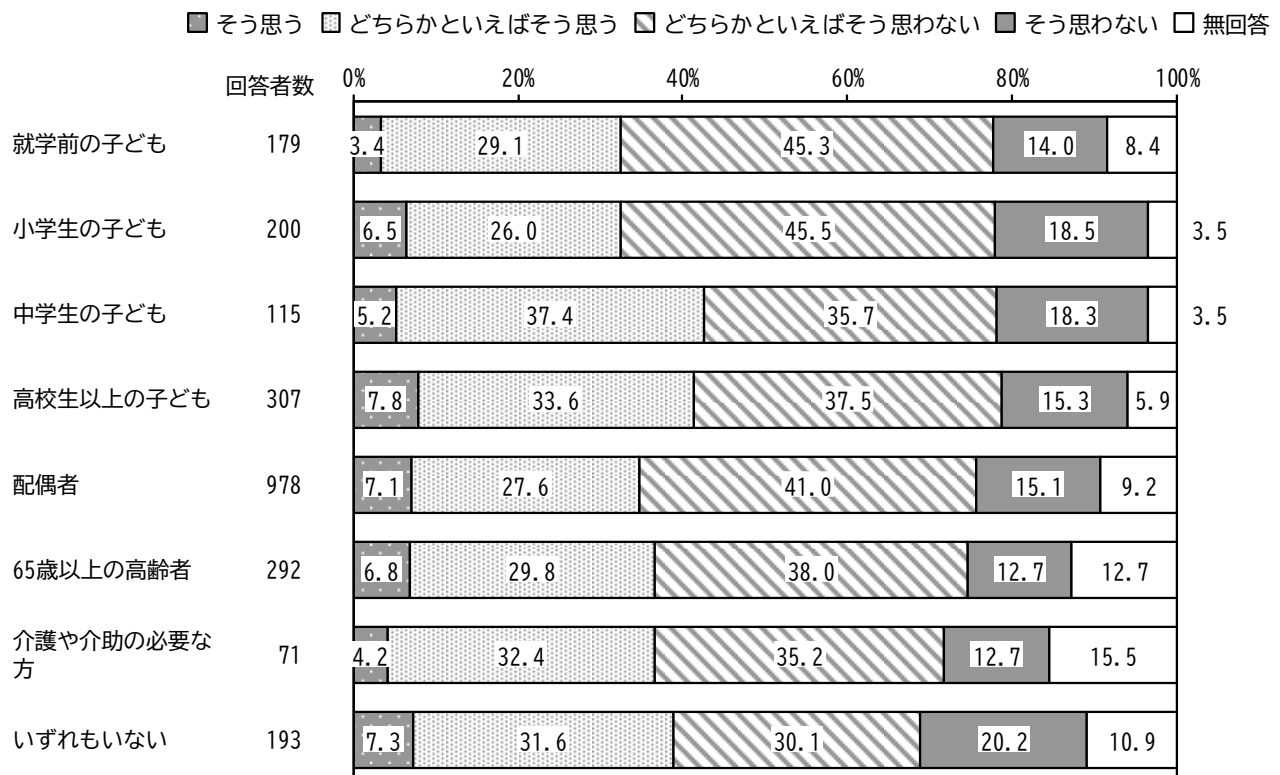
年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。



(エ) スポーツ施設が利用しやすい（体育館や運動場など）

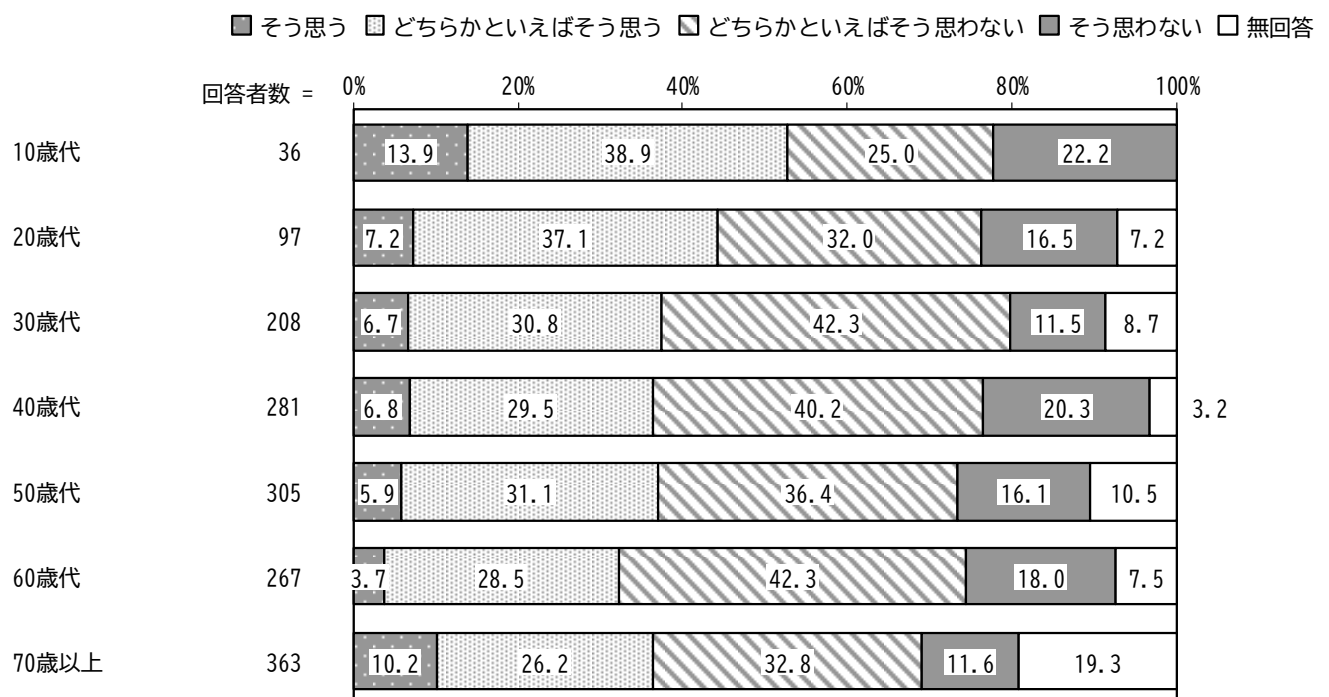
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について中学生の子どもと同居している方で高くなっています。



【年代別】

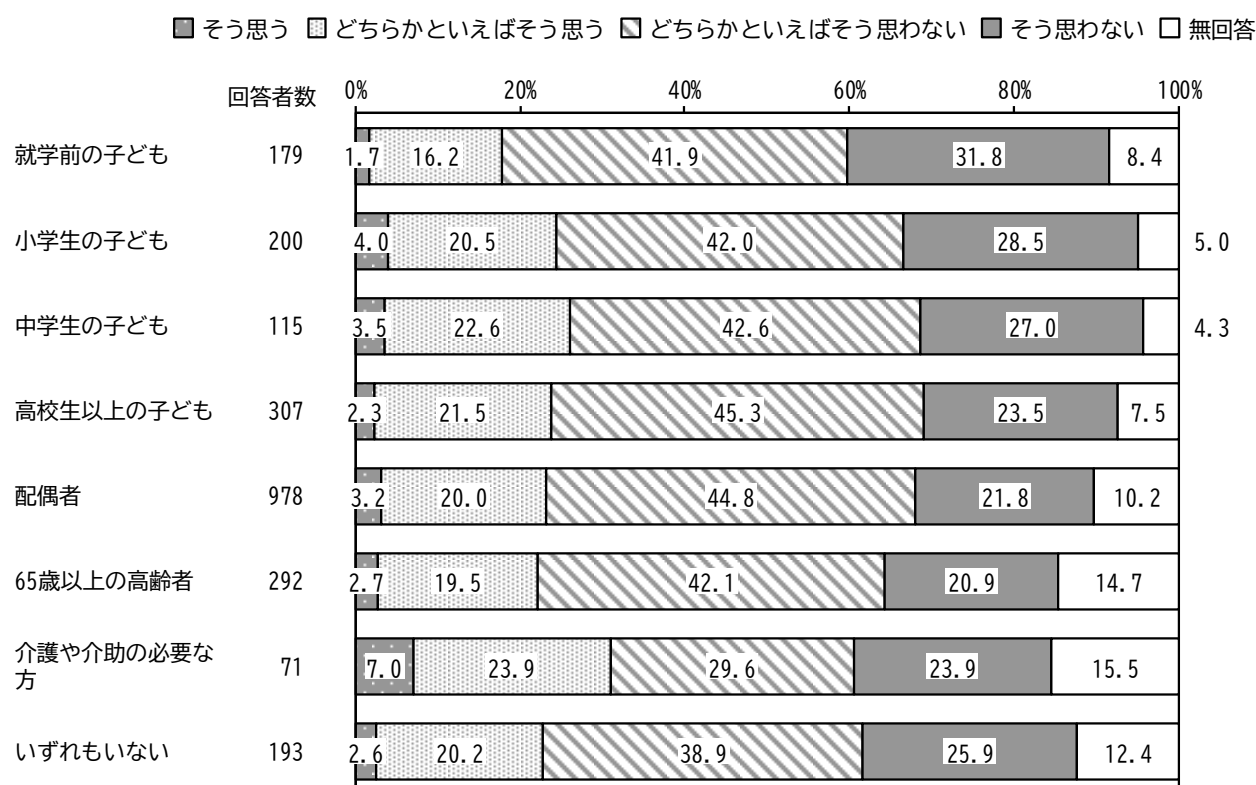
年代別にみると、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせた“そう思わない”について40歳代と60歳代で高くなっています。



(オ) 郷土資料展示室に興味深い展示がある

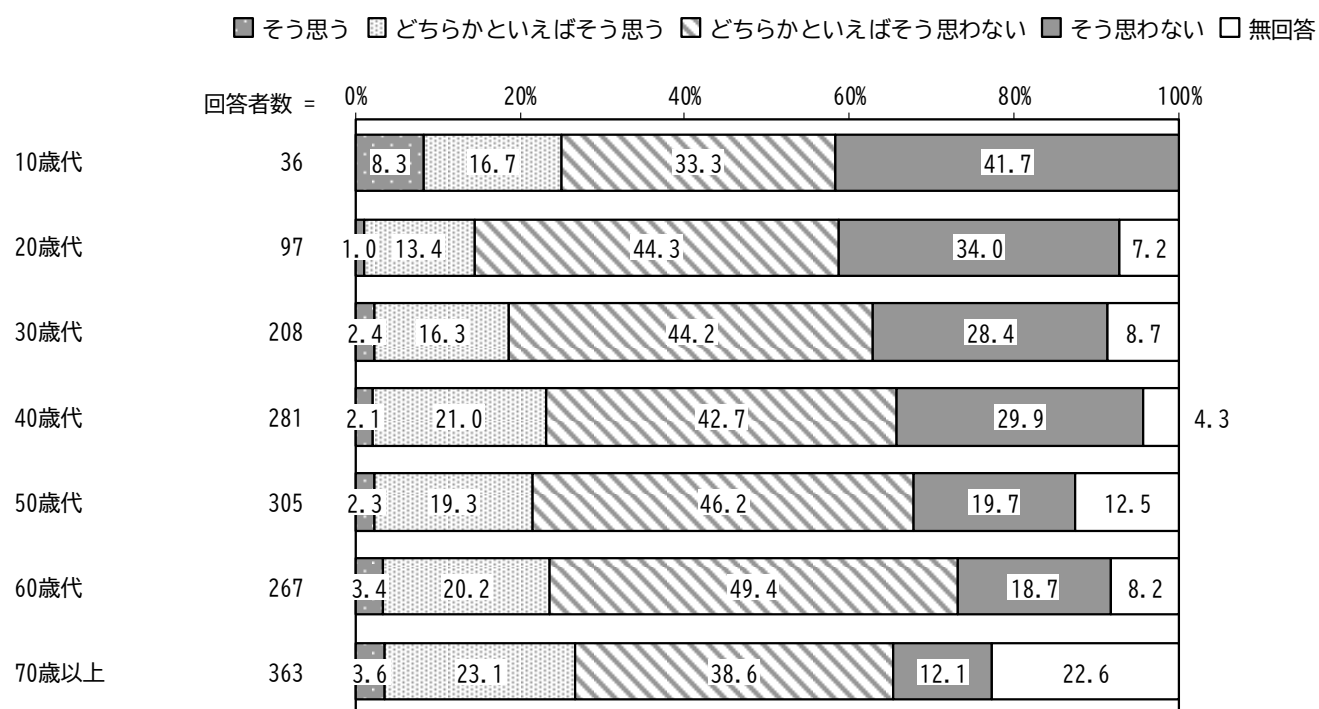
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について介護や介助の必要な方と同居している方で高くなっています。



【年代別】

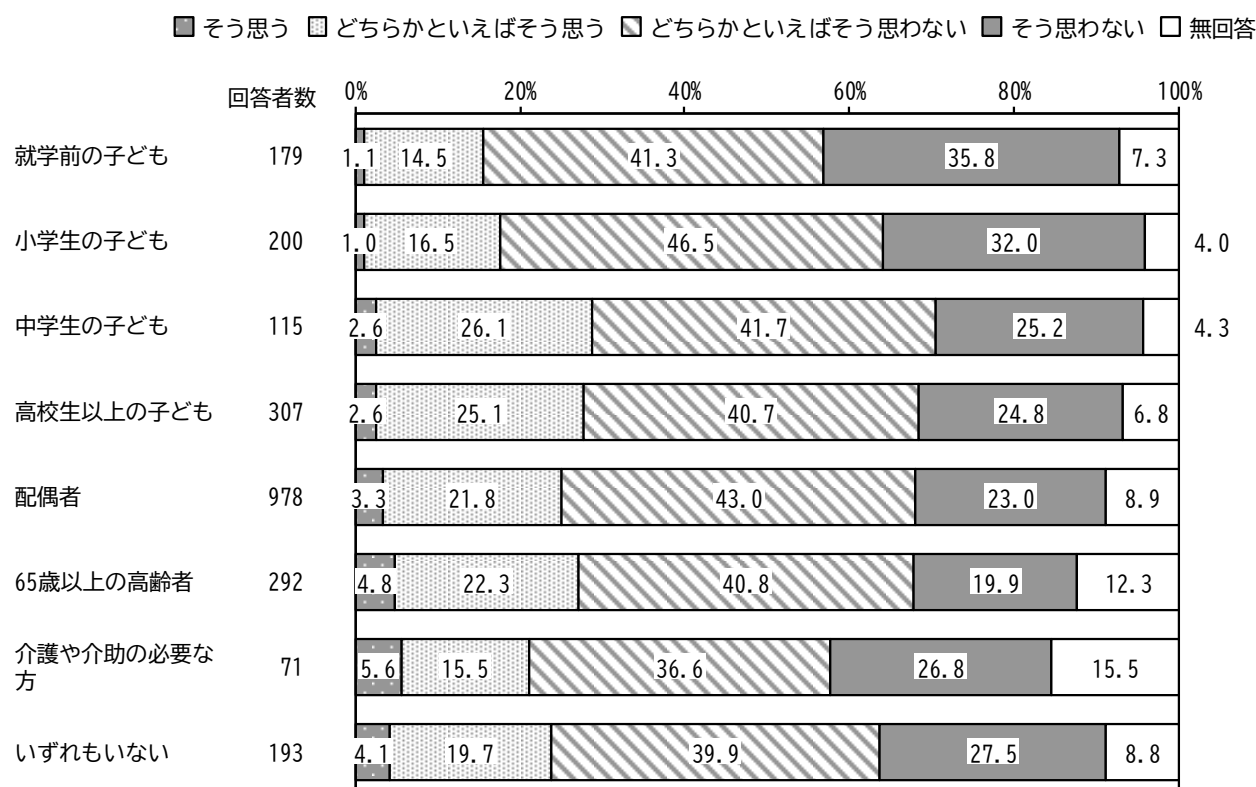
年代別にみると、「そう思わない」の割合が10歳代で高くなっています。



(カ) 気軽に参加できるサークルやクラブ活動がある

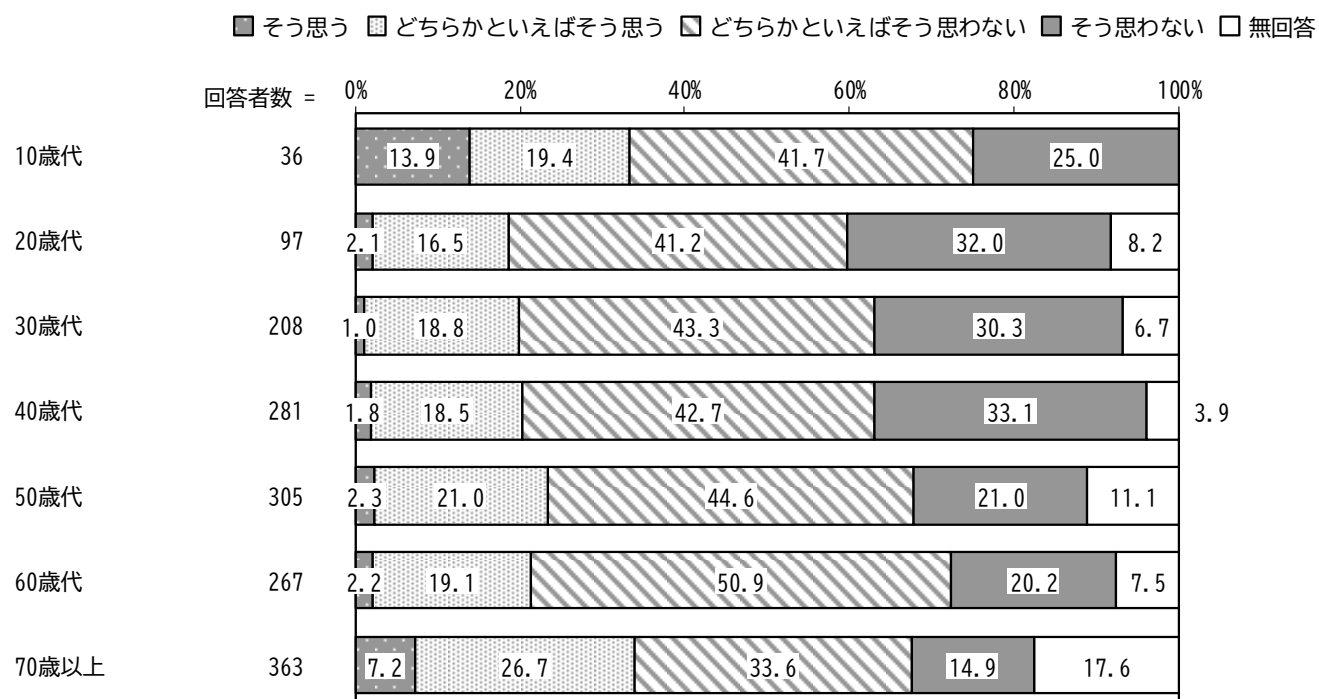
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について中学生の子どもと同居している方で高くなっています。



【年代別】

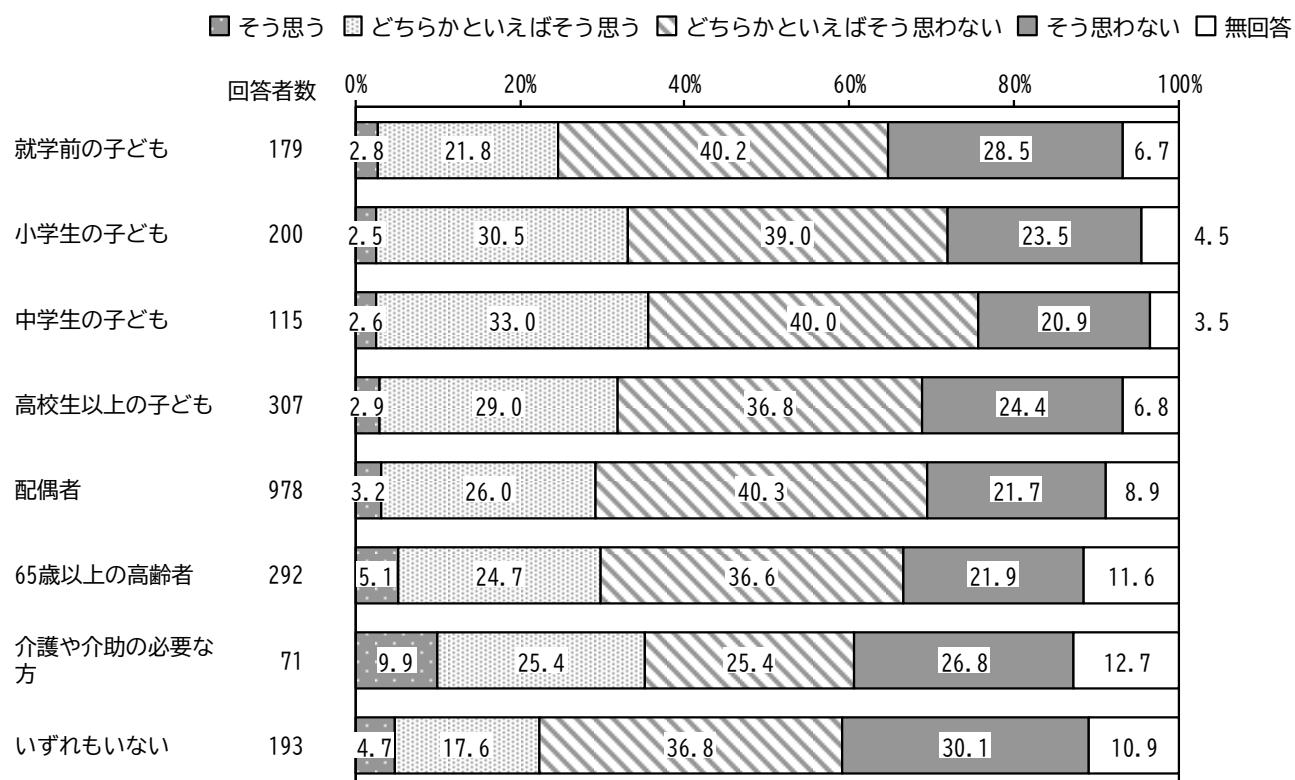
年代別にみると、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせた“そう思わない”について40歳代で高くなっています。



(キ) 地域活動やボランティアに参加するきっかけや機会がある

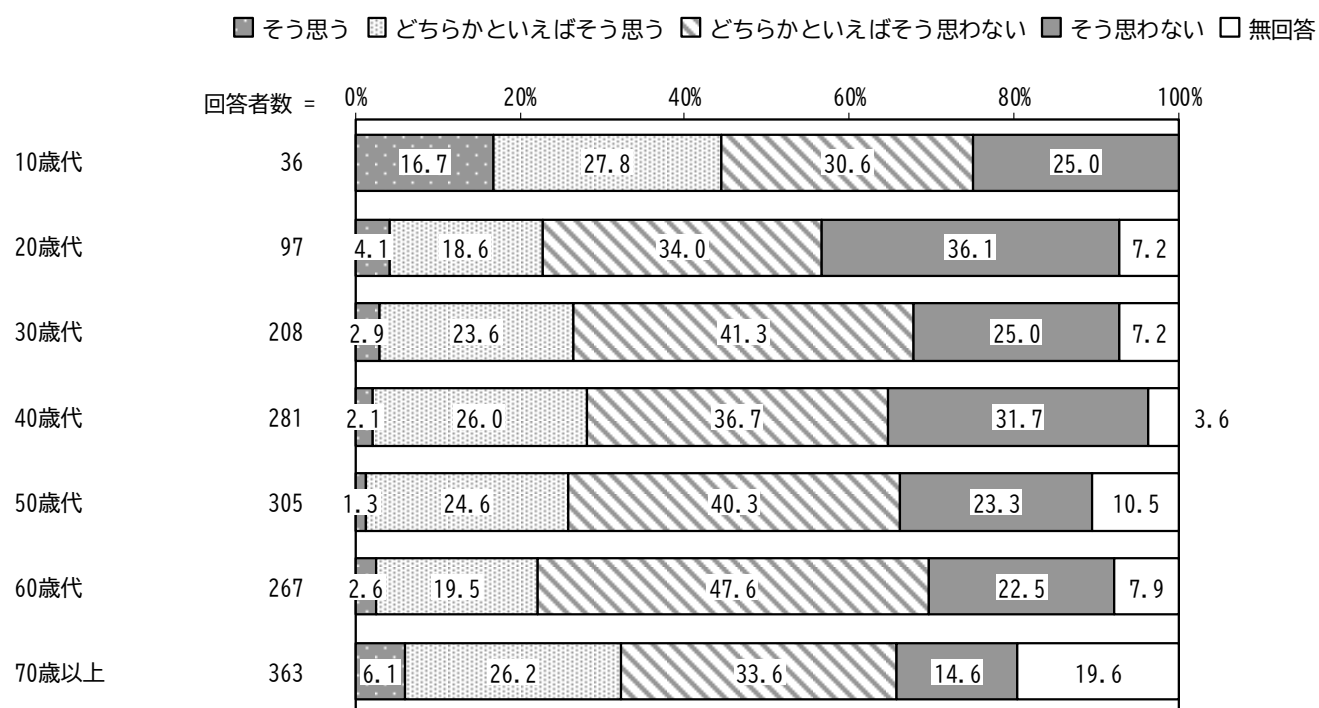
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について介護や介助の必要な方と同居している方で高くなっています。



【年代別】

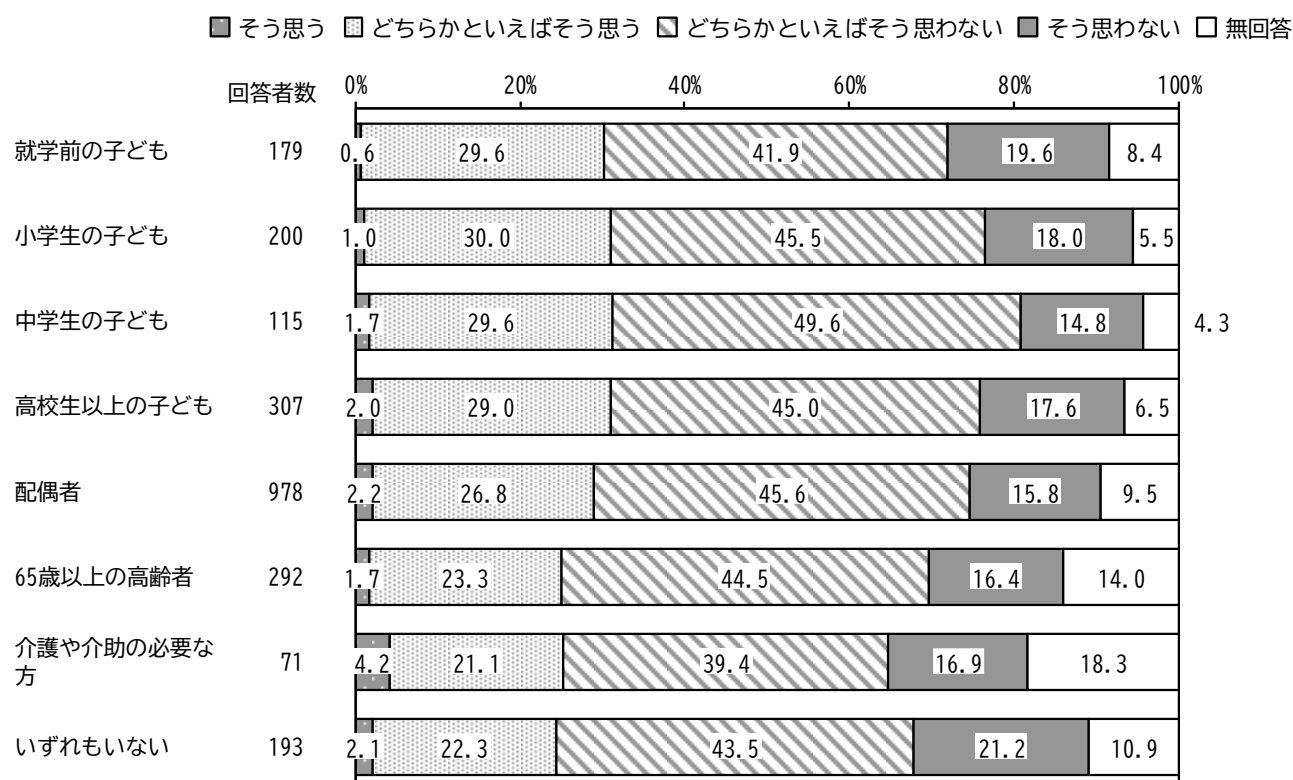
年代別にみると、「そう思う」の割合が10歳代で高くなっています。



(ク) 講演・展覧会などのイベントが充実している

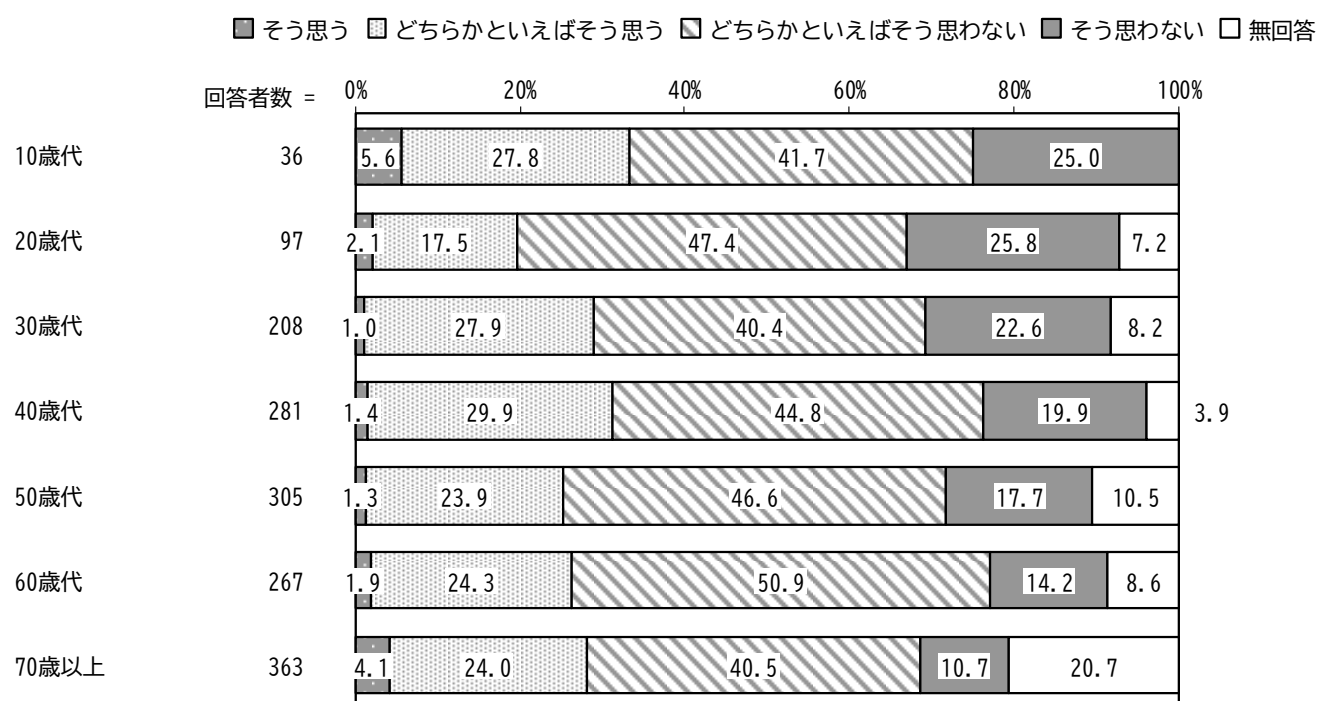
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について中学生の子どもと同居している方で高くなっています。



【年代別】

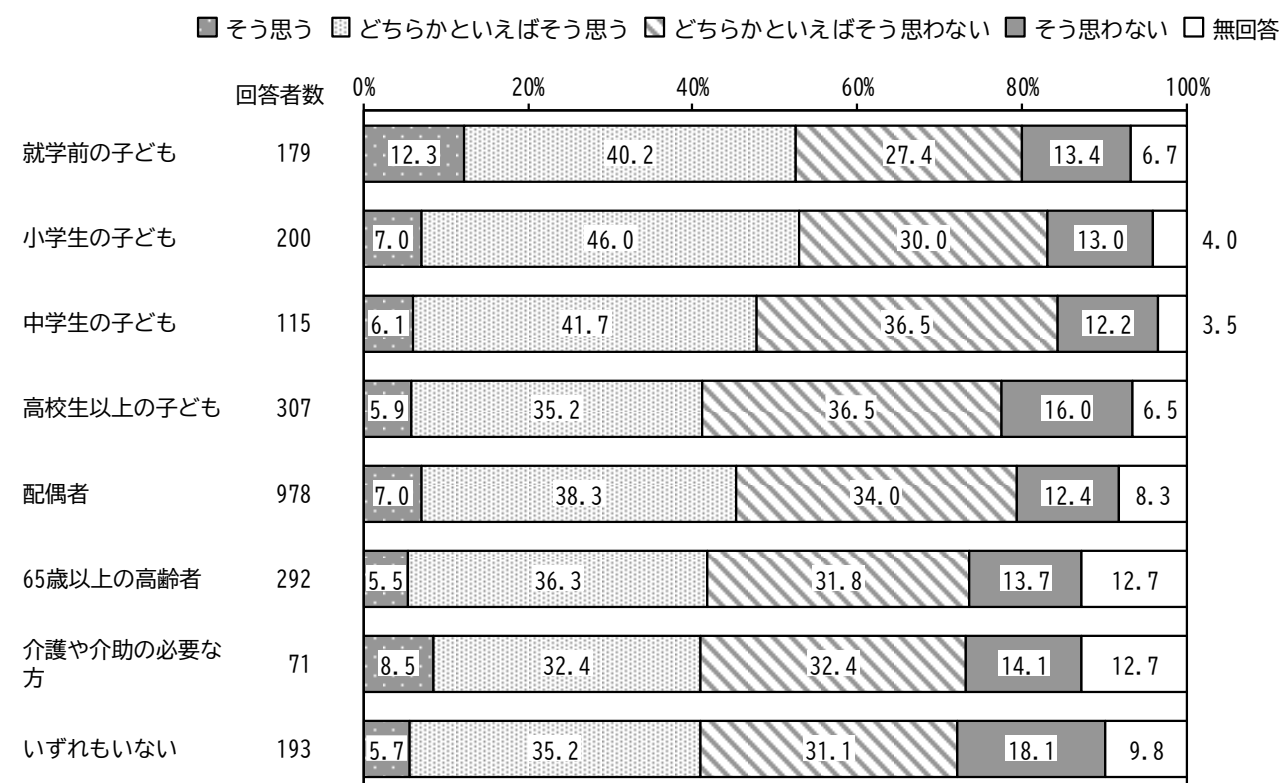
年代別にみると、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」をあわせた“そう思わない”について20歳代で高くなっています。



(ケ) 文化や自然に親しむ場所や機会がある

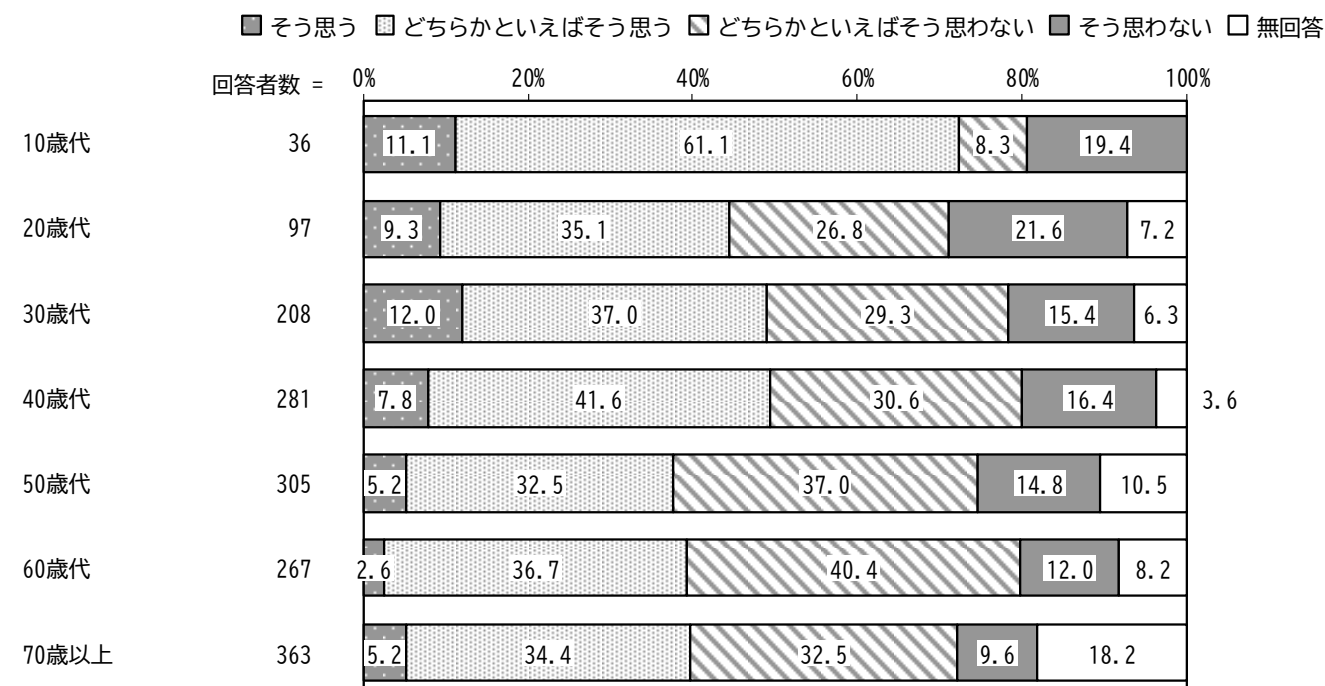
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について小学生の子どもと同居している方で高くなっています。



【年代別】

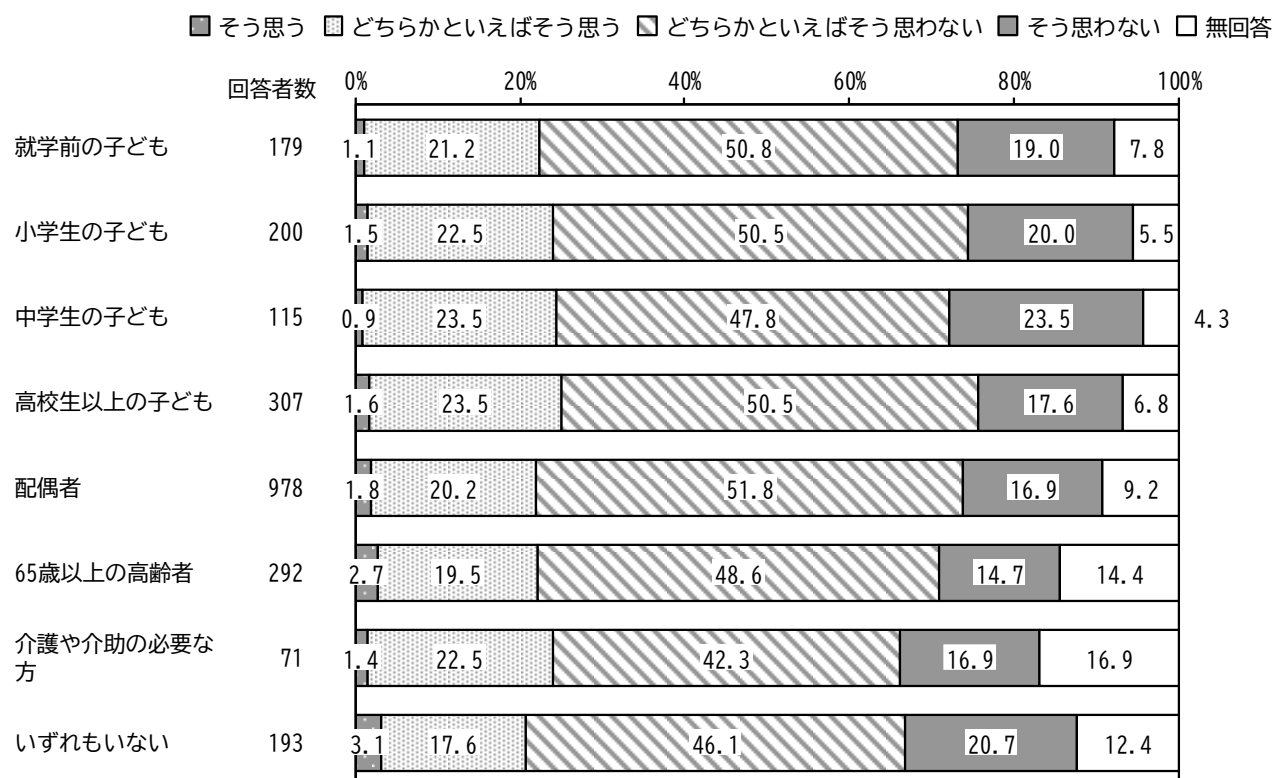
年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。



(コ) 学習や活動の成果を生かせる機会がある

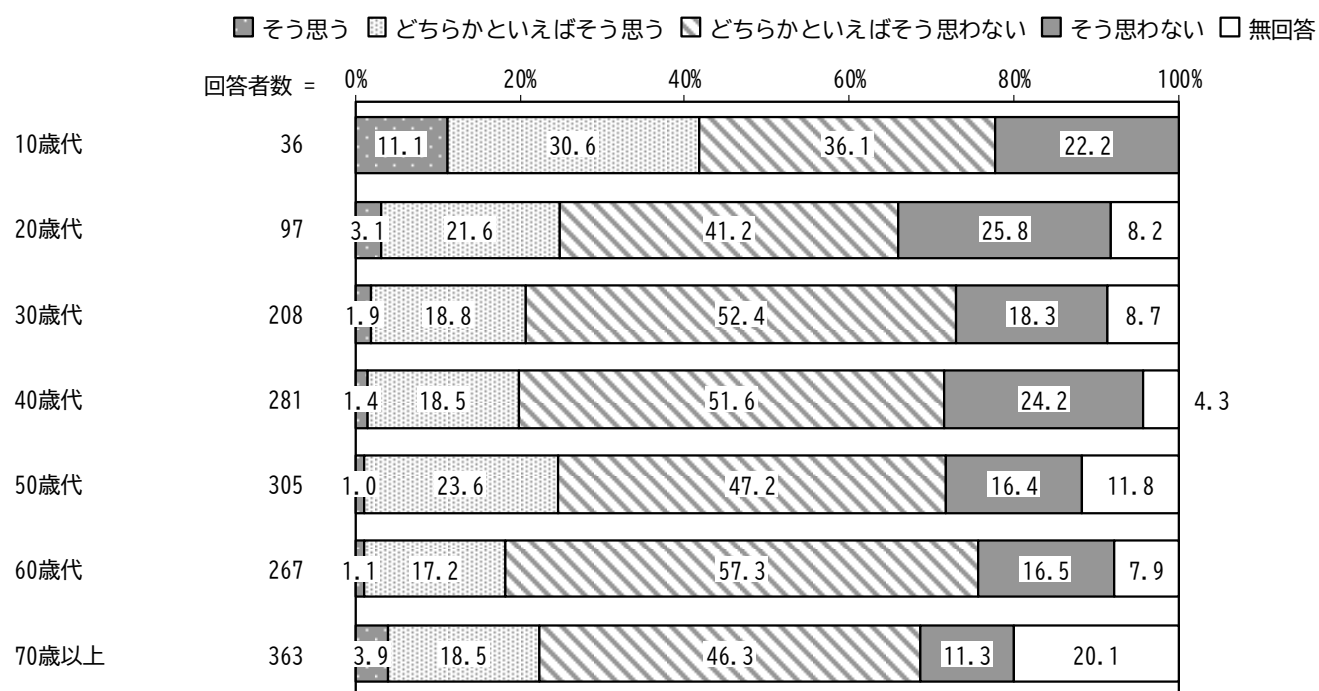
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について高校生の子どもと同居している方で高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。

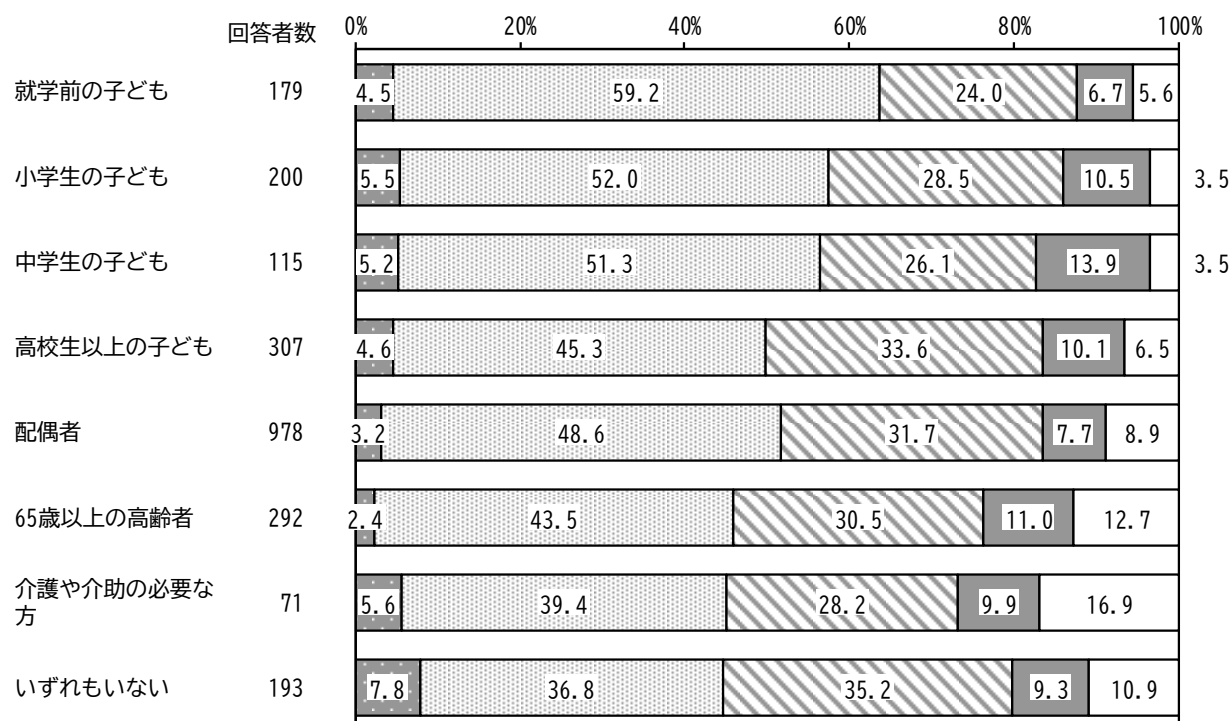


(サ) 子どもが健やかに育つ環境が整っている

【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について就学前の子どもと同居している方で高くなっています。

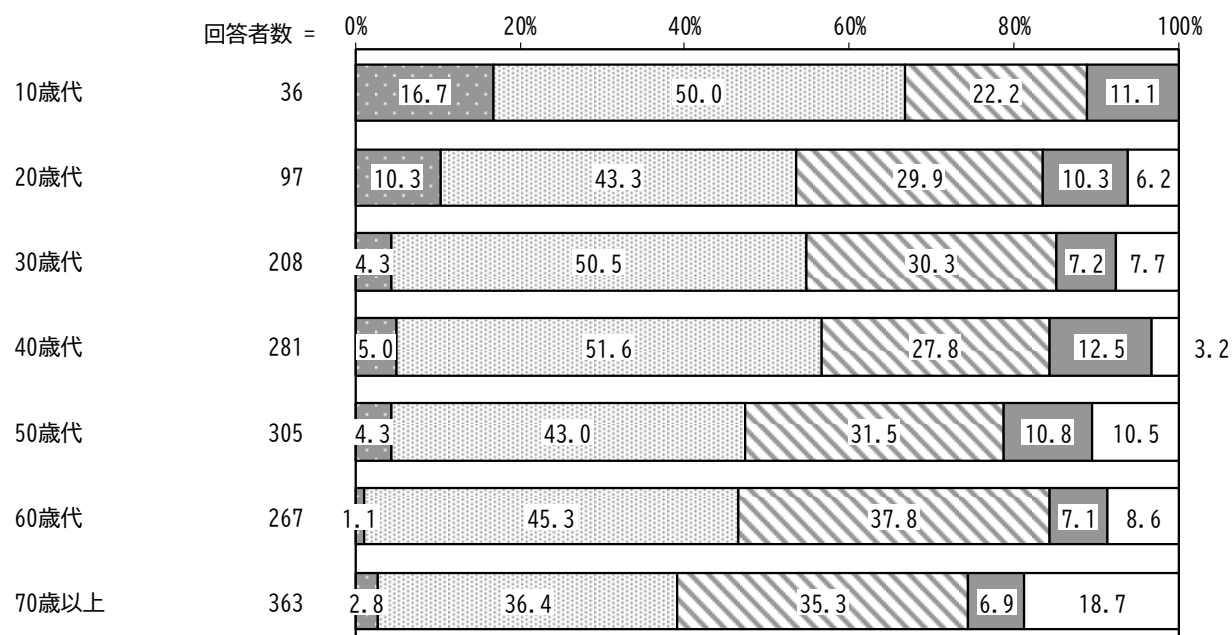
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



【年代別】

年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

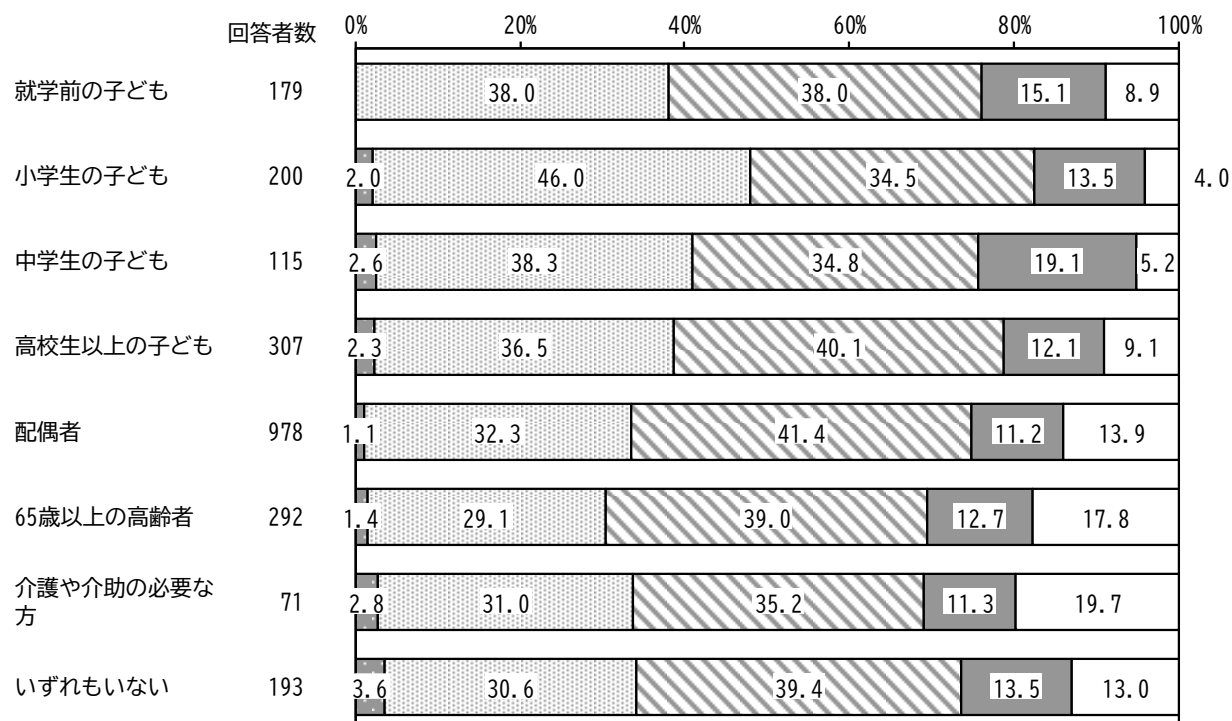


(シ) 学校、家庭、地域社会の連携がとれている

【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について小学生の子どもと同居している方で高くなっています。

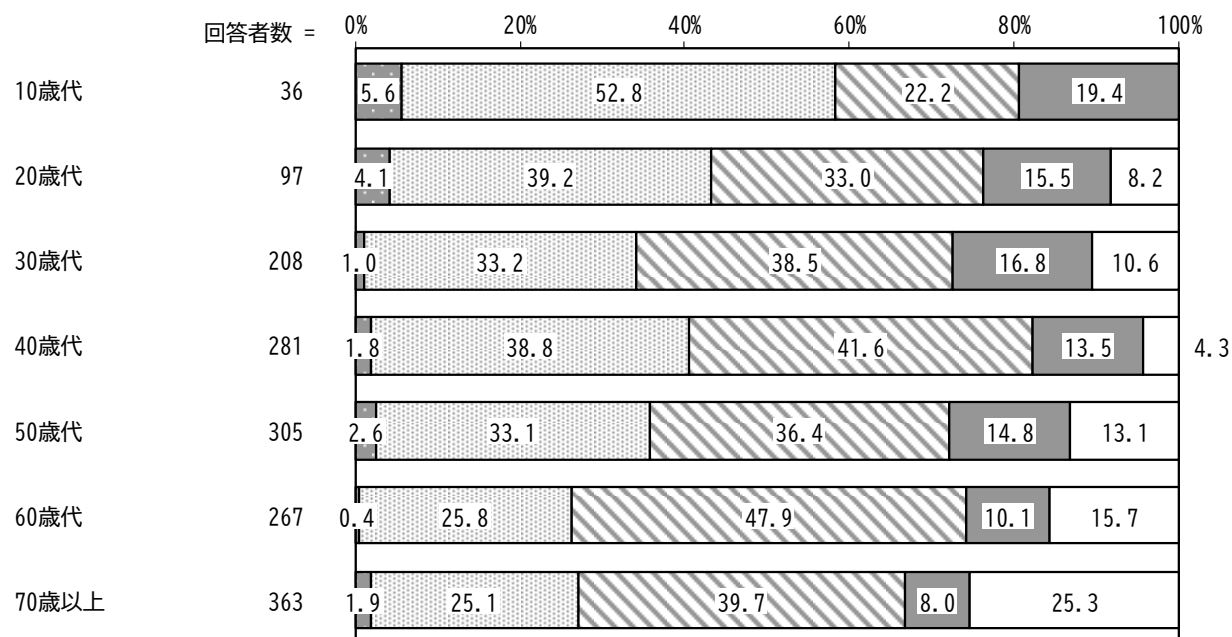
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



【年代別】

年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。

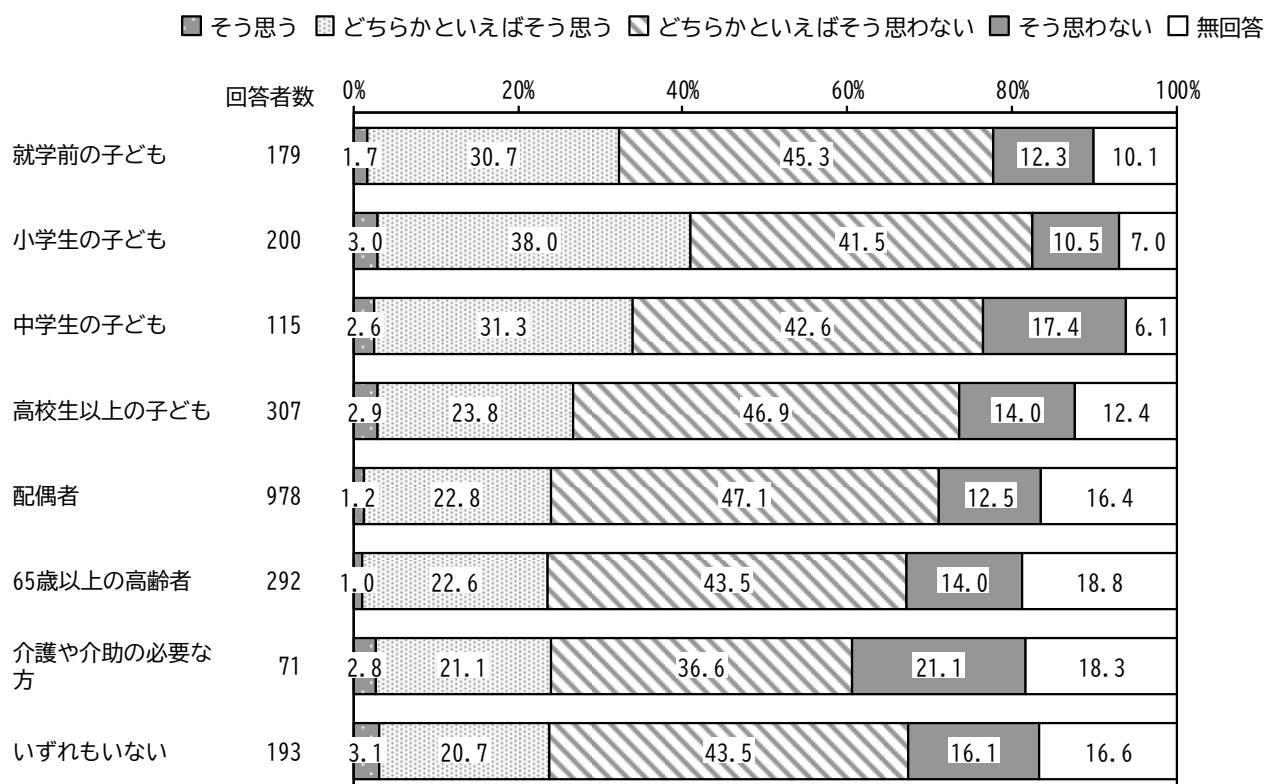
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



(ス) 障害があっても、学習活動に参加しやすい

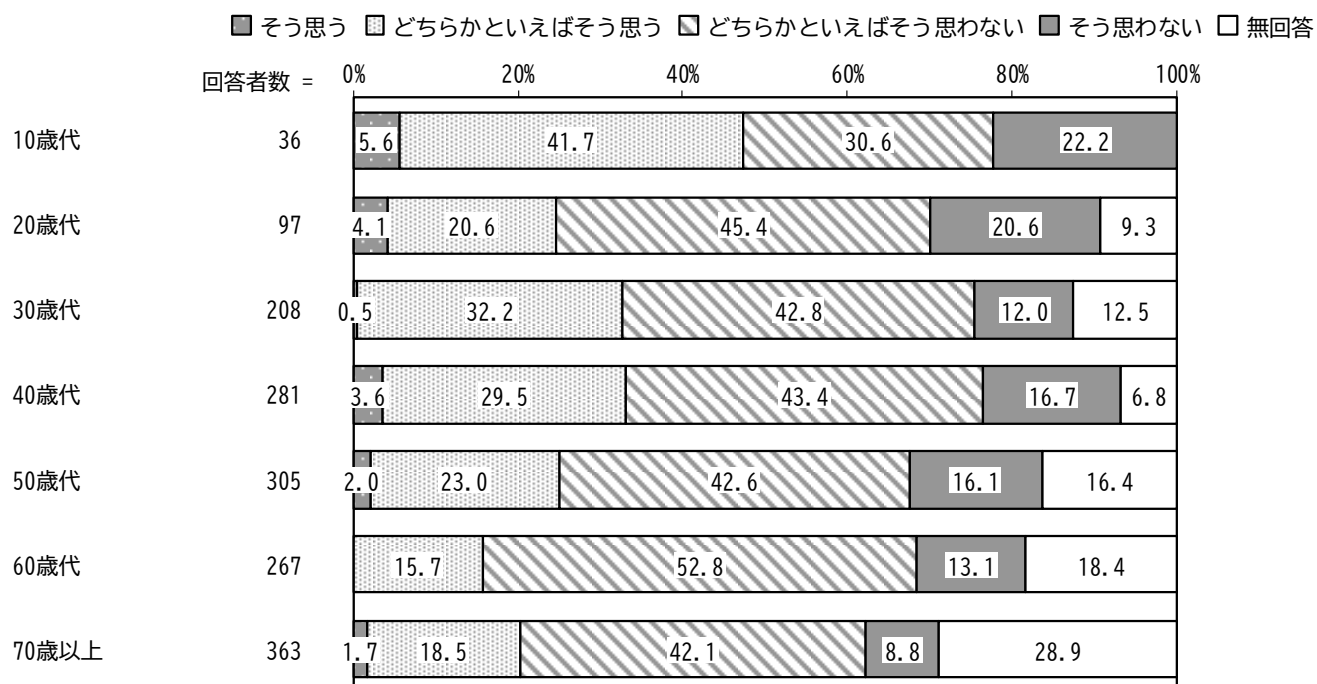
【同居家族別】

同居家族別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について小学生の子どもと同居している方で高くなっています。



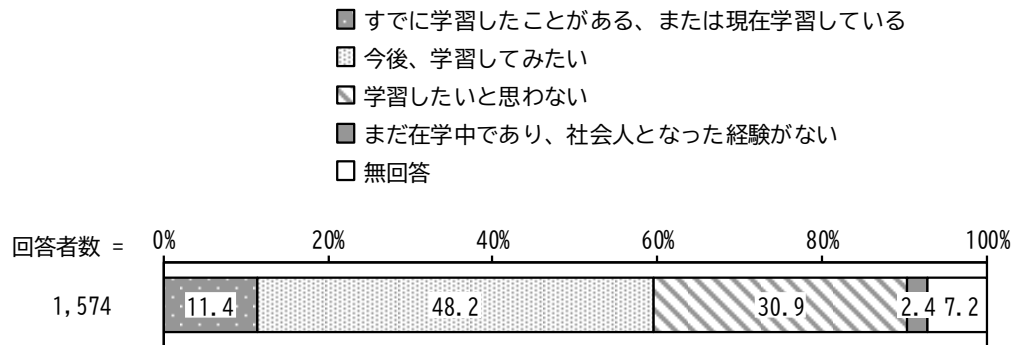
【年代別】

年代別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”について10歳代で高くなっています。



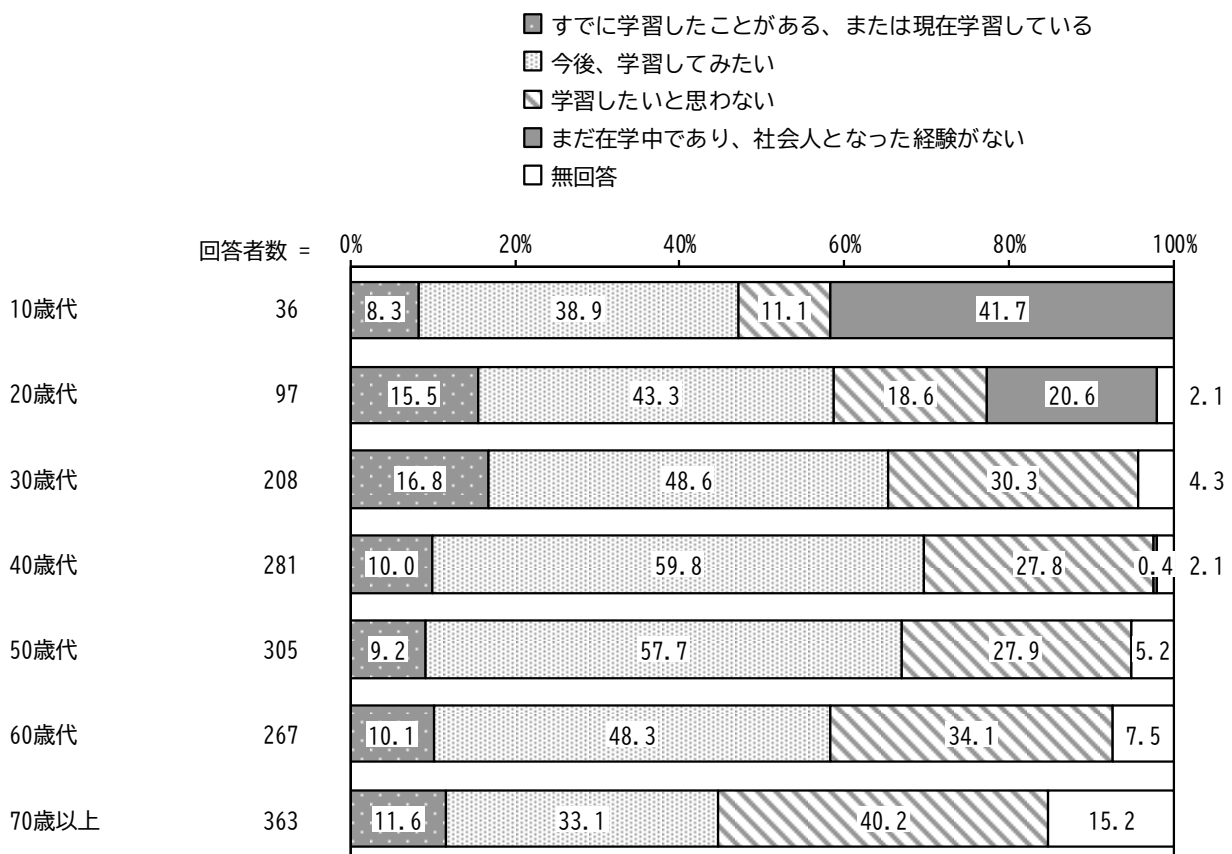
問 20 近年、「人生 100 年時代」と言われているなかで、リカレント教育（社会人になってから自分の仕事に関する専門的な知識やスキルを学ぶこと）や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関など（大学・専門学校など）で学習したいと思いますか。（〇は1つ）

「今後、学習してみたい」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「学習したいと思わない」の割合が 30.9%、「すでに学習したことがある、または現在学習している」の割合が 11.4%となっています。



【年代別】

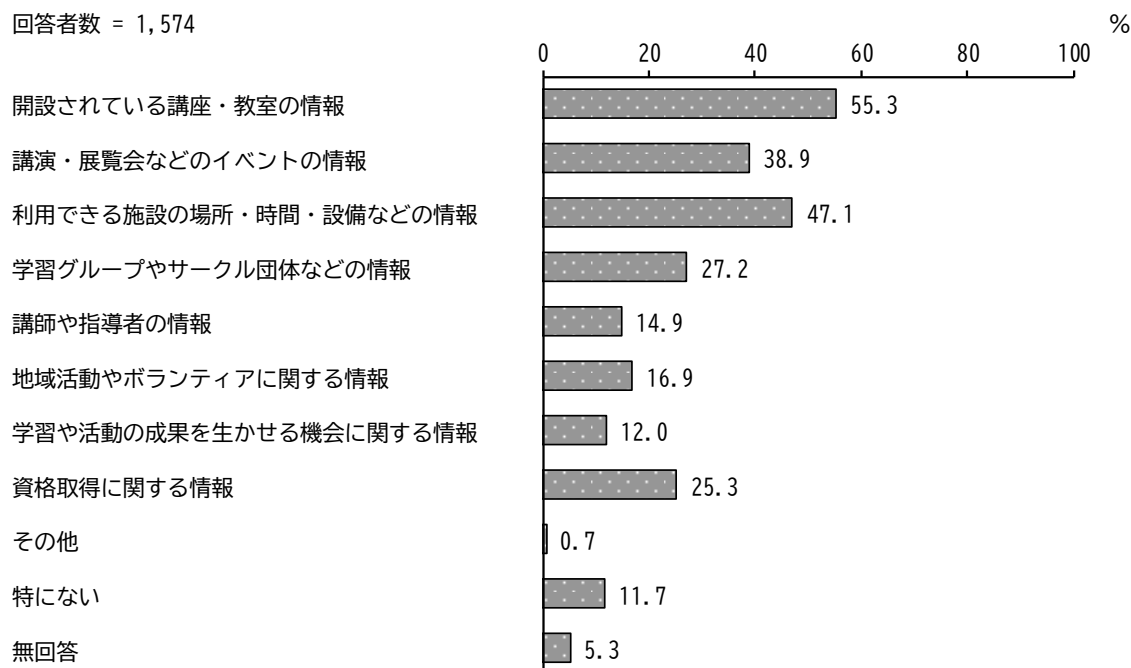
年代別にみると、「すでに学習したことがある、または現在学習している」について 20 歳代、30 歳代で高く、「今後学習してみたい」について 40 歳代で高くなっています。



問 21 生涯学習に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「開設されている講座・教室の情報」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「利用できる施設の場所・時間・設備などの情報」の割合が 47.1%、「講演・展覧会などのイベントの情報」の割合が 38.9%となっています。

回答者数 = 1,574



【年代別】

年代別にみると、「講演・展覧会などのイベントの情報」「学習グループやサークル団体などの情報」について、60歳代で高くなっています。

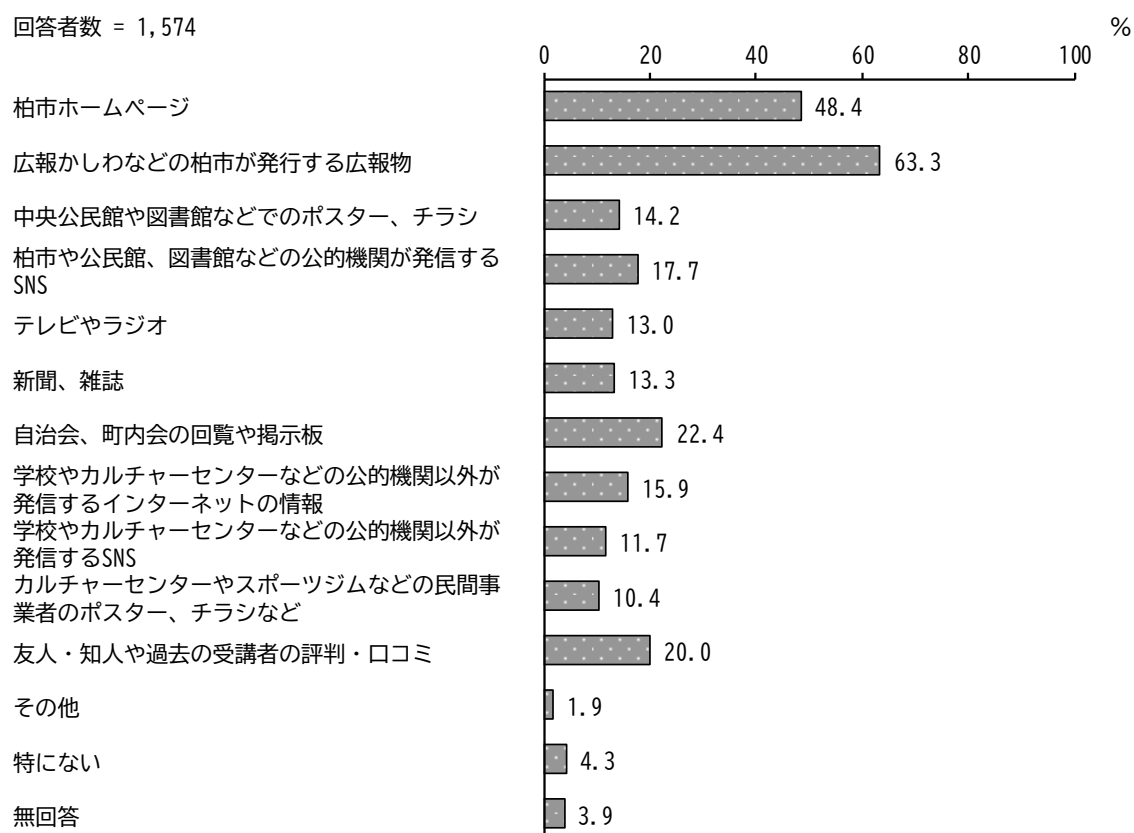
(単位：%)

区分	回答者数 (件)	開設されている講座・ 教室の情報	講演・展覧会などのイ ベントの情報	利用できる施設の場 所・時間・設備などの情 報	学習グループやサーク ル団体などの情報	講師や指導者の情報	地域活動やボランティ アに関する情報	学習や活動の成果を生 かせる機会に関する情 報	資格取得に関する情報	その他	特にな い	無回 答
全 体	1,574	55.3	38.9	47.1	27.2	14.9	16.9	12.0	25.3	0.7	11.7	5.3
10歳代	36	27.8	8.3	27.8	11.1	13.9	8.3	11.1	44.4	—	33.3	—
20歳代	97	42.3	29.9	52.6	21.6	16.5	11.3	16.5	39.2	1.0	14.4	3.1
30歳代	208	47.6	31.3	47.1	23.6	15.9	12.5	10.6	45.2	1.4	12.5	3.8
40歳代	281	63.7	37.4	49.5	25.6	16.4	13.2	15.3	37.4	0.4	10.0	0.7
50歳代	305	59.7	39.0	46.9	27.5	14.4	20.3	12.5	30.2	1.3	9.5	3.9
60歳代	267	61.8	48.7	51.3	34.5	15.7	20.6	10.1	12.4	—	9.4	5.6
70歳以上	363	51.2	43.3	43.5	28.9	12.9	19.0	9.6	4.7	0.3	13.5	11.0

問 22 これから生涯学習を行うとすれば、どのように情報収集を行いますか。
(○はいくつでも)

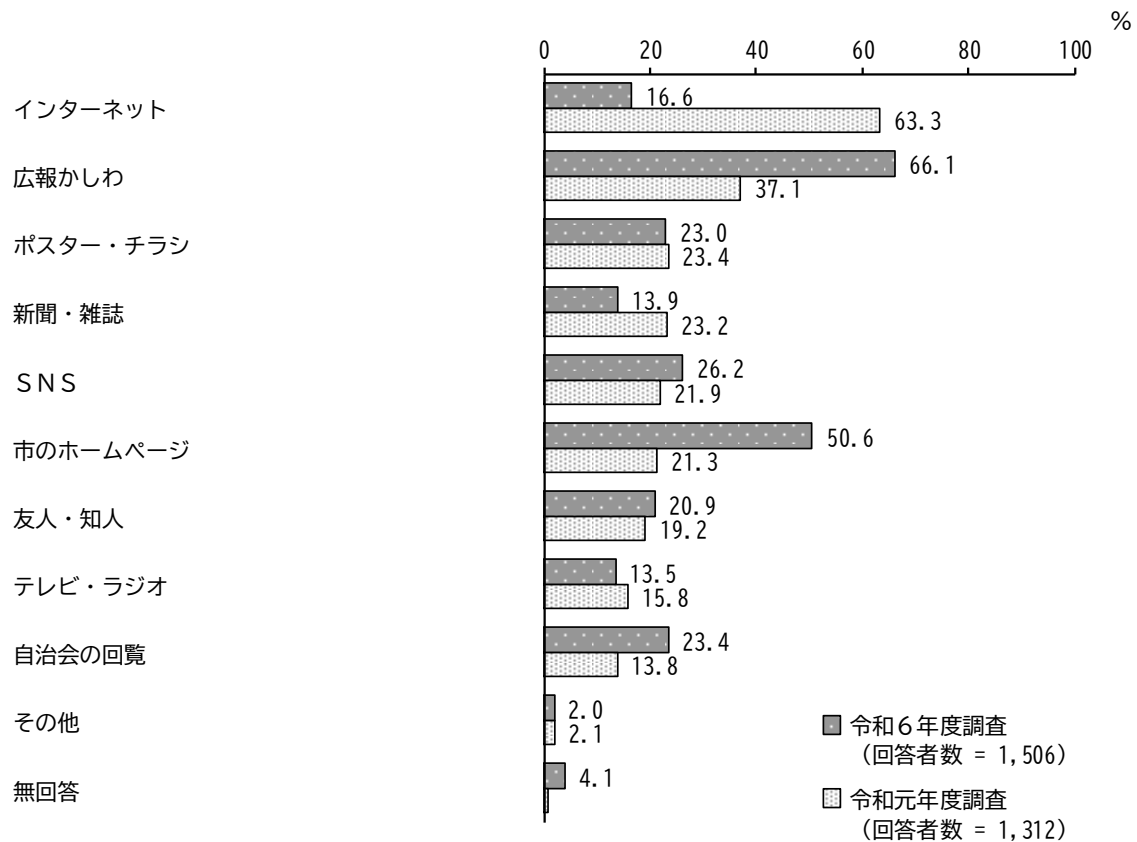
「広報かしわなどの柏市が発行する広報物」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「柏市ホームページ」の割合が 48.4%、「自治会、町内会の回覧や掲示板」の割合が 22.4%となっています。

回答者数 = 1,574



【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「広報かしわ」「市のホームページ」「自治会の回覧」の割合が増加しています。一方、「インターネット」「新聞・雑誌」の割合が減少しています。



※今回調査の選択肢を令和元年度調査の選択肢に合わせています。

今回調査では、

「市のホームページ」は「柏市ホームページ」、

「広報かしわ」は「広報かしわなどの柏市が発行する広報物」、

「ポスター、チラシ」は「中央公民館や図書館などでのポスター、チラシ」、「カルチャーセンターやスポーツジムなどの民間事業者のポスター、チラシなど」、

「SNS」は「柏市や公民館、図書館などの公的機関が発信するSNS」、「学校やカルチャーセンターなどの公的機関以外が発信するSNS」、

「テレビ・ラジオ」は「テレビやラジオ」、

「新聞・雑誌」は「新聞、雑誌」、

「自治会の回覧」は「自治会、町内会の回覧や掲示板」、

「インターネット」は「学校やカルチャーセンターなどの公的機関以外が発信するインターネットの情報」、

「友人・知人」は「友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ」、

「その他」は「その他」となっています。

また、「特になし」は集計に含んでいません。

【年代別】

年代別にみると、「柏市や公民館、図書館などの公的機関が発信するSNS」について20歳代で高く、「テレビやラジオ」について10歳代で高く、「新聞、雑誌」「自治会、町内会の回覧や掲示板」について70歳代で高くなっています。

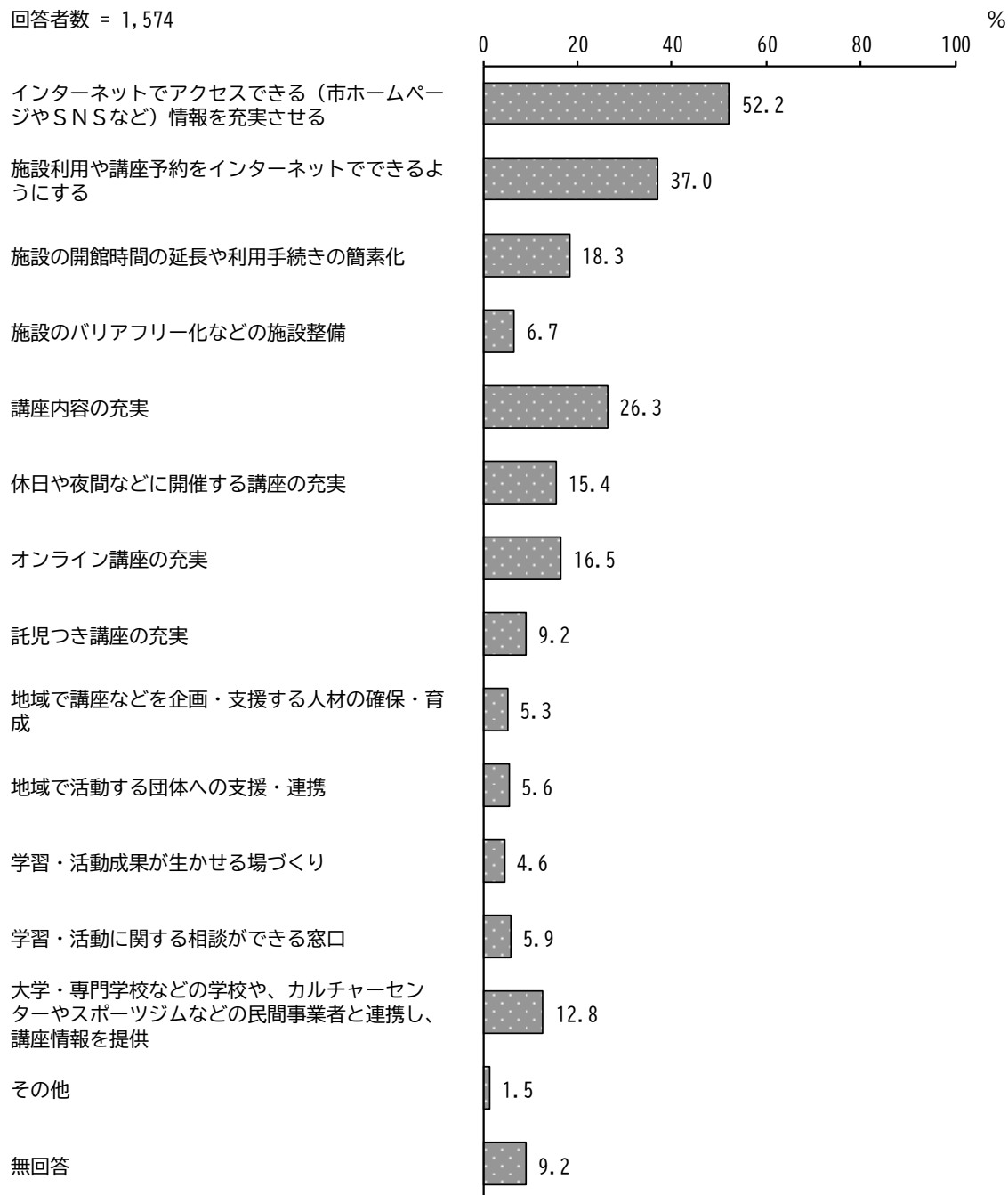
(単位：％)

区分	回答者数(件)	柏市ホームページ	広報かしわなどの柏市が発行する広報物	中央公民館や図書館などでのポスター、チラシ	柏市や公民館、図書館などの公的機関が発信するSNS	テレビやラジオ	新聞、雑誌	自治会、町内会の回覧や掲示板	学校やカルチャーセンターなどの公的機関以外が発信するインターネットの情報	学校やカルチャーセンターなどの公的機関以外が発信するSNS	カルチャーセンターやスポーツジムなどの民間事業者のポスター、チラシなど	友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ	その他	特にない	無回答
全 体	1,574	48.4	63.3	14.2	17.7	13.0	13.3	22.4	15.9	11.7	10.4	20.0	1.9	4.3	3.9
10歳代	36	33.3	11.1	16.7	25.0	27.8	16.7	11.1	19.4	11.1	2.8	22.2	—	13.9	—
20歳代	97	52.6	30.9	10.3	32.0	14.4	3.1	12.4	12.4	22.7	7.2	23.7	2.1	10.3	3.1
30歳代	208	49.0	48.6	14.9	25.5	9.1	5.8	15.4	18.8	23.6	9.1	25.5	3.4	4.3	3.4
40歳代	281	49.1	63.7	15.3	20.3	13.2	8.5	21.0	18.9	15.3	12.8	21.7	3.6	4.6	0.7
50歳代	305	56.4	67.2	11.5	17.0	10.5	10.2	18.4	20.0	10.8	11.1	16.4	2.3	2.3	2.6
60歳代	267	54.7	72.3	13.9	15.0	11.6	14.2	22.8	16.1	7.1	8.6	18.0	0.7	3.0	4.5
70歳以上	363	37.5	74.7	16.3	9.9	16.8	25.6	34.4	9.4	3.3	11.8	19.3	0.6	4.1	7.4

問 23 あなたは、今後、人々が学びたいときに学べるようにするために、柏市は生涯学習の推進のためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

「インターネットでアクセスできる（市ホームページやSNSなど）情報を充実させる」の割合が52.2%と最も高く、次いで「施設利用や講座予約をインターネットでできるようにする」の割合が37.0%、「講座内容の充実」の割合が26.3%となっています。

回答者数 = 1,574



【年代別】

年代別にみると、「インターネットでアクセスできる（市ホームページやSNSなど）情報を充実させる」で、年代が下がるほど割合が高くなる傾向にあります。

（単位：％）

区分	回答者数（件）	インターネットでアクセスできる（市ホームページやSNSなど）情報を充実させる	施設利用や講座予約をインターネットでできるようにする	施設の開館時間の延長や利用手続きの簡素化	施設のバリアフリー化などの施設整備	講座内容の充実	休日や夜間などに開催する講座の充実	オンライン講座の充実
全 体	1,574	52.2	37.0	18.3	6.7	26.3	15.4	16.5
10 歳代	36	69.4	38.9	13.9	16.7	16.7	16.7	13.9
20 歳代	97	73.2	47.4	14.4	4.1	16.5	18.6	20.6
30 歳代	208	63.0	47.6	17.3	3.8	13.9	14.9	20.7
40 歳代	281	63.3	53.7	21.7	4.6	21.7	22.4	27.8
50 歳代	305	53.1	39.7	20.0	5.2	22.6	21.0	15.4
60 歳代	267	50.9	34.8	15.4	6.4	37.1	12.7	13.5
70 歳以上	363	32.0	15.7	18.5	11.3	35.8	6.3	8.0

区分	託児つき講座の充実	地域で講座などを企画・支援する人材の確保・育成	地域で活動する団体への支援・連携	学習・活動成果が生かせる場づくり	学習・活動に関する相談ができる窓口	大学・専門学校などの学校やカルチャーセンターやスポーツジムなどの民間事業者と連携し、講座情報を提供	その他	無回答
全 体	9.2	5.3	5.6	4.6	5.9	12.8	1.5	9.2
10 歳代	5.6	2.8	—	11.1	13.9	8.3	—	—
20 歳代	13.4	—	4.1	2.1	3.1	12.4	—	4.1
30 歳代	27.9	2.4	2.9	3.8	5.3	6.7	1.4	6.7
40 歳代	10.3	1.4	5.0	5.0	4.3	11.4	2.5	3.2
50 歳代	4.9	4.3	3.9	5.6	4.3	15.4	1.3	8.2
60 歳代	4.9	7.1	7.9	3.7	6.7	13.1	1.9	9.4
70 歳以上	3.9	11.0	8.5	4.7	8.5	15.2	1.1	17.1

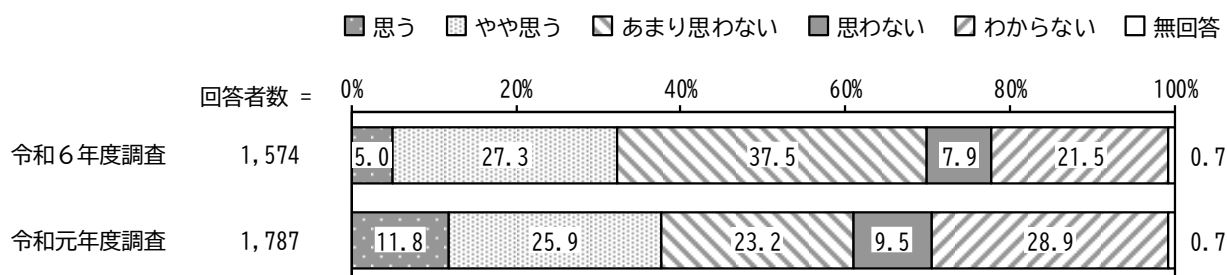
(4) 芸術文化について

問 24～26 は“柏市の芸術文化活動”についてお答えください

問 24 あなたは、柏市は芸術文化活動が盛んだと思いますか。(○は1つ)

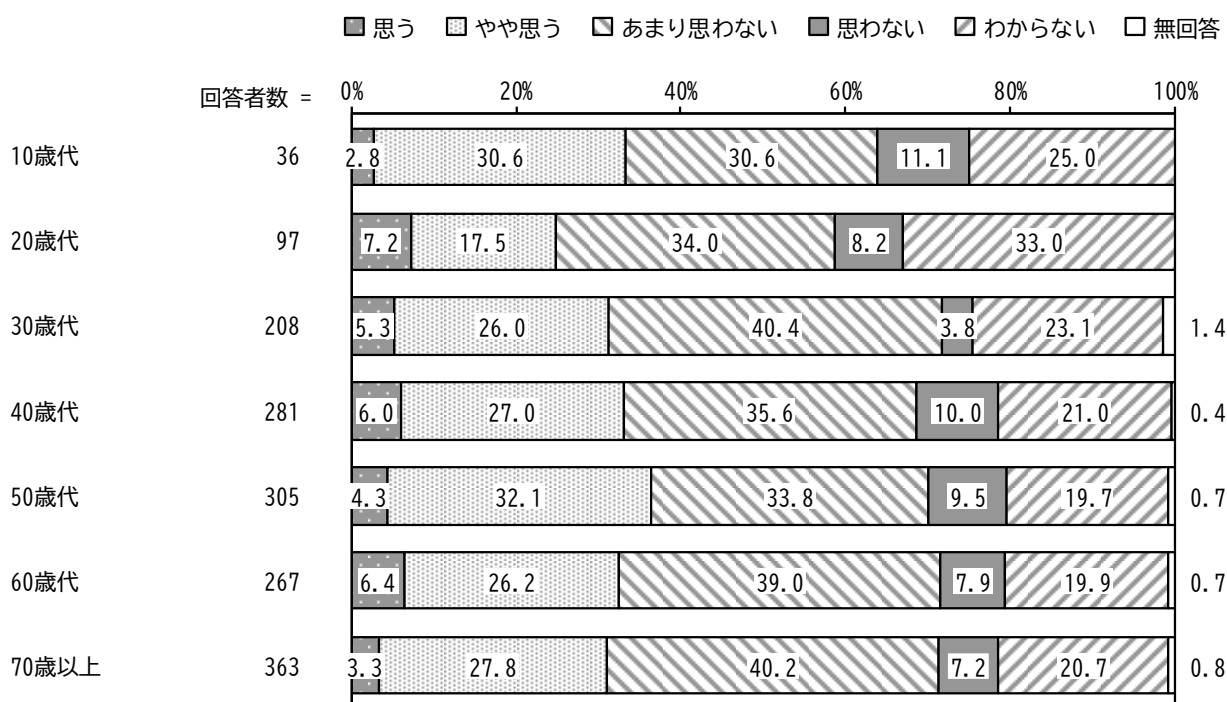
「思う」「やや思う」を合わせた”思う”の割合が 32.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が 45.4%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「あまり思わない」の割合が増加しています。一方、「思う」「わからない」の割合が減少しています。



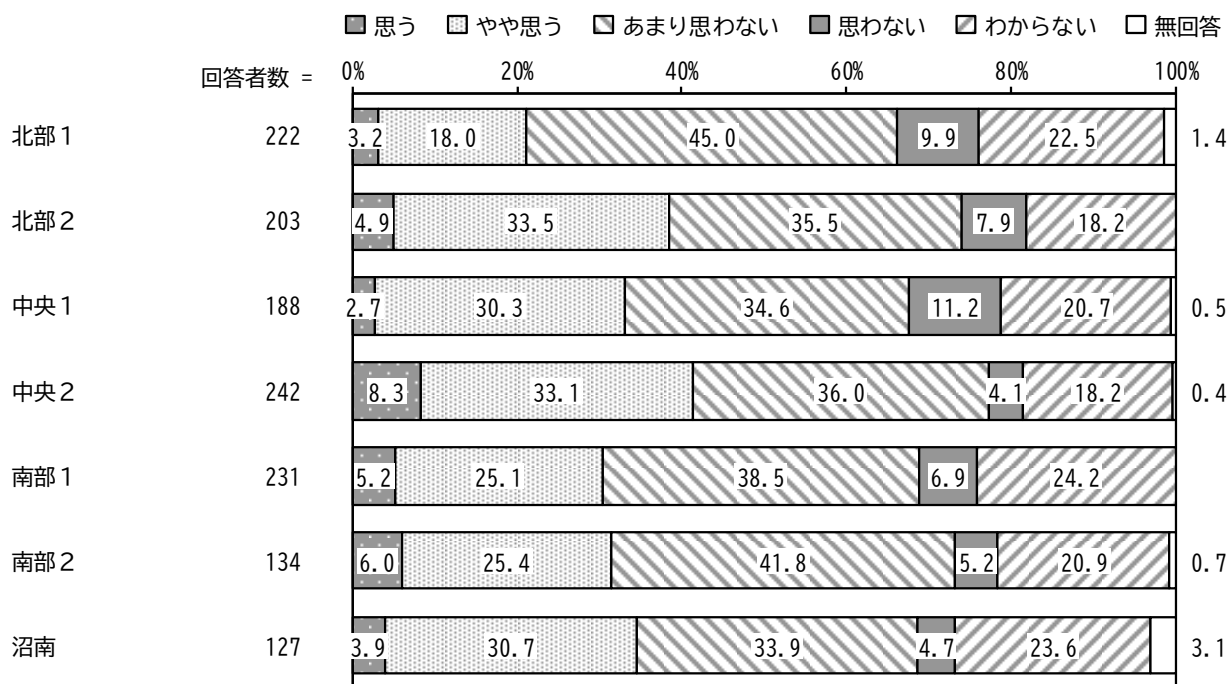
【年代別】

年代別にみると、「思う」「やや思う」を合わせた”思う”の割合について 20 歳代ではやや低いものの、他の年代ではいずれも 30%台となっています。



【在住地域別】

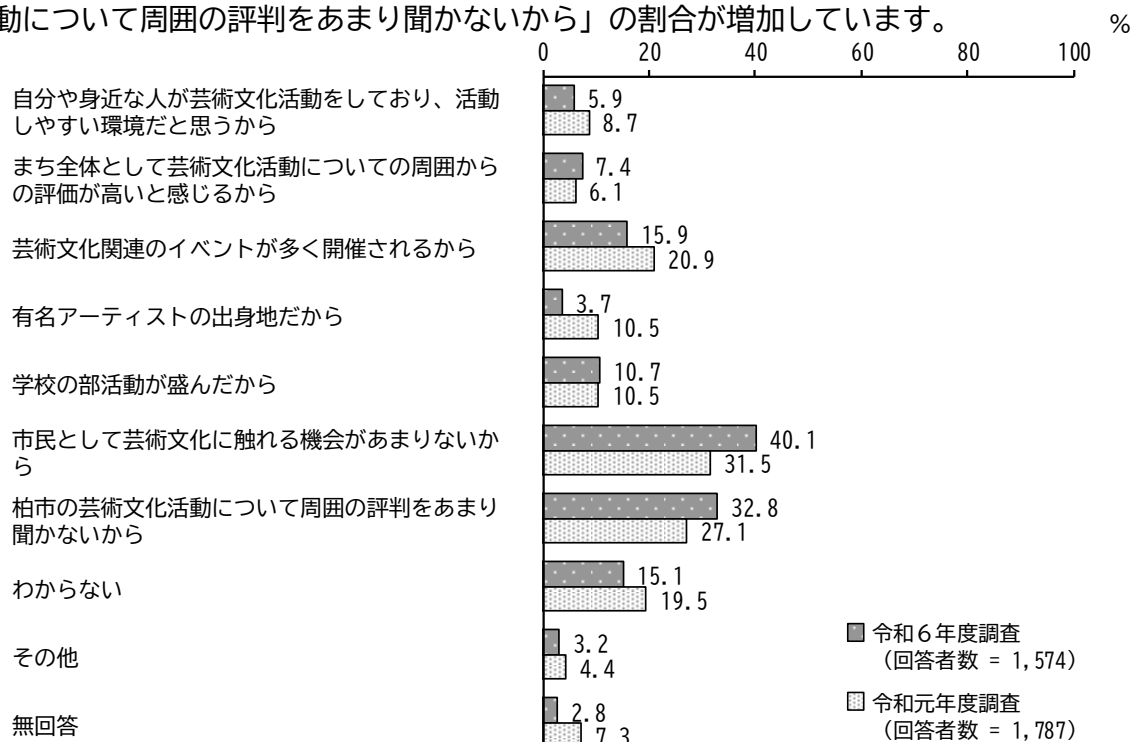
在住地域別にみると、「思う」「やや思う」を合わせた”思う”の割合について中央2と北部2で高くなっています。



問 25 問 24 で選んだ理由は何ですか。(○は3つまで)

「市民として芸術文化に触れる機会があまりないから」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「柏市の芸術文化活動について周囲の評判をあまり聞かないから」の割合が 32.8%、「芸術文化関連のイベントが多く開催されるから」の割合が 15.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市民として芸術文化に触れる機会があまりないから」「柏市の芸術文化活動について周囲の評判をあまり聞かないから」の割合が増加しています。

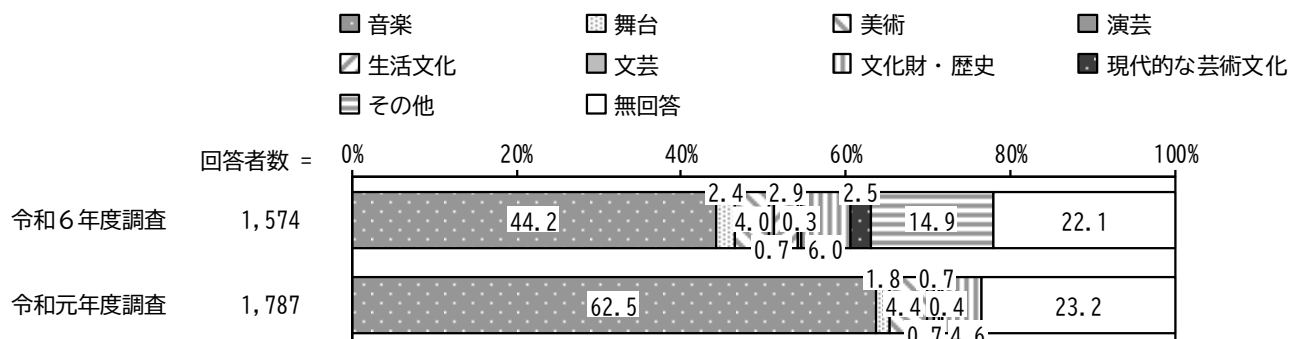


※令和元年度調査では、「有名アーティストの出身地だから」、「学校の部活動が盛んだから」の選択肢は「有名アーティストの出身地であり、学校の部活動も盛んであるから」となっていました。

問 26 あなたが柏市で盛んだと思う活動は何ですか。(○は1つ)

「音楽」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「文化財・歴史」の割合が 6.0%、「美術」の割合が 4.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「音楽」の割合が減少しています。

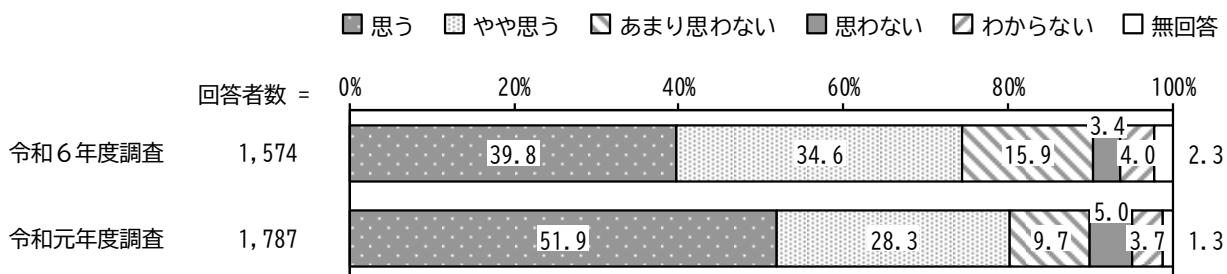


柏市に限らず“芸術文化全般”としてお答えください

問 27 あなたは、芸術文化を鑑賞したいと思いますか。(○は1つ)

「思う」「やや思う」を合わせた”思う”の割合が 74.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が 19.3%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「思う」「やや思う」を合わせた”思う”の割合が減少しています。

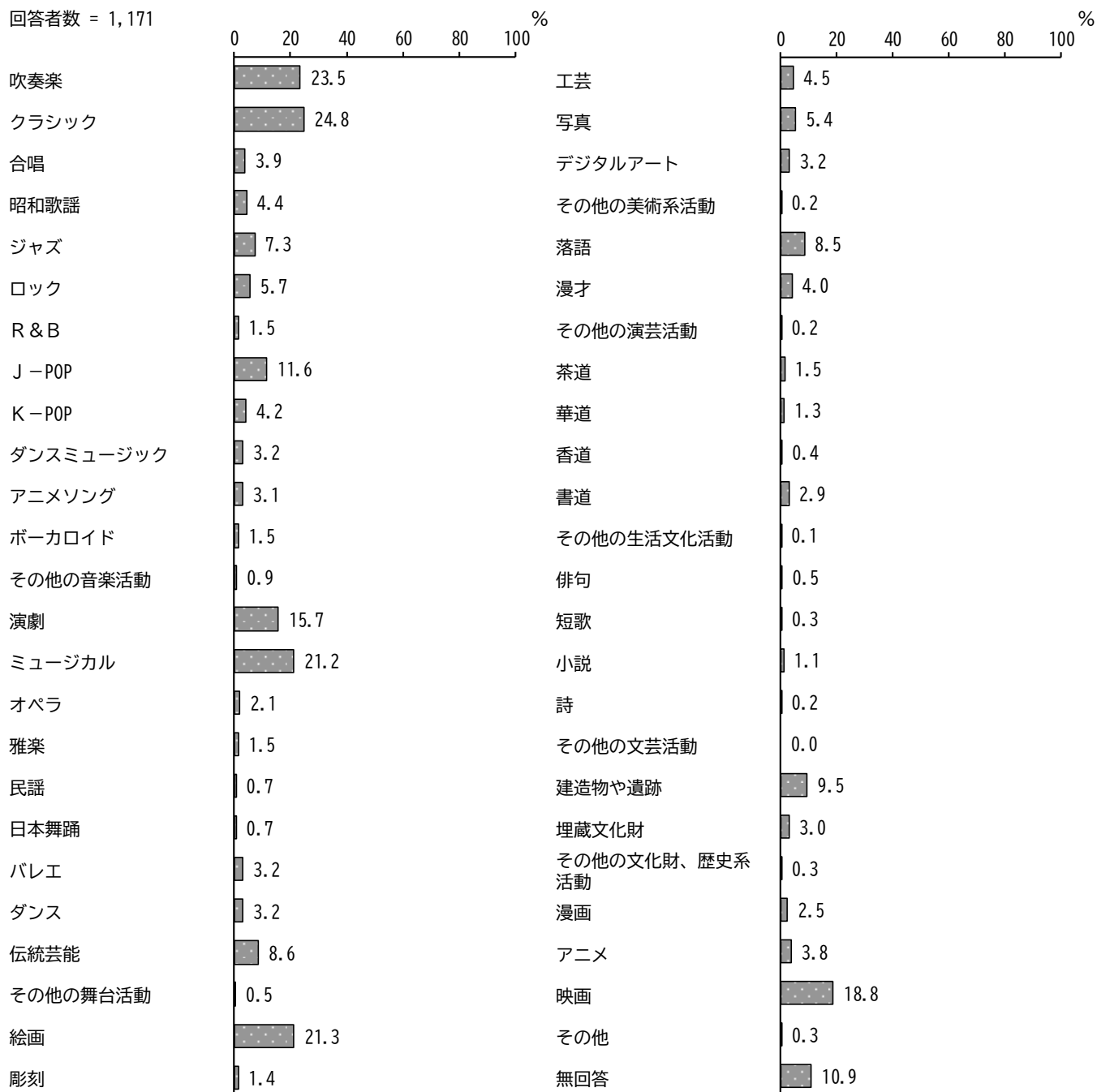


問27で「1 思う」「2 やや思う」と回答したかたにお尋ねします

問28 あなたは、今後どのような分野の芸術文化を鑑賞したいですか。
(〇は1～49のなかから3つまで)

「クラシック」の割合が24.8%と最も高く、次いで「吹奏楽」の割合が23.5%、「絵画」の割合が21.3%、「ミュージカル」の割合が21.2%となっています。

回答者数 = 1,171



【年代別】

年代別にみると、「漫画」で、10歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。「映画」はいずれの世代でも20%程度となっています。「昭和歌謡」で、70歳以上で最も高く、次いで60歳代、10歳代となっています。

(単位：％)

区分	(件) 回答者数	吹奏楽	クラシック	合唱	昭和歌謡	ジャズ	ロック	R&B	J-POP	K-POP	ダンスミュージック	アニメソン	ボーカロイド
全体	1,171	23.5	24.8	3.9	4.4	7.3	5.7	1.5	11.6	4.2	3.2	3.1	1.5
10歳代	22	13.6	4.5	—	4.5	—	9.1	—	40.9	22.7	—	27.3	18.2
20歳代	74	10.8	20.3	5.4	—	6.8	10.8	2.7	27.0	10.8	2.7	12.2	8.1
30歳代	145	26.2	14.5	2.8	0.7	10.3	9.0	1.4	15.9	3.4	3.4	3.4	0.7
40歳代	209	28.2	22.5	4.3	2.4	6.7	8.6	2.4	12.9	4.8	7.2	5.3	1.9
50歳代	234	22.6	27.8	4.7	2.1	8.1	5.6	2.6	12.4	5.1	2.6	1.7	0.9
60歳代	217	23.5	33.2	2.3	5.1	7.8	3.7	0.9	10.6	2.8	2.3	0.5	—
70歳以上	258	24.0	25.2	5.0	10.9	6.2	1.9	—	1.9	1.2	1.2	—	—

区分	その他の音楽活動	演劇	ミュージカル	オペラ	雅楽	民謡	日本舞踊	バレエ	ダンス	伝統芸能	その他の舞台活動	絵画	彫刻
全体	0.9	15.7	21.2	2.1	1.5	0.7	0.7	3.2	3.2	8.6	0.5	21.3	1.4
10歳代	—	—	4.5	—	—	—	—	4.5	4.5	—	4.5	13.6	4.5
20歳代	1.4	6.8	28.4	4.1	—	—	—	5.4	2.7	4.1	2.7	17.6	1.4
30歳代	0.7	14.5	32.4	1.4	0.7	0.7	1.4	4.8	7.6	6.2	—	15.2	1.4
40歳代	2.4	17.2	26.3	2.4	1.4	0.5	1.0	3.3	6.2	6.2	0.5	12.4	1.4
50歳代	—	15.8	23.1	3.8	2.1	—	0.4	3.8	1.3	9.4	0.4	21.4	1.3
60歳代	—	22.1	17.1	0.9	0.9	0.5	—	1.8	1.8	9.7	—	24.4	1.4
70歳以上	1.6	13.2	12.8	1.6	2.3	1.9	1.2	1.2	1.6	12.4	0.4	30.6	1.2

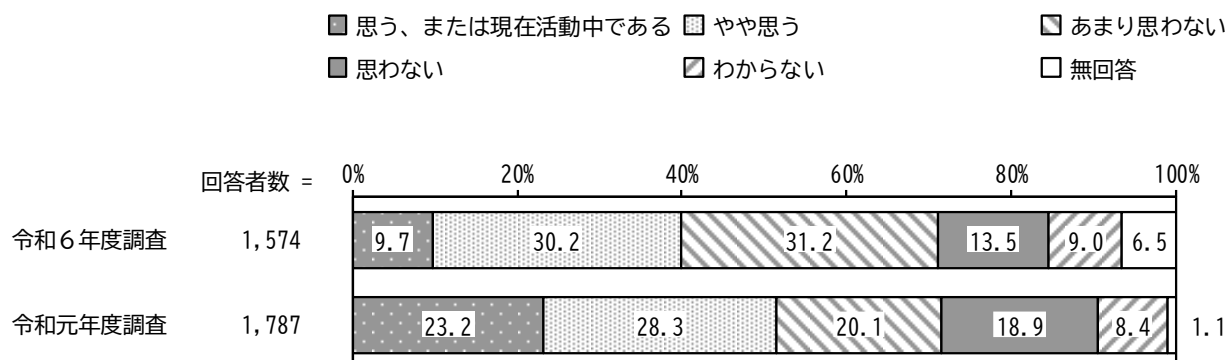
区分	工芸	写真	デジタルアート	その他の美術系活動	落語	漫才	その他の芸活動	茶道	華道	香道	書道	その他の文化活動	短歌
全体	4.5	5.4	3.2	0.2	8.5	4.0	0.2	1.5	1.3	0.4	2.9	0.1	0.3
10歳代	—	18.2	9.1	—	4.5	—	—	4.5	4.5	—	—	—	—
20歳代	2.7	5.4	5.4	—	2.7	8.1	—	4.1	—	—	2.7	—	—
30歳代	3.4	4.8	3.4	—	3.4	6.2	—	1.4	1.4	—	1.4	—	—
40歳代	4.8	5.3	5.7	—	6.2	5.3	—	1.4	1.4	1.0	3.8	—	—
50歳代	4.7	5.1	2.6	—	7.7	3.4	0.9	2.1	1.3	0.9	2.6	—	0.4
60歳代	5.5	5.1	2.3	0.5	12.4	2.8	—	0.5	1.4	—	2.8	—	0.5
70歳以上	5.0	5.4	0.8	0.4	12.0	2.3	—	0.8	1.2	0.4	3.9	0.4	0.4

区分	小説	詩	その他の文芸活動	建造物や遺跡	埋蔵文化財	その他の文化財、歴史系活動	漫画	アニメ	映画	その他	無回答
全体	1.1	0.2	—	9.5	3.0	0.3	2.5	3.8	18.8	0.3	10.9
10歳代	—	—	—	4.5	4.5	—	9.1	18.2	22.7	4.5	—
20歳代	4.1	—	—	8.1	2.7	—	8.1	6.8	16.2	—	5.4
30歳代	2.1	0.7	—	9.7	1.4	—	4.8	4.8	17.2	0.7	11.7
40歳代	1.4	—	—	9.6	4.3	0.5	3.8	4.3	17.7	—	6.2
50歳代	0.4	—	—	7.3	2.1	0.4	1.7	5.6	17.1	—	9.8
60歳代	—	—	—	11.1	3.7	0.5	0.5	1.4	19.8	0.5	12.0
70歳以上	0.8	0.4	—	11.2	3.1	0.4	—	0.8	22.1	—	16.3

問 29 あなたは、芸術文化活動を始めたり、参加したりしたいと思いますか。(○は1つ)

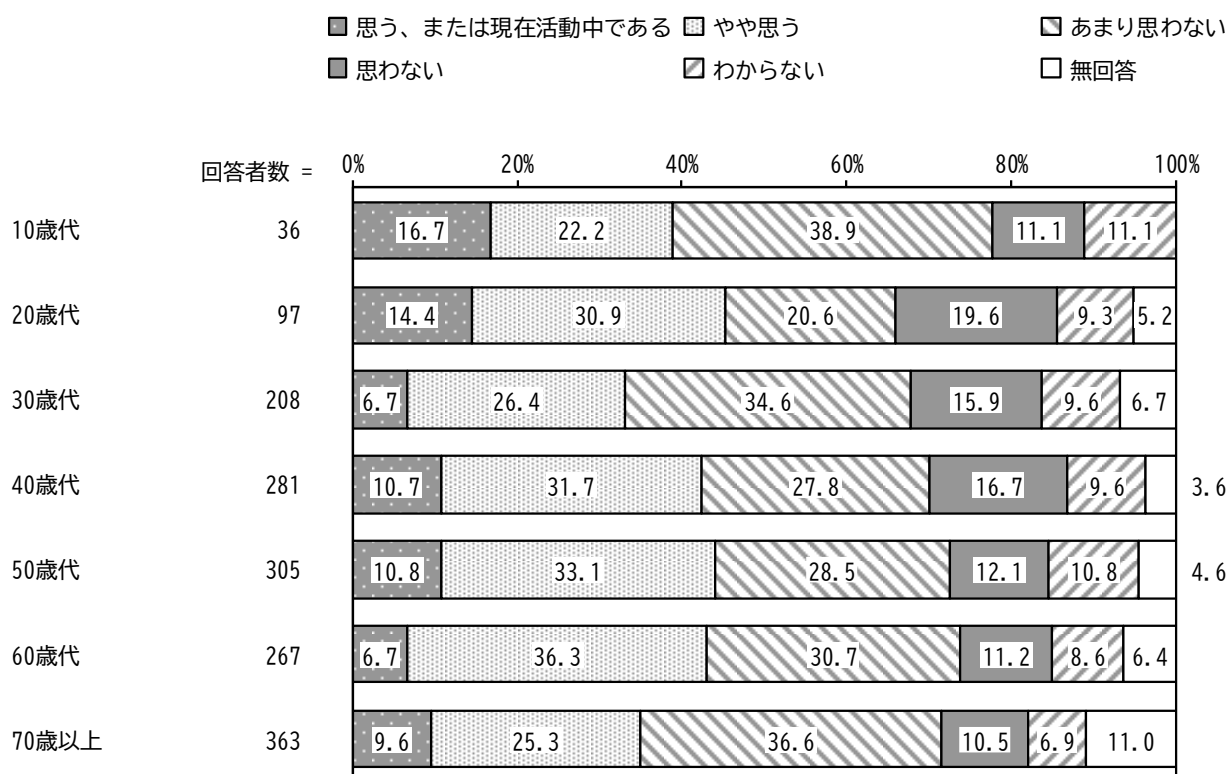
「思う、または現在活動中である」「やや思う」を合わせた”思う”の割合が 39.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が 44.7%となっています。

令和元年度調査との比較においても“思う”の割合が減少しています。



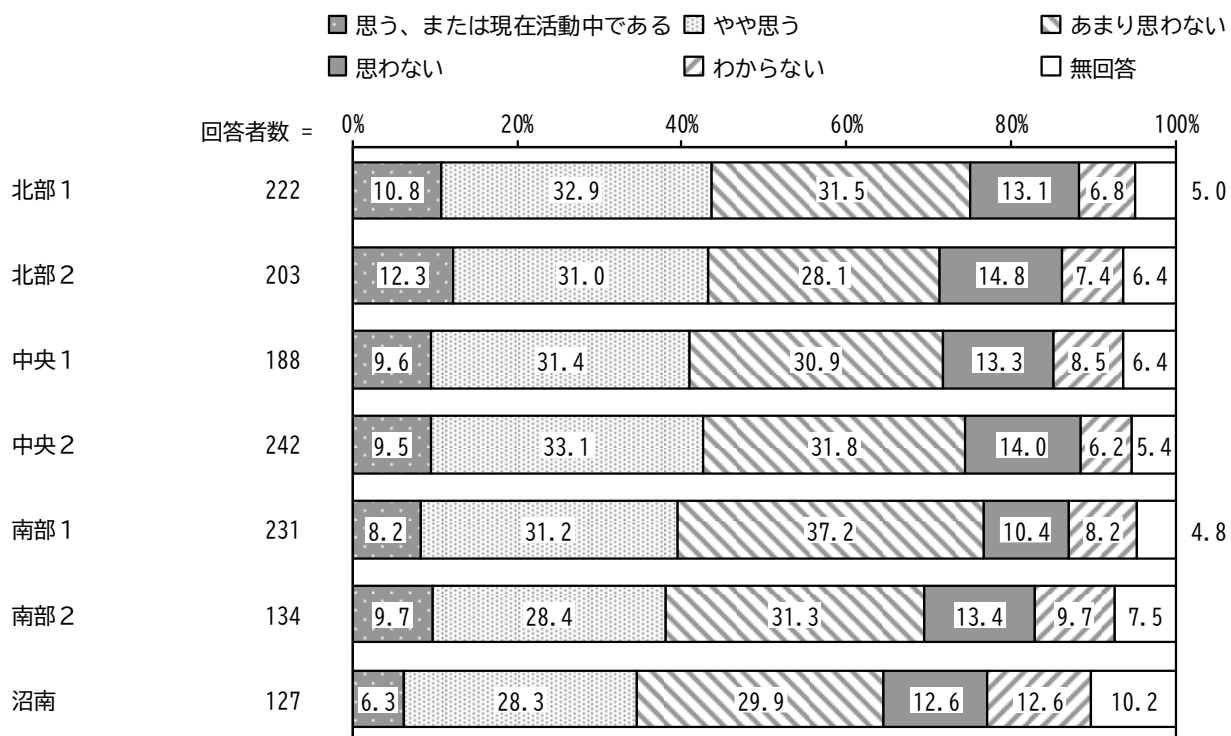
【年代別】

年代別にみると、「思わない」で、20歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。



【在住地域別】

在住地域別にみると、「あまり思わない」について南部1で高くなっています。

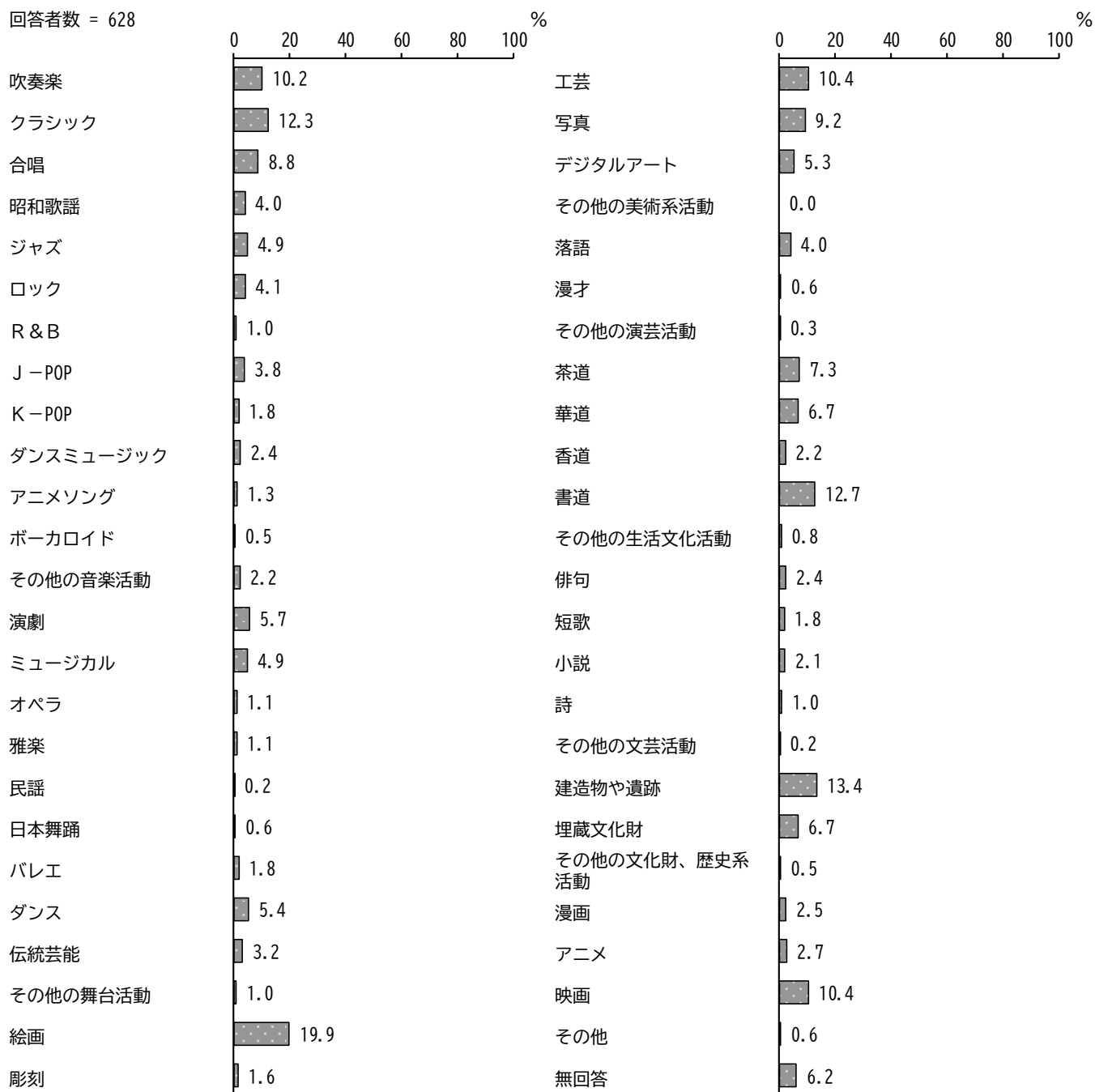


問 29 で「1 思う、または現在活動中である」「2 やや思う」と回答したかたにお尋ねします

問 30 あなたは、今後どのような分野の芸術文化に参加または活動したいと思いますか。
(○は1～49 のなかから3つまで)

「絵画」の割合が 19.9%と最も高く、次いで「建造物や遺跡」の割合が 13.4%、「書道」の割合が 12.7%となっています。

回答者数 = 628



【年代別】

年代別にみると、「アニメ」で、10歳代から70歳以上にかけて低くなる傾向にあります。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	吹奏楽	クラシック	合唱	昭和歌謡	ジャズ	ロック	R & B	J-POP	K-POP	ダンスミュージック	アニメソン	ボーカロイド
全 体	628	10.2	12.3	8.8	4.0	4.9	4.1	1.0	3.8	1.8	2.4	1.3	0.5
10歳代	14	7.1	7.1	—	—	—	7.1	—	21.4	14.3	14.3	7.1	—
20歳代	44	18.2	15.9	9.1	2.3	—	4.5	—	4.5	4.5	2.3	2.3	2.3
30歳代	69	8.7	4.3	2.9	2.9	8.7	5.8	—	2.9	—	1.4	2.9	—
40歳代	119	10.9	13.4	7.6	0.8	5.9	3.4	1.7	3.4	1.7	4.2	0.8	0.8
50歳代	134	11.2	12.7	11.2	1.5	4.5	5.2	1.5	4.5	1.5	3.7	1.5	0.7
60歳代	115	7.8	14.8	7.8	6.1	6.1	5.2	1.7	5.2	2.6	0.9	0.9	—
70歳以上	127	8.7	11.8	12.6	9.4	3.9	1.6	—	0.8	—	—	—	—

区分	その他の音楽活動	演劇	ルミュージカ	オペラ	雅楽	民謡	日本舞踊	バレエ	ダンス	伝統芸能	その他の舞台活動	絵画	彫刻
全 体	2.2	5.7	4.9	1.1	1.1	0.2	0.6	1.8	5.4	3.2	1.0	19.9	1.6
10歳代	7.1	—	7.1	—	—	—	—	7.1	—	—	7.1	21.4	—
20歳代	2.3	2.3	4.5	—	—	—	—	4.5	6.8	—	4.5	18.2	—
30歳代	—	8.7	8.7	1.4	—	—	2.9	4.3	7.2	1.4	—	20.3	1.4
40歳代	1.7	8.4	4.2	—	0.8	—	0.8	0.8	7.6	2.5	—	16.8	2.5
50歳代	2.2	7.5	5.2	1.5	2.2	—	0.7	3.0	4.5	3.0	—	20.1	3.0
60歳代	2.6	7.0	4.3	1.7	—	—	—	—	4.3	2.6	1.7	18.3	—
70歳以上	3.1	0.8	3.9	1.6	2.4	0.8	—	—	4.7	7.1	0.8	24.4	1.6

区分	工芸	写真	デジタルアート	その他の美術系活動	落語	漫才	その他の演芸活動	茶道	華道	香道	書道	その他の生活文化活動	俳句
全 体	10.4	9.2	5.3	—	4.0	0.6	0.3	7.3	6.7	2.2	12.7	0.8	2.4
10歳代	7.1	21.4	14.3	—	—	—	—	14.3	—	—	—	—	—
20歳代	11.4	13.6	15.9	—	—	—	—	11.4	2.3	—	9.1	—	—
30歳代	8.7	17.4	8.7	—	2.9	—	—	1.4	7.2	4.3	11.6	—	—
40歳代	9.2	10.9	5.9	—	1.7	0.8	—	13.4	10.1	2.5	12.6	0.8	0.8
50歳代	16.4	4.5	3.0	—	5.2	0.7	0.7	5.2	5.2	3.0	9.0	—	1.5
60歳代	6.1	7.8	4.3	—	5.2	0.9	0.9	6.1	7.0	1.7	12.2	1.7	2.6
70歳以上	9.4	6.3	0.8	—	6.3	0.8	—	5.5	7.1	1.6	20.5	1.6	6.3

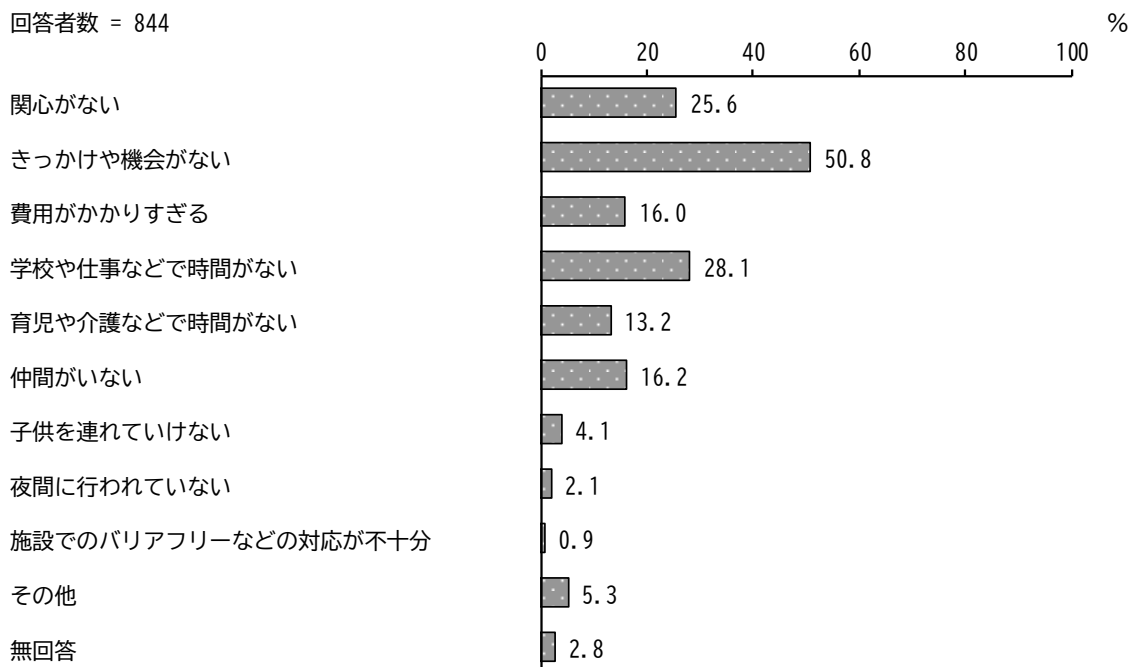
区分	短歌	小説	詩	その他の文芸活動	建造物や遺跡	埋蔵文化財	その他の文化財、歴史系活動	漫画	アニメ	映画	その他	無回答
全 体	1.8	2.1	1.0	0.2	13.4	6.7	0.5	2.5	2.7	10.4	0.6	6.2
10歳代	—	7.1	—	—	—	—	—	7.1	14.3	—	—	—
20歳代	—	6.8	—	—	6.8	2.3	—	2.3	6.8	13.6	—	2.3
30歳代	—	4.3	2.9	—	10.1	2.9	—	5.8	5.8	7.2	1.4	8.7
40歳代	0.8	1.7	1.7	—	14.3	7.6	0.8	5.9	3.4	8.4	—	0.8
50歳代	3.0	1.5	—	—	11.2	4.5	0.7	0.7	3.0	9.7	1.5	5.2
60歳代	1.7	0.9	0.9	—	14.8	13.0	—	0.9	—	17.4	—	7.8
70歳以上	3.1	—	0.8	0.8	19.7	7.1	0.8	—	—	8.7	0.8	10.2

問 29 で「3 あまり思わない」「4 思わない」「5 わからない」と回答したかたにお尋ねします

問 31 あなたが芸術文化活動を始めたり、参加したいと思わない理由は何ですか。
(○は3つまで)

「きっかけや機会がない」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「学校や仕事などで時間がない」の割合が 28.1%、「関心がない」の割合が 25.6%となっています。

回答者数 = 844



【年代別】

全世代で「きっかけや機会がない」が高くなっています。

年代別にみると、「関心がない」は、10 歳代から 70 歳以上にかけて低くなる傾向にあります。また、30 歳代、40 歳代で「育児や介護などで時間がない」「子供を連れていけない」が他の年代と比べて高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	学校や仕事などで時間がない	育児や介護などで時間がない	仲間がいない	子供を連れていけない	夜間に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全 体	844	25.6	50.8	16.0	28.1	13.2	16.2	4.1	2.1	0.9	5.3	2.8
10 歳代	22	50.0	45.5	13.6	36.4	—	13.6	—	4.5	—	4.5	—
20 歳代	48	50.0	45.8	14.6	35.4	4.2	10.4	—	2.1	—	2.1	—
30 歳代	125	35.2	38.4	15.2	32.0	32.8	12.8	15.2	0.8	—	0.8	0.8
40 歳代	152	21.7	44.1	15.8	42.8	21.7	11.2	9.2	2.0	—	3.9	0.7
50 歳代	157	23.6	52.2	16.6	42.0	7.6	17.2	1.3	5.7	1.3	2.5	1.9
60 歳代	135	19.3	59.3	17.8	16.3	12.6	21.5	—	0.7	0.7	7.4	2.2
70 歳以上	196	19.4	59.2	14.8	8.7	3.1	20.4	—	1.0	2.6	11.2	7.7

【在住地域別】

在住地域別にみると、「関心がない」について北部1で高く、「学校や仕事などで時間がない」について中央1、南部2で高く、「仲間がいない」について沼南で低くなっています。

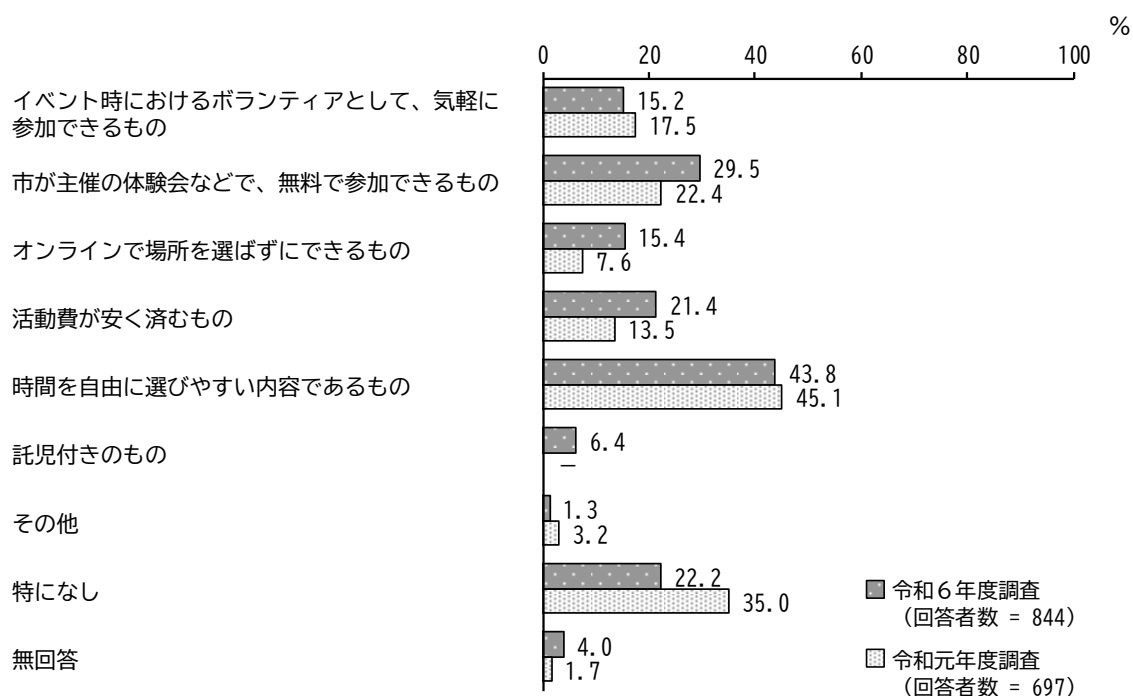
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	関心がない	いきつかけや機会がない	費用がかかりすぎる	学校や仕事などで時間がない	育児や介護などで時間がない	仲間がいない	子供を連れていけない	夜間に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全 体	844	25.6	50.8	16.0	28.1	13.2	16.2	4.1	2.1	0.9	5.3	2.8
北部1	114	30.7	44.7	12.3	27.2	16.7	19.3	6.1	1.8	—	6.1	3.5
北部2	102	22.5	52.0	15.7	27.5	9.8	15.7	5.9	—	1.0	5.9	3.9
中央1	99	23.2	58.6	16.2	35.4	18.2	21.2	3.0	4.0	—	1.0	—
中央2	126	24.6	48.4	19.8	24.6	15.9	18.3	6.3	—	0.8	5.6	1.6
南部1	129	25.6	48.1	12.4	32.6	14.0	17.1	4.7	3.9	3.1	3.1	2.3
南部2	73	27.4	52.1	13.7	34.2	11.0	17.8	2.7	4.1	—	5.5	2.7
沼南	70	27.1	47.1	22.9	28.6	15.7	10.0	1.4	1.4	—	5.7	1.4

問 32 あなたは、どのような形態であれば芸術文化活動に関わりたいと思いますか。
(○は3つまで)

「時間を自由に選びやすい内容であるもの」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」の割合が 29.5%、「特になし」の割合が 22.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」「オンラインで場所を選ばずにできるもの」「活動費が安く済むもの」の割合が増加しています。一方、「特になし」の割合が減少しています。



※令和元年度調査では「託児付きのもの」はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、「活動費が安く済むもの」で、20 歳代から 70 歳以上にかけて低くなる傾向にあります。10 歳代、20 歳代の若年層で「オンラインで場所を選ばずにできるもの」が高く、30 歳代とその前後で「託児付きのもの」が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	イベント時における 気軽に参加できるもの	市が主催の体験会など 無料で参加できる もの	オンラインで場所を選 ばずにできるもの	活動費が安く済むもの	時間を自由に選びやす い内容であるもの	託児付きのもの	その他	特になし	無回答
全 体	844	15.2	29.5	15.4	21.4	43.8	6.4	1.3	22.2	4.0
10 歳代	22	22.7	22.7	22.7	13.6	63.6	—	—	22.7	—
20 歳代	48	14.6	16.7	31.3	27.1	41.7	10.4	—	20.8	—
30 歳代	125	10.4	35.2	15.2	25.6	48.8	28.0	3.2	16.0	1.6
40 歳代	152	13.8	28.3	19.7	25.0	46.7	7.9	3.3	19.7	2.0
50 歳代	157	13.4	26.8	15.9	21.0	51.0	1.3	0.6	19.1	1.9
60 歳代	135	20.7	34.1	14.8	21.5	45.2	—	0.7	20.0	5.9
70 歳以上	196	15.8	29.1	8.2	16.3	32.1	—	—	31.6	8.7

【在住地域別】

在住地域別にみると、「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」について北部 1 で高く、「オンラインで場所を選ばずにできるもの」について中央 2 で高く、「活動費が安く済むもの」について中央 1 で高く、「時間を自由に選びやすい内容であるもの」について中央 1 で高く、北部 2 で低くなっています。

(単位：％)

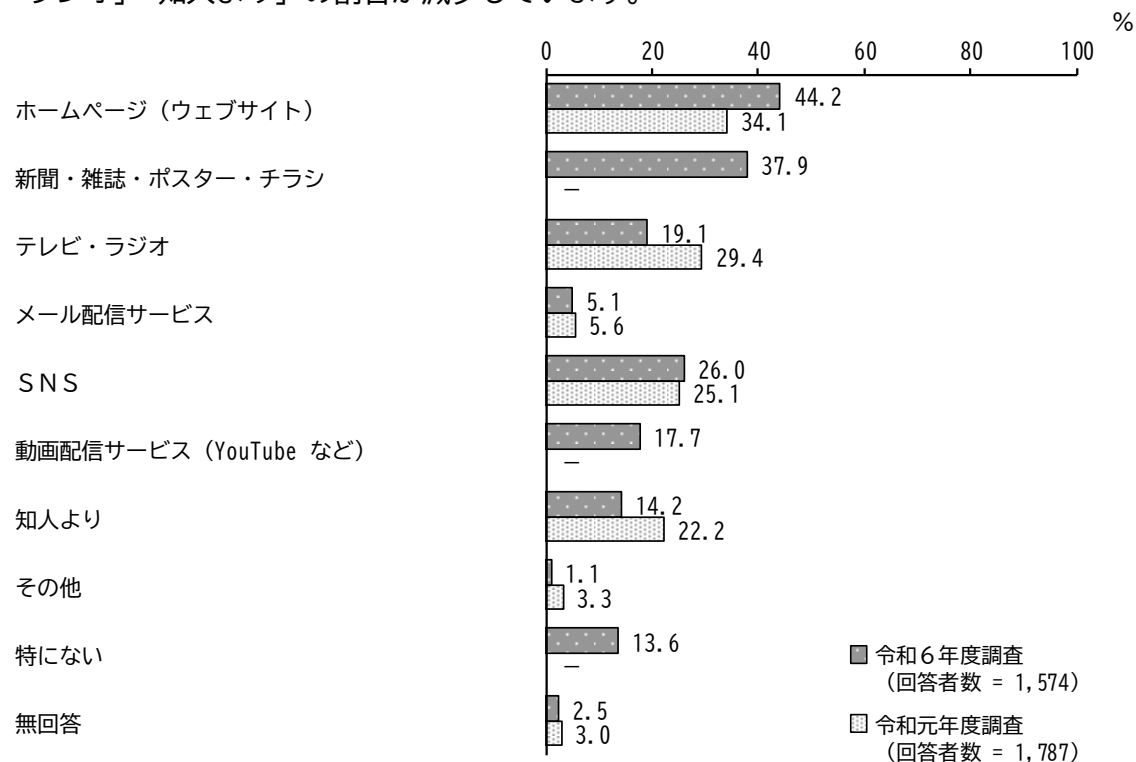
区分	回答者数 (件)	イベント時における 気軽に参加できるもの	市が主催の体験会など 無料で参加できる もの	オンラインで場所を選 ばずにできるもの	活動費が安く済むもの	時間を自由に選びやす い内容であるもの	託児付きのもの	その他	特になし	無回答
全 体	844	15.2	29.5	15.4	21.4	43.8	6.4	1.3	22.2	4.0
北部 1	114	15.8	36.0	13.2	21.9	50.0	8.8	2.6	18.4	4.4
北部 2	102	16.7	29.4	13.7	18.6	35.3	4.9	1.0	28.4	3.9
中央 1	99	18.2	24.2	20.2	27.3	52.5	8.1	2.0	15.2	2.0
中央 2	126	14.3	34.9	22.2	24.6	38.9	7.1	0.8	19.0	2.4
南部 1	129	10.9	31.0	11.6	19.4	43.4	7.8	1.6	25.6	4.7
南部 2	73	17.8	27.4	12.3	23.3	45.2	2.7	1.4	19.2	8.2
沼南	70	12.9	24.3	15.7	21.4	37.1	4.3	—	27.1	4.3

全てのかたにお尋ねします

問 33 あなたは、芸術文化関連の情報を主にどのような方法で得ていますか。
(○は3つまで)

「ホームページ（ウェブサイト）」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「新聞・雑誌・ポスター・チラシ」の割合が 37.9%、「SNS」の割合が 26.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ホームページ（ウェブサイト）」の割合が増加しています。一方、「テレビ・ラジオ」「知人より」の割合が減少しています。



※令和元年度調査では「新聞・雑誌・ポスター・チラシ」の選択肢が分かれていたため比較できません。また、「動画配信サービス（YouTube など）」、「特になし」はありませんでした。

【年代別】

年代別にみると、「新聞・雑誌・ポスター・チラシ」で、10 歳代から 70 歳以上にかけて高くなる傾向にあります。また、10 代から 30 代で「SNS」「動画配信サービス（YouTube など）」が高くなっていますが、「メール配信サービス」は低くなっています。

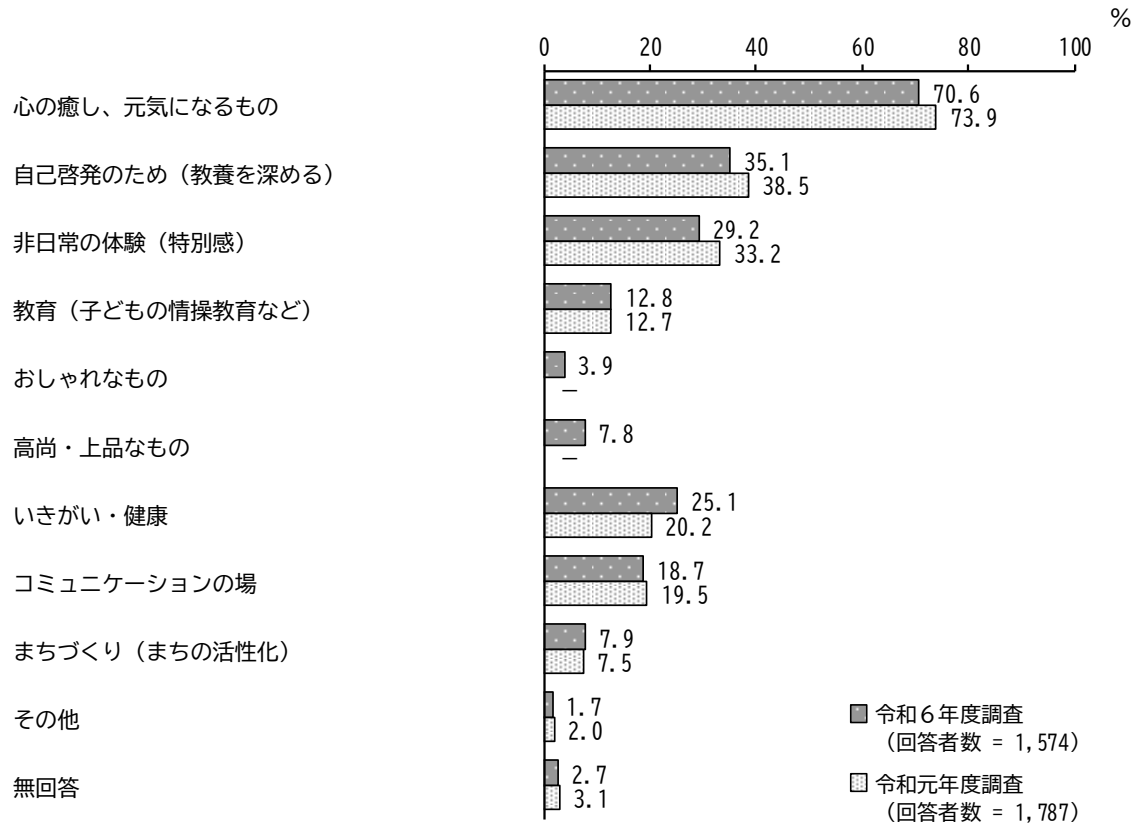
(単位：%)

区分	回答者数 (件)	ホームページ (ウェブサイト)	新聞・雑誌・ポ スター・チ ラシ	テレビ・ラジ オ	メール配 信サー ビス	S N S	動画配 信サー ビス (YouTube な ど)	知 人 よ り	そ 他	特 に な い	無 回 答
全 体	1,574	44.2	37.9	19.1	5.1	26.0	17.7	14.2	1.1	13.6	2.5
10 歳代	36	25.0	8.3	8.3	—	47.2	30.6	13.9	2.8	27.8	—
20 歳代	97	36.1	13.4	6.2	1.0	56.7	37.1	16.5	—	18.6	1.0
30 歳代	208	45.7	18.8	12.5	1.9	45.2	27.9	6.3	1.4	18.3	3.4
40 歳代	281	56.6	26.7	11.7	4.6	33.8	19.6	13.2	1.4	10.7	1.4
50 歳代	305	56.4	30.2	12.5	7.2	26.2	15.1	10.5	—	14.4	2.3
60 歳代	267	47.6	50.2	25.1	7.5	16.1	14.2	13.5	1.1	12.4	2.2
70 歳以上	363	25.6	64.5	34.2	5.8	6.1	8.8	23.1	1.7	10.7	3.3

問 34 あなたは「芸術文化」についてどのようなイメージを持っていますか。
(○はいくつでも)

「心の癒し、元気になるもの」の割合が 70.6%と最も高く、次いで「自己啓発のため（教養を深める）」の割合が 35.1%、「非日常の体験（特別感）」の割合が 29.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和元年度調査では「おしゃれなもの」、「高尚・上品なもの」はありませんでした。

【年代別】

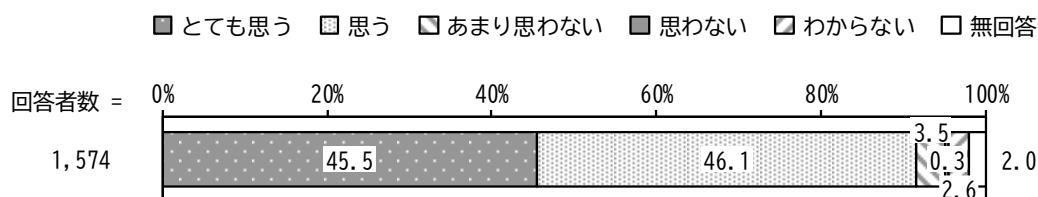
年代別にみると、「心の癒し、元気になるもの」で、10 歳代から 60 歳代にかけて高くなる傾向にあります。20 歳代で「非日常の体験（特別感）」が高くなっています。また、40 歳代以上で「自己啓発のため（教養を深める）」が高くなる傾向にあります。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	心の癒し、 元気になるもの	自己啓発のため (教養を深める)	非日常の体験 (特別感)	教育(子どもの 情操教育など)	おしゃれなもの	の高尚・上品なもの	いきがい・健康	コミュニケーションの場	まちづくり (まちの活性化)	その他	無回答
全 体	1,574	70.6	35.1	29.2	12.8	3.9	7.8	25.1	18.7	7.9	1.7	2.7
10 歳代	36	58.3	25.0	19.4	22.2	5.6	5.6	13.9	19.4	8.3	5.6	—
20 歳代	97	60.8	29.9	41.2	15.5	12.4	14.4	25.8	14.4	8.2	2.1	1.0
30 歳代	208	67.3	28.8	32.7	26.0	8.2	11.1	21.6	14.9	6.7	1.4	2.9
40 歳代	281	67.6	37.4	33.5	18.9	4.3	6.8	19.9	16.4	5.7	2.5	1.8
50 歳代	305	70.2	34.8	28.5	9.8	2.6	5.2	27.2	20.3	9.2	1.6	3.9
60 歳代	267	80.5	38.6	31.1	4.9	1.5	6.0	20.6	18.4	7.9	1.1	2.6
70 歳以上	363	72.2	37.2	21.2	7.7	1.9	8.3	33.6	23.4	9.1	1.1	2.8

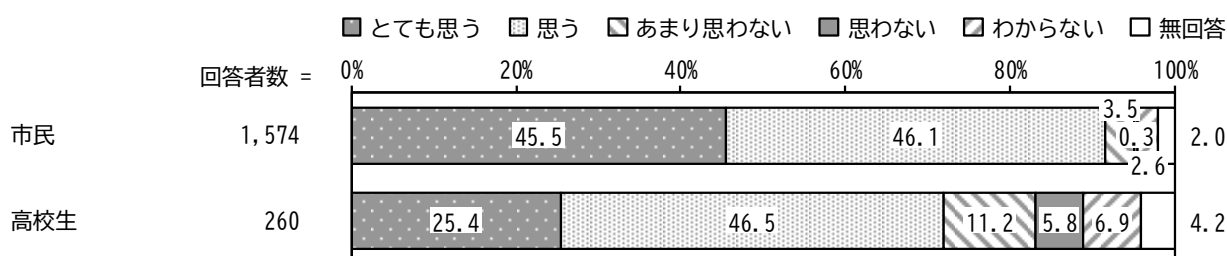
問 35 あなたは、次世代を担う子どもたちにとって芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思いますか。(〇は1つ)

「とても思う」「思う」を合わせた“思う”の割合が91.6%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が3.8%となっています。



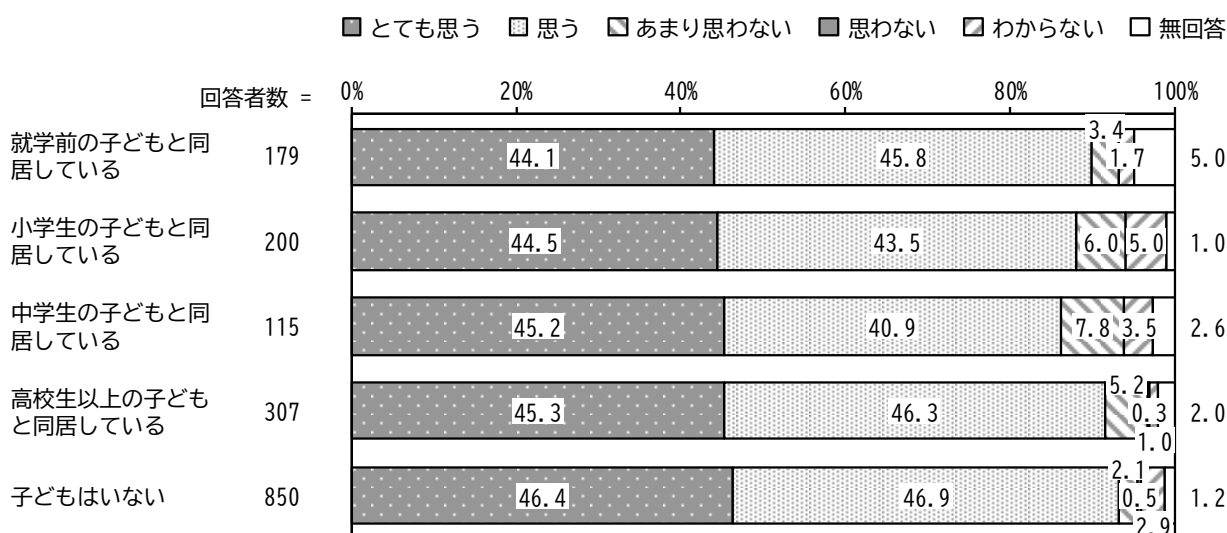
【高校生との比較】

高校生との比較では、「とても思う」「思う」を合わせた“そう思う”で市民の方が高くなっています。



【子どもの有無別】

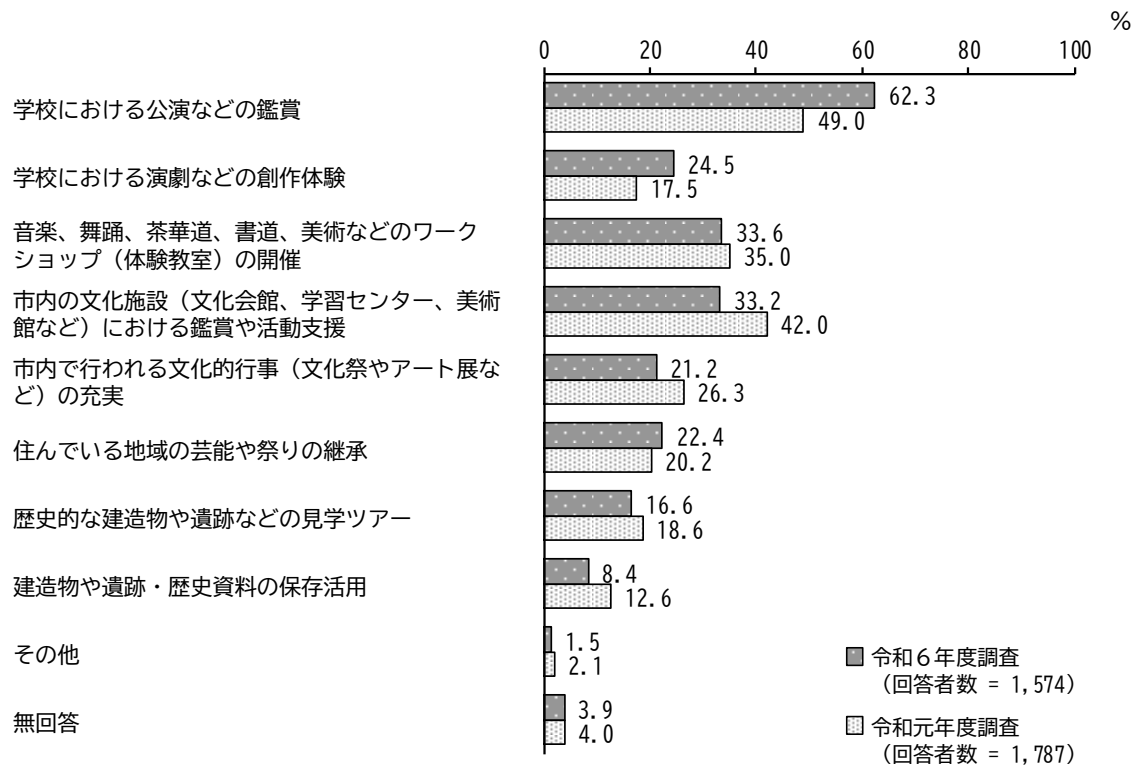
子どもの有無別では、大きな差はみられません。



問 36 あなたは、次世代に芸術文化を伝えていくために、柏市はどのような取組をすることが大切だと思いますか。（〇は3つまで）

「学校における公演などの鑑賞」の割合が62.3%と最も高く、次いで「音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ（体験教室）の開催」の割合が33.6%、「市内の文化施設（文化会館、学習センター、美術館など）における鑑賞や活動支援」の割合が33.2%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「学校における公演などの鑑賞」「学校における演劇などの創作体験」の割合が増加しています。一方、「市内の文化施設（文化会館、学習センター、美術館など）における鑑賞や活動支援」「市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実」の割合が減少しています。



【子どもの有無別】

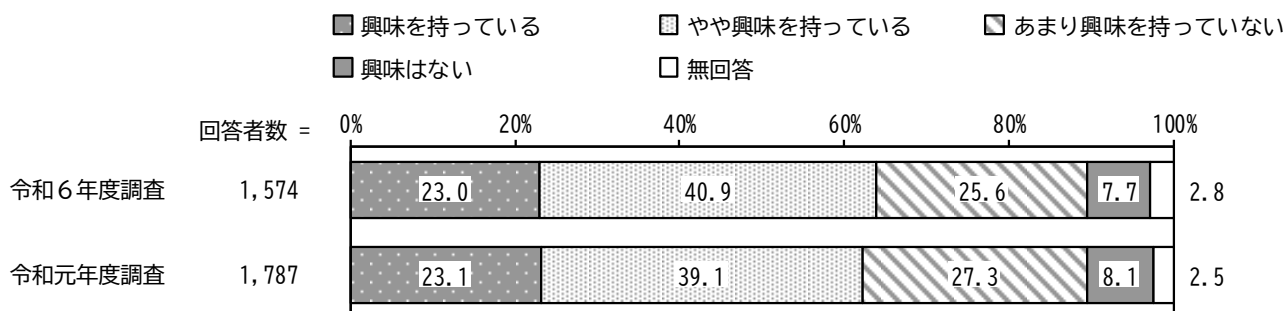
子どもの有無別にみると、「市内の文化施設（文化会館、学習センター、美術館など）における鑑賞や活動支援」について中学生の子どもと同居している方で低く、「市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実」について高校生以上の子どもと同居している方で低く、「歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー」について就学前の子どもと同居している、小学生の子どもと同居している方で低くなっています。

（単位：％）

区分	回答者数（件）	学校における公演などの鑑賞	学校における演劇などの創作体験	音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ（体験教室）の開催	市内の文化施設（文化会館、学習センター、美術館など）における鑑賞や活動支援	市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実	住んでいる地域の芸能や祭りの継承	歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー	建造物や遺跡・歴史資料の保存活用	その他	無回答
全 体	1,574	62.3	24.5	33.6	33.2	21.2	22.4	16.6	8.4	1.5	3.9
就学前の子どもと同居している	179	74.3	37.4	33.0	23.5	16.8	19.0	10.6	3.4	1.7	5.0
小学生の子どもと同居している	200	74.0	37.5	31.0	23.0	21.0	18.0	12.5	7.5	—	3.0
中学生の子どもと同居している	115	70.4	28.7	32.2	20.9	24.3	18.3	15.7	6.1	—	4.3
高校生以上の子どもと同居している	307	70.4	25.4	32.6	26.4	16.3	22.1	16.3	7.5	1.3	2.3
子どもはいない	850	56.0	20.6	35.1	39.2	22.8	23.4	18.8	9.4	1.8	4.2

問 37 あなたは、歴史という分野についてどれくらい興味を持っていますか。（○は1つ）

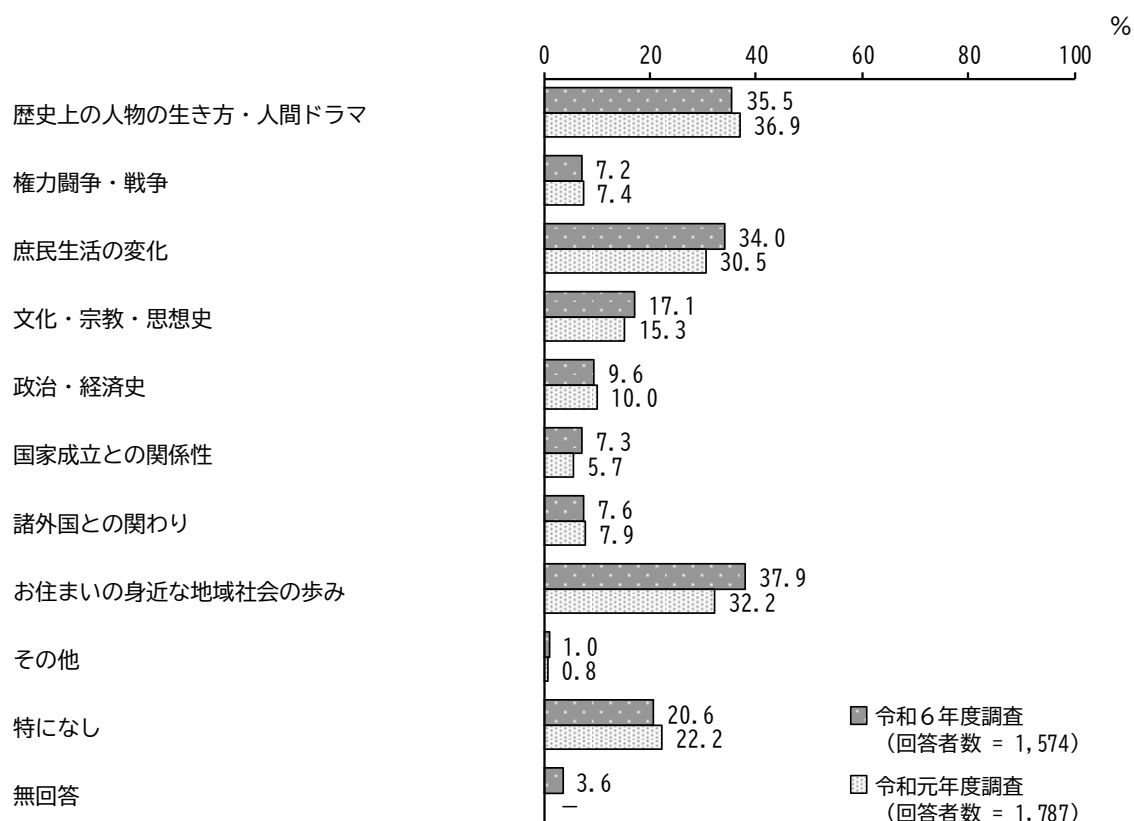
「興味を持っている」「やや興味を持っている」を合わせた「興味を持っている」の割合が 63.9%、「あまり興味を持っていない」「興味はない」を合わせた「興味はない」の割合が 33.3%となっています。
令和元年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 38 あなたは、柏の歴史のどのようなテーマに興味がありますか。(〇はいくつでも)

「お住まいの身近な地域社会の歩み」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「歴史上の人物の生き方・人間ドラマ」の割合が 35.5%、「庶民生活の変化」の割合が 34.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「お住まいの身近な地域社会の歩み」の割合が増加しています。

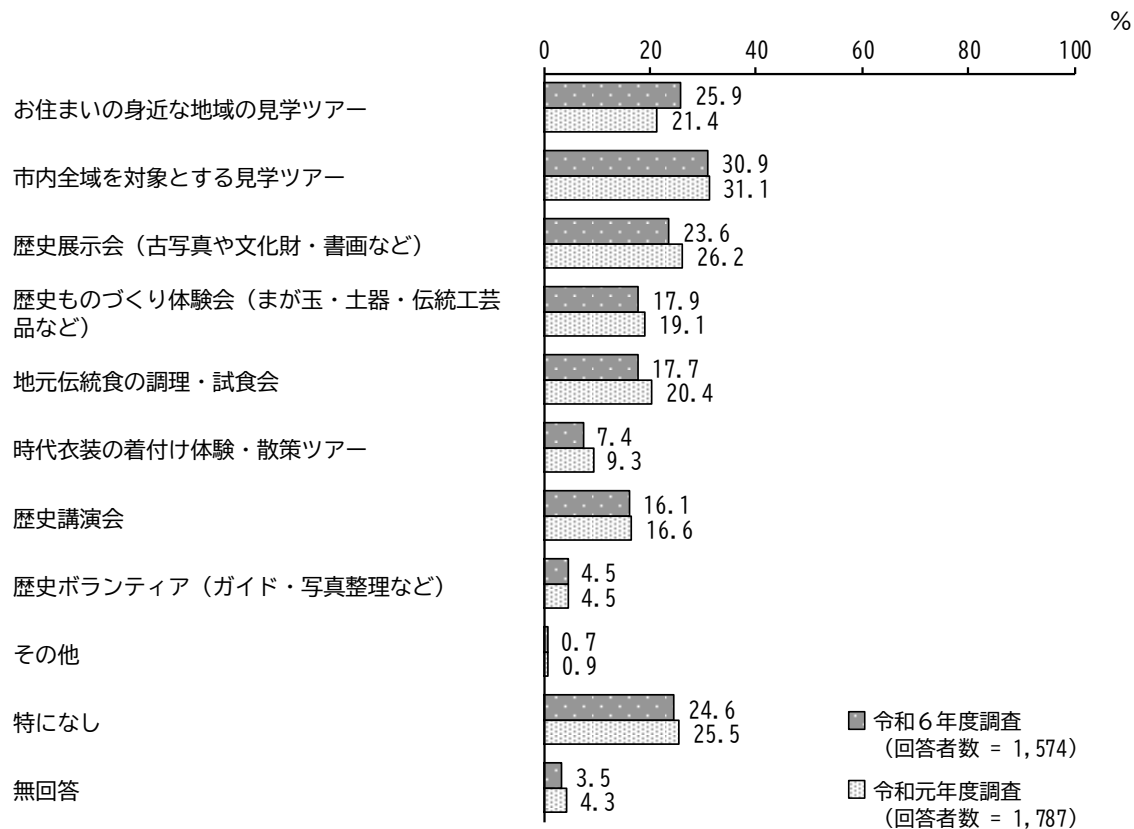


※令和元年度調査では「無回答」はありませんでした。

問 39 あなたは、歴史・文化財系のイベントとして、どのようなものに参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「市内全域を対象とする見学ツアー」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「お住まいの身近な地域の見学ツアー」の割合が 25.9%、「特になし」の割合が 24.6%となっています。

令和元年度調査との比較でも、大きな変化はみられません。

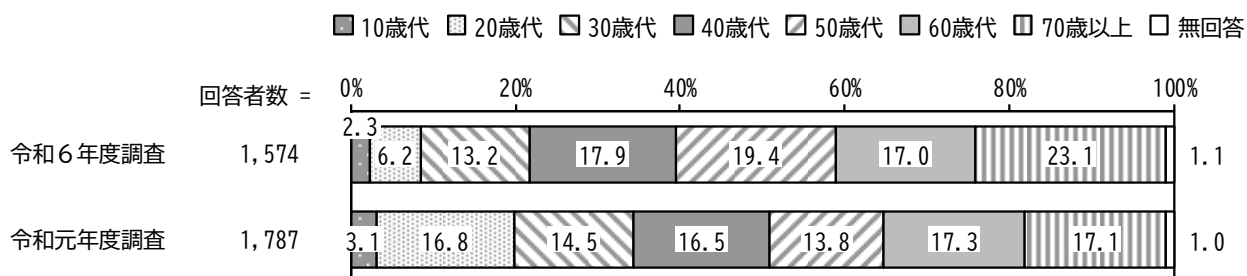


(5) ご自身のことについて

問 41 年齢をお答えください。(○は1つ)

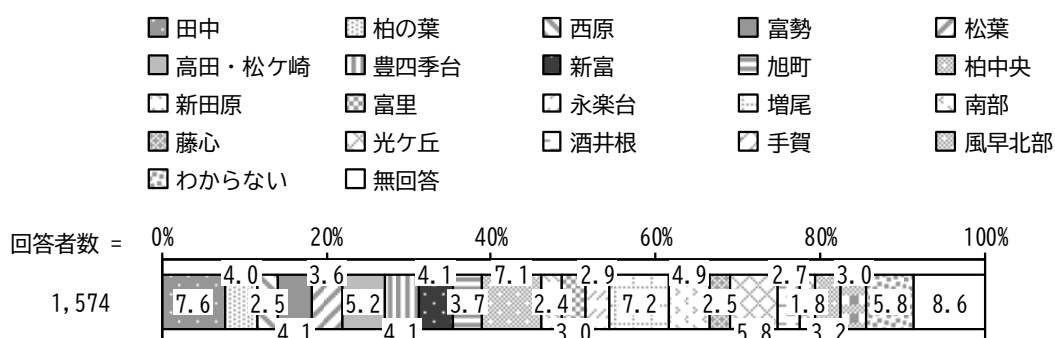
「70歳以上」の割合が23.1%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が19.4%、「40歳代」の割合が17.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「50歳代」「70歳以上」の割合が増加しています。一方、「20歳代」の割合が減少しています。



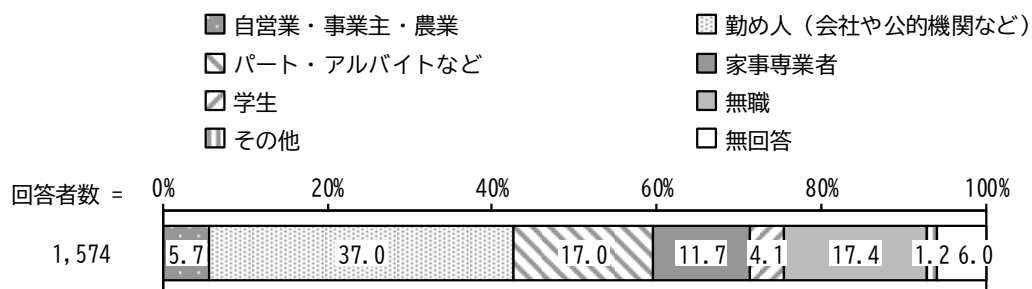
問 42 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

「田中」の割合が7.6%と最も高く、次いで「増尾」の割合が7.6%、「柏中央」の割合が7.1%となっています。



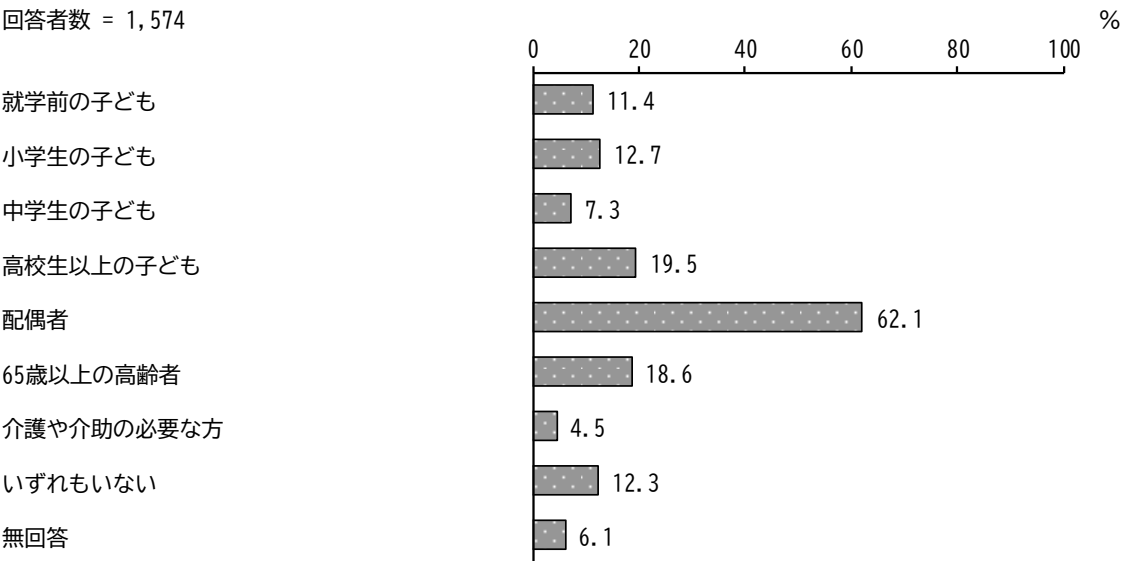
問 43 現在の職業をお答えください。(○は1つ)

「勤め人（会社や公的機関など）」の割合が37.0%と最も高く、次いで「無職」の割合が17.4%、「パート・アルバイトなど」の割合が17.0%となっています。



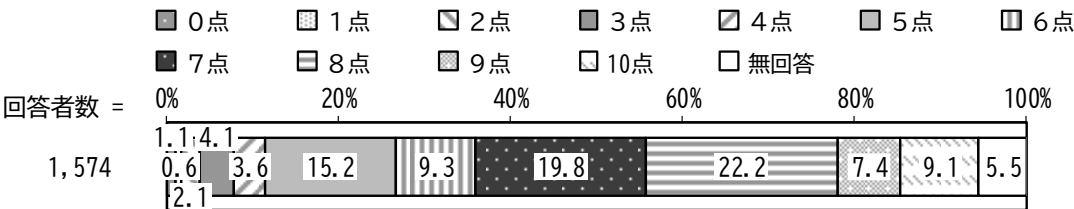
問 44 同居しているかたに次のかたは含まれていますか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「高校生以上の子ども」の割合が 19.5%、「65 歳以上の高齢者」の割合が 18.6%となっています。また、「いずれもない」の割合が 12.3%となっています。



問 45 あなたは、普段の生活でどの程度、幸福度や満足度を感じていますか。「とても感じる」を 10 点、「全く感じない」を 0 点として、採点してください。(○は 1 つ)

「8 点」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「7 点」の割合が 19.8%、「5 点」の割合が 15.2%となっています。



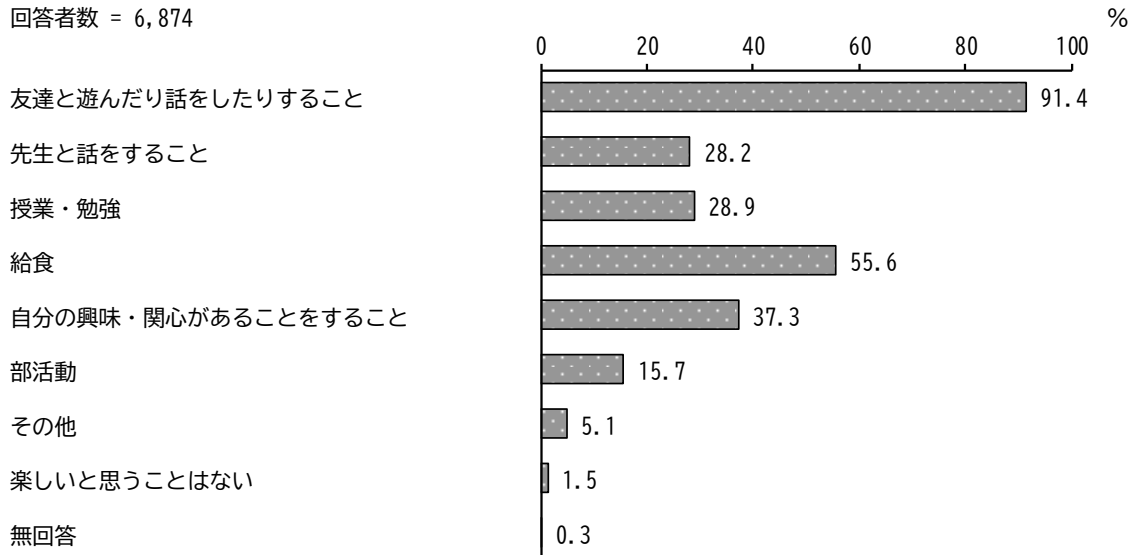
2 小中学生

(1) 学校での生活について

問2 あなたが学校で楽しいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

「友達と遊んだり話をしたりすること」の割合が91.4%と最も高く、次いで「給食」の割合が55.6%、「自分の興味・関心があることをすること」の割合が37.3%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学2年生、小学5年生へのアンケートでは「部活動」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	友達と遊んだり話をしたりすること	先生と話をすること	授業・勉強	給食	自分の興味・関心があることをすること	部活動	その他	楽しいと思うことはない	無回答
全 体	6,874	91.4	28.2	28.9	55.6	37.3	15.7	5.1	1.5	0.3
小学2年生	2,499	89.8	40.1	41.8	63.7	21.1	—	5.5	1.0	0.8
小学5年生	2,543	92.6	26.7	26.3	58.9	50.2	—	6.8	2.0	0.1
中学生	1,832	91.8	14.0	15.1	40.1	41.5	58.8	2.3	1.5	—

【相談者の有無別】

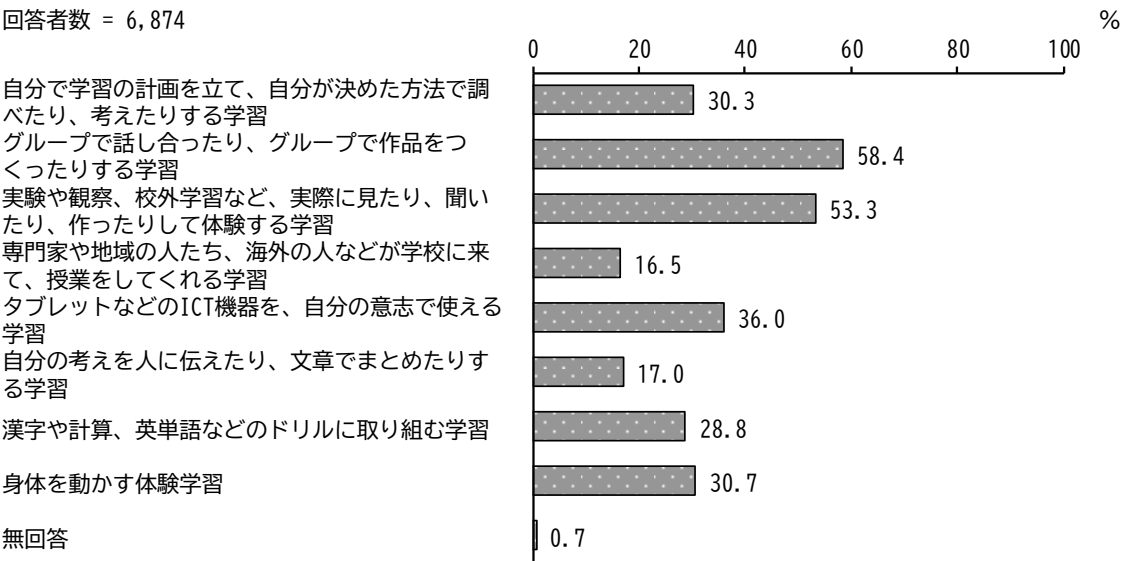
相談者の有無別にみると、「授業・勉強」、「先生と話をすること」、「友達と遊んだり話をしたりすること」で相談者がいると回答した方の割合が高くなっています。一方で「自分の興味・関心があることをすること」で相談者がいないと回答した方の割合が高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	友達と遊んだり話をしたりすること	先生と話をすること	授業・勉強	給食	自分の興味・関心があることをすること	部活動	その他	楽しいと思うことはない	無回答
全 体	6,874	91.4	28.2	28.9	55.6	37.3	15.7	5.1	1.5	0.3
いる	6,172	92.8	29.3	29.9	56.5	36.7	15.5	4.9	1.0	0.2
いない	664	78.9	18.7	20.0	48.5	44.3	18.1	6.9	5.9	0.2

問3 学校の授業はどんな勉強方法だと、よりわかりやすいと思いますか。(○は3つまで)

「グループで話し合ったり、グループで作品をつくったりする学習」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、作ったりして体験する学習」の割合が 53.3%、「タブレットなどの ICT 機器を、自分の意志で使える学習」の割合が 36.0%となっています。



【学年別】

学年別にみると、「タブレットなどの ICT 機器を、自分の意志で使える学習」で小学2年生の割合が高く、「実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、作ったりして体験する学習」で小学5年生の割合が高くなっています。

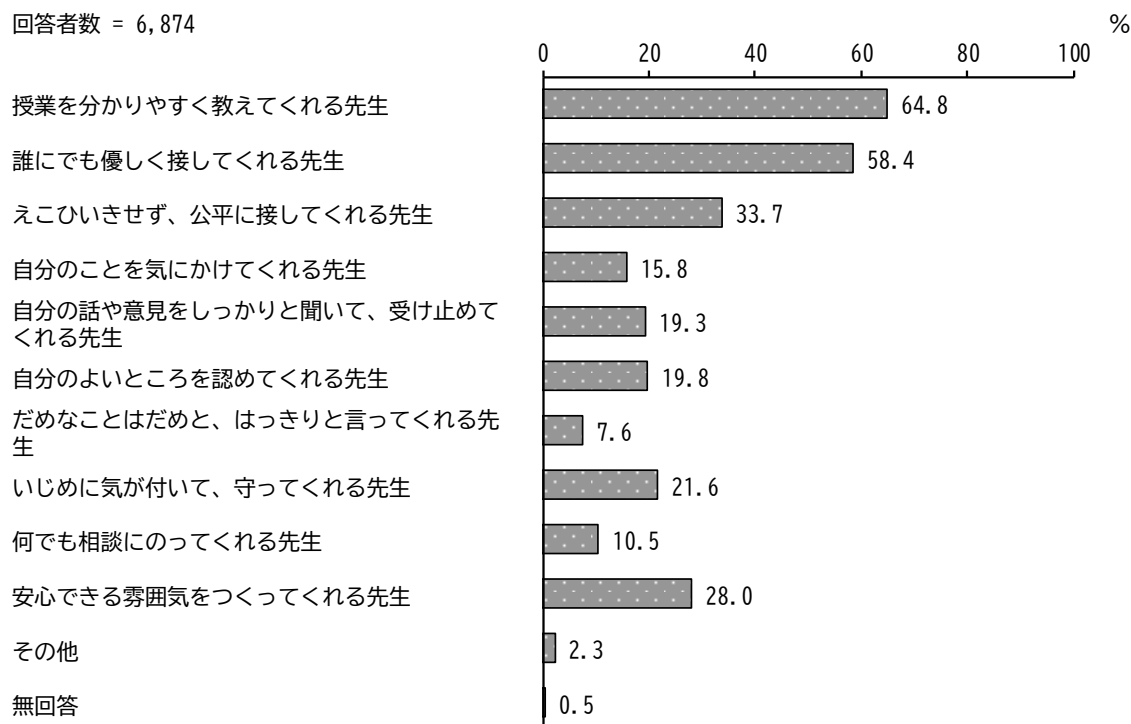
(単位：%)

区分	回答者数(件)	自分で学習の計画を立て、自分が決めた方法で調べたり、考えたりする学習	グループで話し合ったり、グループで作品をつくったりする学習	実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、作ったりして体験する学習	専門家や地域の人たち、海外の人などが学校に来て、授業をしてくれる学習	タブレットなどのICT機器を、自分の意志で使える学習	自分の考えを人に伝えたり、文章でまとめたりする学習	漢字や計算、英単語などのドリルに取り組む学習	身体を動かす体験学習	無回答
全 体	6,874	30.3	58.4	53.3	16.5	36.0	17.0	28.8	30.7	0.7
小学2年生	2,499	28.9	56.1	43.6	15.5	41.0	19.3	34.7	25.1	1.0
小学5年生	2,543	33.4	59.5	61.0	17.9	38.9	14.2	22.4	33.0	0.4
中学生	1,832	27.7	60.0	55.6	16.0	25.4	17.8	29.7	34.9	0.8

問4 あなたがいいなと思う先生はどんな先生ですか。(〇は3つまで)

「授業を分かりやすく教えてくれる先生」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「誰にでも優しく接してくれる先生」の割合が 58.4%、「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」の割合が 33.7%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学5年生、中学生では「いじめに気が付いて、守ってくれる先生」はありませんでした。

【学年別】

学年別に見ると、「授業を分かりやすく教えてくれる先生」で小学2年生の割合が高く、「だめなことはだめと、はっきりと言ってくれる先生」で小学5年生の割合が高くなっています。また、「安心できる雰囲気をつくってくれる先生」で中学生の割合が高くなっています。「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」で小学5年生と中学生の割合が高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	授業を 分かり やすく 教えて く れる 先生	誰に でも 優し く接 して く れ る 先生	えこ ひい きせ ず、 公平 に接 して く れ る 先生	自分 のこ とを 気か けて く れ る 先生	自分 の話 や意 見を しつ かり と聞 いて、 受け 止め てく れ る 先生	自分 のよ いこ とを 認め てく れ る 先生	だめ なこ とは だめ と、 はっ きり と 言っ てく れ る 先生	いじ め に気 が付 いて、 守っ てく れ る 先生	何 でも 相談 にの つて く れ る 先生	安心 でき る雰 囲気 をつ くつ て く れ る 先生	その他	無 回 答
全 体	6,874	64.8	58.4	33.7	15.8	19.3	19.8	7.6	21.6	10.5	28.0	2.3	0.5
小学2年生	2,499	71.9	58.1	21.8	18.4	16.7	18.0	—	25.5	18.8	23.0	2.0	0.8
小学5年生	2,543	59.6	62.5	39.4	14.9	22.9	20.9	20.5	22.0	—	21.0	2.8	0.2
中学生	1,832	62.2	53.2	42.0	13.4	18.0	20.8	—	15.8	13.9	44.3	2.0	0.5

【相談者の有無別】

相談者の有無別にみると、「授業を分かりやすく教えてくれる先生」で相談者がいる方の割合が高く、「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」で相談者がいない方の割合が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数(件)	授業を分かりやすく教えてくれる先生	誰にでも優しく接してくれる先生	えこひいきせず、公平に接してくれる先生	自分のことを気にかけてくれる先生	自分の話や意見をしっかりと聞いて、受け止めてくれる先生	自分のよいところを認めてくれる先生	だめなことはだめと、はっきりと言ってくれる先生	いじめに気が付いて、守ってくれる先生	何でも相談にのってくれる先生	安心できる雰囲気をつくってくれる先生	その他	無回答
全 体	6,874	64.8	58.4	33.7	15.8	19.3	19.8	7.6	21.6	10.5	28.0	2.3	0.5
いる	6,172	65.9	58.7	32.9	15.7	19.8	20.0	7.4	21.6	10.8	28.0	2.1	0.4
いない	664	54.5	56.9	41.1	16.3	15.2	17.8	9.5	22.1	8.3	27.6	3.9	0.8

【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、「授業を分かりやすく教えてくれる先生」で自己肯定感があると判断する方の割合が高く、「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」で自己肯定感がないと判断する方の割合が高くなっています。

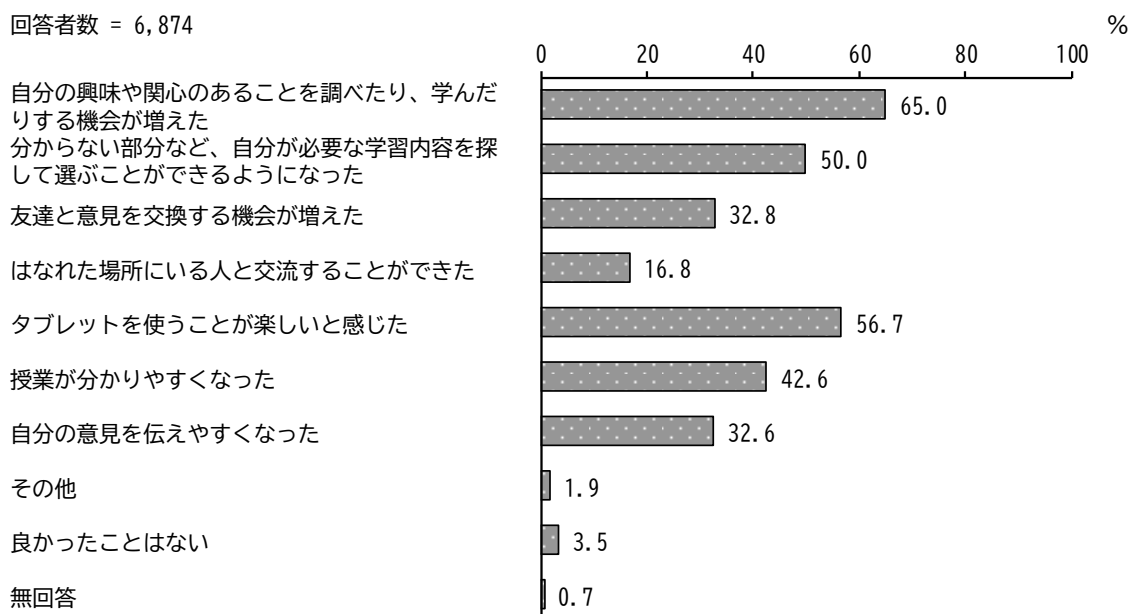
(単位：％)

区分	回答者数(件)	授業を分かりやすく教えてくれる先生	誰にでも優しく接してくれる先生	えこひいきせず、公平に接してくれる先生	自分のことを気にかけてくれる先生	自分の話や意見をしっかりと聞いて、受け止めてくれる先生	自分のよいところを認めてくれる先生	だめなことはだめと、はっきりと言ってくれる先生	いじめに気が付いて、守ってくれる先生	何でも相談にのってくれる先生	安心できる雰囲気をつくってくれる先生	その他	無回答
全 体	6,874	64.8	58.4	33.7	15.8	19.3	19.8	7.6	21.6	10.5	28.0	2.3	0.5
ある	5,659	66.3	58.2	32.2	16.5	19.9	20.5	7.2	22.1	11.0	27.7	2.0	0.3
ない	1,153	57.6	59.8	41.0	12.6	17.0	16.3	9.3	20.1	8.6	28.8	3.6	0.7

問5 タブレットを使った授業を受けて良かったことは何ですか。(〇はいくつでも)

「自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「タブレットを使うことが楽しいと感じた」の割合が 56.7%、「分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった」の割合が 50.0%となっています。

回答者数 = 6,874



【学年別】

学年別にみても、大きな差はみられません。

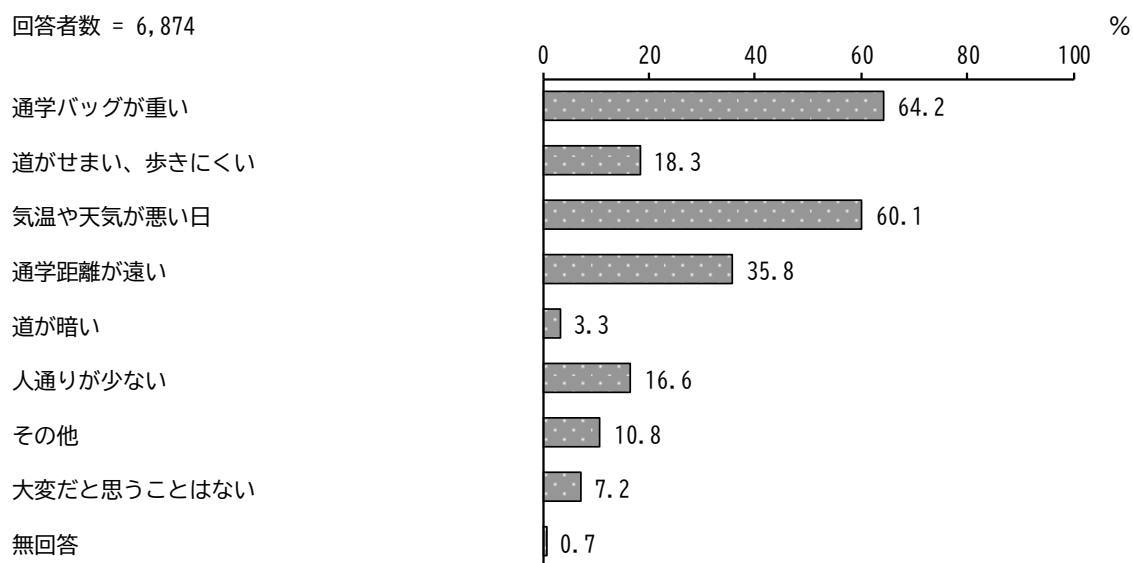
(単位：%)

区分	回答者数(件)	自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた	分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった	友達と意見を交換する機会が増えた	はなれた場所にいる人と交流することができた	タブレットを使うことが楽しいと感じた	授業が分かりやすくなった	自分の意見を伝えやすくなった	その他	良かったことはない	無回答
全 体	6,874	65.0	50.0	32.8	16.8	56.7	42.6	32.6	1.9	3.5	0.7
小学2年生	2,499	64.8	43.1	29.9	18.7	66.3	49.5	30.9	3.0	2.6	1.0
小学5年生	2,543	65.3	52.2	38.8	19.7	59.0	42.4	36.1	1.7	3.7	0.5
中学生	1,832	64.7	56.3	28.6	10.2	40.3	33.4	29.9	0.7	4.6	0.6

問6 学校の登下校時に大変だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

「通学バッグが重い」の割合が64.2%と最も高く、次いで「気温や天気が悪い日」の割合が60.1%、「通学距離が遠い」の割合が35.8%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学2年生、小学5年生では「道が暗い」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみても、大きな差はみられません。

(単位：%)

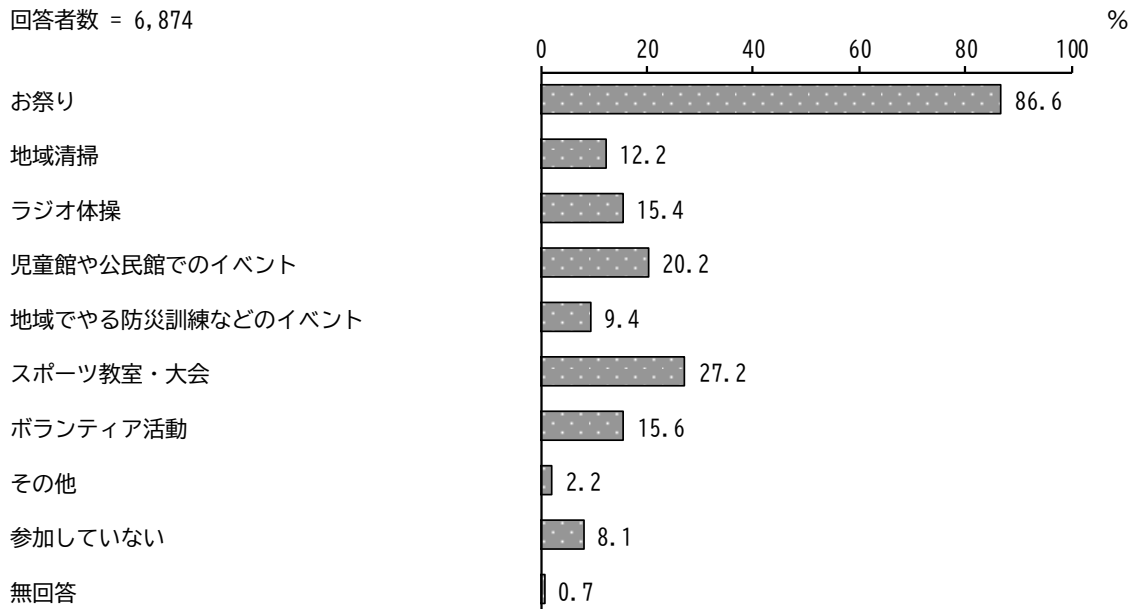
区分	回答者数(件)	通学バッグが重い	道がせまい、歩きにくい	気温や天気が悪い日	通学距離が遠い	道が暗い	人通りが少ない	その他	大変だと思うことはない	無回答
全 体	6,874	64.2	18.3	60.1	35.8	3.3	16.6	10.8	7.2	0.7
小学2年生	2,499	66.9	19.1	59.8	40.7	—	21.9	14.0	3.2	0.8
小学5年生	2,543	67.9	15.2	66.8	34.6	—	14.8	13.1	3.8	0.6
中学生	1,832	55.2	21.7	51.3	30.8	12.3	11.9	3.1	17.2	0.7

(2) 地域の人との関わり方について

問8 どんな地域のイベントなどに参加していますか。(〇はいくつでも)

「お祭り」の割合が86.6%と最も高く、次いで「スポーツ教室・大会」の割合が27.2%、「児童館や公民館でのイベント」の割合が20.2%となっています。また、「参加していない」の割合が8.1%となっています。

回答者数 = 6,874



【学年別】

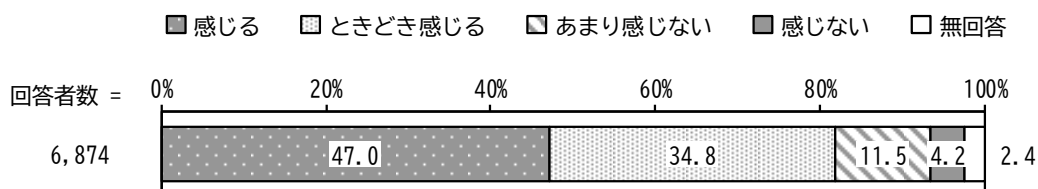
学年別にみると、小学生は中学生よりもほとんどの項目で「参加している」割合が高くなっていますが、参加している内容では、学年で大きな差は見られません。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	お祭り	地域清掃	ラジオ体操	児童館や公民館での イベント	地域でやる防災訓練 などのイベント	スポーツ教室・大会	ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全 体	6,874	86.6	12.2	15.4	20.2	9.4	27.2	15.6	2.2	8.1	0.7
小学2年生	2,499	90.4	12.4	19.7	22.6	12.4	31.1	18.6	3.3	3.7	0.8
小学5年生	2,543	89.3	15.0	18.4	26.0	10.7	29.9	14.6	2.2	6.6	0.6
中学生	1,832	77.7	7.8	5.4	8.8	3.8	18.1	12.9	0.6	16.0	0.6

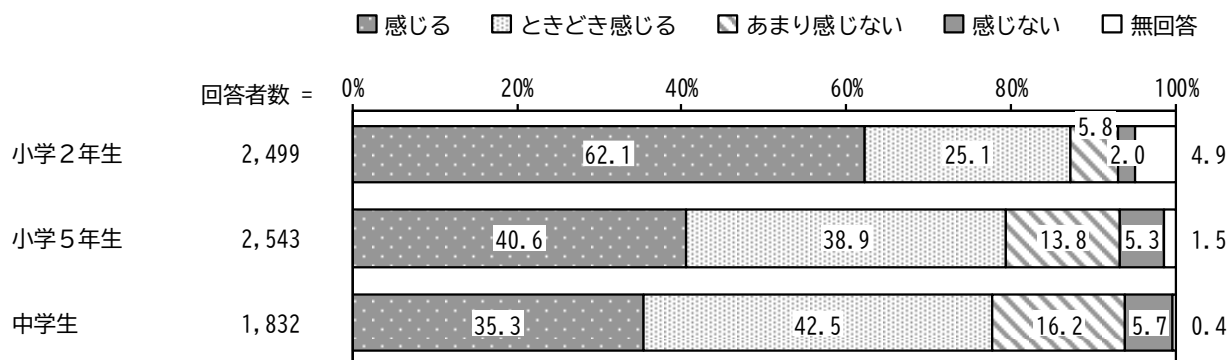
問9 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

「感じる」「ときどき感じる」を合わせた「感じる」の割合が81.8%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた「感じない」の割合が15.7%となっています。



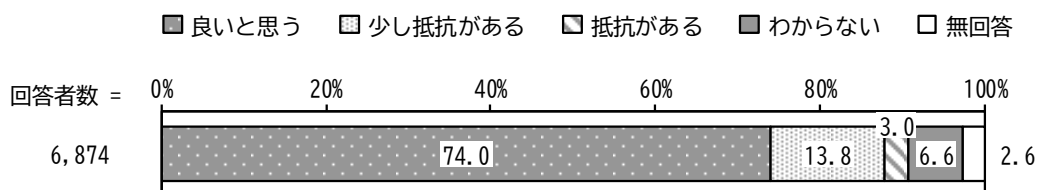
【学年別】

学年別にみると、下の学年ほど、見守られていると感じる割合が高くなっています。



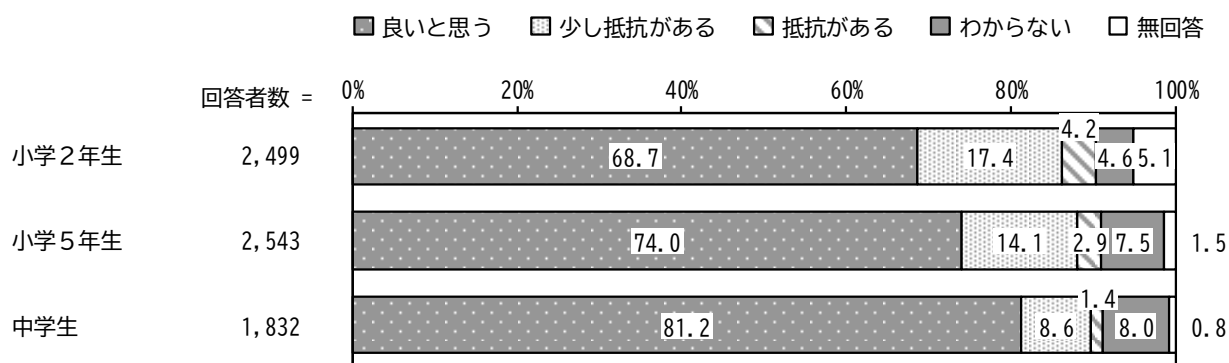
問10 学校の中に地域の大人（授業のお手伝いやボランティアなど）がいることをどう思いますか。（○は1つ）

「良いと思う」の割合が74.0%と最も高く、次いで「少し抵抗がある」の割合が13.8%、「わからない」の割合が6.6%となっています。



【学年別】

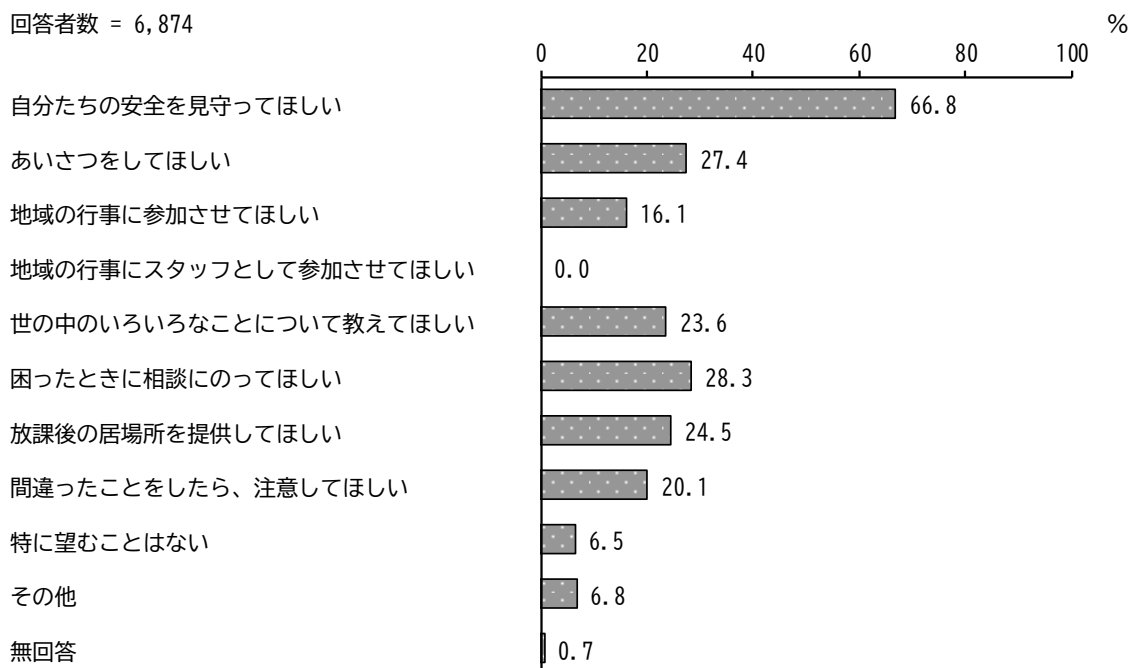
学年別にみると、学年が上がるにつれ、「良いと思う」と回答した割合が高くなっています。



問 11 あなたが地域の大人に望むことは何ですか。(○は3つまで)

「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「困ったときに相談にのってほしい」の割合が 28.3%、「あいさつをしてほしい」の割合が 27.4%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学2年生、小学5年生では「地域の行事にスタッフとして参加させてほしい」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、「自分たちの安全を見守ってほしい」「困ったときに相談にのってほしい」と回答した割合は小学2年生で高くなっています。また、「放課後の居場所を提供してほしい」と回答した割合は小学5年生で高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	地域の行事にスタッフとして参加させてほしい	世の中のいろいろなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	放課後の居場所を提供してほしい	間違ったことをしたら、注意してほしい	特に望むことはない	その他	無回答
全 体	6,874	66.8	27.4	16.1	—	23.6	28.3	24.5	20.1	6.5	6.8	0.7
小学2年生	2,499	77.0	32.6	20.8	—	29.6	37.5	20.2	19.8	0.3	4.2	1.0
小学5年生	2,543	65.3	26.0	15.9	—	23.0	26.6	31.1	20.4	0.4	13.2	0.6
中学生	1,832	54.8	22.3	9.9	—	16.3	18.2	21.4	20.3	23.4	1.6	0.4

【相談者の有無別】

相談者の有無別にみると、「自分たちの安全を見守ってほしい」、「あいさつをしてほしい」、「世の中のいろいろなことについて教えてほしい」、「困ったときに相談にのってほしい」で相談者がいる方の割合が高く、「特に望むことはない」で、相談者がいない方の割合が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数(件)	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	地域の行事に参加させてほしい	世の中のいろいろなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	放課後の居場所を提供してほしい	間違ったことをしたら、注意してほしい	特に望むことはない	その他	無回答
全 体	6,874	66.8	27.4	16.1	0.0	23.6	28.3	24.5	20.1	6.5	6.8	0.7
いる	6,172	68.7	28.5	16.3	0.0	24.2	29.3	24.4	20.6	5.8	5.9	0.5
いない	664	50.2	18.5	14.6	0.0	19.1	20.6	26.8	16.9	13.3	15.2	0.8

【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、「自分たちの安全を見守ってほしい」、「あいさつをしてほしい」、「困ったときに相談にのってほしい」で自己肯定感があると判断する方の割合が高く、「特に望むことはない」で、自己肯定感がないと判断する方の割合が高くなっています。

(単位：％)

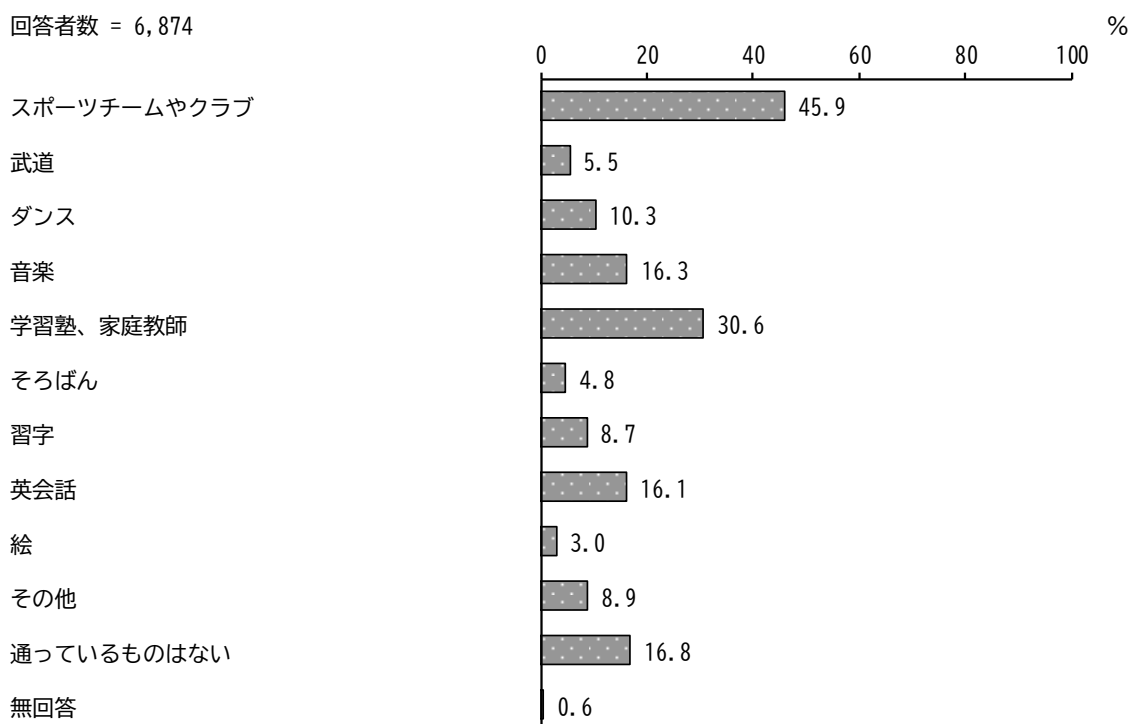
区分	回答者数(件)	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	地域の行事に参加させてほしい	世の中のいろいろなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	放課後の居場所を提供してほしい	間違ったことをしたら、注意してほしい	特に望むことはない	その他	無回答
全 体	6,874	66.8	27.4	16.1	—	23.6	28.3	24.5	20.1	6.5	6.8	0.7
ある	5,659	70.5	29.5	17.2	—	24.8	30.1	24.7	20.8	5.4	4.8	0.4
ない	1,153	49.6	17.3	10.4	—	18.7	20.6	23.8	17.8	12.3	16.8	0.8

(3) 学校以外の勉強や活動（生涯学習）について

問 12 あなたは、習い事や塾に通っていますか。(○はいくつでも)

「スポーツチームやクラブ」の割合が 45.9%と最も高く、次いで「学習塾、家庭教師」の割合が 30.6%、「通っているものはない」の割合が 16.8%となっています。

回答者数 = 6,874



【学年別】

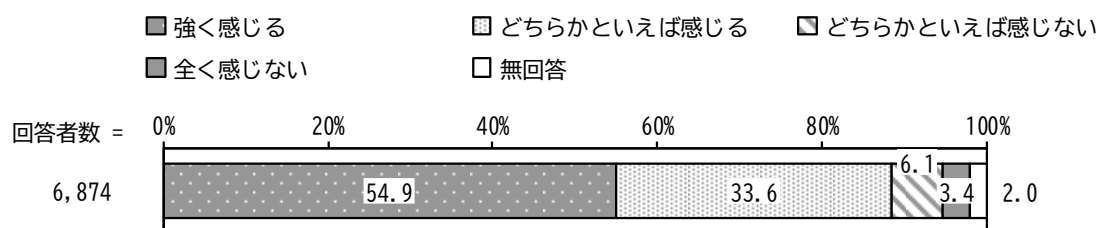
学年別にみると、「スポーツチームやクラブ」で小学生が高くなっています。「学習塾、家庭教師」では学年が上がるにつれ高くなる傾向があります。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	スポーツ チームや クラブ	武道	ダンス	音楽	学習塾、 家庭教師	そろばん	習字	英会話	絵	その他	通 つ て い る も の は な い	無 回 答
全 体	6,874	45.9	5.5	10.3	16.3	30.6	4.8	8.7	16.1	3.0	8.9	16.8	0.6
小学2年生	2,499	56.6	5.4	14.5	20.2	12.7	6.2	7.4	14.6	4.9	12.6	14.5	0.7
小学5年生	2,543	48.5	6.7	9.8	15.9	35.3	5.7	11.0	20.3	2.5	9.3	14.2	0.4
中学生	1,832	27.9	4.1	5.2	11.5	48.5	1.6	7.0	12.5	1.0	3.4	23.7	0.7

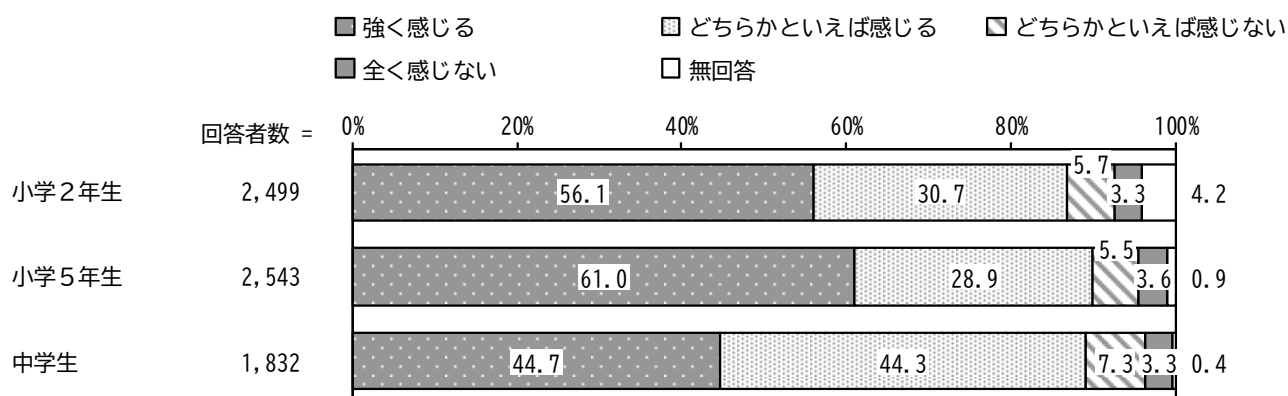
問 13 あなたは、学校以外の勉強や活動が必要だと感じますか。(○は1つ)

「強く感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた”感じる”の割合が 88.5%、「どちらかといえ
ば感じない」「全く感じない」を合わせた”感じない”の割合が 9.5%となっています。



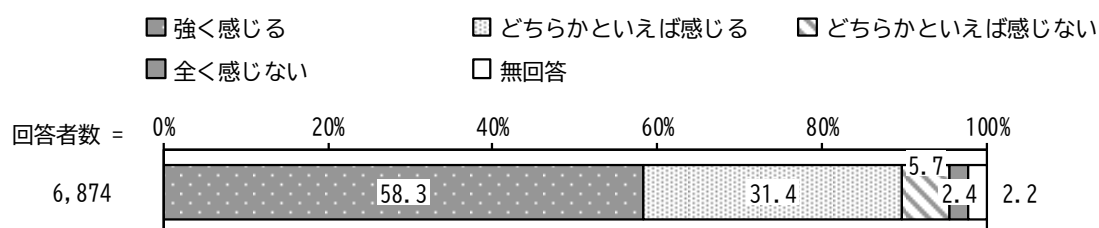
【学年別】

学年別にみると、小学生の半数以上が「強く感じる」と回答しています。



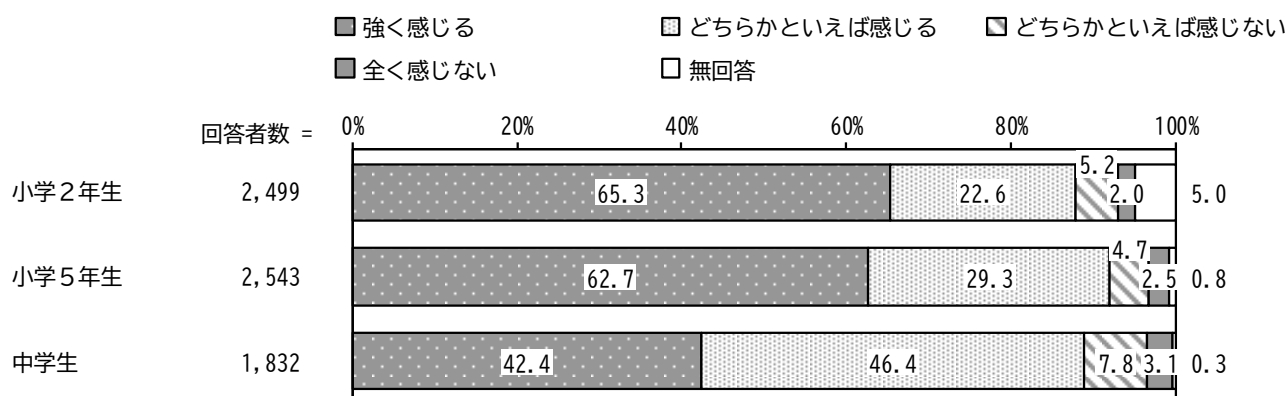
問 14 あなたは、大人になっても学び続けることが必要だと感じますか。(○は1つ)

「強く感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた”感じる”の割合が 89.7%、「どちらかといえ
ば感じない」「全く感じない」を合わせた”感じない”の割合が 8.1%となっています。



【学年別】

学年別にみると、下の学年ほど「強く感じる」と回答している割合が高くなっています。

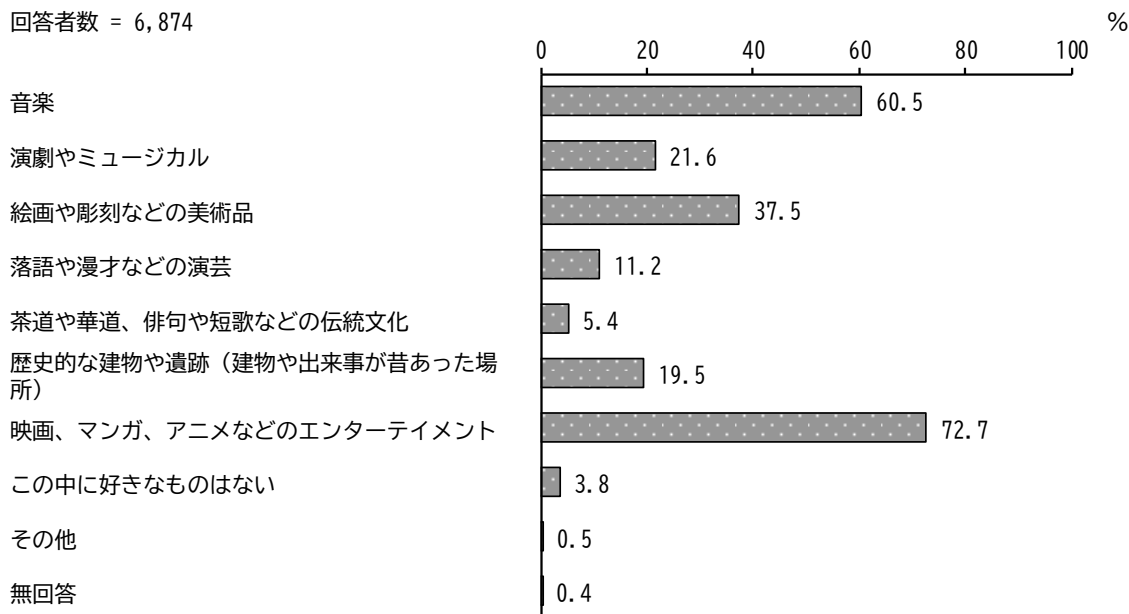


(4) 芸術文化について

問 15 あなたは、次のなかではどんなものが好きですか。(○は3つまで)

「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメント」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「音楽」の割合が 60.5%、「絵画や彫刻などの美術品」の割合が 37.5%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学2年生、小学5年生では「その他」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、「音楽」「落語や漫才などの演芸」「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメント」では学年が上がるにつれ高くなる傾向があります。一方で、「演劇やミュージカル」「絵画や彫刻などの美術品」では学年が上がるにつれ低くなる傾向があります。

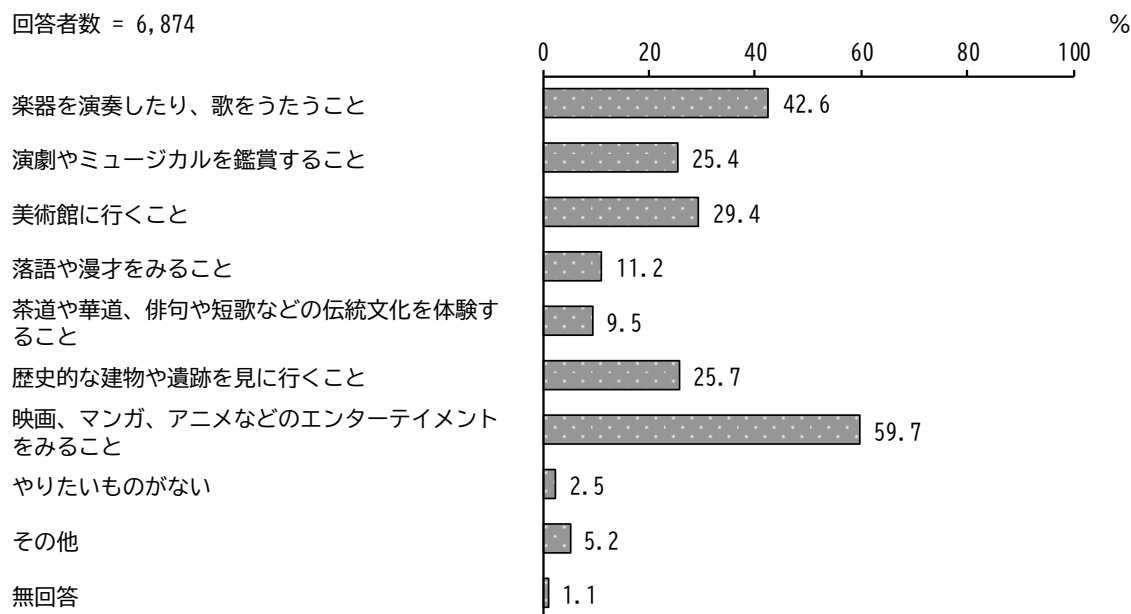
(単位：%)

区分	回答者数 (件)	音楽	演劇やミュージカル	絵画や彫刻などの美術品	落語や漫才などの演芸	茶道や華道、俳句や短歌などの伝統文化	歴史的な建物や遺跡(建物や出来事が昔あった場所)	映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメント	この中に好きなものはない	その他	無回答
全 体	6,874	60.5	21.6	37.5	11.2	5.4	19.5	72.7	3.8	0.5	0.4
小学2年生	2,499	54.9	32.9	58.3	9.3	4.0	15.5	58.0	4.2	—	0.7
小学5年生	2,543	58.0	16.8	32.0	11.2	7.4	22.6	80.1	4.1	—	0.3
中学生	1,832	71.5	12.8	16.8	13.8	4.8	20.6	82.5	2.8	2.0	0.2

問16 あなたは、次のなかでやってみたいことはどんなことですか。(○は3つまで)

「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメントをみること」の割合が59.7%と最も高く、次いで「楽器を演奏したり、歌をうたうこと」の割合が42.6%、「美術館に行くこと」の割合が29.4%となっています。

回答者数 = 6,874



※小学2年生、小学5年生では「やりたいものがない」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、「楽器を演奏したり、歌をうたうこと」「演劇やミュージカルを鑑賞すること」「美術館に行くこと」で小学2年生が高くなっています。また、「映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメントをみること」で小学5年生、中学生が高くなっています。

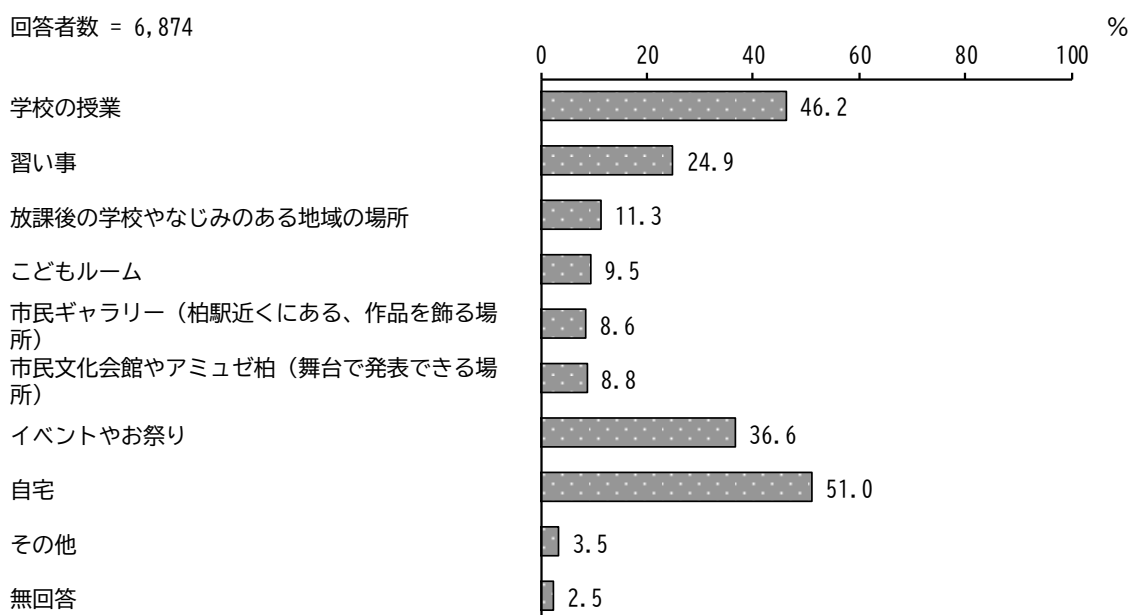
(単位：%)

区分	回答者数(件)	楽器を演奏したり、歌をうたうこと	演劇やミュージカルを鑑賞すること	美術館に行くこと	落語や漫才をみること	茶道や華道、俳句や短歌などの伝統文化を体験すること	歴史的な建物や遺跡を見に行くこと	映画、マンガ、アニメなどのエンターテインメントをみること	やりたいものがない	その他	無回答
全 体	6,874	42.6	25.4	29.4	11.2	9.5	25.7	59.7	2.5	5.2	1.1
小学2年生	2,499	49.9	34.9	39.9	10.6	7.4	28.4	45.8	—	5.3	1.4
小学5年生	2,543	38.0	22.3	28.4	11.6	11.3	22.8	67.6	—	7.0	1.4
中学生	1,832	39.1	16.9	16.5	11.3	9.9	26.1	67.7	9.6	2.7	0.3

問 17 あなたは、上の質問で答えたやってみたいことをどんな場所でやってみたいですか。
(○は3つまで)

「自宅」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「学校の授業」の割合が 46.2%、「イベントやお祭り」の割合が 36.6%となっています。

回答者数 = 6,874



※中学生では「こどもルーム」はありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、「習い事」「こどもルーム」「市民ギャラリー (柏駅近くにある、作品を飾る場所)」で学年が上がるにつれ、低くなる傾向があります。「放課後の学校やなじみのある地域の場所」で中学生が高くなっています。

(単位：%)

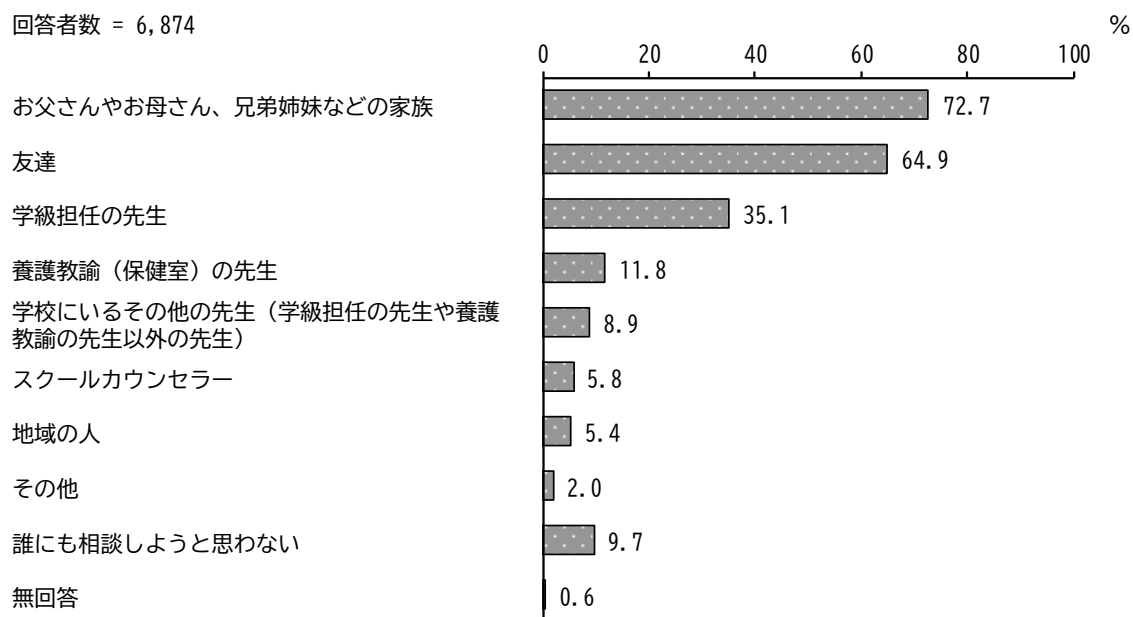
区分	回答者数 (件)	学校の授業	習い事	放課後の学校やなじみのある地域の場所	こどもルーム	市民ギャラリー (柏駅近くにある、作品を飾る場所)	市民文化会館やアミューゼ柏 (舞台で発表できる場所)	イベントやお祭り	自宅	その他	無回答
全 体	6,874	46.2	24.9	11.3	9.5	8.6	8.8	36.6	51.0	3.5	2.5
小学2年生	2,499	46.5	34.2	9.7	21.2	13.6	11.7	35.5	43.0	2.4	1.6
小学5年生	2,543	48.3	24.3	7.4	4.8	6.7	6.6	39.7	57.1	4.2	1.9
中学生	1,832	42.9	13.0	18.8	—	4.5	7.6	34.1	53.3	4.1	4.4

(5) あなた自身のことについて

問 18 あなたは困ったことがあったとき、誰に相談しやすいですか。(〇はいくつでも)

「お父さんやお母さん、兄弟姉妹などの家族」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「友達」の割合が 64.9%、「学級担任の先生」の割合が 35.1%となっています。

回答者数 = 6,874



【学年別】

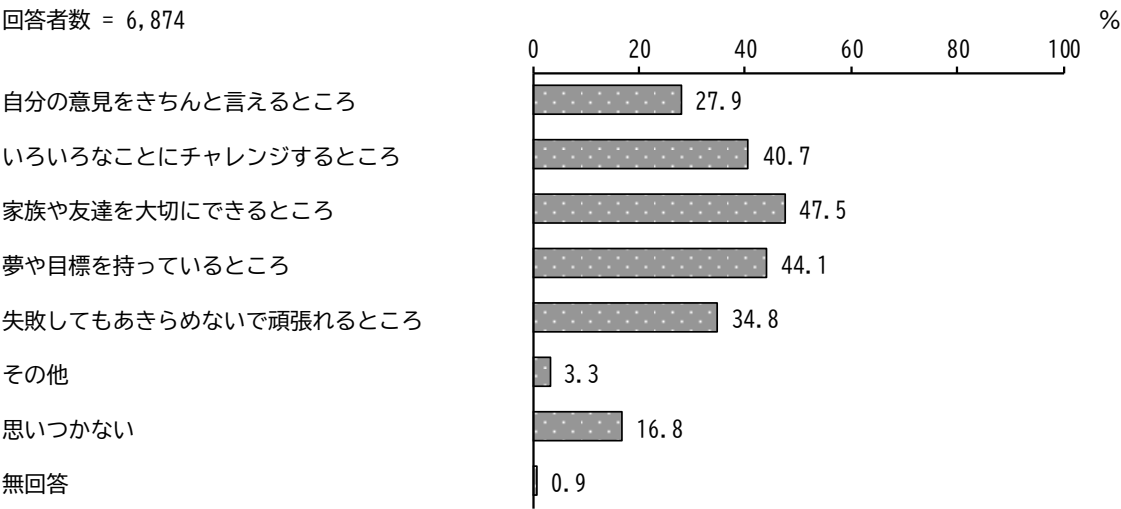
学年別にみると、学年が上がるにつれ、「友達」の割合が高くなり、「お父さんやお母さん、兄弟姉妹などの家族」や「先生」の割合が低くなる傾向があります。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	お父さんやお母さん、 兄弟姉妹などの家族	友達	学級担任の先生	養護教諭（保健室）の先生	学校にいるその他の先生 （学級担任の先生や養護 教諭の先生以外の先生）	スクールカウンセラー	地域の人	その他	誰にも相談しようと思わ ない	無回答
全 体	6,874	72.7	64.9	35.1	11.8	8.9	5.8	5.4	2.0	9.7	0.6
小学2年生	2,499	83.8	60.7	48.9	15.8	11.5	5.9	9.0	2.0	5.1	0.9
小学5年生	2,543	68.2	64.9	28.2	12.7	7.6	5.8	4.3	1.8	12.3	0.5
中学生	1,832	63.6	70.4	26.0	5.1	7.3	5.7	2.0	2.1	12.3	0.2

問 19 あなたのよいところはどんなところだと思いますか。(〇はいくつでも)

「家族や友達を大切にできるところ」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「夢や目標を持っているところ」の割合が 44.1%、「いろいろなことにチャレンジするところ」の割合が 40.7%となっています。



【学年別】

学年別にみると、学年が上がるにつれ、「いろいろなことにチャレンジするところ」「夢や目標を持っているところ」「失敗してもあきらめないで頑張れるところ」が低くなる傾向があります。

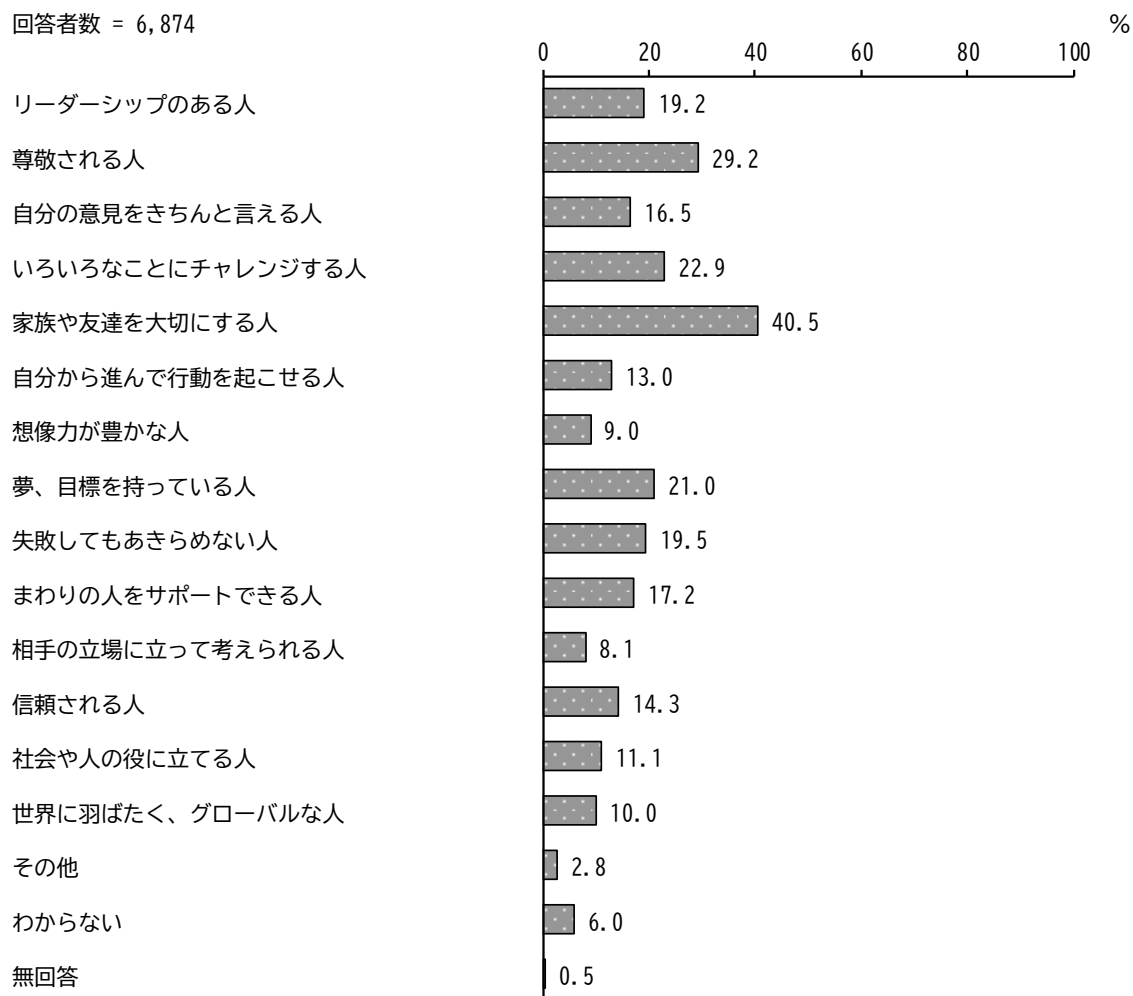
(単位：%)

区分	回答者数 (件)	自分の意見を きちんと言え るところ	いろいろなこ とにチヤレ ンジするこ ところ	家族や友達 を大切に できるこ ところ	夢や目標を 持っている ところ	失敗しても あきらめ ないで頑 張れるこ ところ	その他	思いつ かない	無回 答
全 体	6,874	27.9	40.7	47.5	44.1	34.8	3.3	16.8	0.9
小学2年生	2,499	36.3	56.9	53.3	54.3	48.4	3.7	9.3	1.3
小学5年生	2,543	20.9	33.3	43.5	41.4	27.2	3.1	21.3	0.7
中学生	1,832	26.0	28.8	45.1	33.7	26.7	2.8	20.7	0.6

問 20 将来はどんな人になりたいですか。(○は3つまで)

「家族や友達を大切にする人」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「尊敬される人」の割合が 29.2%、「いろいろなことにチャレンジする人」の割合が 22.9%となっています。

回答者数 = 6,874



【学年別】

学年別にみると、小学生で「世界に羽ばたく、グローバルな人」、中学生で「想像力が豊かな人」「信頼される人」の割合が高くなっています。また、下の学年ほど、「いろいろなことにチャレンジする人」の割合が高い傾向があります。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	リーダーシップ のある人	尊敬される人	自分の意見をきち んと言える人	いろいろなことに チャレンジする人	家族や友達を大切 にする人	自分から進んで行 動を起こせる人	想像力が豊かな人	夢、目標を持って いる人
全 体	6,874	19.2	29.2	16.5	22.9	40.5	13.0	9.0	21.0
小学2年生	2,499	19.2	21.2	15.9	32.7	43.1	12.4	6.1	20.5
小学5年生	2,543	20.9	30.0	16.2	19.0	41.8	13.0	6.0	24.1
中学生	1,832	17.1	39.2	17.8	15.1	35.1	14.0	17.3	17.4

区分	失敗してもあき らめない人	まわりの人をサ ポートできる人	相手の立場に立 って考えられる 人	信頼される人	社会や人の役に 立てる人	く、世界に羽ばた く、グローバル な人	その他	わからない	無回答
全 体	19.5	17.2	8.1	14.3	11.1	10.0	2.8	6.0	0.5
小学2年生	21.9	25.7	6.3	2.7	8.4	11.8	3.3	4.8	1.0
小学5年生	20.1	12.2	8.7	9.8	13.7	12.2	3.2	7.7	0.4
中学生	15.5	12.5	9.7	36.5	11.0	4.5	1.6	5.3	0.1

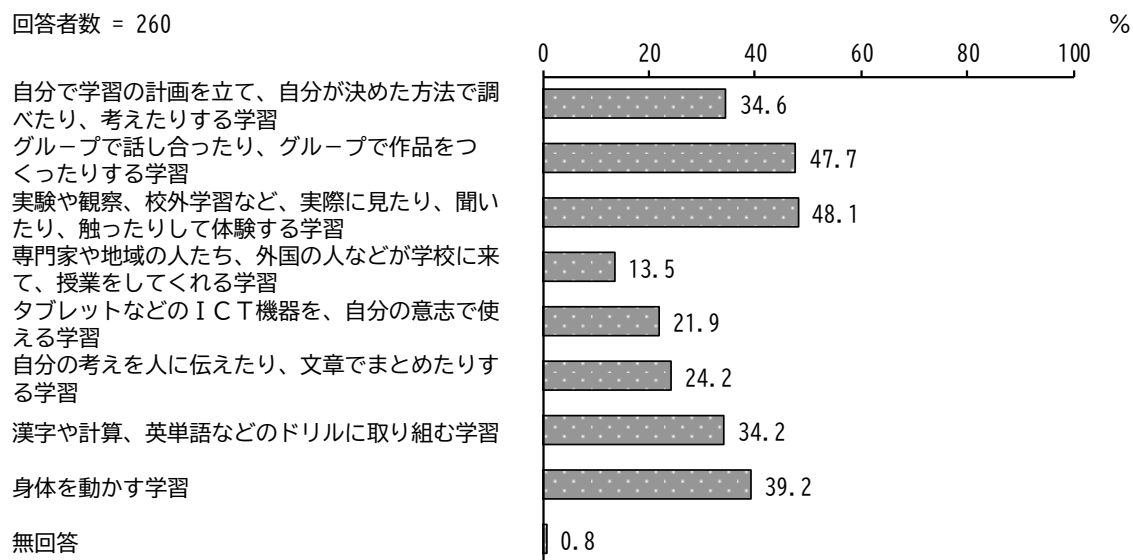
3 高校生

(1) 学校での生活について

問1 あなたはどんな学び方だと、より理解が進むと思いますか。(○は3つまで)

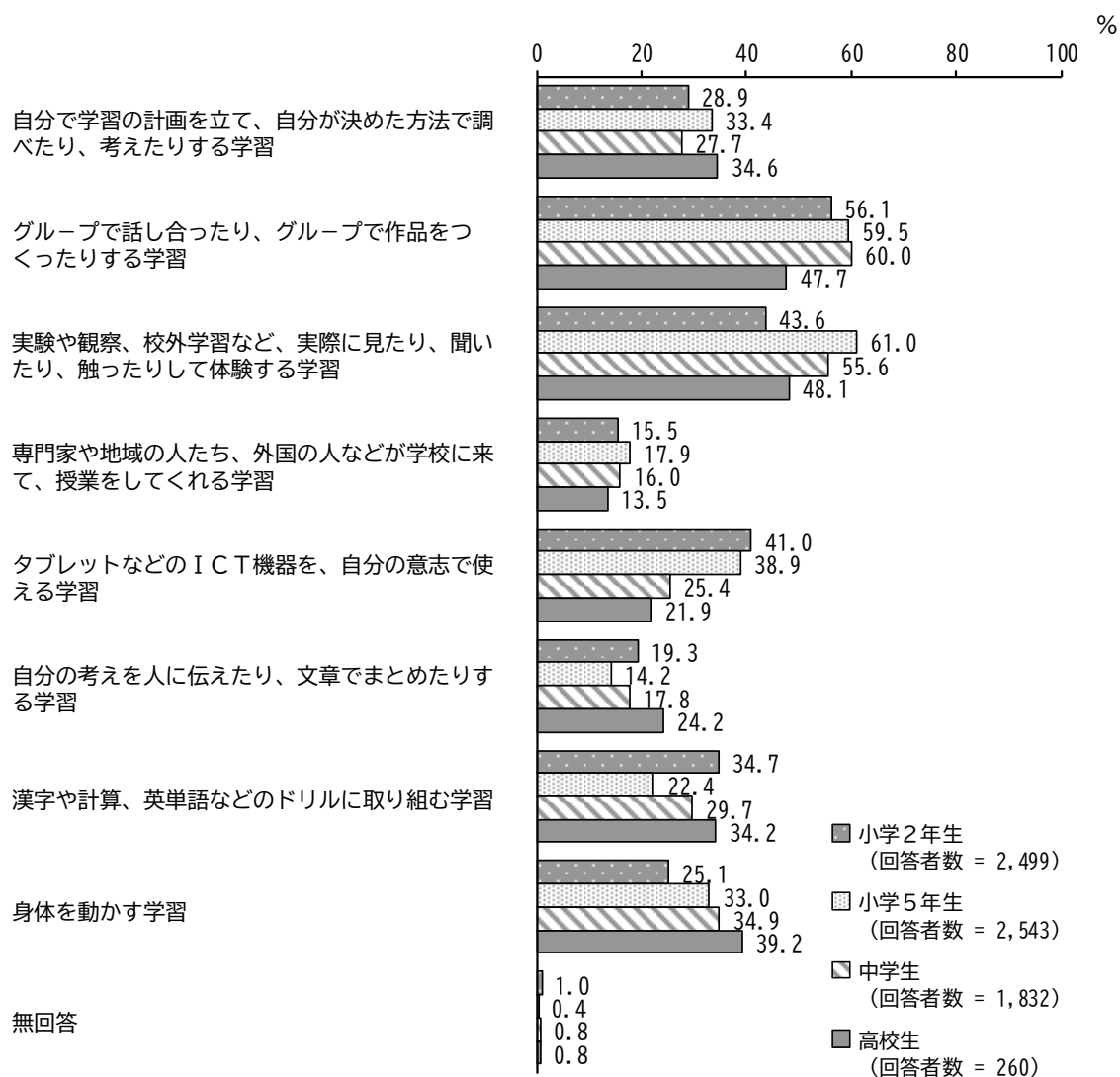
「実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、触ったりして体験する学習」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「グループで話し合ったり、グループで作品をつくったりする学習」の割合が 47.7%、「身体を動かす学習」の割合が 39.2%となっています。

回答者数 = 260



【小中学生との比較】

小中学生との比較でみると、「自分で学習の計画を立て、自分が決めた方法で調べたり、考えたりする学習」や「自分の考えを人に伝えたり、文章でまとめたりする学習」、「身体を動かす学習」について高校生が高くなっています。



【自己肯定感別】

自己肯定感別にみると、「自分で学習の計画を立て、自分が決めた方法で調べたり、考えたりする学習」「漢字や計算、英単語などのドリルに取り組む学習」について、自己肯定感があるの方が高くなっています。一方、「実験や観察、校外学習など、実際に見たり、聞いたり、触ったりして体験する学習」「専門家や地域の人たち、外国の人などが学校に来て、授業をしてくれる学習」について、自己肯定感がなしの方が高くなっています。

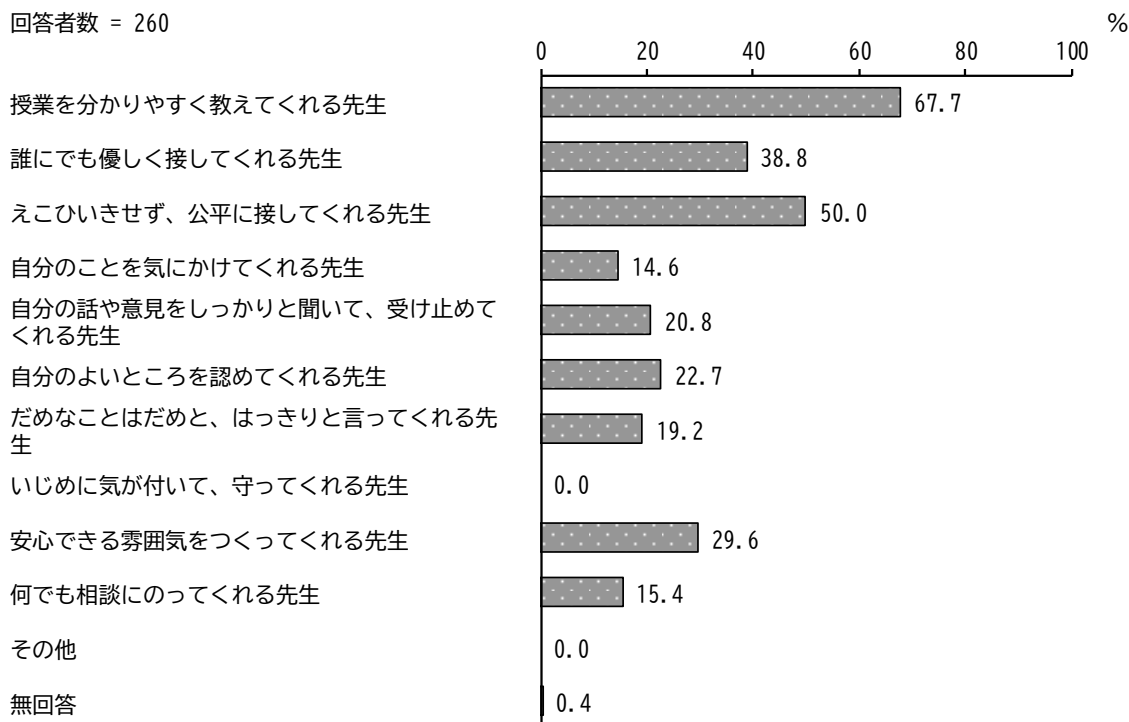
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	自分で学習の計画を立て、 自分が決めた方法で調べた り、考えたりする学習	グループで話し合ったり、 グループで作品をつくった りする学習	実験や観察、校外学習など、 実際に見たり、聞いたり、 触ったりして体験する学習	専門家や地域の人たち、外 国の人などが学校に来て、 授業をしてくれる学習	タブレットなどのICT機 器を、自分の意志で使える 学習	自分の考えを人に伝えた り、文章でまとめたりする 学習	漢字や計算、英単語などの ドリルに取り組む学習	身体を動かす学習	無回答
全 体	260	34.6	47.7	48.1	13.5	21.9	24.2	34.2	39.2	0.8
ある	209	36.4	49.3	46.4	12.4	22.0	24.9	35.9	40.2	—
なし	49	26.5	42.9	55.1	18.4	22.4	22.4	26.5	36.7	2.0

問2 あなたがいいなと思う先生はどんな先生ですか。(○は3つまで)

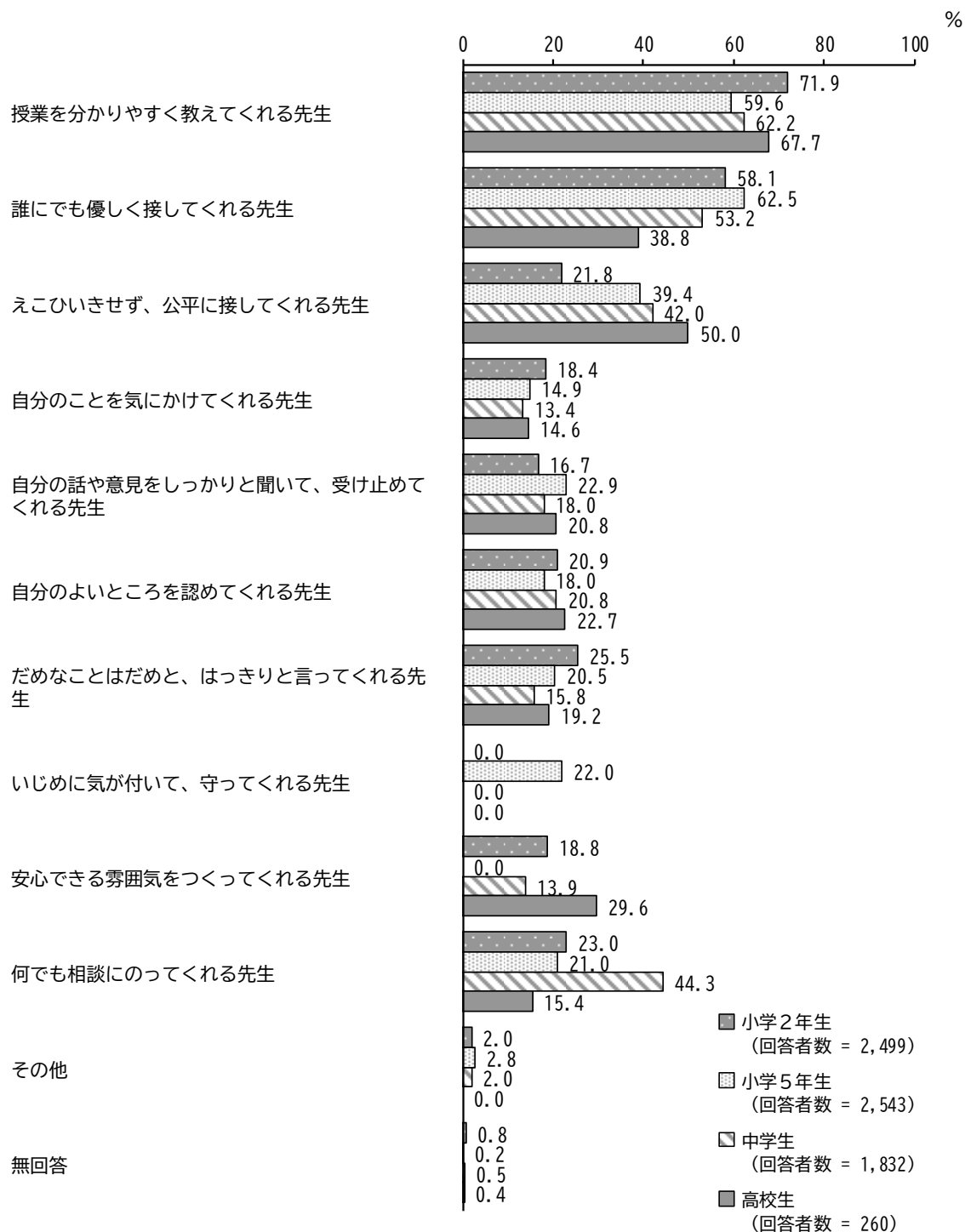
「授業を分かりやすく教えてくれる先生」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」の割合が 50.0%、「誰にでも優しく接してくれる先生」の割合が 38.8%となっています。

回答者数 = 260



【小中学生との比較】

小中学生との比較では、「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」「自分のよいところを認めてくれる先生」「安心できる雰囲気をつくってくれる先生」について高校生が高くなっています。



【相談者の有無別】

相談者の有無別にみると、「授業を分かりやすく教えてくれる先生」「えこひいきせず、公平に接してくれる先生」「自分のよいところを認めてくれる先生」で、相談者がいると回答しているかたの割合が高くなっています。

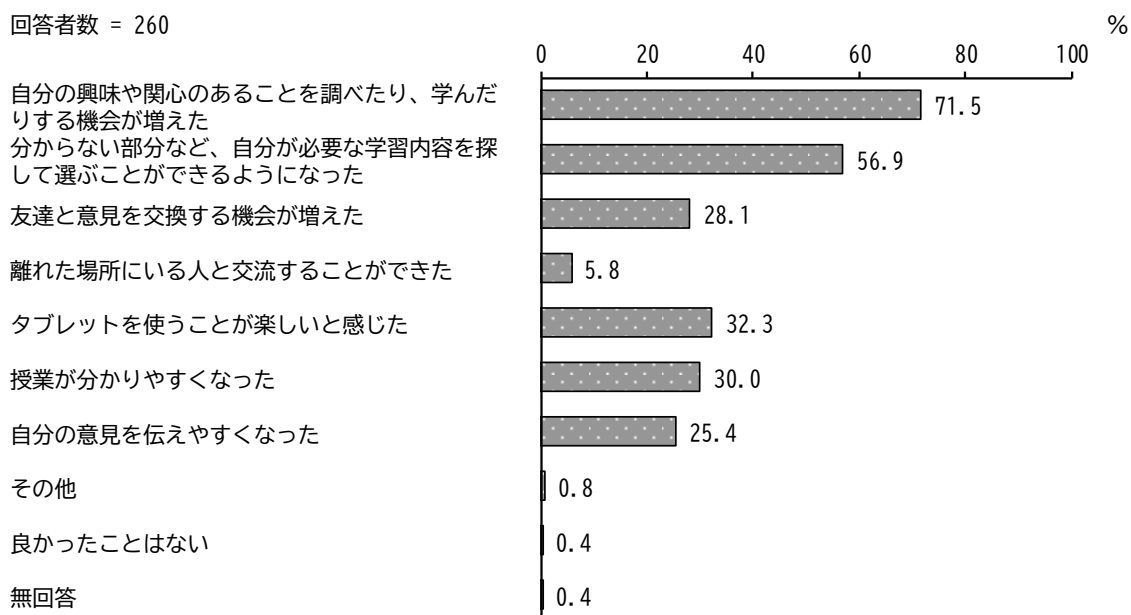
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	授業を分かりやすく教えてくれる先生	誰にでも優しく接してくれる先生	えこひいきせず、公平に接してくれる先生	自分のことを気にかけてくれる先生	自分の話や意見をしっかりと聞いて、受け止めてくれる先生	自分のよいところを認めてくれる先生	だめなことはだめと、はっきりと言ってくれる先生	いじめに気が付いて、守ってくれる先生	安心できる雰囲気をつくってくれる先生	何でも相談にのってくれる先生	その他	無回答
全 体	260	67.7	38.8	50.0	14.6	20.8	22.7	19.2	—	29.6	15.4	—	0.4
いる	237	68.8	38.8	50.6	14.3	21.1	24.5	19.0	—	30.0	15.2	—	—
いない	22	59.1	40.9	45.5	18.2	18.2	4.5	22.7	—	27.3	18.2	—	—

問3 タブレットを使った授業を受けて良かったことは何ですか。(〇はいくつでも)

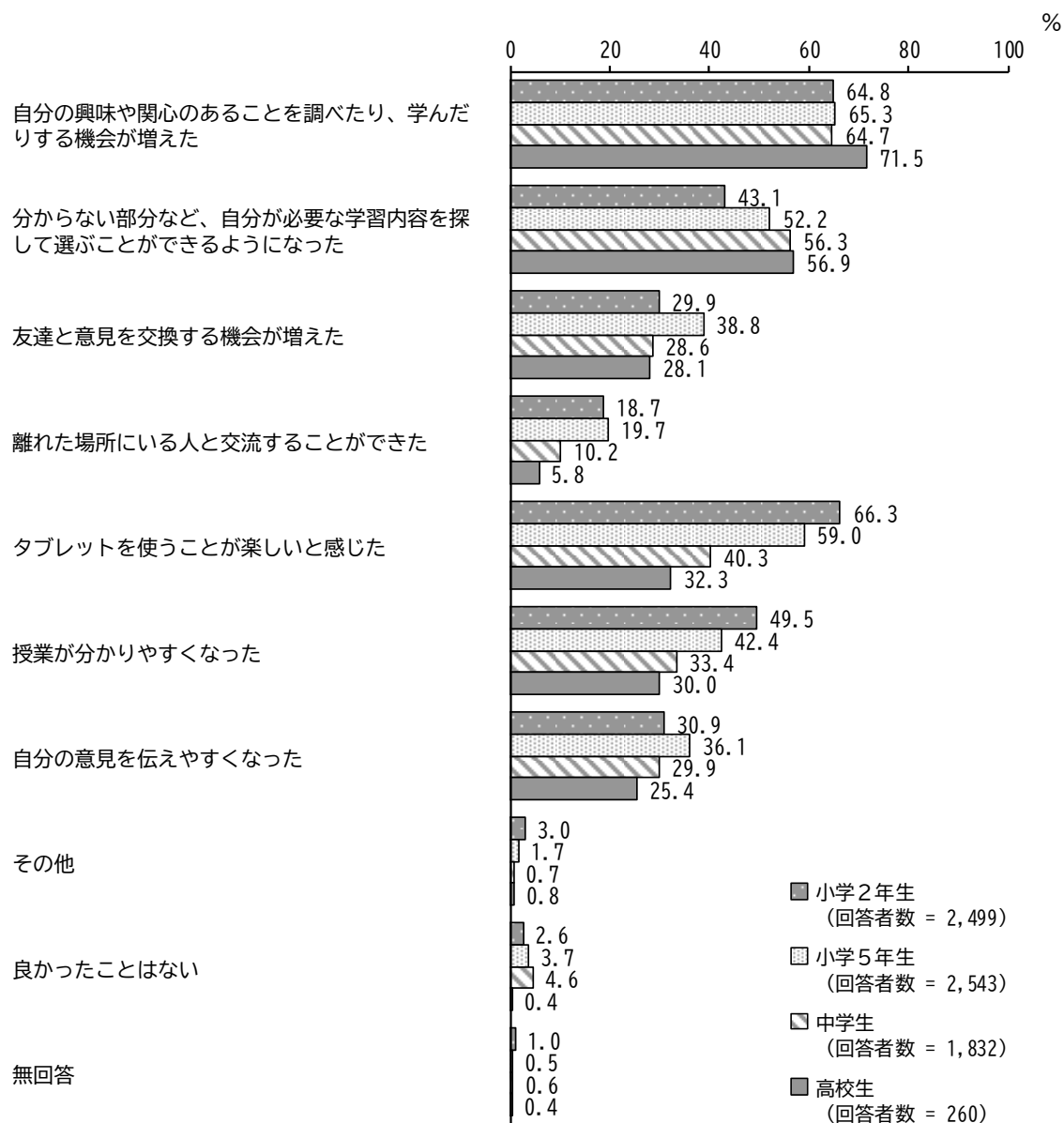
「自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた」の割合が 71.5%と最も高く、次いで「分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった」の割合が 56.9%、「タブレットを使うことが楽しいと感じた」の割合が 32.3%となっています。

回答者数 = 260



【小中学生との比較】

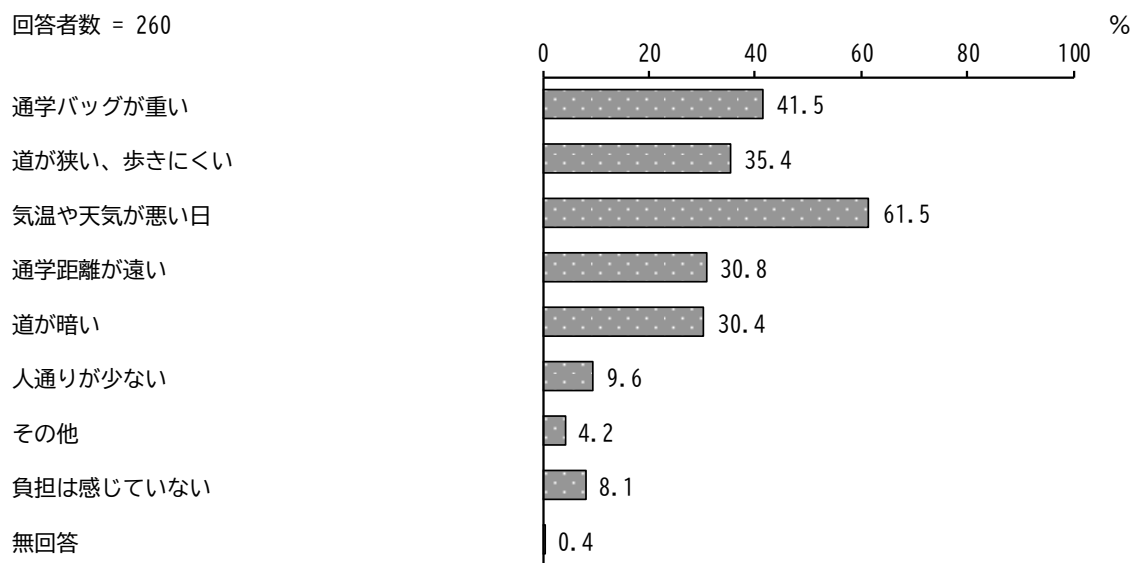
小中学生との比較では、「自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた」や「分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった」について高校生で高くなっています。



問4 学校の登下校時に負担となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

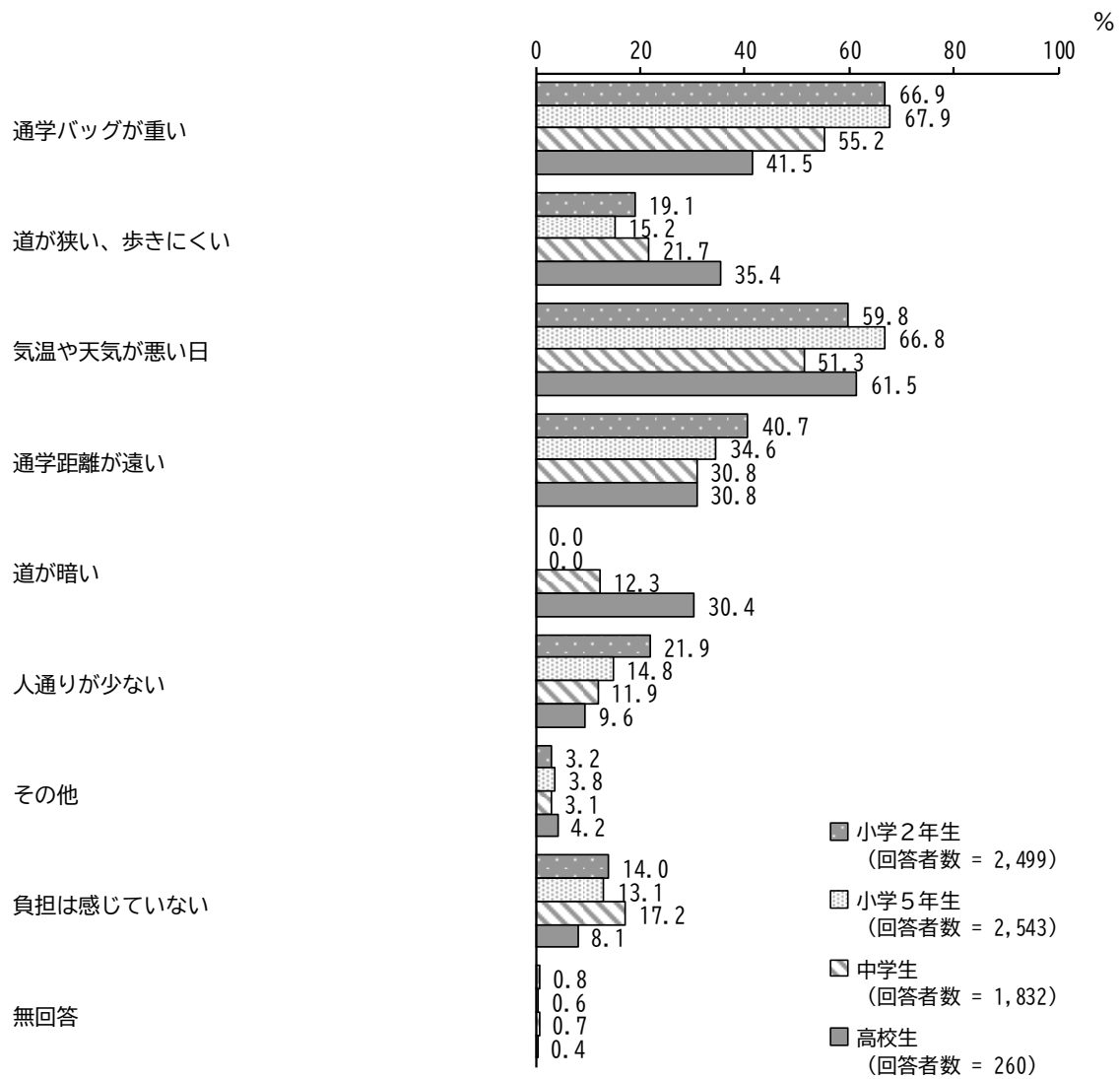
「気温や天気が悪い日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「通学バッグが重い」の割合が41.5%、「道が狭い、歩きにくい」の割合が35.4%となっています。

回答者数 = 260



【小中学生との比較】

小中学生との比較では、「道が狭い、歩きにくい」「道が暗い」について高校生で高くなっています。



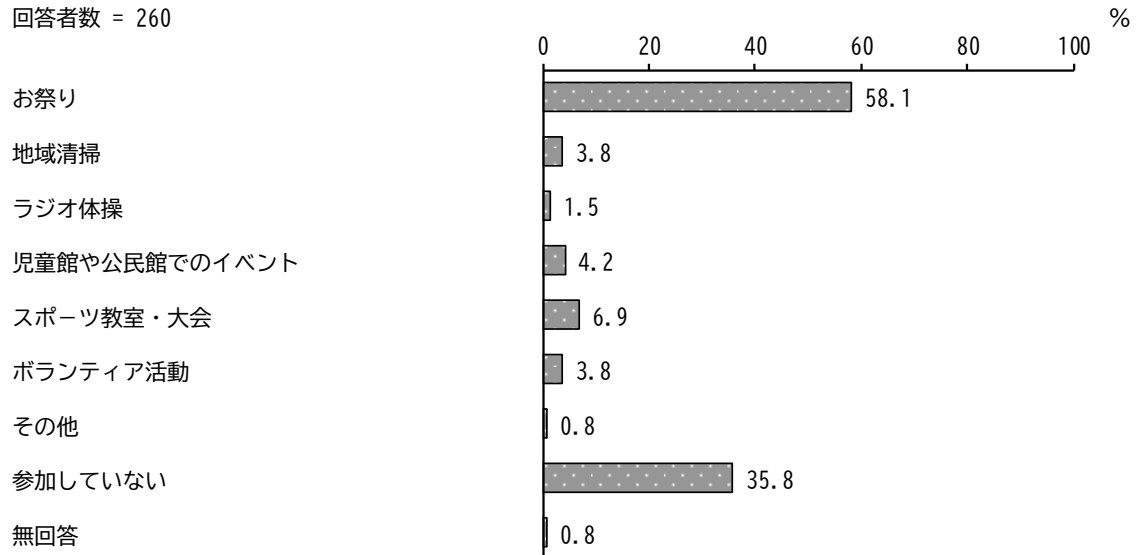
(2) 地域のかたとの関わり方について

問6 地域のイベントなどに参加していますか。(○はいくつでも)

「お祭り」の割合が58.1%と最も高く、次いで「スポーツ教室・大会」の割合が6.9%、「児童館や公民館でのイベント」の割合が4.2%となっています。

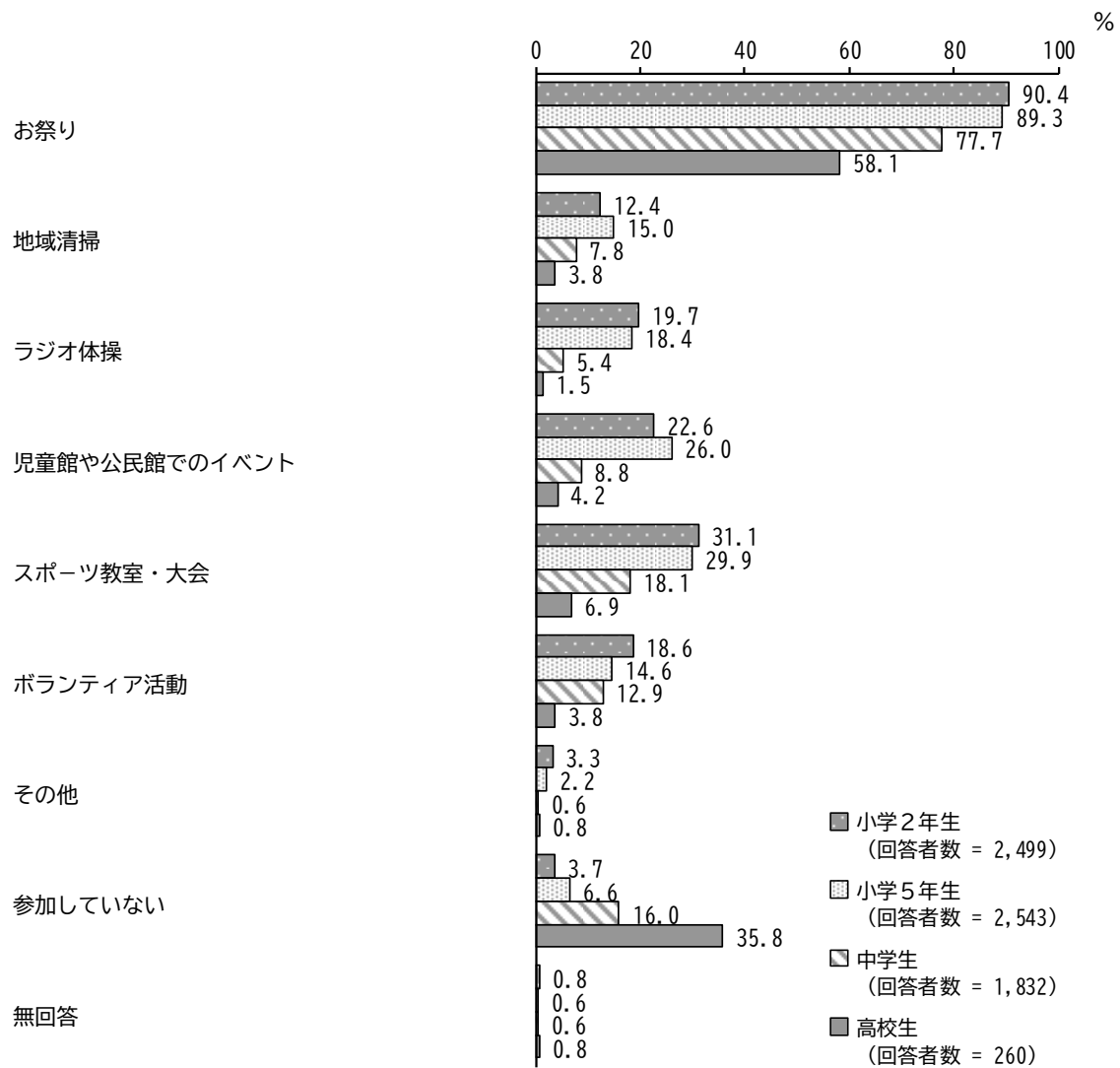
また、「参加していない」の割合は35.8%となっています。

回答者数 = 260



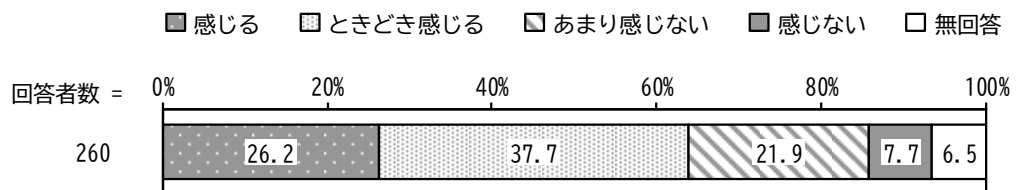
【小中学生との比較】

小中学生との比較では、「参加していない」割合が高くなっています。



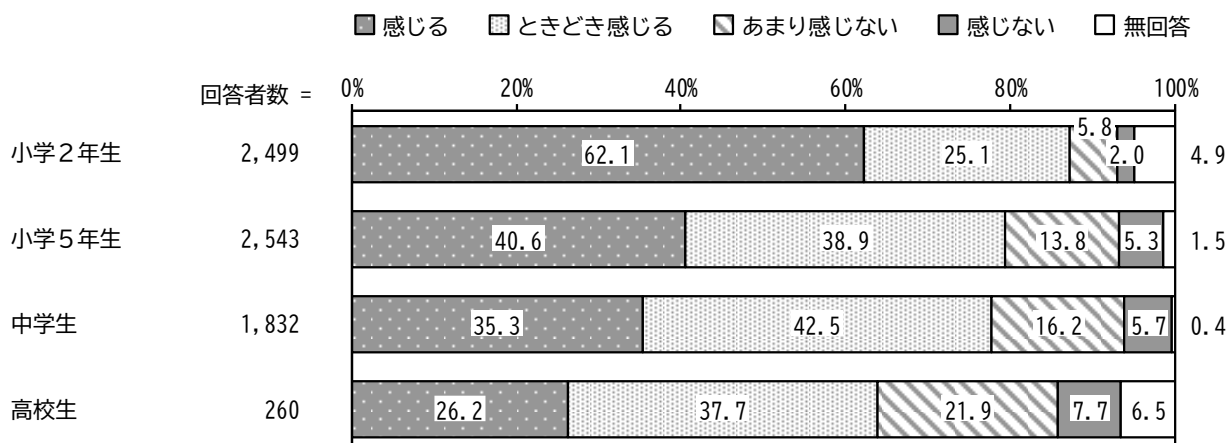
問7 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

「感じる」「ときどき感じる」を合わせた”感じる”の割合が 63.9%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた”感じない”の割合が 29.6%となっています。



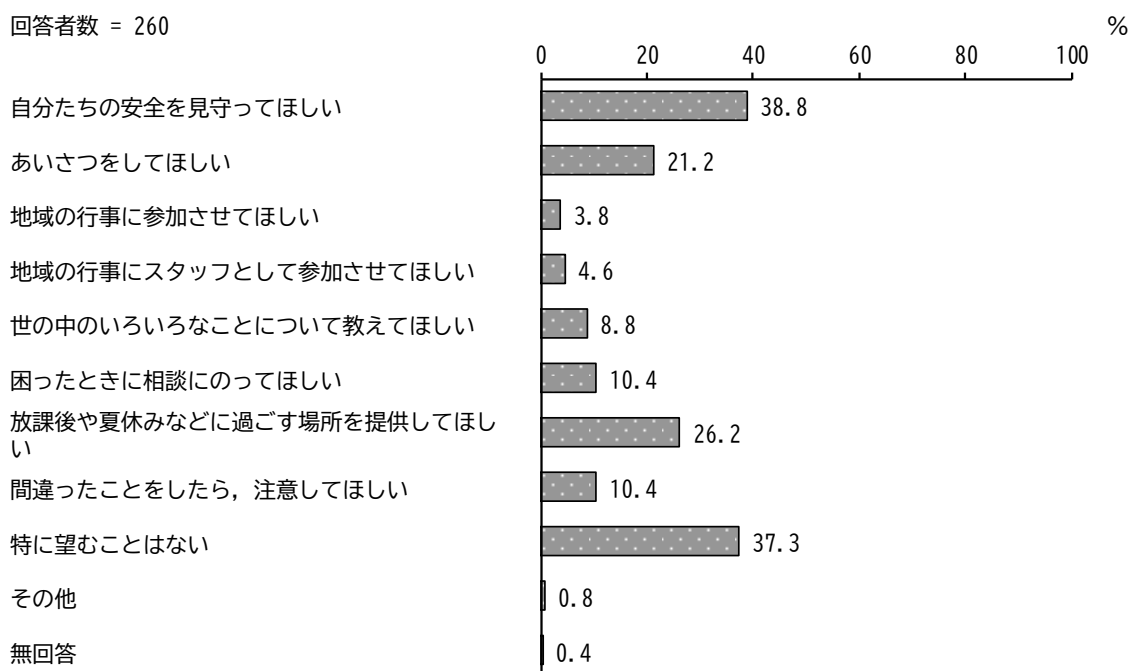
【小中学生との比較】

小中学生との比較にみると、「あまり感じない」割合が高くなっています。



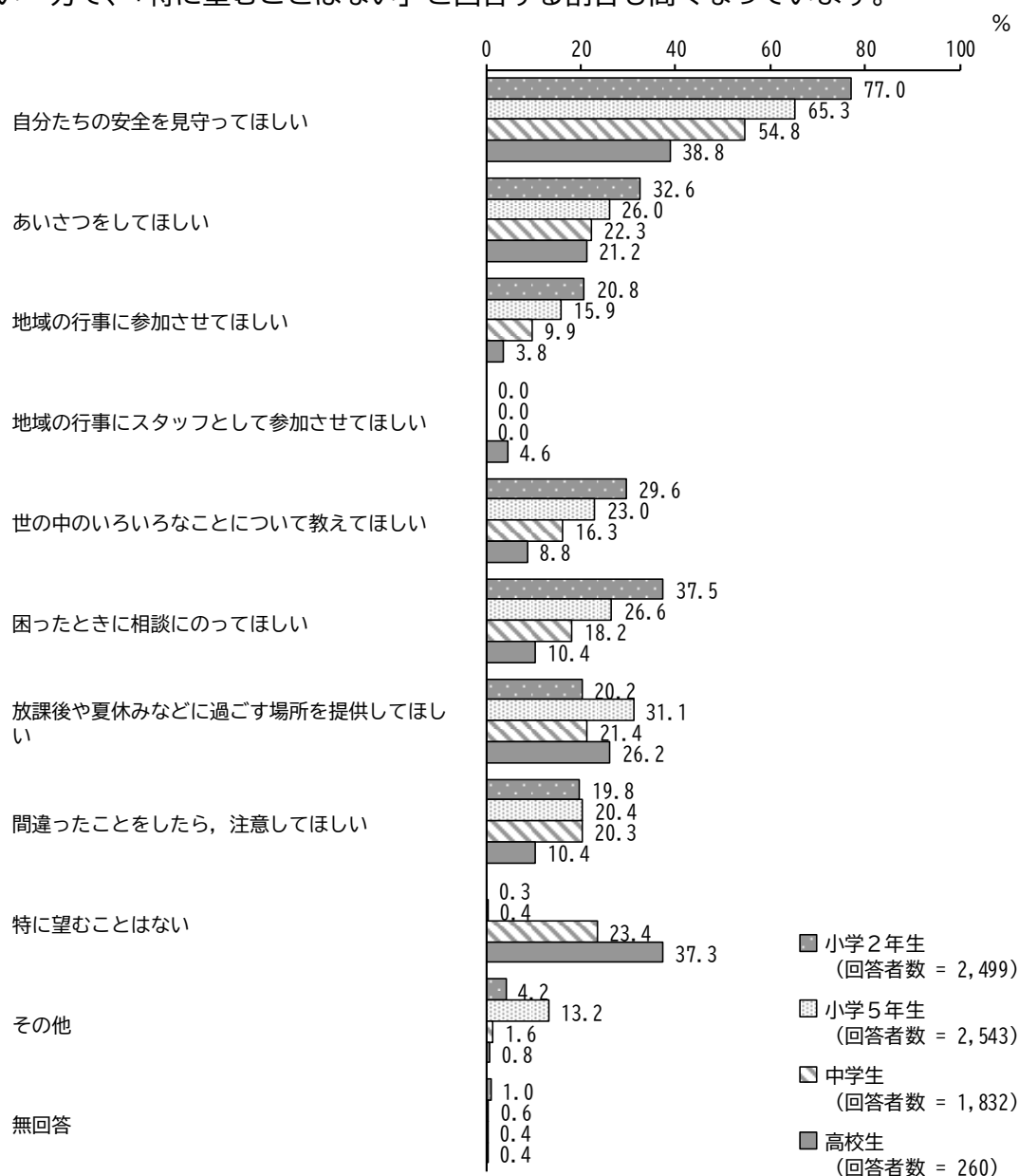
問8 あなたが地域の大人に望むことは何ですか。(○は3つまで)

「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「放課後や夏休みなどに過ごす場所を提供してほしい」の割合が 26.2%、「あいさつをしてほしい」の割合が 21.2%となっています。また、「特に望むことはない」の割合は 37.3%となっています。



【小中学生との比較】

小中学生との比較にみると、小中学生と同様、「自分たちの安全を見守ってほしい」と回答する割合が多い一方で、「特に望むことはない」と回答する割合も高くなっています。



【相談者の有無別】

相談者の有無別にみると、「自分たちの安全を見守ってほしい」、「あいさつをしてほしい」、「困ったときに相談にのってほしい」でいるの方が高く、「世の中のいろいろなことについて教えてほしい」「間違ったことをしたら、注意してほしい」「間違ったことをしたら、注意してほしい」でいないの方が高くなっています。

(単位：％)

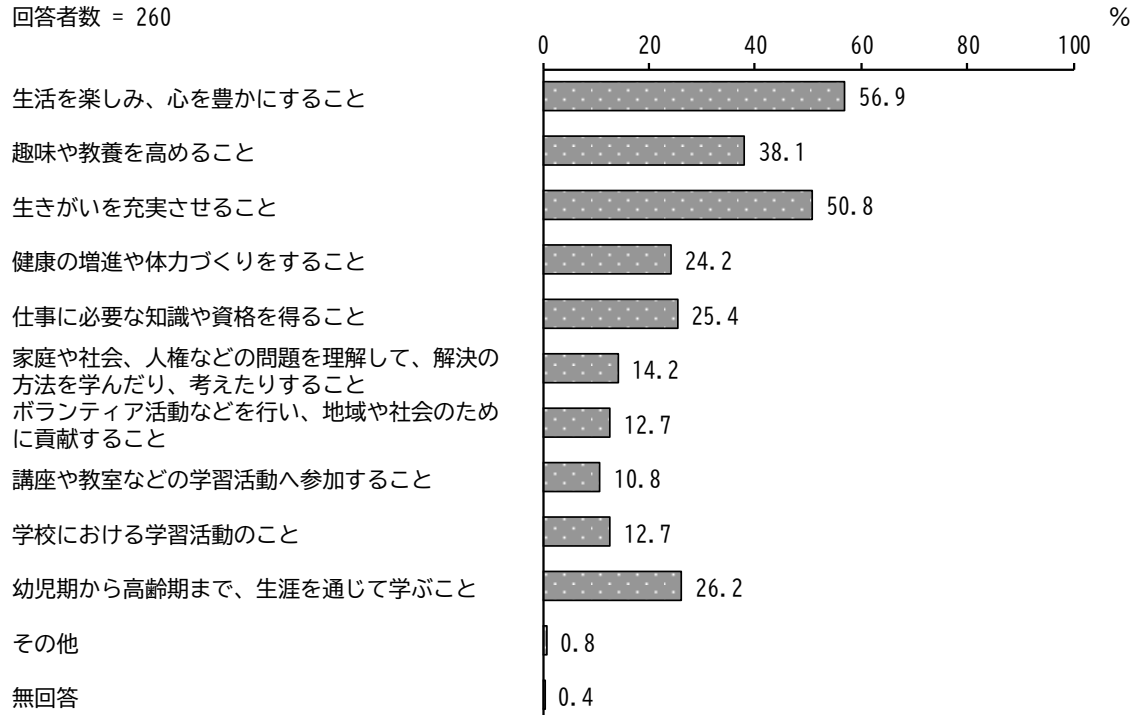
区分	回答者数(件)	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	地域の行事にスタッフとして参加させてほしい	世の中のいろいろなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	放課後や夏休みなどに過ごす場所を提供してほしい	間違ったことをしたら、注意してほしい	特に望むことはない	その他	無回答
全 体	260	38.8	21.2	3.8	4.6	8.8	10.4	26.2	10.4	37.3	0.8	0.4
い る	237	40.5	22.4	3.8	3.4	8.4	11.0	26.6	9.7	37.6	0.8	—
い ない	22	22.7	9.1	4.5	18.2	13.6	4.5	22.7	18.2	36.4	—	—

(3) 学校以外の勉強や活動（生涯学習）について

問9 あなたは、「生涯学習」ということばから、どのようなイメージを持ちますか。
(○はいくつでも)

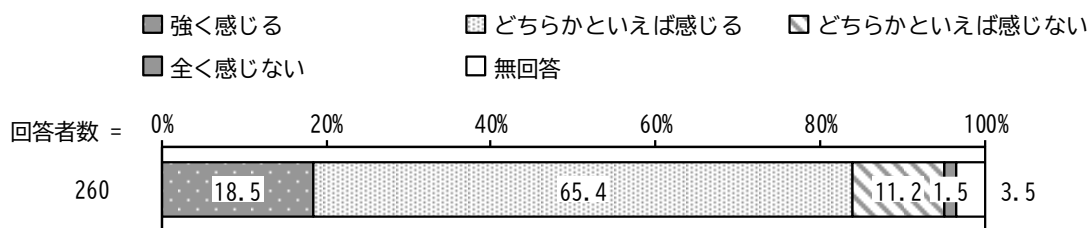
「生活を楽しむ、心を豊かにすること」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「生きがいを充実させること」の割合が 50.8%、「趣味や教養を高めること」の割合が 38.1%となっています。

回答者数 = 260



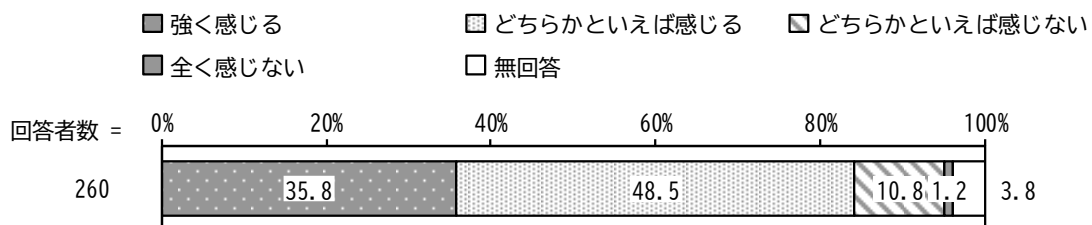
問 10 あなたは、生涯学習を行うことが必要だと感じますか。(○は1つ)

「強く感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた”感じる”の割合が 83.9%、「どちらかといえ
ば感じない」「全く感じない」を合わせた”感じない”の割合が 12.7%となっています。



問 11 あなたは、大人になっても学び続けることが必要だと感じますか。(○は1つ)

「強く感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた”感じる”の割合が 84.3%、「どちらかといえ
ば感じない」「全く感じない」を合わせた”感じない”の割合が 12.0%となっています。

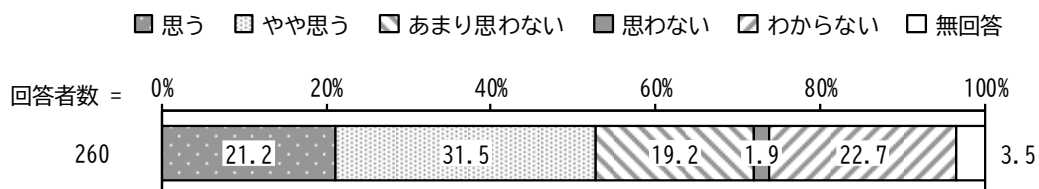


(4) 芸術文化について

問 12～14 は“柏市の芸術文化活動”についてお答えください。

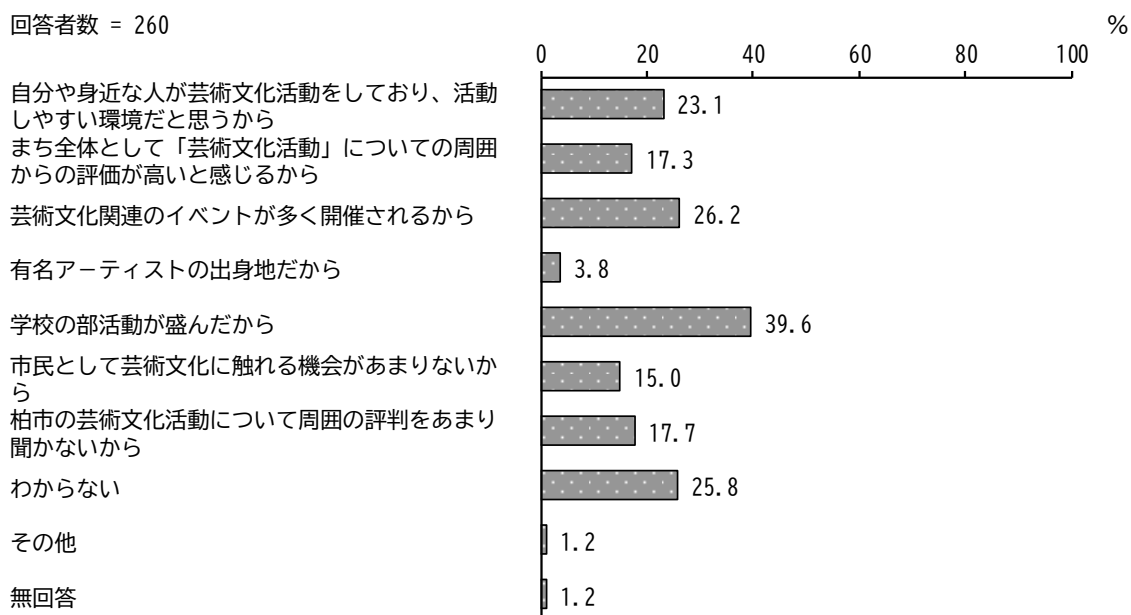
問 12 あなたは、柏市は芸術文化活動が盛んだと思いますか。(○は1つ)

「思う」「やや思う」を合わせた”思う”の割合が 52.7%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が 21.1%となっています。



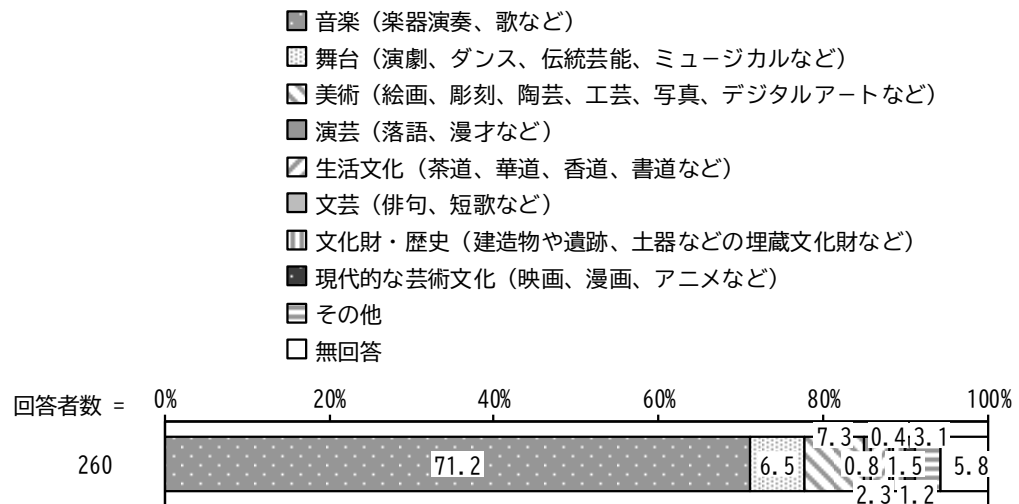
問 13 問 12 で選んだ理由は何ですか。(○は3つまで)

「学校の部活動が盛んだから」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「芸術文化関連のイベントが多く開催されるから」の割合が 26.2%、「自分や身近な人が芸術文化活動をしており、活動しやすい環境だと思うから」の割合が 23.1%となっています。



問 14 あなたが柏市で盛んだと思う活動は何ですか。(○は1つ)

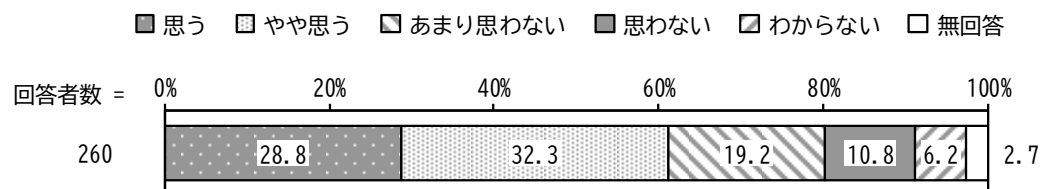
「音楽（楽器演奏、歌など）」の割合が71.2%と最も高く、次いで「美術（絵画、彫刻、陶芸、工芸、写真、デジタルアートなど）」の割合が7.3%、「舞台（演劇、ダンス、伝統芸能、ミュージカルなど）」の割合が6.5%となっています。



柏市に限らず“芸術文化全般”としてお答えください。

問 15 あなたは、芸術文化を鑑賞したいと思いますか。(○は1つ)

「思う」「やや思う」を合わせた“思う”の割合が61.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が30.0%となっています。

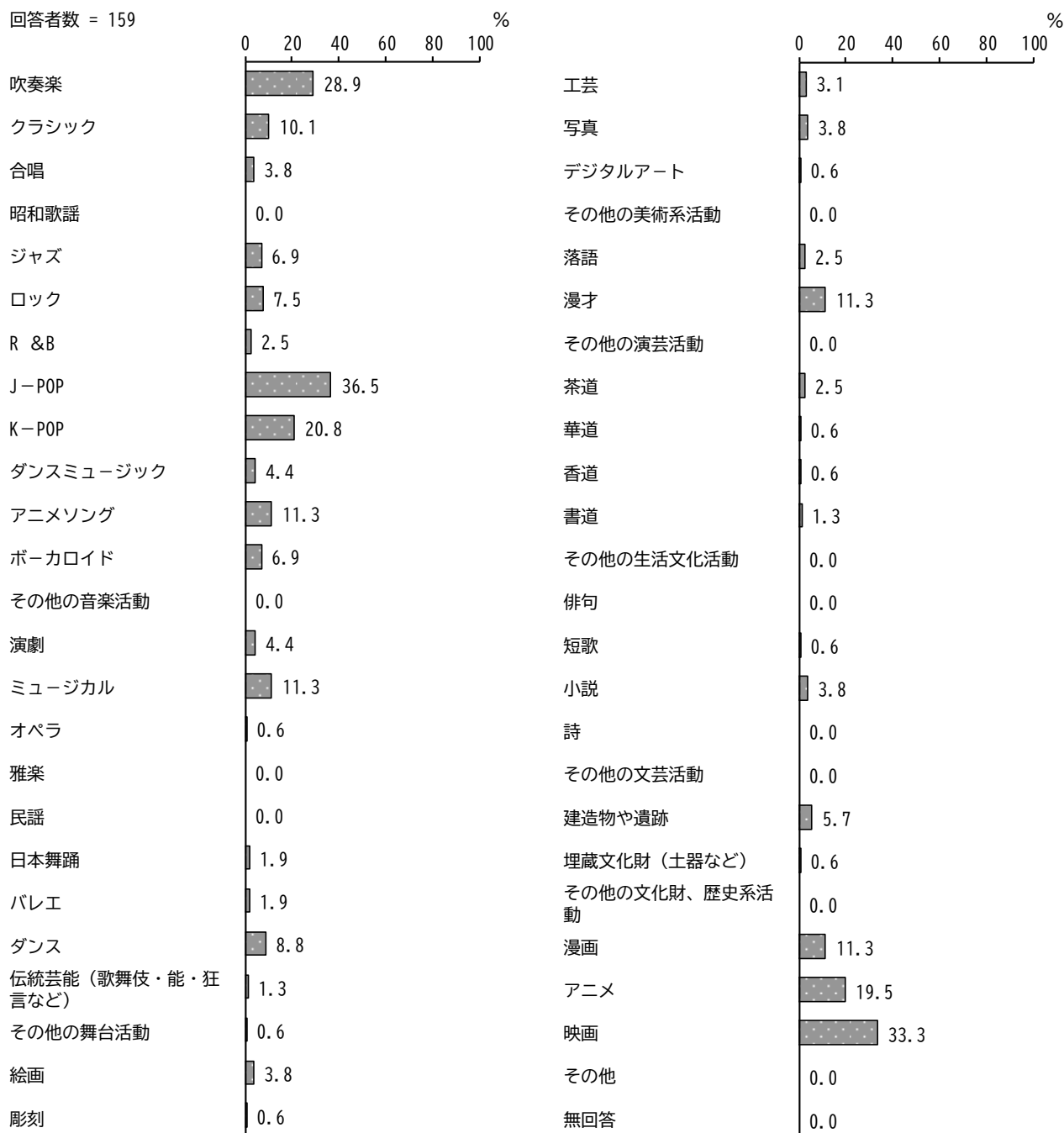


問15で「1 思う」「2 やや思う」と回答したかたにお尋ねします。

問16 あなたは、今後、どのような分野の芸術文化の鑑賞をしたいですか。
(○は1～49のなかから3つまで)

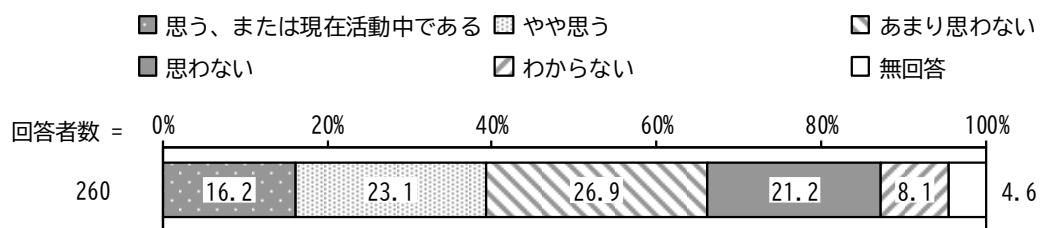
「J-POP」の割合が36.5%と最も高く、次いで「映画」の割合が33.3%、「吹奏楽」の割合が28.9%となっています。

回答者数 = 159



問 17 あなたは、芸術文化活動を始めたり、参加したりしたいと思いますか。(○は1つ)

「思う、または現在活動中である」「やや思う」を合わせた”思う”の割合が 39.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が 48.1%となっています。

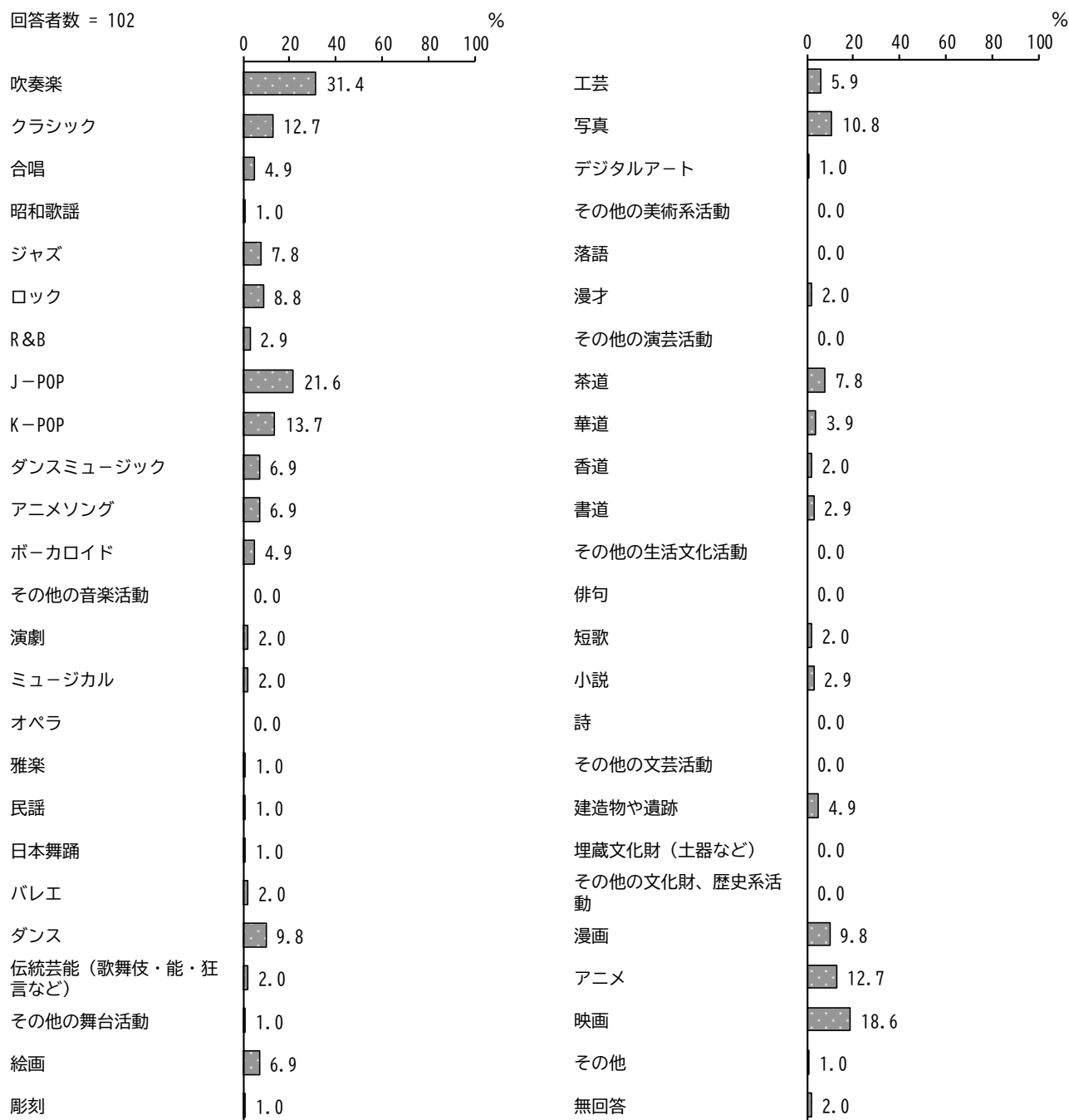


問17で「1 思う、または現在活動中である」「2 やや思う」と回答したかたにお尋ねします。

問18 あなたは、今後、どのような分野の芸術文化に参加または活動したいと思いますか。
(○は1～49のなかから3つまで)

「吹奏楽」の割合が31.4%と最も高く、次いで「J-POP」の割合が21.6%、「映画」の割合が18.6%となっています。

回答者数 = 102

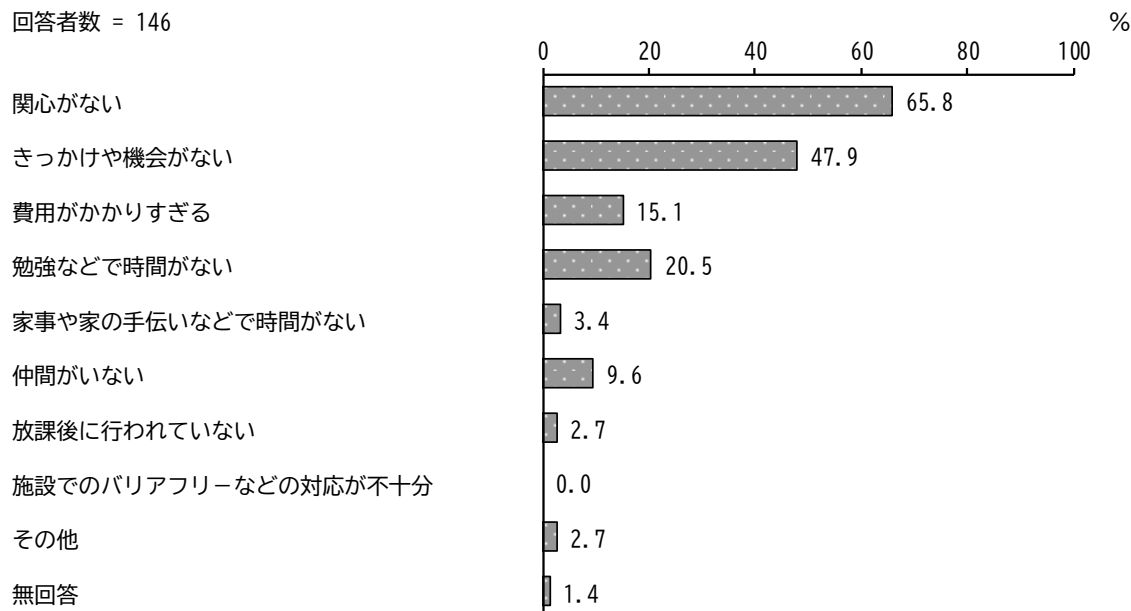


問17で「3 あまり思わない」「4 思わない」「5 わからない」と回答したかたにお尋ねします。

問19 あなたが芸術文化活動を始めたり、参加したいと思わない理由は何ですか。
(○は3つまで)

「関心がない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「きっかけや機会がない」の割合が47.9%、「勉強などで時間がない」の割合が20.5%となっています。

回答者数 = 146



【芸術文化活動に関わりたいと思う形態別】

芸術文化活動に関わりたいと思う形態別にみると、「費用がかかりすぎる」について活動費が安く済むもので高く、「勉強などで時間がない」についてオンラインで場所を選ばずにできるもので高く、「放課後に行われていない」についてイベント時におけるボランティアとして、気軽に参加できるもので高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数 (件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	勉強などで時間がない	家事や家の手伝いなどで時間がない	仲間がいない	放課後に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全 体	146	65.8	47.9	15.1	20.5	3.4	9.6	2.7	—	2.7	1.4
イベント時におけるボランティアとして、気軽に参加できるもの	31	58.1	61.3	25.8	32.3	3.2	19.4	9.7	—	6.5	3.2
市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの	33	63.6	57.6	18.2	33.3	3.0	15.2	9.1	—	9.1	3.0
オンラインで場所を選ばずにできるもの	17	70.6	58.8	29.4	47.1	5.9	17.6	—	—	—	5.9
活動費が安く済むもの	31	54.8	67.7	45.2	29.0	—	12.9	3.2	—	3.2	—
時間を自由に選びやすい内容であるもの	62	59.7	59.7	27.4	30.6	—	11.3	6.5	—	3.2	1.6
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特になし	56	80.4	35.7	5.4	8.9	5.4	5.4	—	—	1.8	—

【芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思うか別】

芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思うか別にみると、「きっかけや機会がない」について「思わない」と回答したかたの割合が低く、「家事や家の手伝いなどで時間がない」について「とても思う」と回答したかたの割合が高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	勉強などで時間がない	家事や家の手伝いなどで時間がない	仲間がいない	放課後に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全 体	146	65.8	47.9	15.1	20.5	3.4	9.6	2.7	—	2.7	1.4
とても思う	11	27.3	54.5	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	—	—	—
思う	71	60.6	56.3	18.3	26.8	1.4	14.1	2.8	—	4.2	1.4
あまり思わない	27	77.8	40.7	11.1	7.4	3.7	—	3.7	—	—	—
思わない	15	86.7	26.7	13.3	6.7	6.7	—	—	—	—	—
わからない	18	83.3	38.9	11.1	16.7	5.6	5.6	—	—	5.6	—

【芸術文化を伝えていくために大切だと思う取り組み別】

芸術文化を伝えていくために大切だと思う取り組み別にみると、「費用がかかりすぎる」について建造物や遺跡・歴史資料の保存活用で高く、「家事や家の手伝いなどで時間がない」について歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアーで高く、「放課後に行われていない」について市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実で高くなっています。

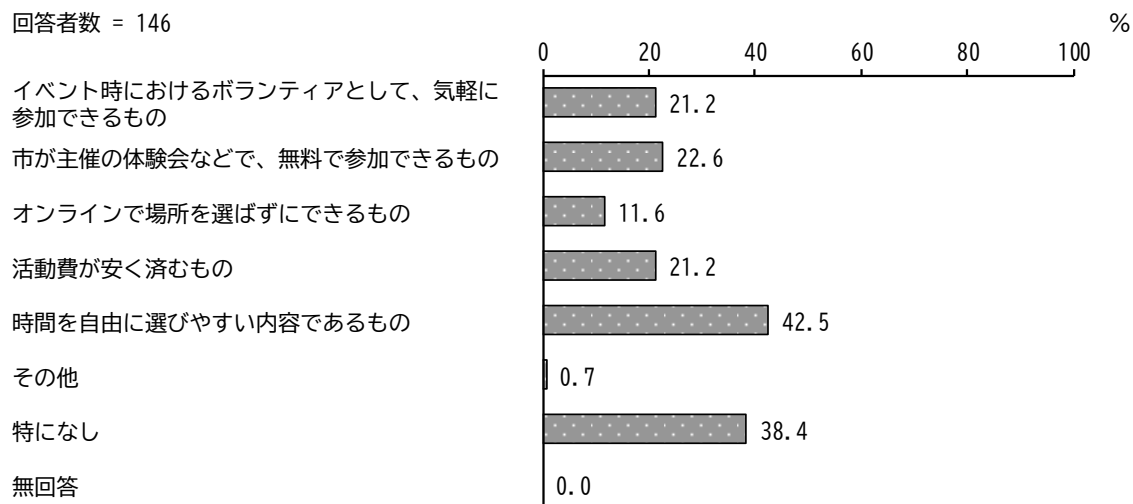
(単位：％)

区分	回答者数 (件)	関心がない	きっかけや機会がない	費用がかかりすぎる	勉強などで時間がない	家事や家の手伝いなどで時間がない	仲間がいない	放課後に行われていない	施設でのバリアフリーなどの対応が不十分	その他	無回答
全 体	146	65.8	47.9	15.1	20.5	3.4	9.6	2.7	—	2.7	1.4
学校における公演などの鑑賞	96	61.5	58.3	13.5	26.0	4.2	8.3	2.1	—	2.1	1.0
学校における演劇などの創作体験	53	66.0	54.7	15.1	22.6	5.7	3.8	—	—	1.9	1.9
音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ（体験教室）の開催	34	52.9	67.6	20.6	29.4	8.8	17.6	5.9	—	5.9	2.9
市内の文化施設（文化会館、学習センター、美術館など）における鑑賞や活動支援	16	56.3	50.0	25.0	6.3	—	18.8	—	—	6.3	—
市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実	31	83.9	35.5	22.6	25.8	3.2	9.7	9.7	—	3.2	—
住んでいる地域の芸能や祭りの継承	19	73.7	52.6	21.1	21.1	—	—	5.3	—	5.3	—
歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー	19	68.4	47.4	15.8	31.6	10.5	10.5	5.3	—	—	—
建造物や遺跡・歴史資料の保存活用	4	50.0	75.0	50.0	—	—	25.0	—	—	—	—
その他	3	100.0	33.3	—	—	—	33.3	—	—	—	—

問 20 あなたは、どのような形態であれば、芸術文化活動に関わりたいと思いますか。
(○は3つまで)

「時間を自由に選びやすい内容であるもの」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「市が主催の体験会などで、無料で参加できるもの」の割合が 22.6%となっています。また、「特になし」の割合は 38.4%となっています。

回答者数 = 146

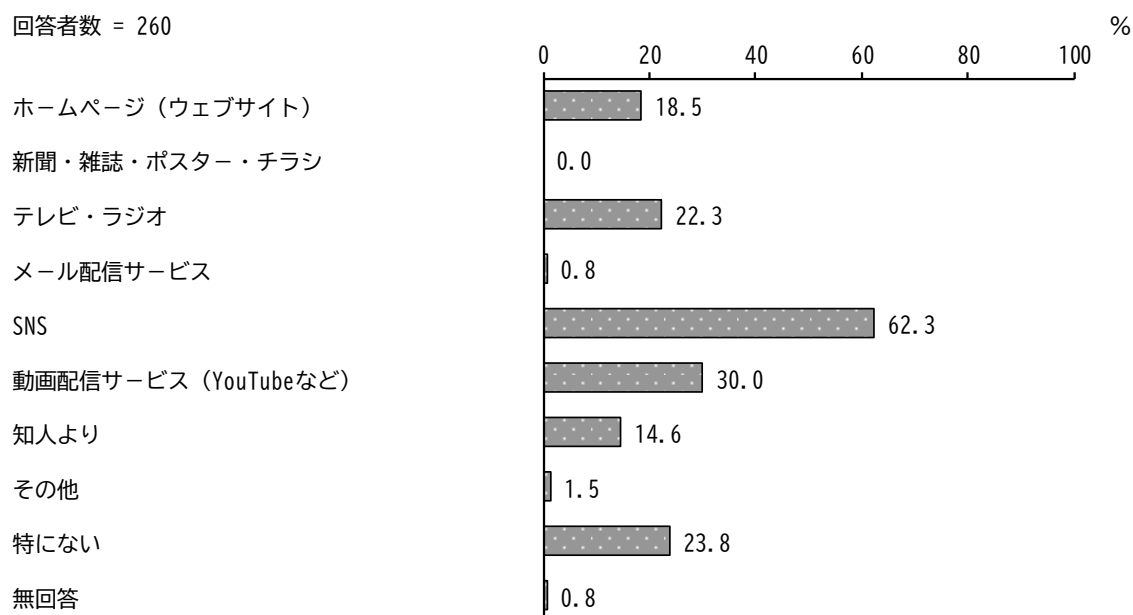


全てのかたにお尋ねします。

問 21 あなたは、芸術文化関連の情報を主にどのような方法で得ていますか。
(○は3つまで)

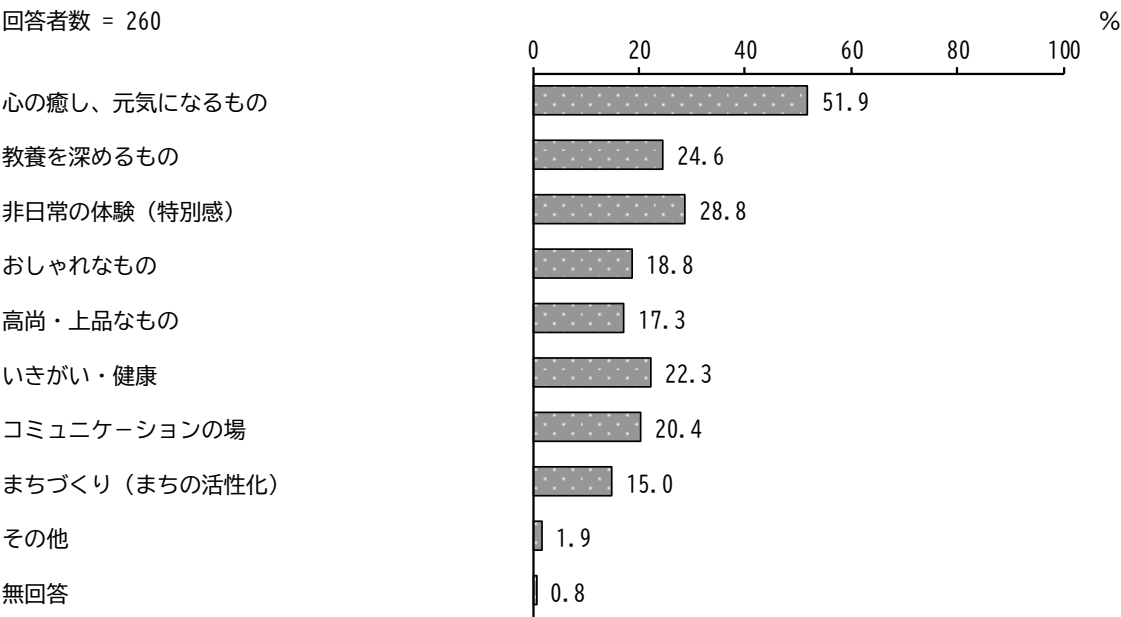
「SNS」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「動画配信サービス (YouTube など)」の割合が 30.0%、「特にない」の割合が 23.8%となっています。

回答者数 = 260



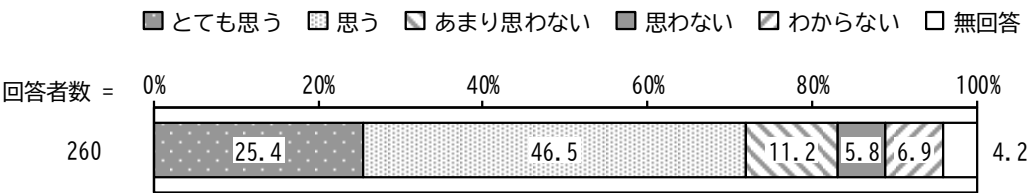
問 22 あなたは「芸術文化」についてどのようなイメージを持っていますか。
(○はいくつでも)

「心の癒し、元気になるもの」の割合が51.9%と最も高く、次いで「非日常の体験（特別感）」の割合が28.8%、「教養を深めるもの」の割合が24.6%となっています。



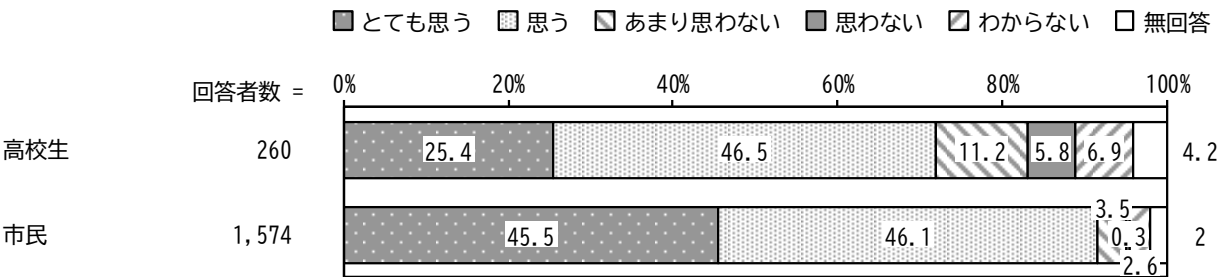
問 23 あなたは、これからの人生において、芸術文化の鑑賞や活動は大切だと思いますか。
(○は1つ)

「とても思う」「思う」を合わせた”思う”の割合が71.9%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた”思わない”の割合が17.0%となっています。



【市民との比較】

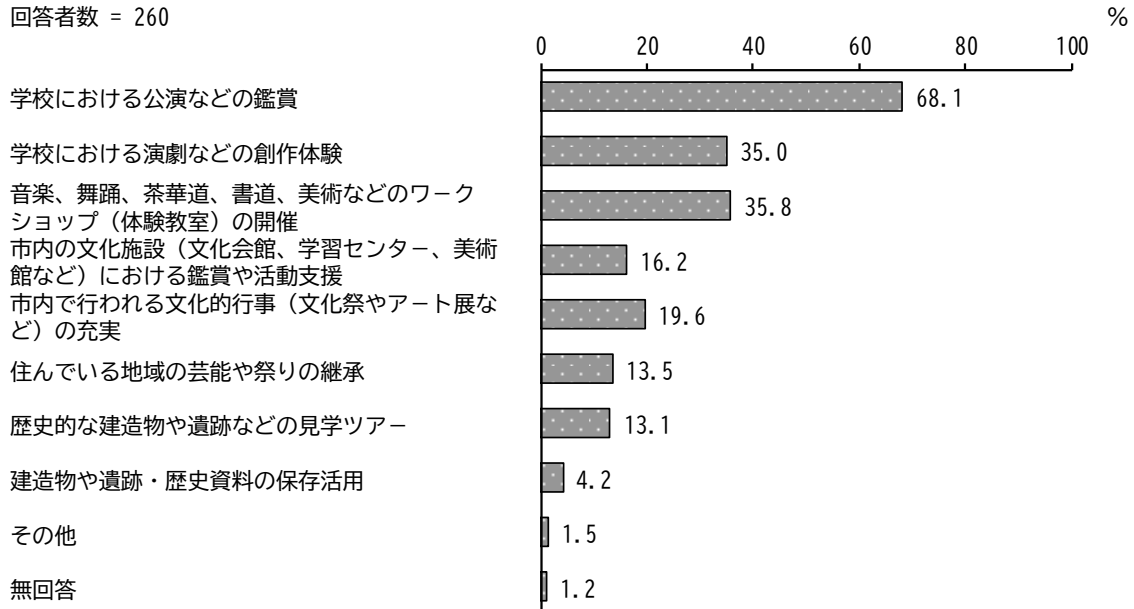
市民との比較では、「とてもそう思う」「思う」を合わせた“そう思う”で市民の方が高くなっています。



問 24 あなたは、芸術文化を伝えていくために、柏市はどのような取組をすることが大切だと思いますか。(○は3つまで)

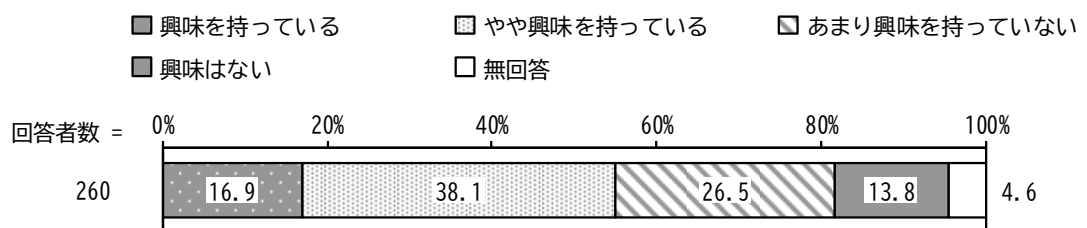
「学校における公演などの鑑賞」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ(体験教室)の開催」の割合が 35.8%、「学校における演劇などの創作体験」の割合が 35.0%となっています。

回答者数 = 260



問 25 あなたは、歴史という分野についてどれくらい興味を持っていますか。(○は1つ)

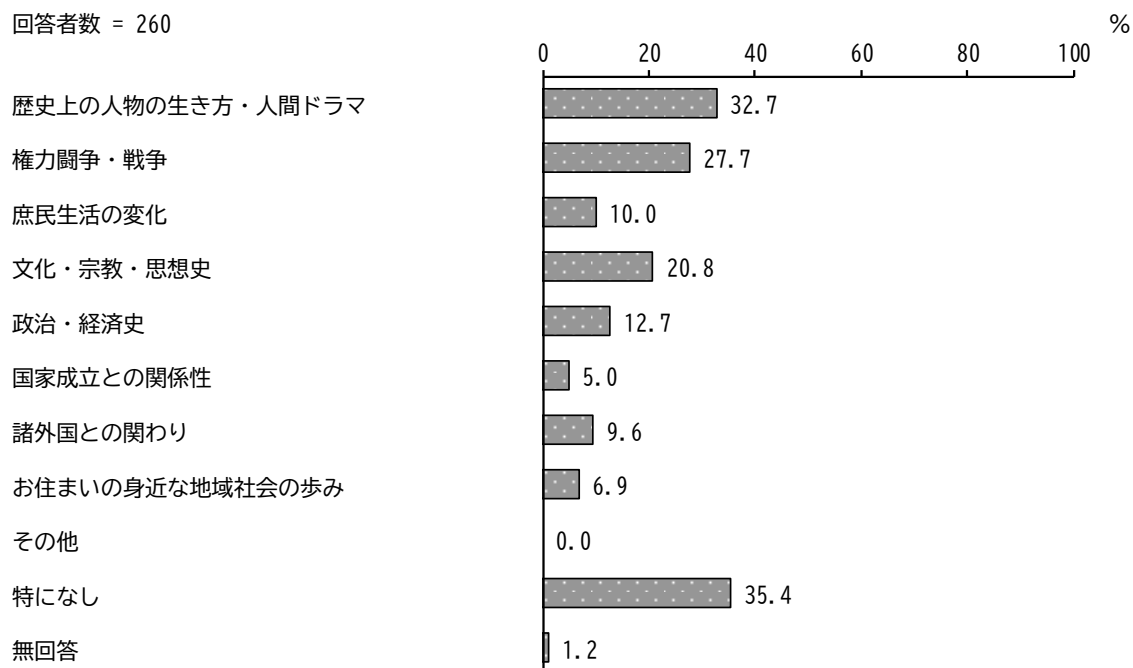
「興味を持っている」「やや興味を持っている」を合わせた「興味を持っている」の割合が 55.0%、「あまり興味を持っていない」「興味はない」を合わせた「興味はない」の割合が 40.3%となっています。



問 26 あなたは、柏の歴史のどのようなテーマに興味がありますか。(〇はいくつでも)

「歴史上の人物の生き方・人間ドラマ」の割合が 32.7%、次いで「権力闘争・戦争」の割合が 27.7% となっています。また、「特になし」の割合は 35.4% となっています。

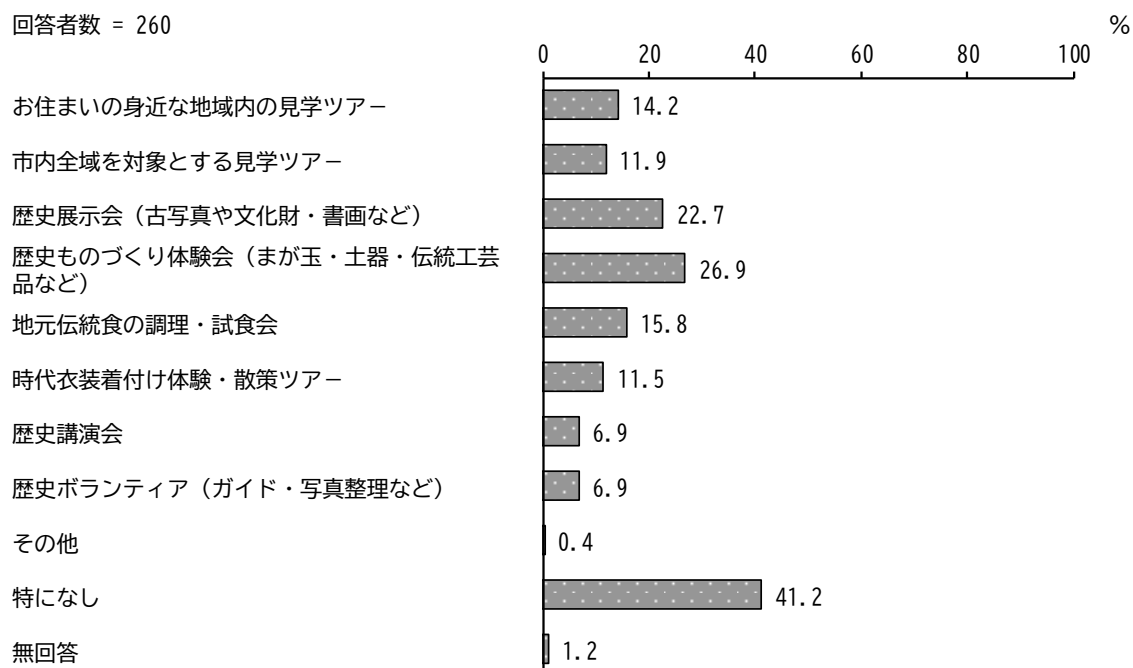
回答者数 = 260



問 27 あなたは、歴史・文化財系のイベントとして、どのようなものに参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「歴史ものづくり体験会（まが玉・土器・伝統工芸品など）」の割合が 26.9%、「歴史展示会（古写真や文化財・書画など）」の割合が 22.7% となっています。「特になし」の割合が 41.2% となっています。

回答者数 = 260

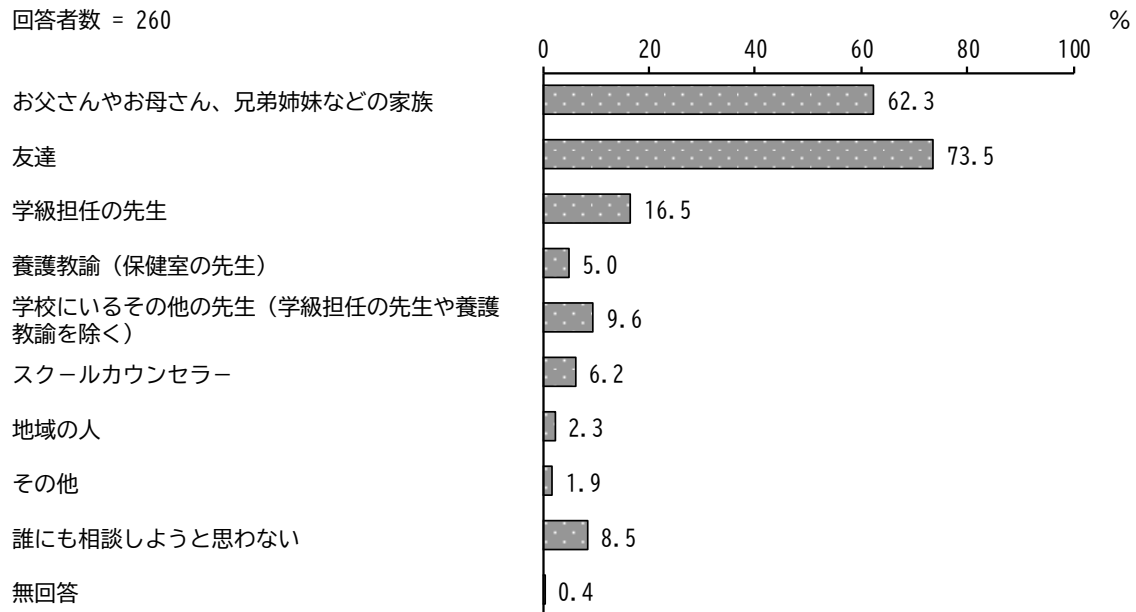


(5) あなた自身のことについて

問 28 あなたは困ったことがあったとき、誰に相談しやすいですか。(○はいくつでも)

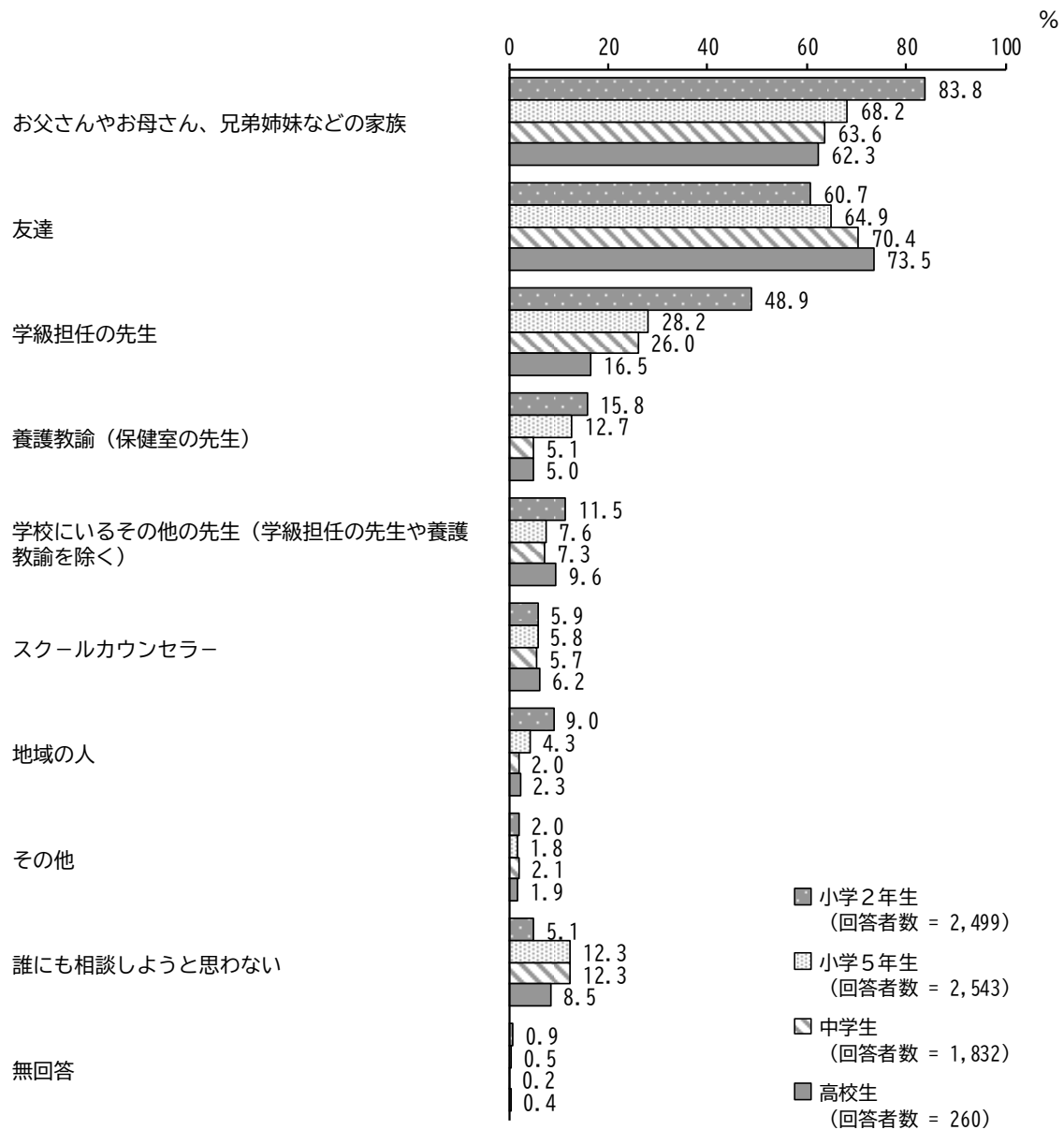
「友達」の割合が 73.5%と最も高く、次いで「お父さんやお母さん、兄弟姉妹などの家族」の割合が 62.3%、「学級担任の先生」の割合が 16.5%となっています。

回答者数 = 260



【小中学生との比較】

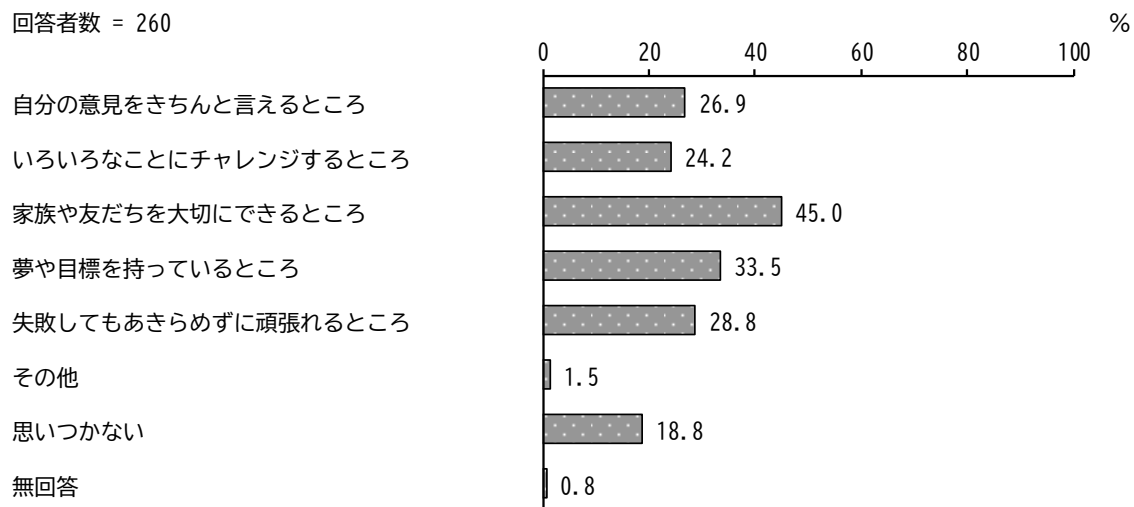
小中学生との比較では、「友達」に相談する割合が高くなっています。



問 29 あなたのよいところはどんなところだと思いますか。(〇はいくつでも)

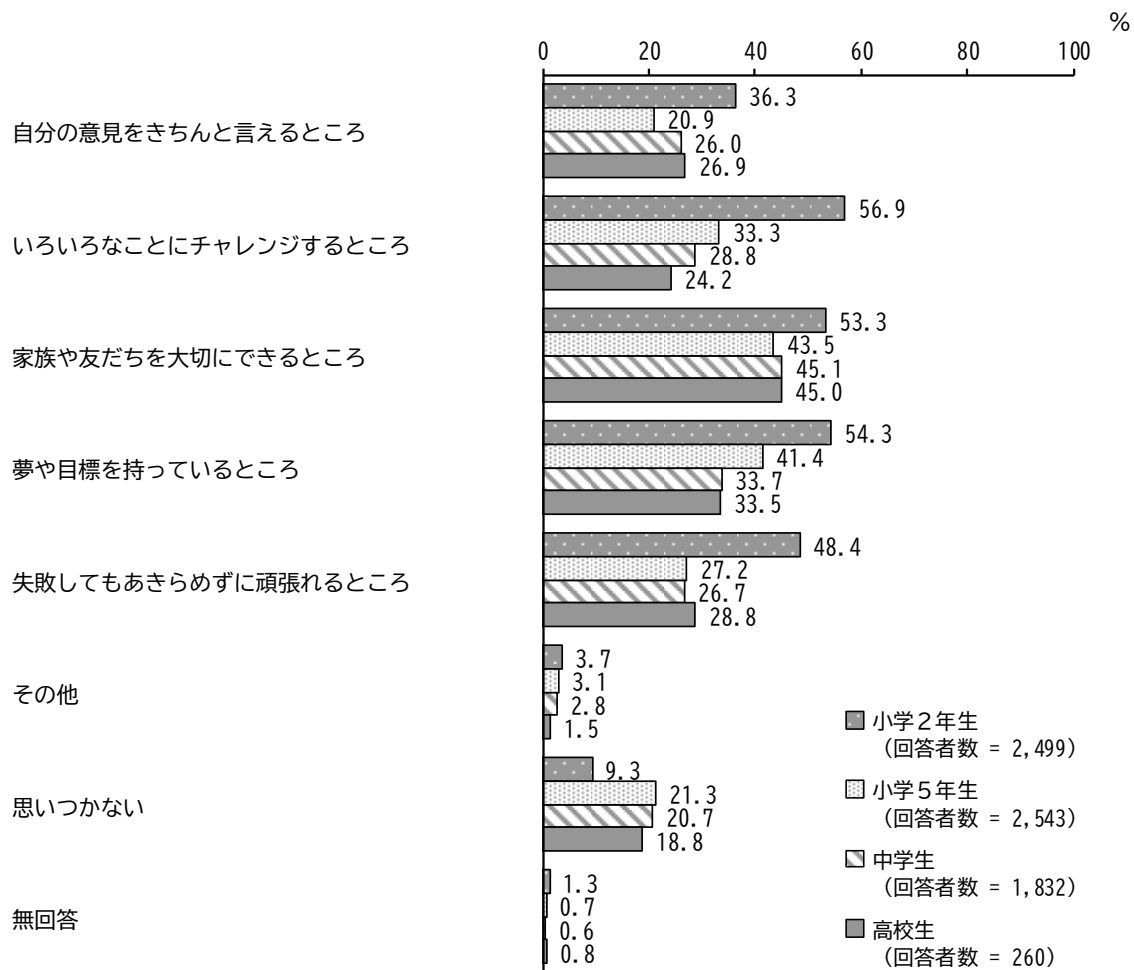
「家族や友だちを大切にできるところ」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「夢や目標を持っているところ」の割合が 33.5%、「失敗してもあきらめずに頑張れるところ」の割合が 28.8%となっています。

回答者数 = 260



【小中学生との比較】

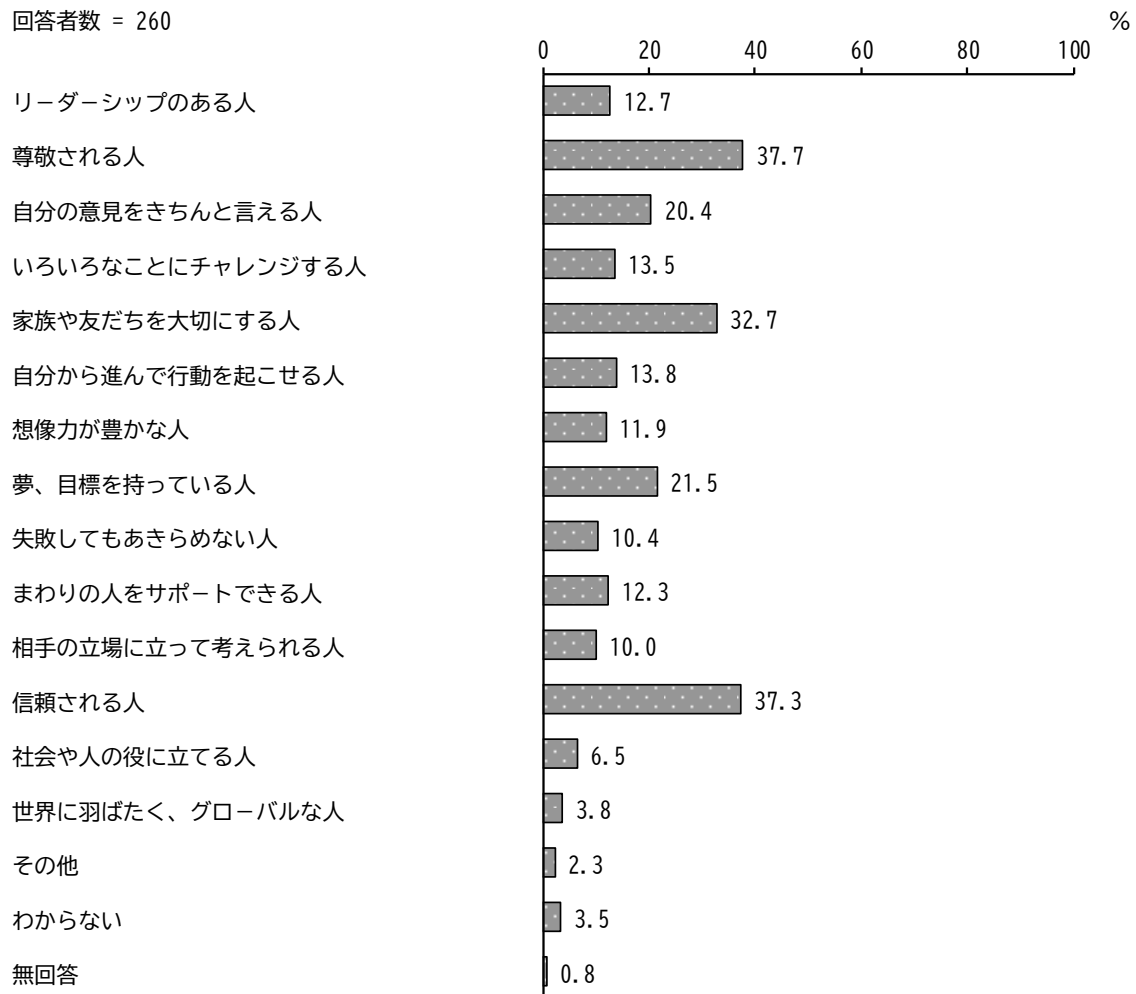
小学生との比較ではすべての項目において小学2年生より割合が低くなっていますが、中学生との比較では大きな差はみられません。



問 30 将来はどのような人になりたいですか。(○は3つまで)

「尊敬される人」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「信頼される人」の割合が 37.3%、「家族や友だちを大切にする人」の割合が 32.7%となっています。

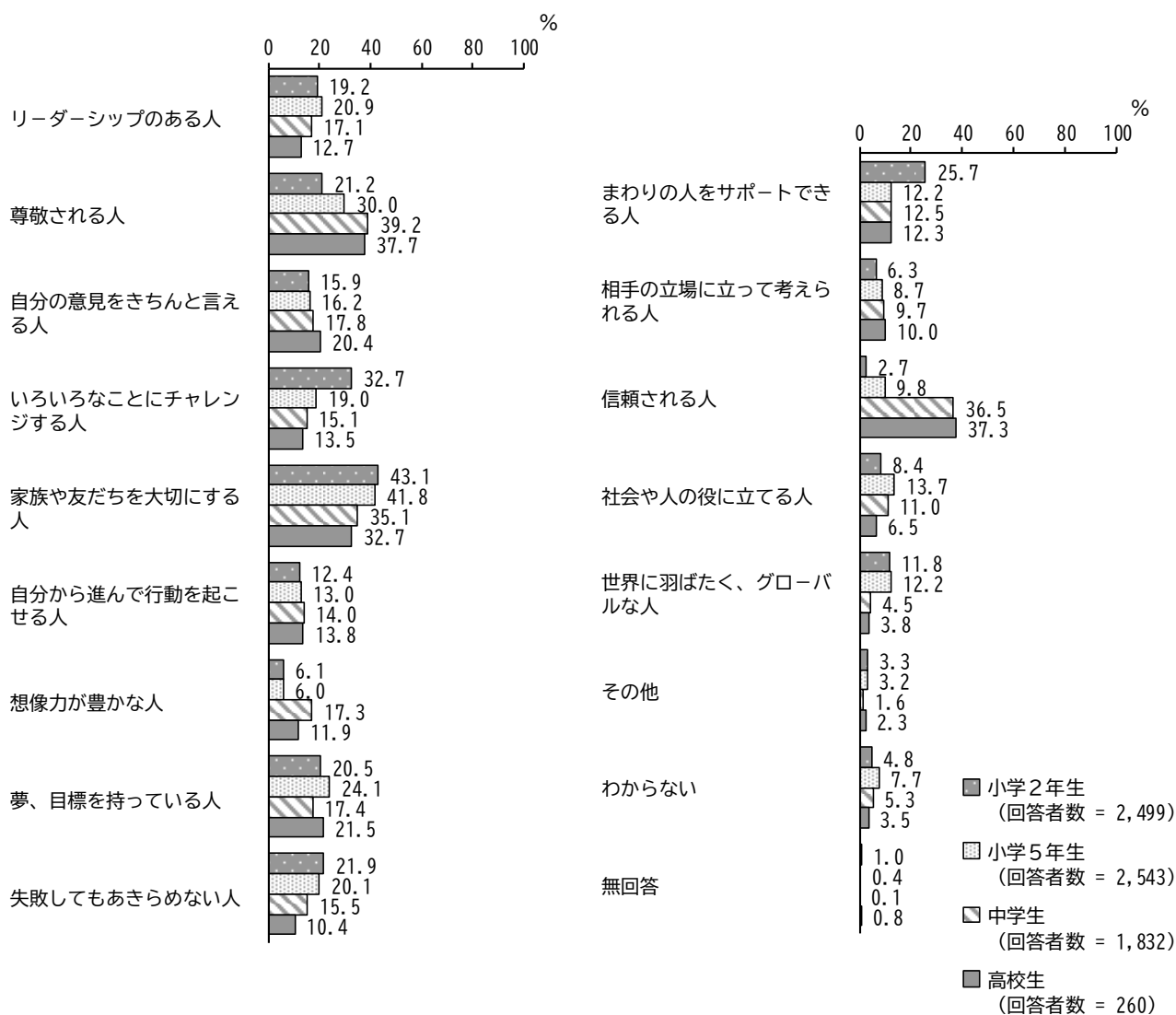
回答者数 = 260



【小中学生との比較】

小中学生との比較では、「自分の意見をきちんと言える人」や「信頼される人」について高校生で低くなっています。

一方で、「リーダーシップのある人」や「いろいろなことにチャレンジする人」「失敗してもあきらめない人」については小中学生より低くなっています。

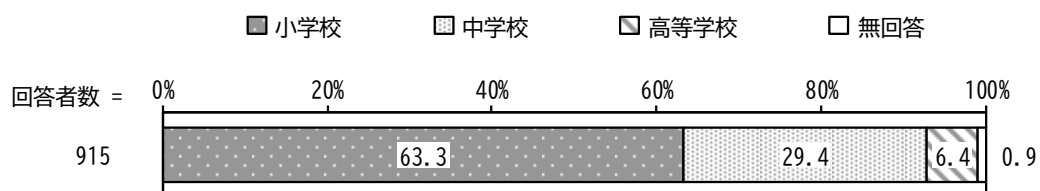


4 教職員

(1) 回答者属性

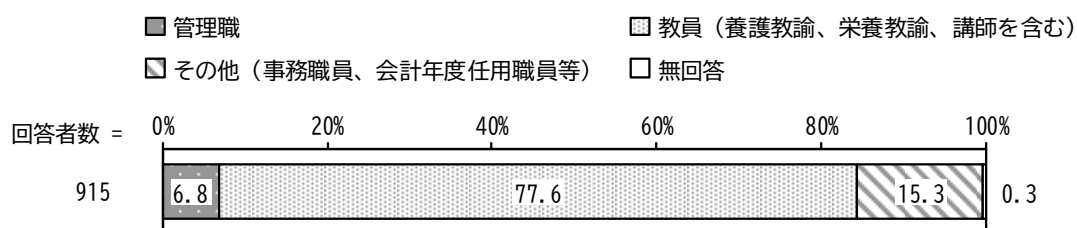
問1 勤務先はどちらですか。(○は1つ)

「小学校」の割合が 63.3%、「中学校」の割合が 29.4%、「高等学校」の割合が 6.4%となっています。



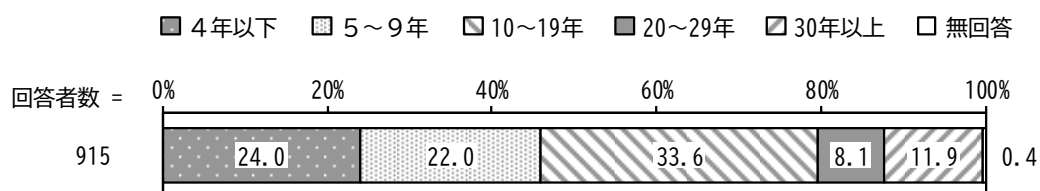
問2 職層を教えてください。(○は1つ)

「管理職」の割合が 6.8%、「教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）」の割合が 77.6%、「その他（事務職員、会計年度任用職員等）」の割合が 15.3%となっています。



問3 経験年数を教えてください。(○は1つ)

「10～19 年」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「4 年以下」の割合が 24.0%、「5～9 年」の割合が 22.0%となっています。

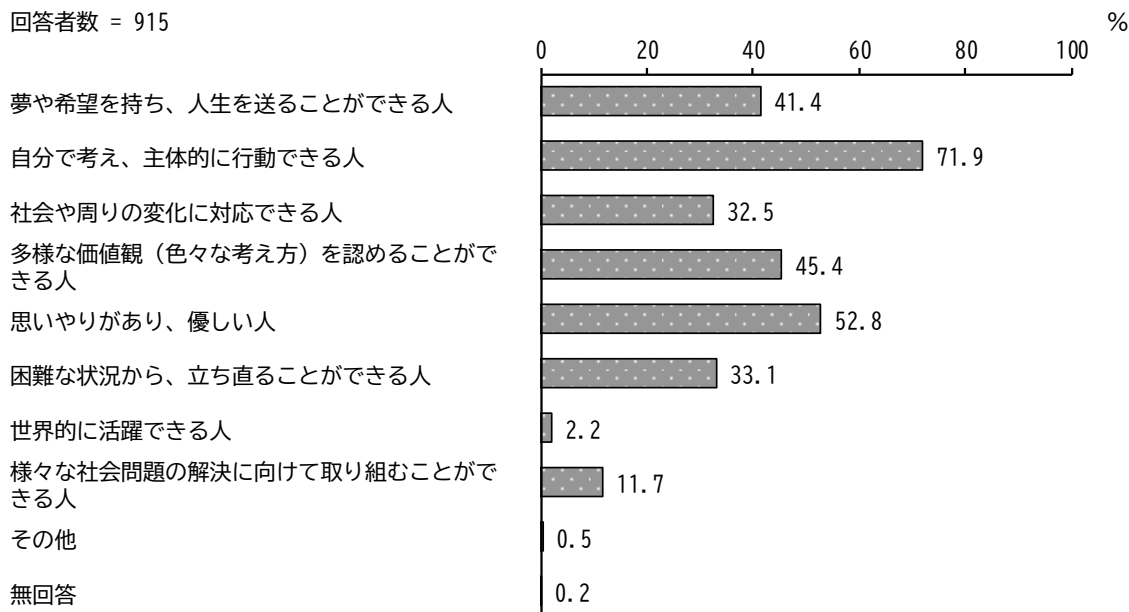


(2) 教育や学習に関する取組について

問4 将来の柏市を考えたとき、子どもたちにどのような大人になってほしいですか。
(○は3つまで)

「自分で考え、主体的に行動できる人」の割合が 71.9%と最も高く、次いで「思いやりがあり、優しい人」の割合が 52.8%、「多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人」の割合が 45.4%となっています。

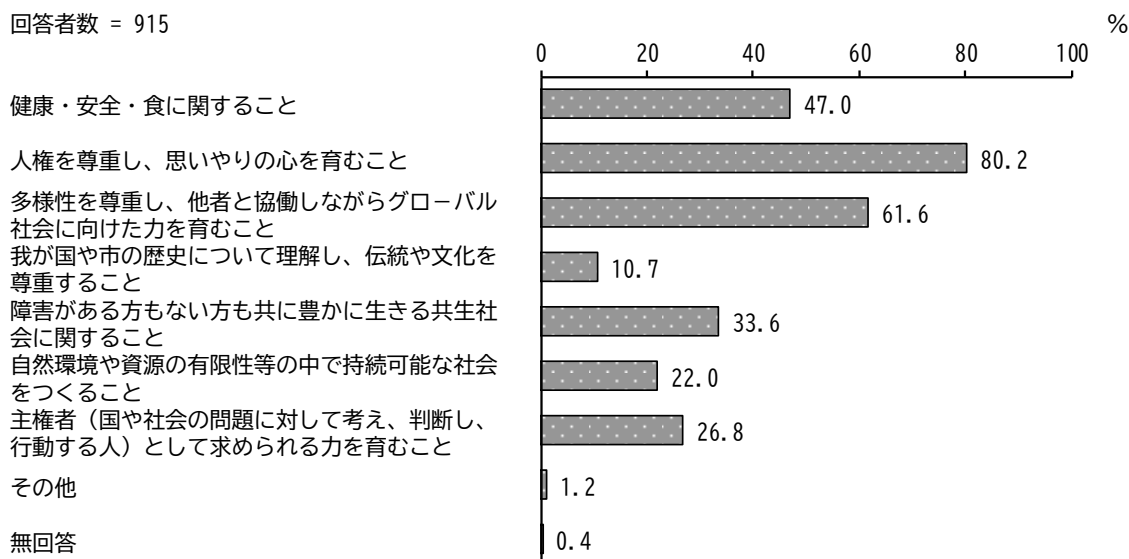
回答者数 = 915



問5 柏市の学校教育で児童・生徒に教えることとして、特に重要だと思うことは何ですか。
(○は3つまで)

「人権を尊重し、思いやりの心を育むこと」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「多様性を尊重し、他者と協働しながらグローバル社会に向けた力を育むこと」の割合が 61.6%、「健康・安全・食に関すること」の割合が 47.0%となっています。

回答者数 = 915



【勤務先の校種別】

勤務先の校種別にみると、「自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくること」について小学校で高く、「健康・安全・食に関すること」について中学校で高くなっています。

また、「我が国や市の歴史について理解し、伝統や文化を尊重すること」や「主権者（国や社会の問題に対して考え、判断し、行動する人）として求められる力を育むこと」について高等学校で高くなっています。

（単位：％）

区分	回答者数 (件)	健康・安全・食に関すること	人権を尊重し、思いやりの心を育むこと	多様性を尊重し、他者と協働しながらグローバル社会に向けた力を育むこと	我が国や市の歴史について理解し、伝統や文化を尊重すること	障害がある方もない方も共に豊かに生きる共生社会に関すること	自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくること	主権者（国や社会の問題に対して考え、判断し、行動する人）として求められる力を育むこと	その他	無回答
全 体	915	47.0	80.2	61.6	10.7	33.6	22.0	26.8	1.2	0.4
小学校	579	44.9	81.0	61.0	9.3	37.1	24.0	24.0	0.5	0.3
中学校	269	52.0	80.3	62.5	12.6	28.6	19.3	30.5	1.9	0.7
高等学校	59	47.5	72.9	59.3	16.9	20.3	13.6	37.3	5.1	—

【職層別】

職層別にみると、「主権者（国や社会の問題に対して考え、判断し、行動する人）として求められる力を育むこと」について管理職で高く、「自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくること」についてその他（事務職員、会計年度任用職員等）で高くなっています。

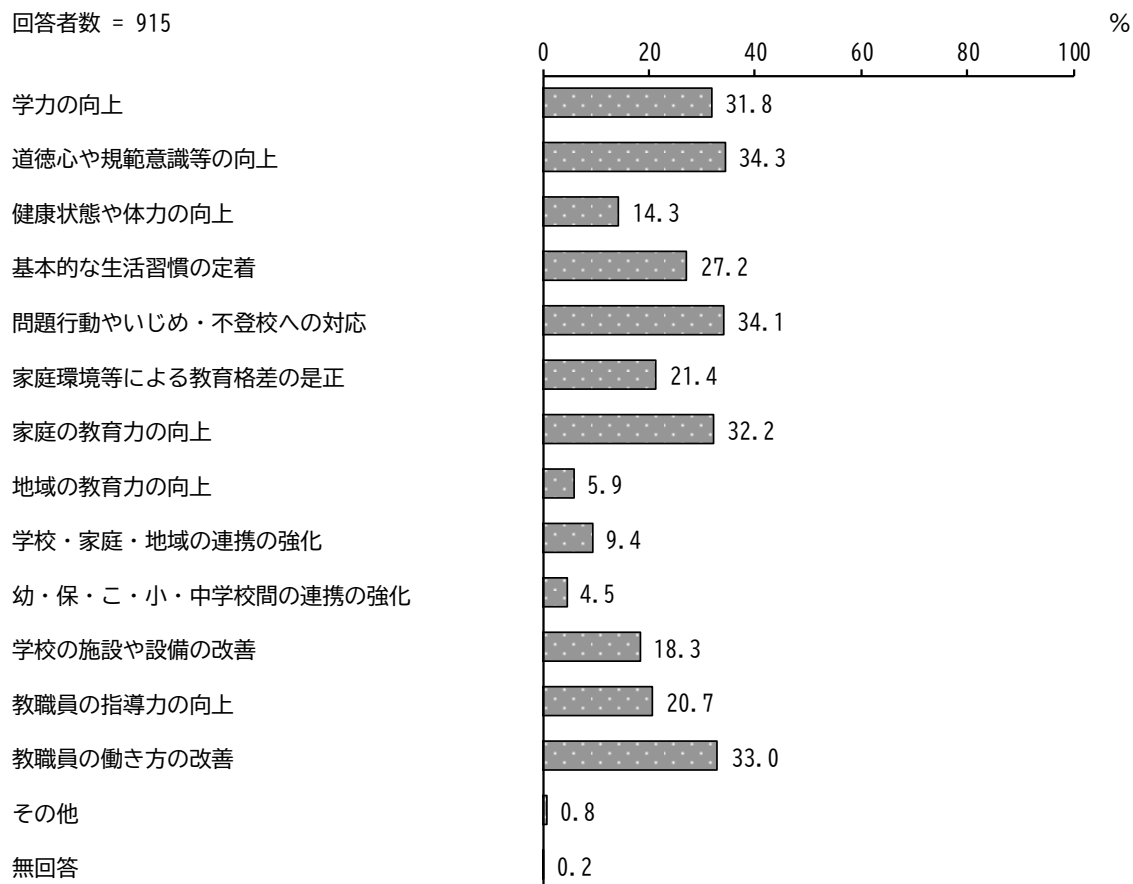
（単位：％）

区分	回答者数 (件)	健康・安全・食に関すること	人権を尊重し、思いやりの心を育むこと	多様性を尊重し、他者と協働しながらグローバル社会に向けた力を育むこと	我が国や市の歴史について理解し、伝統や文化を尊重すること	障害がある方もない方も共に豊かに生きる共生社会に関すること	自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくること	主権者（国や社会の問題に対して考え、判断し、行動する人）として求められる力を育むこと	その他	無回答
全 体	915	47.0	80.2	61.6	10.7	33.6	22.0	26.8	1.2	0.4
管理職	62	37.1	80.6	69.4	14.5	35.5	22.6	35.5	1.6	—
教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）	710	47.3	80.4	62.1	10.1	33.0	20.1	26.9	1.1	0.6
その他（事務職員、会計年度任用職員等）	140	50.0	79.3	55.7	12.1	34.3	31.4	22.9	1.4	—

問6 柏市における教育的課題と感ずるものは何ですか。(〇は3つまで)

「道徳心や規範意識等の向上」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「問題行動やいじめ・不登校への対応」の割合が 34.1%、「教職員の働き方の改善」の割合が 33.0%となっています。

回答者数 = 915



【勤務先の校種別】

勤務先の校種別にみると、「教職員の指導力の向上」について小学校で高く、「問題行動やいじめ・不登校への対応」について中学校で高くなっています。また、「学力の向上」や「道徳心や規範意識等の向上」「教職員の働き方の改善」について高等学校で高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	学力の向上	道徳心や規範意識等の向上	健康状態や体力の向上	基本的な生活習慣の定着	問題行動やいじめ・不登校への対応	家庭環境等による教育格差の是正	家庭の教育力の向上
全 体	915	31.8	34.3	14.3	27.2	34.1	21.4	32.2
小学校	579	31.4	33.2	14.3	27.3	33.2	22.8	31.4
中学校	269	31.2	33.8	13.0	28.6	39.0	19.7	34.2
高等学校	59	40.7	49.2	20.3	20.3	20.3	16.9	32.2

区分	地域の教育力の向上	学校・家庭・地域の連携の強化	幼・保・こ・小・中学校間の連携の強化	学校の施設や設備の改善	教職員の指導力の向上	教職員の働き方の改善	その他	無回答
全 体	5.9	9.4	4.5	18.3	20.7	33.0	0.8	0.2
小学校	5.0	9.8	4.3	18.0	23.5	31.6	0.7	0.2
中学校	7.8	8.9	5.2	18.2	16.4	33.5	0.7	0.4
高等学校	3.4	6.8	1.7	23.7	10.2	40.7	1.7	—

【職層別】

職層別にみると、「基本的な生活習慣の定着」についてその他（事務職員、会計年度任用職員等）で高く、「問題行動やいじめ・不登校への対応」「教職員の指導力の向上」について管理職で高くなっています。また、「道徳心や規範意識等の向上」について教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）で高くなっています。

（単位：％）

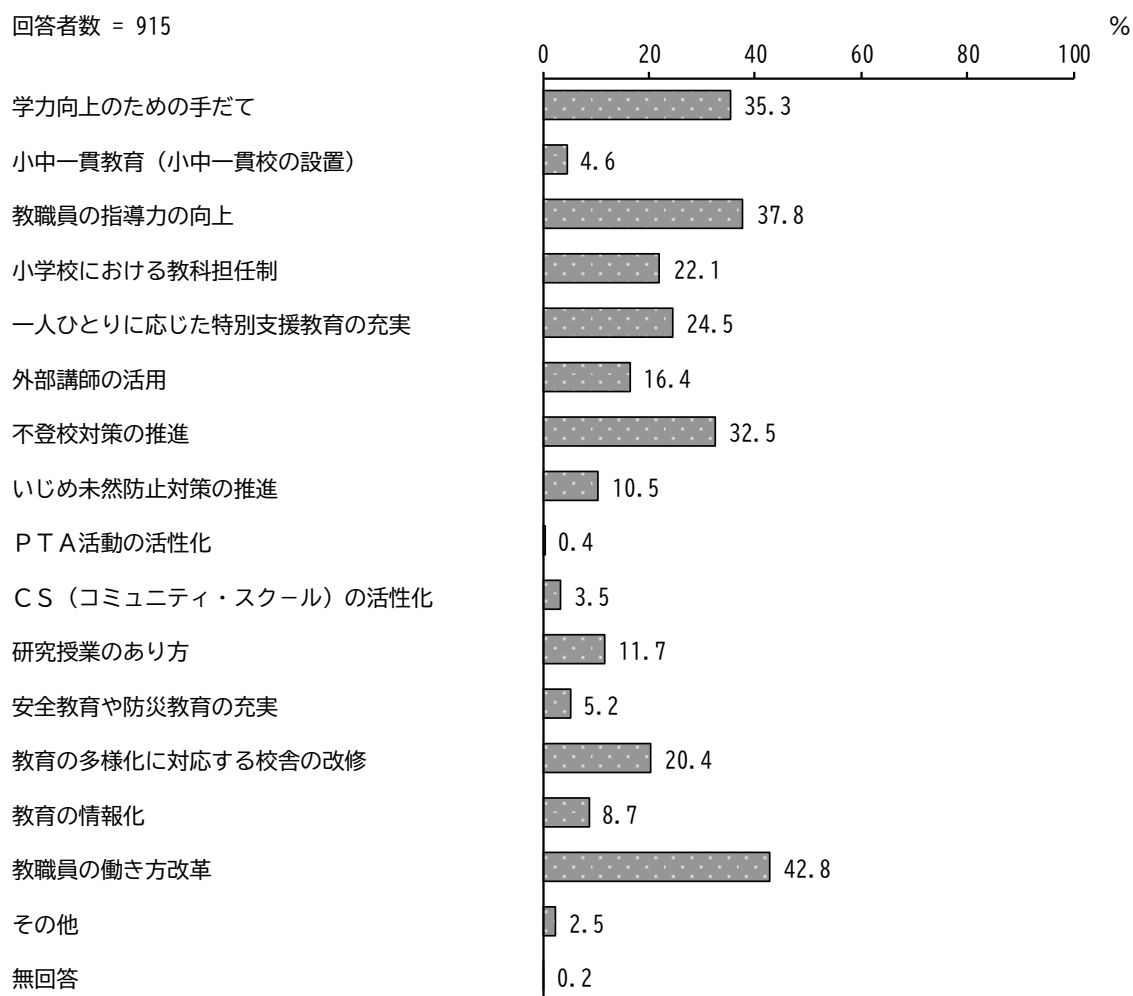
区分	回答者数（件）	学力の向上	道徳心や規範意識等の向上	健康状態や体力の向上	基本的な生活習慣の定着	問題行動やいじめ・不登校への対応	家庭環境等による教育格差の是正	家庭の教育力の向上
全 体	915	31.8	34.3	14.3	27.2	34.1	21.4	32.2
管理職	62	21.0	30.6	8.1	17.7	50.0	22.6	38.7
教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）	710	32.3	33.8	15.4	26.2	32.5	20.6	34.2
その他（事務職員、会計年度任用職員等）	140	34.3	37.1	10.7	36.4	35.0	25.7	19.3

区分	地域の教育力の向上	学校・家庭・地域の連携の強化	幼・保・こ・小・中学校間の連携の強化	学校の施設や設備の改善	教職員の指導力の向上	教職員の働き方の改善	その他	無回答
全 体	5.9	9.4	4.5	18.3	20.7	33.0	0.8	0.2
管理職	4.8	14.5	3.2	22.6	30.6	35.5	—	—
教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）	6.3	8.2	4.8	18.0	19.3	34.6	1.0	0.3
その他（事務職員、会計年度任用職員等）	4.3	13.6	3.6	17.9	23.6	24.3	—	—

問7 今後、柏市の学校教育で特に重点をおいて取り組む必要があるものは、どれですか。
(○は3つまで)

「教職員の働き方改革」の割合が42.8%と最も高く、次いで「教職員の指導力の向上」の割合が37.8%、「学力向上のための手だて」の割合が35.3%となっています。

回答者数 = 915



【勤務先の校種別】

勤務先の校種別では、「一人ひとりに応じた特別支援教育の充実」について小学校で高く、「外部講師の活用」や「教育の多様化に対応する校舎の改修」について高等学校で高くなっています。また、「不登校対策の推進」について中学校で高くなっています。

(単位：％)

区分	回答者数 (件)	学力向上のための 手だて	小中一貫教育 (小中 一貫校の設置)	教職員の指導力の向 上	小学校における教科 担任制	一人ひとりに応じた 特別支援教育の充実	外部講師の活用	不登校対策の推進	いじめ未然防止対策 の推進
全 体	915	35.3	4.6	37.8	22.1	24.5	16.4	32.5	10.5
小学校	579	33.2	4.0	38.2	26.8	30.2	18.1	27.1	8.5
中学校	269	37.9	6.3	39.0	14.1	15.2	9.3	48.0	14.1
高等学校	59	44.1	3.4	25.4	13.6	8.5	32.2	15.3	15.3

区分	P T A活動の活性化	C S (コミュニティ・ スクール)の活性化	研究授業のあり方	安全教育や防災教育 の充実	教育の多様化に対応 する校舎の改修	教育の情報化	教職員の働き方改革	その他	無回答
全 体	0.4	3.5	11.7	5.2	20.4	8.7	42.8	2.5	0.2
小学校	0.3	4.1	13.1	5.4	18.5	8.5	40.9	2.1	0.2
中学校	0.7	2.2	10.4	5.2	22.7	8.2	43.5	2.6	0.4
高等学校	—	3.4	1.7	3.4	32.2	13.6	55.9	6.8	—

【職層別】

職層別にみると、「教職員の指導力の向上」や「不登校対策の推進」について管理職で高く、「小学校における教科担任制」や「いじめ未然防止対策の推進」についてその他（事務職員、会計年度任用職員等）で高くなっています。また、「教職員の働き方改革」で教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）が高くなっています。

（単位：％）

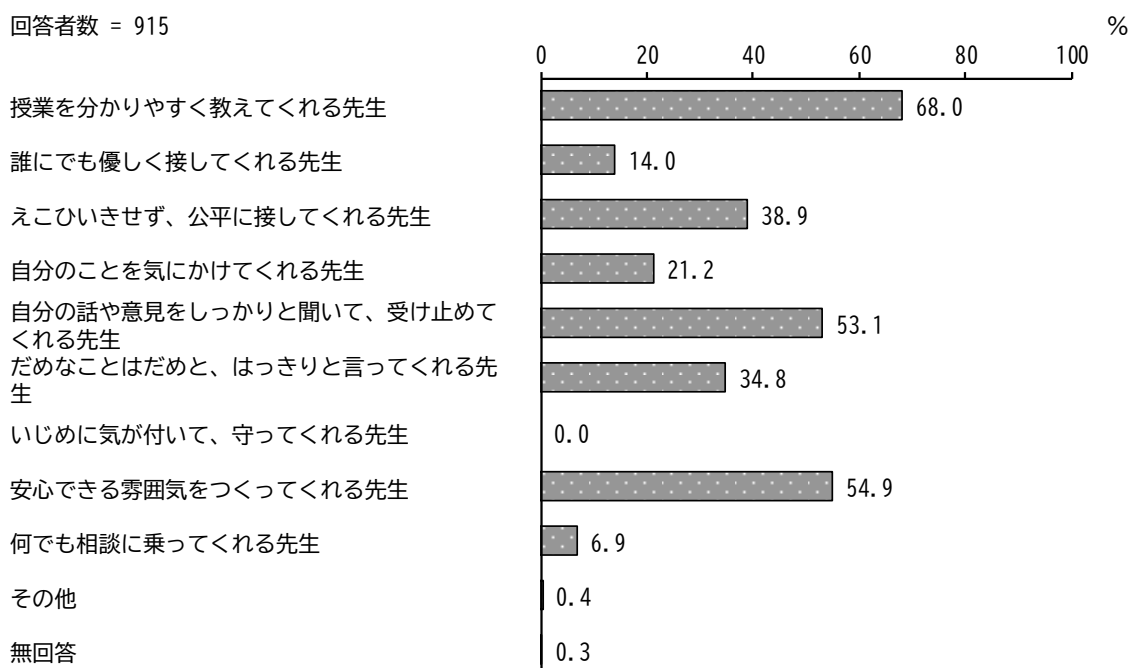
区分	回答者数 (件)	学力向上のための 手だて	小中一貫教育（小 中一貫校の設置）	教職員の指導力の 向上	小学校における教 科担任制	一人ひとりに応じ た特別支援教育の 充実	外部講師の活用	不登校対策の推進	いじめ未然防止対 策の推進
全 体	915	35.3	4.6	37.8	22.1	24.5	16.4	32.5	10.5
管理職	62	30.6	9.7	51.6	16.1	14.5	1.6	61.3	12.9
教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）	710	35.5	5.1	36.2	21.7	25.2	17.0	30.8	8.5
その他（事務職員、会計年度任用職員等）	140	35.0	—	39.3	27.1	25.7	19.3	28.6	20.0

区分	PTA活動の活性 化	CS（コミュニ ティ・ス クール）の活 性化	研究授業のあり方	安全教育や防災教 育の充実	教育の多様化に対 応する校舎の改修	教育の情報化	教職員の働き方改 革	その他	無回 答
全 体	0.4	3.5	11.7	5.2	20.4	8.7	42.8	2.5	0.2
管理職	1.6	11.3	－	3.2	30.6	8.1	41.9	－	－
教員（養護教諭、栄養教諭、講師を含む）	0.3	2.8	13.7	5.2	19.9	8.6	46.1	2.8	0.3
その他（事務職員、会計年度任用職員等）	0.7	3.6	7.1	6.4	19.3	10.0	27.1	2.1	－

問8 子どもたちが望む先生はどのような先生だと思いますか。（○は3つまで）

「授業を分かりやすく教えてくれる先生」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「安心できる雰囲気をつくってくれる先生」の割合が 54.9%、「自分の話や意見をしっかりと聞いて、受け止めてくれる先生」の割合が 53.1%となっています。

回答者数 = 915



【教職員・児童生徒別】

教職員・児童生徒別にみると、「誰にでも優しく接してくれる先生」「何でも相談に乗ってくれる先生」について児童生徒で割合が高くなっています。一方、「自分の話や意見をしっかりと聞いて、受け止めてくれる先生」「安心できる雰囲気をつくってくれる先生」について教職員で高くなっています。

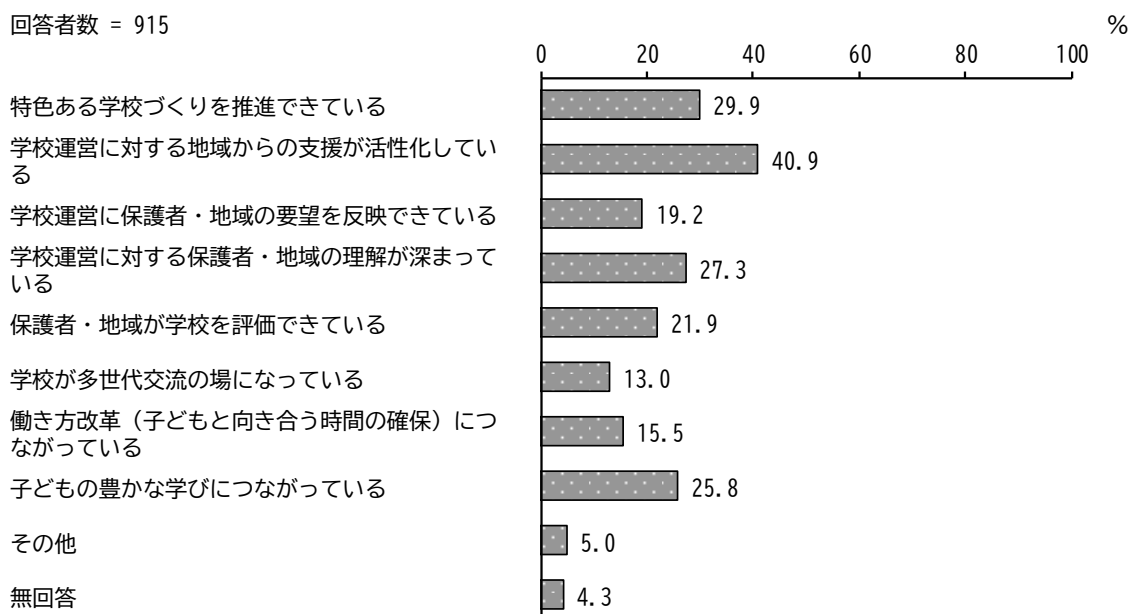
(単位：％)

区分	回答者数（件）	授業を分かりやすく教えてくれる先生	誰にでも優しく接してくれる先生	えこひいきせず、公平に接してくれる先生	自分のことを気にかけてくれる先生	自分の話や意見をしっかりと聞いて、受け止めてくれる先生	だめなことはだめと、はっきりと言ってくれる先生	いじめに気が付いて、守ってくれる先生	安心できる雰囲気をつくってくれる先生	何でも相談に乗ってくれる先生	その他	無回答
全 体	8,049	65.2	52.7	34.8	16.3	23.2	22.6	6.9	16.2	25.2	2.0	0.5
教職員	915	68.0	14.0	38.9	21.2	53.1	34.8	-	54.9	6.9	0.4	0.3
小学2年生	2,499	71.9	58.1	21.8	18.4	16.7	25.5	-	18.8	23.0	2.0	0.8
小学5年生	2,543	59.6	62.5	39.4	14.9	22.9	20.5	22.0	-	21.0	2.8	0.2
中学生	1,832	62.2	53.2	42.0	13.4	18.0	15.8	-	13.9	44.3	2.0	0.5
高校生	260	67.7	38.8	50.0	14.6	20.8	19.2	-	29.6	15.4	-	0.4

問9 柏市では、「コミュニティ・スクール」「地域学校協働活動」の取組をはじめ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組が進められています。この取組について、現状としてどのような成果があると考えますか。(〇はいくつでも)

「学校運営に対する地域からの支援が活性化している」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「特色ある学校づくりを推進できている」の割合が 29.9%、「学校運営に対する保護者・地域の理解が深まっている」の割合が 27.3%となっています。

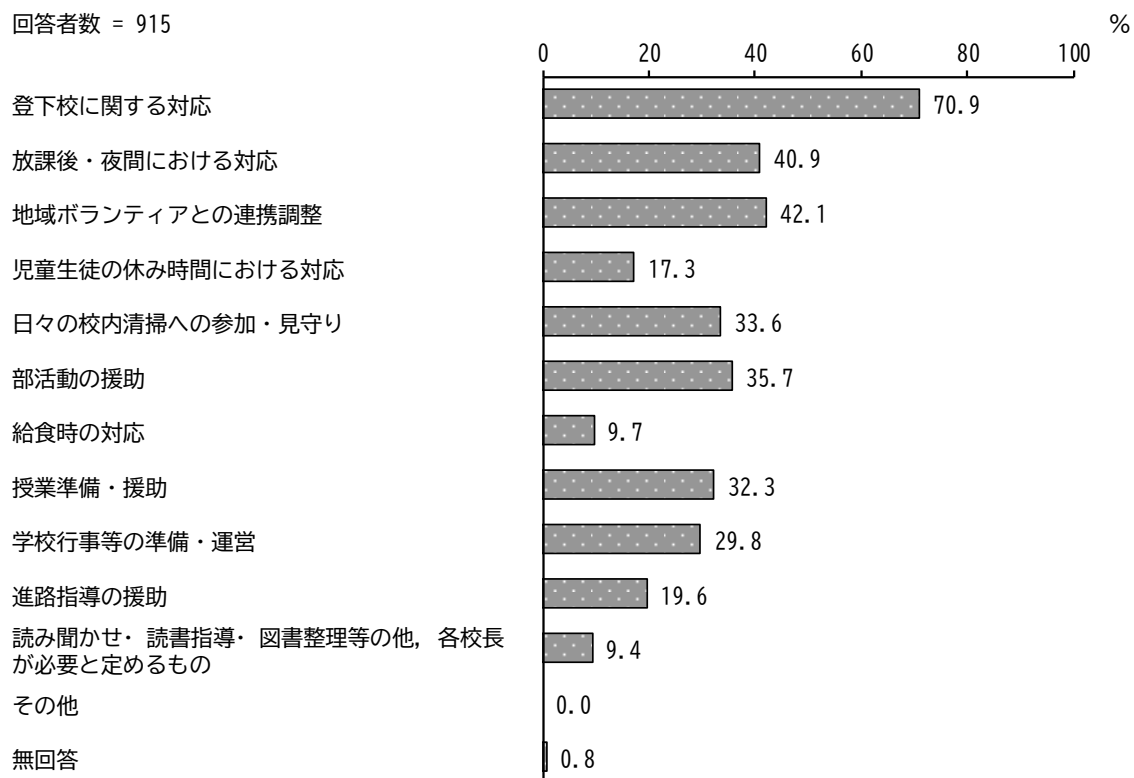
回答者数 = 915



問 10 学校として、地域にどのようなことを求めたいですか。(○はいくつでも)

「登下校に関する対応」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「地域ボランティアとの連携調整」の割合が 42.1%、「放課後・夜間における対応」の割合が 40.9%となっています。

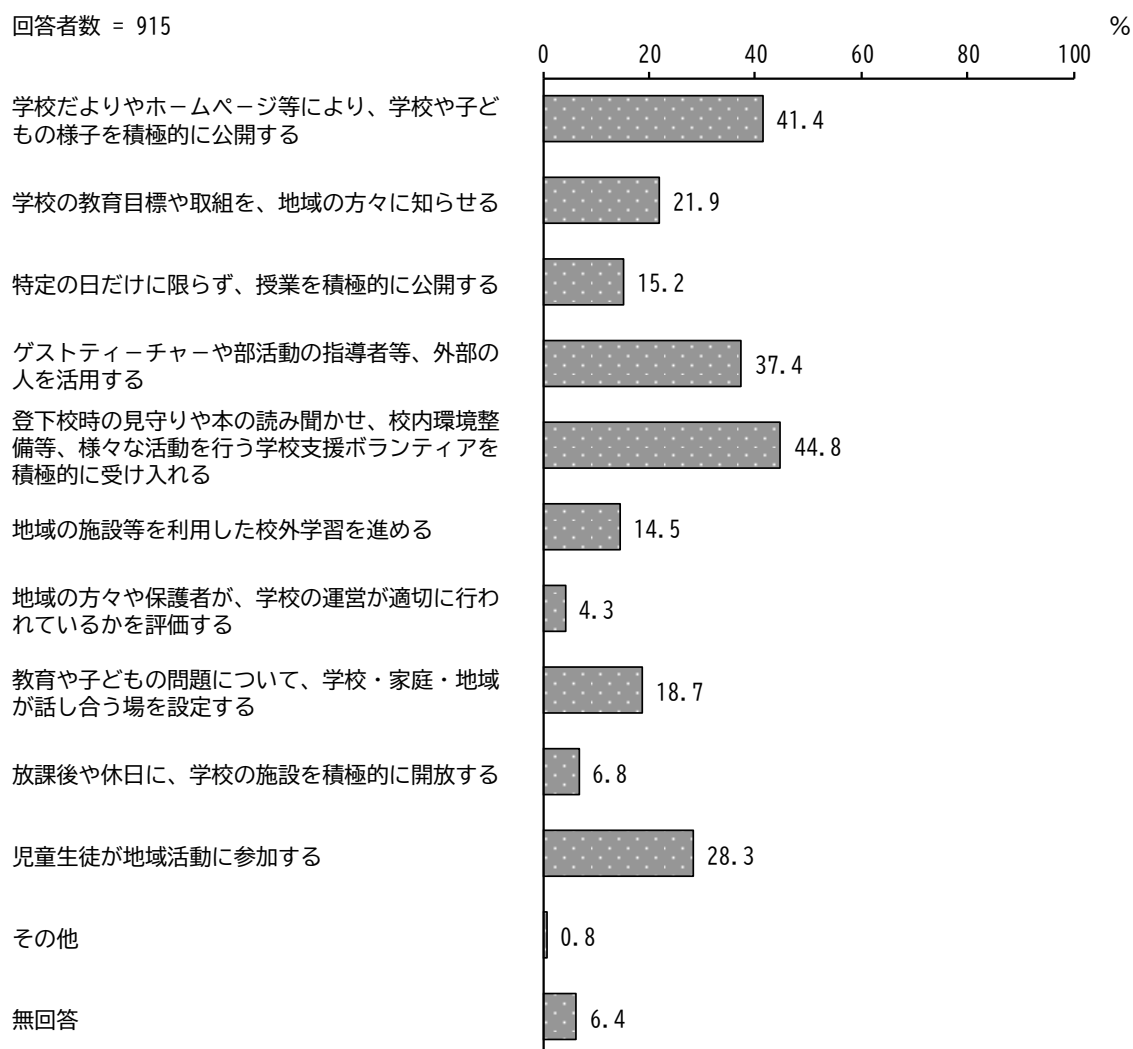
回答者数 = 915



問 11 地域とともにある学校（パートナーとしての連携・協働関係）づくりを行うために、何が大切だと思いますか。（○は3つまで）

「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備等、様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページ等により、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が 41.4%、「ゲストティーチャーや部活動の指導者等、外部の人を活用する」の割合が 37.4%となっています。

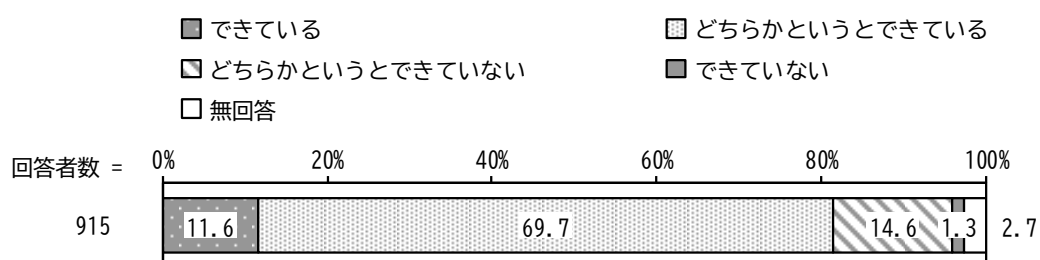
回答者数 = 915



問 12 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、次のことについて、どの程度実践していますか。（1～10の各項目について、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○）

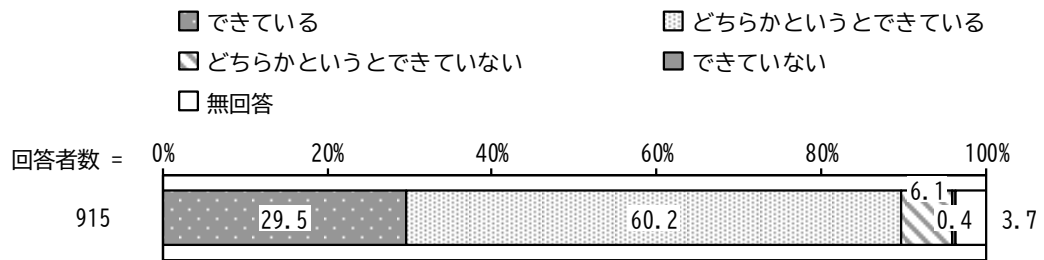
1. 児童生徒が解決したいと思える課題を設定する

「できている」「どちらかというのできている」を合わせた「できている」の割合が 81.3%、「どちらかというのできていない」「できていない」を合わせた「できていない」の割合が 15.9%となっています。



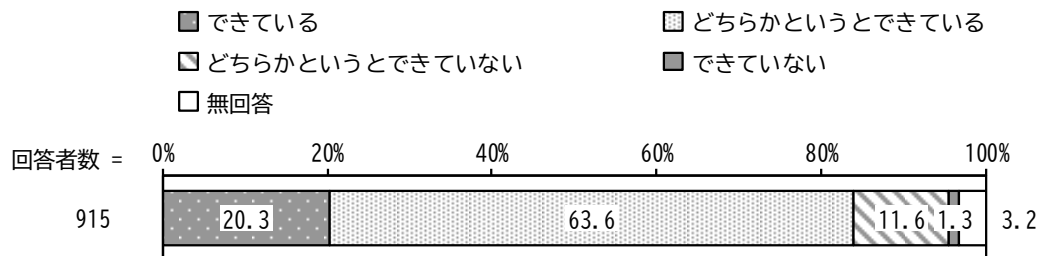
2. 単元や授業の目標を明確にして、見通しを持たせる

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 89.7%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 6.5%となっています。



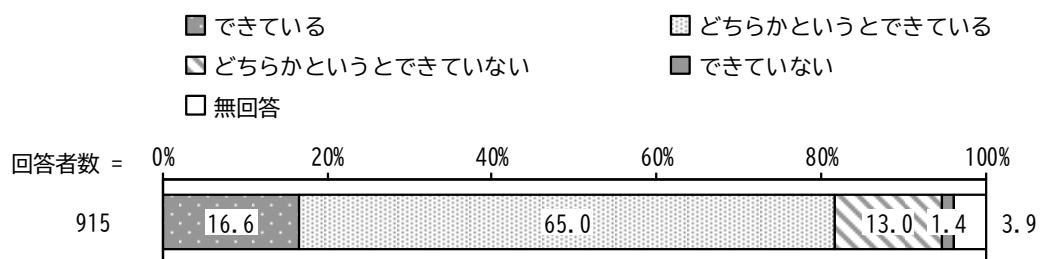
3. 学習内容や身に付いたこと等を振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させる

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 83.9%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 12.9%となっています。



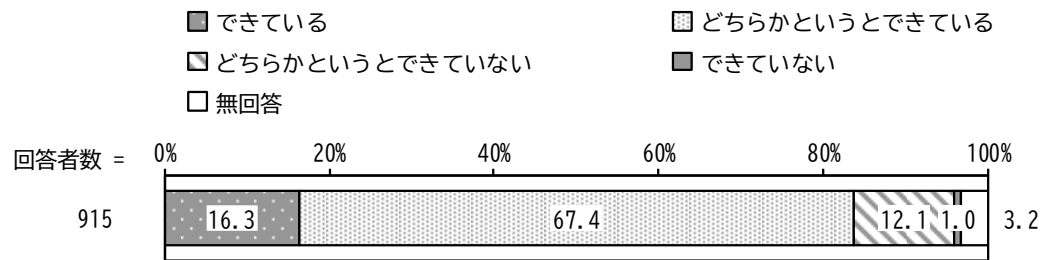
4. 学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませる工夫をしている

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 81.6%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 14.4%となっています。



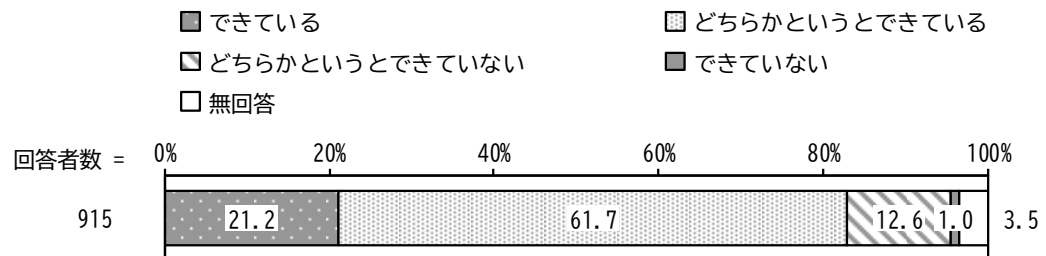
5. 児童生徒の思考を促す発問を工夫する

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 83.7%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 13.1%となっています。



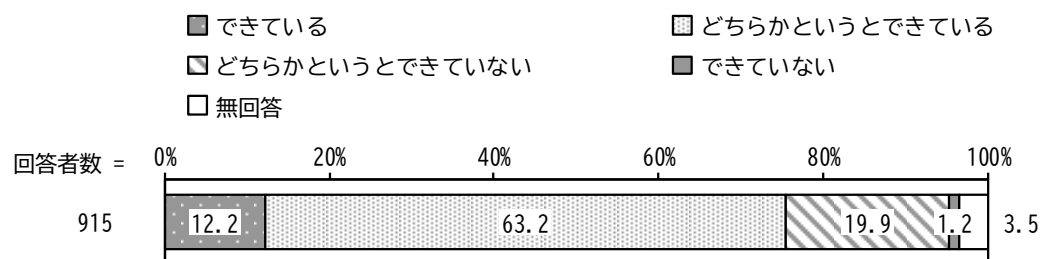
6. 自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 82.9%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 13.6%となっています。



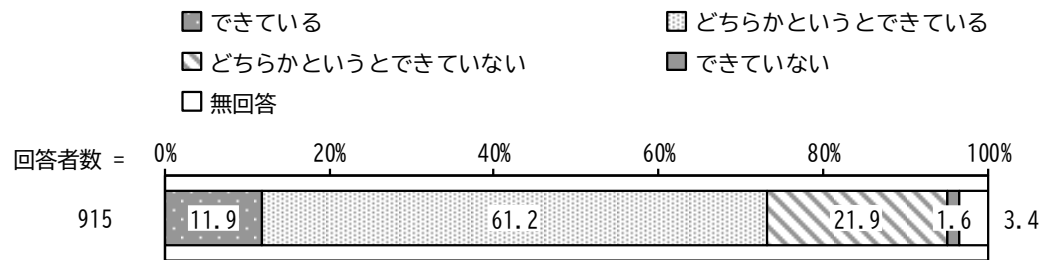
7. 多面的・多角的なものの方見方に気付かせる工夫をしている

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 75.4%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 21.1%となっています。



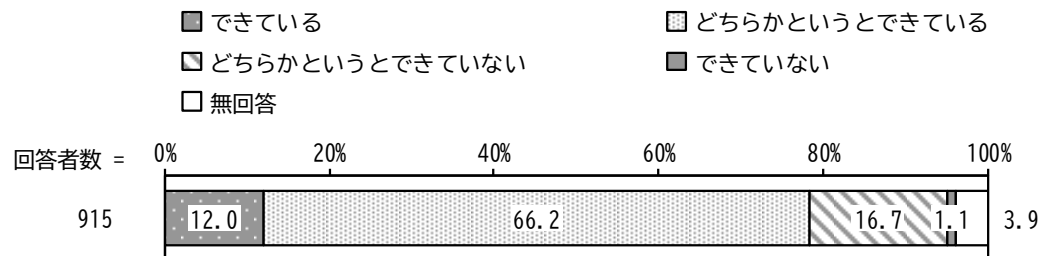
8. 資料等と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 73.1%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 23.5%となっています。



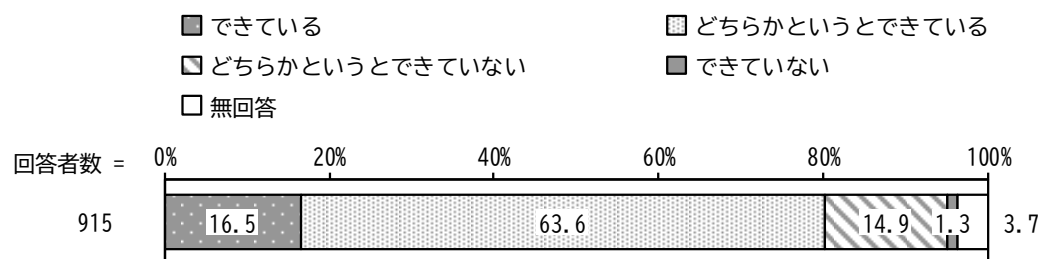
9. それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている

「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 78.2%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 17.8%となっています。



10. 評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている

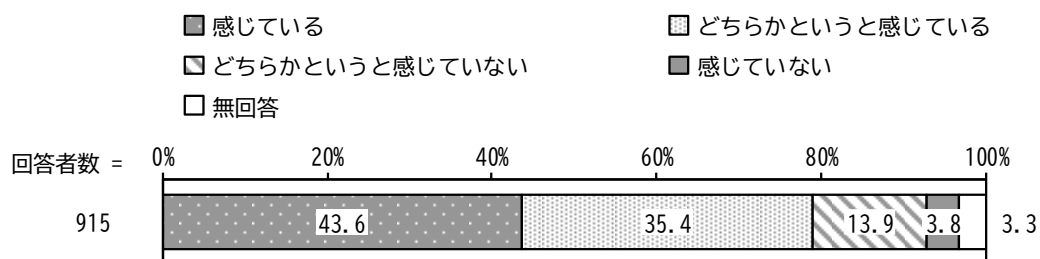
「できている」「どちらかというとできている」を合わせた”できている”の割合が 80.1%、「どちらかというとできていない」「できていない」を合わせた”できていない”の割合が 16.2%となっています。



(3) 勤務の状況等について

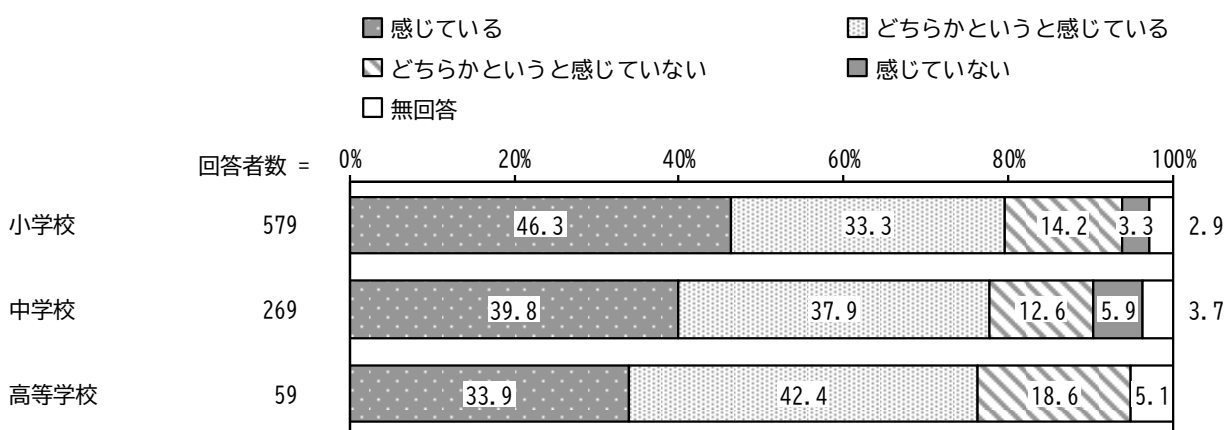
問 14 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。(○は1つ)

「感じている」「どちらかというと感じている」を合わせた”感じている”の割合が 79.0%、「どちらかというと感じていない」「感じていない」を合わせた”感じていない”の割合が 17.7%となっています。



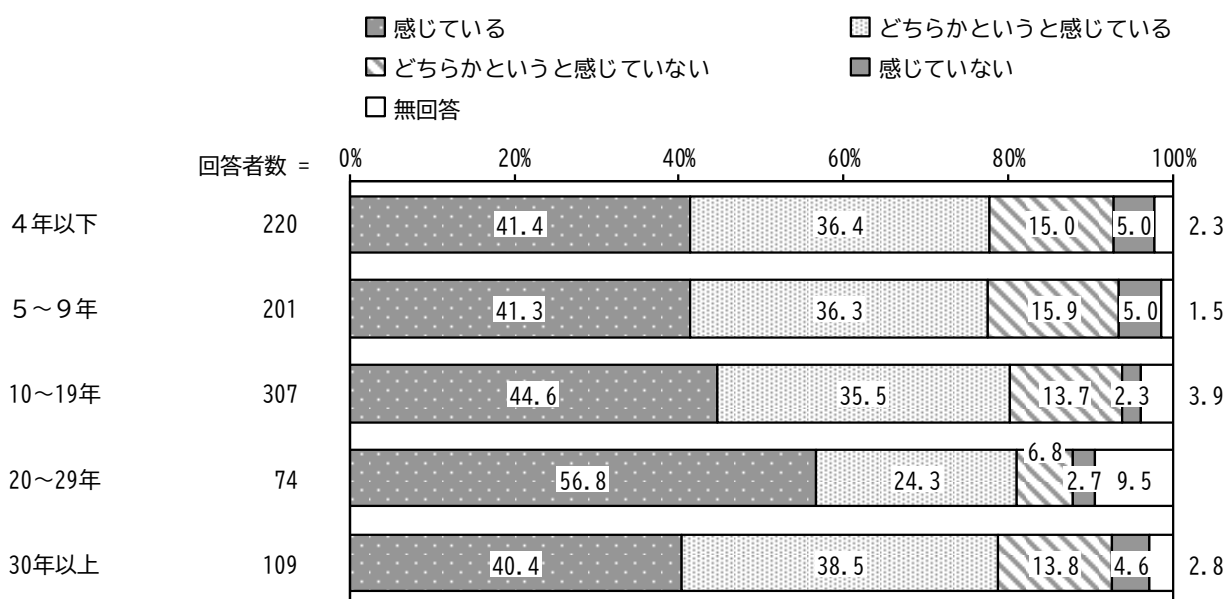
【勤務先の校種別】

勤務先の校種別では、小学校で最も忙しいと感じている割合が高くなっています。



【経験年数別】

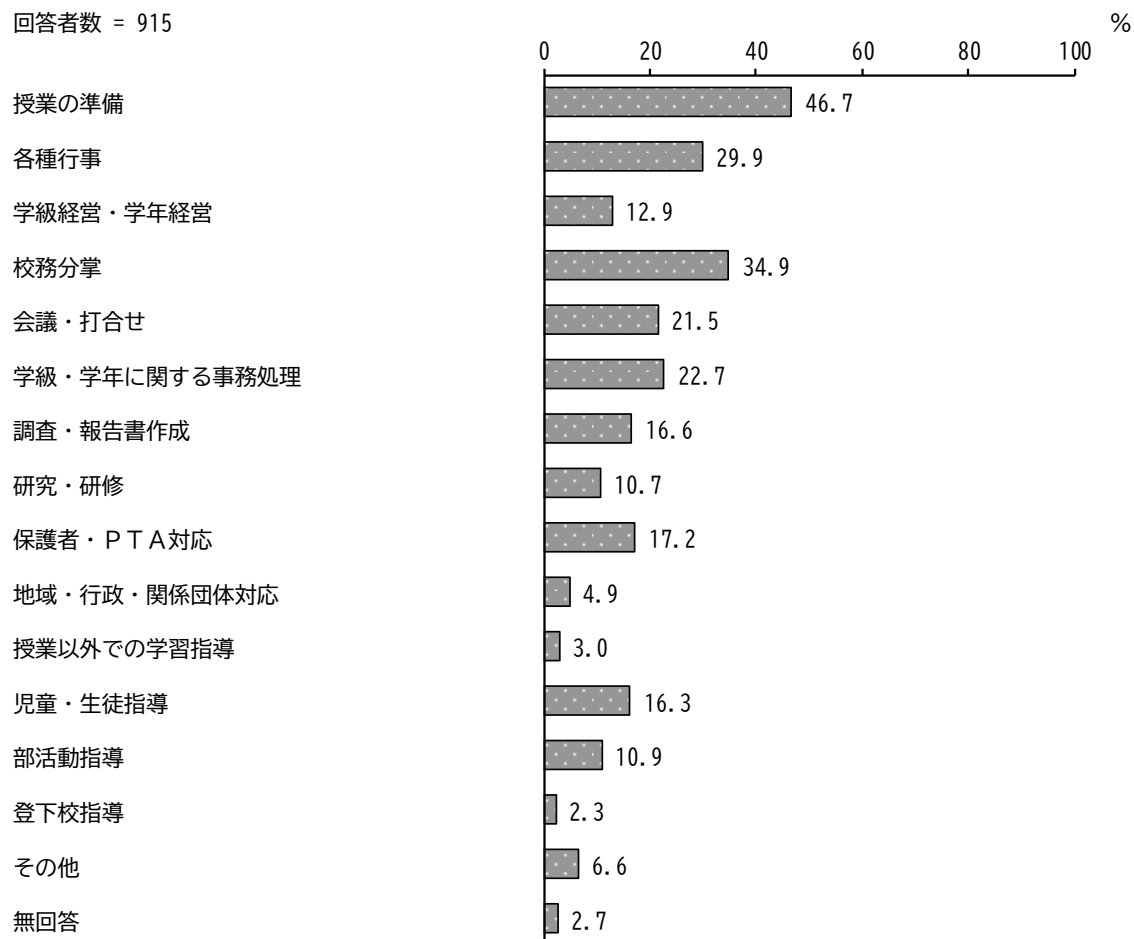
経験年数別にみると、大きな差はありませんが、20～29 年経験のある教職員が最も忙しさを「感じている」割合が高くなっています。



問 15 仕事をするうえで、あなたが、授業を行う以外で、時間を要している業務は、どのような業務ですか。(〇は3つまで)

「授業の準備」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「校務分掌」の割合が 34.9%、「各種行事」の割合が 29.9%となっています。

回答者数 = 915



【職務で忙しいと感じるか別】

「職務で忙しいと感じるか」との比較でみると、「校務分掌」について忙しいと感じているかたの割合が高くなっています。そのほかの項目では、大きな差はみられません。

(単位：％)

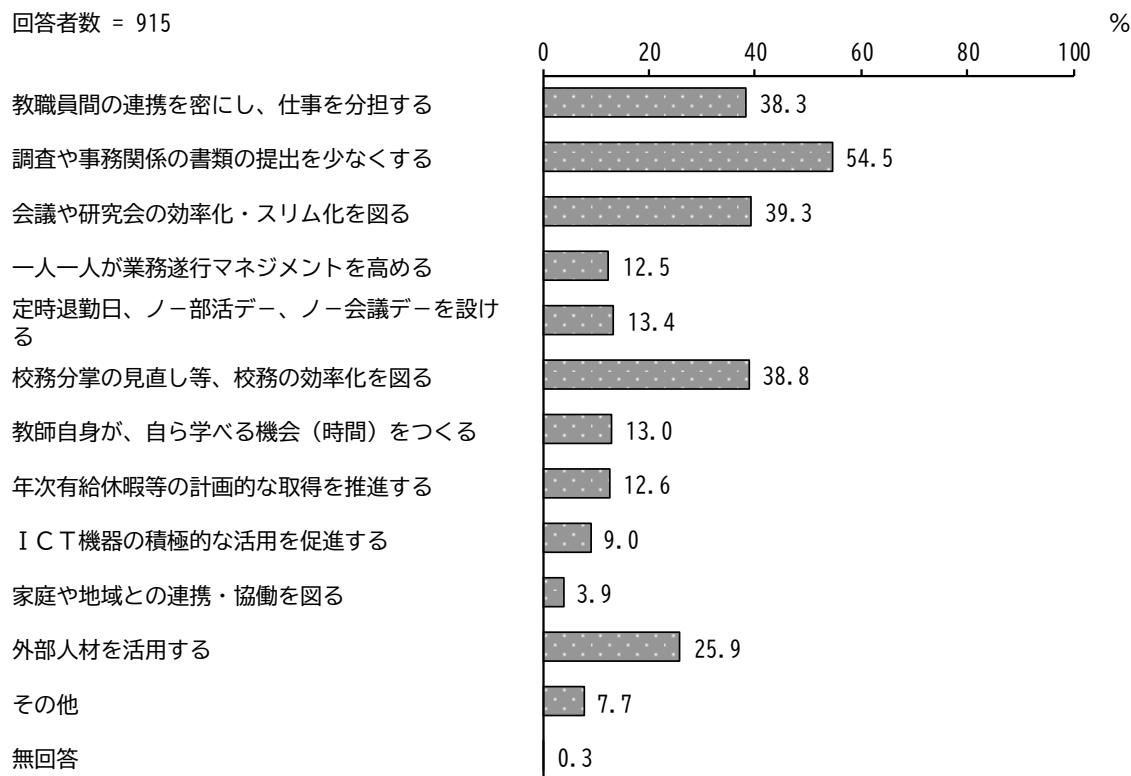
区分	回答者数 (件)	授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	校務分掌	会議・打合せ	学級・学年に関する事務処理	調査・報告書作成	研究・研修
全 体	915	46.7	29.9	12.9	34.9	21.5	22.7	16.6	10.7
感じている	399	48.1	31.1	16.0	40.9	23.1	29.8	17.5	10.8
どちらかというと感じている	324	46.6	32.4	11.1	32.1	21.3	19.8	17.6	12.3
どちらかというと感じていない	127	37.0	24.4	7.1	29.1	18.9	10.2	12.6	10.2
感じていない	35	54.3	20.0	8.6	11.4	22.9	11.4	17.1	2.9

区分	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	児童・生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
全 体	17.2	4.9	3.0	16.3	10.9	2.3	6.6	2.7
感じている	19.0	3.0	1.5	16.3	11.0	1.0	7.3	1.0
どちらかというと感じている	16.4	6.2	4.0	15.7	12.3	2.5	7.1	2.2
どちらかというと感じていない	13.4	6.3	3.9	18.9	8.7	4.7	4.7	9.4
感じていない	17.1	8.6	5.7	14.3	5.7	5.7	2.9	—

問 16 よりよい教育活動を創出するために必要な働き方改革は何だと思いますか。
(○は3つまで)

「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「会議や研究会の効率化・スリム化を図る」の割合が 39.3%、「校務分掌の見直し等、校務の効率化を図る」の割合が 38.8%となっています。

回答者数 = 915



【職務で忙しいと感じるか別】

「職務で忙しいと感じるか」との比較でみると、「校務分掌の見直し等、校務の効率化を図る」や「外部人材を活用する」について、忙しいと感じているかたの割合が高くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(件)	教職員間の連携を密にし、仕事を分担する	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	会議や研究会の効率化・スリム化を図る	一人一人が業務遂行マネジメントを高める	定時退勤日、ノー部活デー、ノー会議デーを設ける	校務分掌の見直し等、校務の効率化を図る	教師自身が、自ら学べる機会（時間）をつくる	年次有給休暇等の計画的な取得を推進する	ICT機器の積極的な活用を促進する	家庭や地域との連携・協働を図る	外部人材を活用する	その他	無回答
全 体	915	38.3	54.5	39.3	12.5	13.4	38.8	13.0	12.6	9.0	3.9	25.9	7.7	0.3
感じている	399	29.8	60.4	38.6	10.8	12.5	45.1	12.0	12.8	9.8	3.3	29.8	9.3	—
どちらかという と感じている	324	41.7	52.8	42.3	13.6	15.1	33.3	13.9	12.7	8.3	3.4	25.0	6.8	—
どちらかという と感じていない	127	49.6	41.7	35.4	15.0	14.2	34.6	11.8	10.2	9.4	7.9	21.3	7.9	0.8
感じていない	35	45.7	62.9	37.1	17.1	8.6	28.6	22.9	14.3	5.7	—	20.0	—	—

Ⅲ 分析

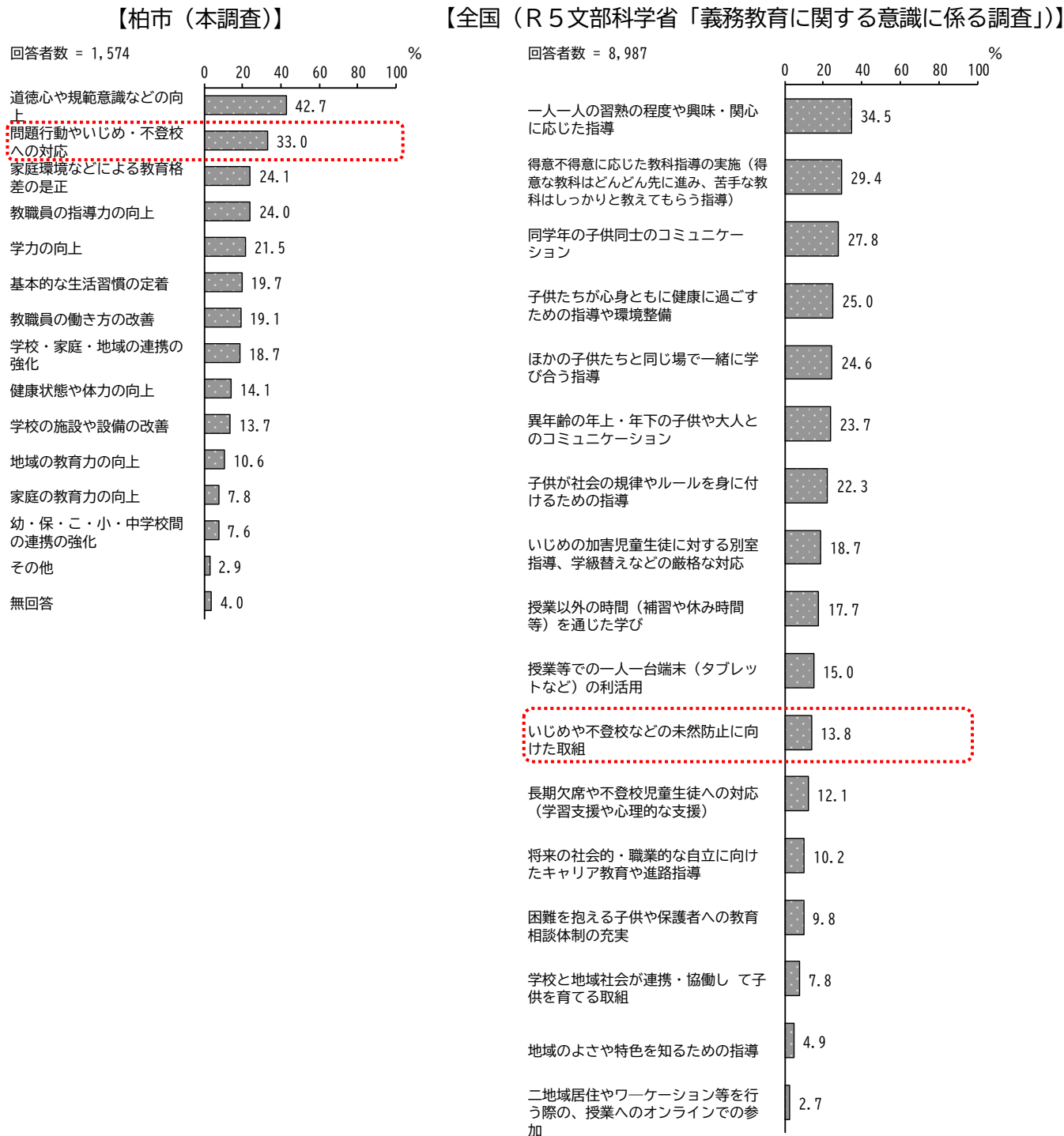
1 学校教育

■ 柏市の特徴

全国調査（令和5年度 文部科学省「義務教育に関する意識に係る調査」）における結果との比較から柏市の特徴として以下のようなことが挙げられます。

・ 教育の課題認識

問題行動やいじめ・不登校への対応について、柏市は大きな関心があることが分かりました。その他道徳性や規範意識、家庭環境などによる教育格差の是正に関することが柏市では上位に挙がっています。

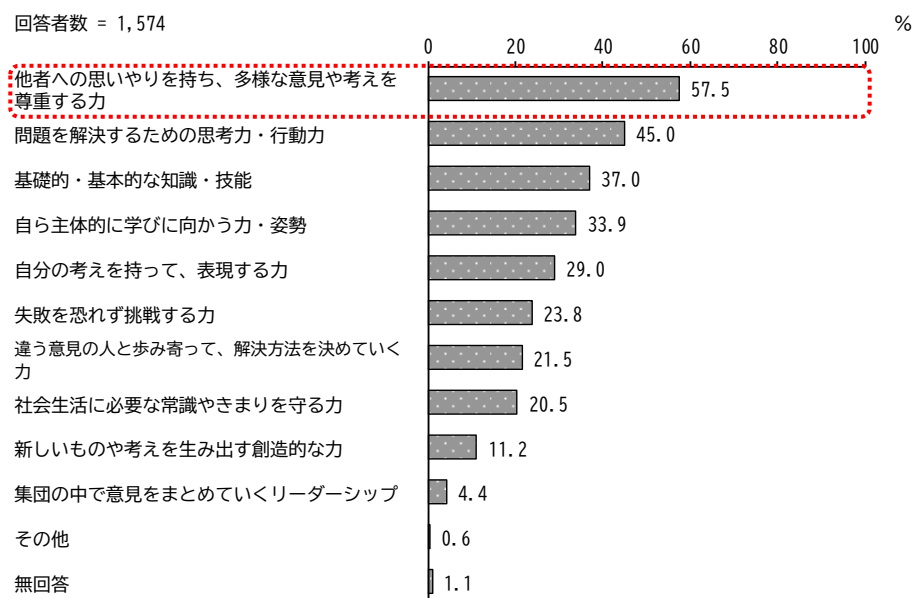


・子どもたちに必要な資質や能力

全国と同様に「問題を解決するための思考力・行動力」、「基礎的・基本的な知識・技能」等が上位となっています。また、「他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力」は柏市では上位である一方で、全国では上位には挙げられていません。このことから、柏市では知識・技能が重要ではあるが、道徳性や規範意識、人間性を高めることが最重要であると考えていることが特徴的です。

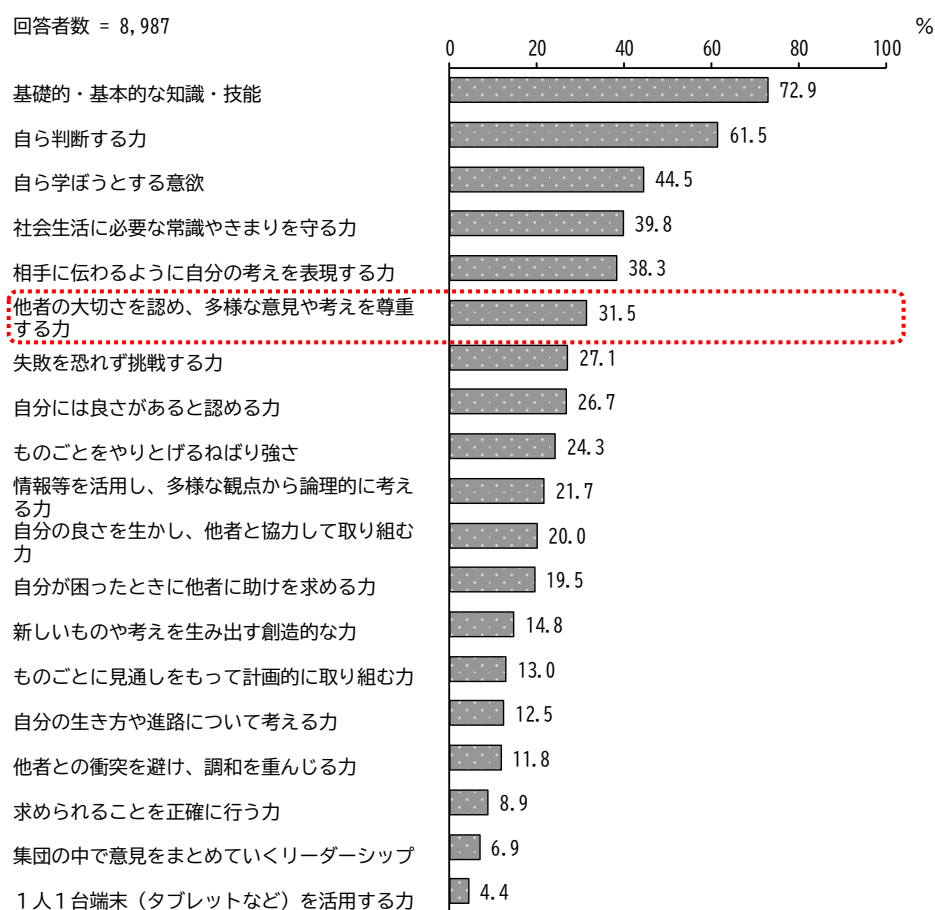
【柏市（本調査）】

回答者数 = 1,574



【全国（R5文部科学省「義務教育に関する意識に係る調査」）】

回答者数 = 8,987



■地域別の特徴

相対的な比較から地域ごとの特徴として以下のようなことが挙げられます。

・北部地域

地域における子どもの教育については社会の中での礼儀を学ぶ環境、家庭教育としては社会的なマナーの育成を求めている、地域全体として社会常識や礼儀正しさについての教育を重視していることが特徴です。また、学校には避難所としての安全性についても役割を期待していることから、災害が起きた際の居場所として学校に求めている地域でもあると考えられます。

・中央地域

学校教育では学力の向上、問題を解決するための思考力・行動力、ICT教育・情報モラル教育を、家庭教育でも基本的な倫理観の育成、豊かな情操の育成を求めている、課題解決型学習やプロジェクト型学習が広く取り入れられる、実践的な思考力と行動力を育む教育に意欲的な地域です。

・南部地域

学校教育では学力の向上、地域の教育力の向上を求めている、また地域の方が学校行事の支援をしている人、してもよいと考えている人が多く、実際に地域として子どもへ関わっていく雰囲気比較的醸成されていると考えられます。4地域の中で地域と学校の連携が最も見られ、学校に求める役割としても、地域の人が集まるコミュニティとして多様な学びの場を形成していくことが期待されていると考えられます。

・東部地域

学校教育では、家庭環境などによる教育格差の是正を課題だと強く感じている地域であると考えられます。子育てに関する啓発活動や家庭教育へのサポートを提供し、さらにICT教育の推進による、オンライン学習へのアクセスを確保することで情報の不均衡の減少を目指すなど、子どもが公平に学べる環境を整えることが求められています。

※下記は全市平均値（総数に対して 4.0 ポイント以上の差がついたものから抽出しています。）

番号	問	北部	中部	南部	東部
問1	柏市の時代を担う子どもたちにのぞむ姿	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問2	子どもたちに必要な資質や能力	<該当なし>	・問題を解決するための思考力・行動力	・失敗を恐れず挑戦する力	<該当なし>
問3	柏市における教育的課題だと感じるもの	<該当なし>	<該当なし>	・学力の向上 ・地域の教育力の向上	・家庭環境などによる教育格差の是正
問4	小中学校での教育において、特に充実させるべき取組	<該当なし>	・学力の向上 ・ICT 教育・情報モラル教育	<該当なし>	<該当なし>
問5	学校に対して協力していること	<該当なし>	<該当なし>	・学校行事の支援	<該当なし>
問6	学校に対して協力してもよいと思うこと	<該当なし>	<該当なし>	・学校行事の支援	<該当なし>
問7	学校に対して教育以外に期待すること	・避難所としての安全性	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問8	家庭における子どもの教育について大事だと思うこと	・社会的なマナーの育成	・基本的な倫理観の育成 ・豊かな情操の育成	<該当なし>	<該当なし>
問9	地域における子どもの教育について、大事だと思うこと	・社会の中での礼儀を学ぶ環境	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問10	コミュニティ・スクールなどの地域の教育活動に参加したり、学校支援ボランティアへの協力の意向	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>

■年代別の特徴

・小中学校で身に付けるべき能力

10 歳代から 30 歳代は知識や技能を習得のための力や姿勢を、40 歳代から 50 歳代は考えや意見などを人と共有する能力を重視するようになっていきます。精神面では 10 歳代から 30 歳代は「知識や技能を習得するにはどう向き合うか」といった社会的に成長していくための精神性の獲得が、40 歳代から 50 歳代では協調性が、60 歳代以上では社会規範や自然環境への意識が重視される傾向にあります。

・子どもや小中学校の課題

40 歳代以下では学校の施設面に関することや教職員の働き方といった学校現場における課題認識が強くなっています。50 歳代以上では道徳心や規範意識などの向上が挙げられ、他者への思いやりを持つことの意識が高まっています。60 歳代以上では学校・家庭・地域の連携の強化を挙げる傾向も高くなっています。

・学校に教育以外で期待すること

30 歳代以下では、放課後の子どもの居場所を挙げる傾向も高く、40 歳代では多様な学びができる生涯学習の場としての機能を、70 歳代以上では多世代の交流の場としてコミュニティ形成機能を期待する傾向にあります。

・家庭教育

10 歳代では「自立心や自制心の育成」「社会的なマナーの育成」、20 歳代から 40 歳代では「基本的な生活習慣の育成」を重視される傾向にあり、社会常識や礼儀正しさについての教育を重視していることが考えられます。

・地域における教育

40 歳代以下では「模範となる大人の存在」や「放課後の子どもの居場所」など、地域における教育を享受する側の視点が見られました。また、50 歳代以上では「保護者が孤立しないように声掛け・相談のしやすい環境」が重視され、地域における教育を支える側としての視点が見られました。

・子どもへの関わり方

10 歳代では学校の授業への協力、40 歳代では地域の中での挨拶の声掛けや学校行事の支援といったことが挙げられる傾向にありました。

また、20 歳代以下では「クラブ活動や部活動の指導」、30 歳代から 40 歳代は「学校行事の支援」について、現状では協力できていないものの、協力したいという意向は高くなっており、60 歳代以上になると「協力したいが今はしていない」が高くなるため、60 歳代のうち「時間があり、かつ元気な高齢者」の人材活用が課題となっています。

※下記は全市平均値（総数に対して 4.0 ポイント以上の差がついたものから抽出しています。）

番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問1	柏市の時代を担う子どもたちにのぞむ姿	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人 ・世界的に活躍できる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を持ち、人生を送ることができる人 ・多様な価値観（色々な考え方）を認めることができる人 ・思いやりがあり、優しい人 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、主体的に行動できる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や周りの変化に対応できる人
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会問題の解決に向けて取り組むことができる人 	<該当なし>	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問2	子どもたちに必要な資質や能力	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能 ・自分の考えを持って、表現する力 ・新しいものや考えを生み出す創造的な力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に学びに向かう力・姿勢 ・失敗を恐れず挑戦する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に学びに向かう力・姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解決するための思考力・行動力 ・自分の考えを持って、表現する力
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<ul style="list-style-type: none"> ・違う意見の人と歩み寄って、解決方法を決めていく力 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者への思いやりを持ち、多様な意見や考えを尊重する力 ・社会生活に必要な常識やきまりを守る力 	

番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問3	柏市における教育的課題だと感じるもの	・問題行動やいじめ・不登校への対応 ・学校の施設や設備の改善	・教職員の働き方の改善	・幼・保・こ・小・中学校間の連携の強化 ・学校の施設や設備の改善 ・教職員の働き方の改善	・学力の向上 ・学校の施設や設備の改善
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		・道徳心や規範意識などの向上	・学校・家庭・地域の連携の強化 ・教職員の指導力の向上	・道徳心や規範意識などの向上 ・基本的な生活習慣の定着	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問4	小中学校での教育において、特に充実させるべき取組	・不登校支援 ・校舎などの改修・安全対策	・幼・保・こ・小・中学校間の連携 ・ICT教育・情報モラル教育 ・不登校支援 ・校舎などの改修・安全対策 ・おいしく安全な給食の提供	・理数教育 ・ICT教育・情報モラル教育 ・校舎などの改修・安全対策 ・おいしく安全な給食の提供	・学力の向上 ・理数教育 ・おいしく安全な給食の提供
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	・いじめの予防や対応	・不登校支援 ・いじめの予防や対応 ・日本語教育	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問5	学校に対して協力していること	・学校の授業への協力	・特にしていない	<該当なし>	・登下校の交通安全の見守り ・学校行事の支援
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	・特にしていない	<該当なし>	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問6	学校に対して協力してもよいと思うこと	・クラブ活動や部活動の指導	・クラブ活動や部活動の指導 ・学校図書館への協力	・学校の授業への協力 ・学校行事の支援	・登下校の交通安全の見守り ・学校行事の支援
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	・協力したいが今はしていない	・協力したいが今はしていない	

番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問7	学校に対して教育以外に期待すること	・国際交流の活動の場	・放課後の子どもの居場所	・放課後の子どもの居場所	・多様な学びの場
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	<該当なし>	・地域の人が集まるコミュニティの場	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問8	家庭における子どもの教育について大事だと思うこと	・自立心や自制心の育成 ・社会的なマナーの育成	・基本的な倫理観の育成	・基本的な倫理観の育成	・基本的な倫理観の育成
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問9	地域における子どもの教育について、大事だと思うこと	・模範となる大人の存在 ・子どもをほめたり、叱ったりする存在	・模範となる大人の存在	・模範となる大人の存在 ・子どもの安全・安心の確保 ・放課後の子どもの居場所	・子どもの安全・安心の確保
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		・保護者が孤立しないように声掛け・相談のしやすい環境	<該当なし>	・保護者が孤立しないように声掛け・相談のしやすい環境	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問10	コミュニティ・スクールなどの地域の教育活動に参加したり、学校支援ボランティアへの協力の意向	<該当なし>	・そう思わない	<該当なし>	<該当なし>
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	

2 地域との関わり

■柏市全体の特徴

・地域の子どもとの接し方

子どもと接していない方が多いが、「挨拶・声掛けをしている」と「登下校や遊んでいるときに見守っている」を合わせると子どもと接しているの方が割合が高くなっており、子どもとの交流を大事にしている地域であると考えられます。

・地域の子どもと接していない理由

「時間がない」や「接する機会がない」がほぼ割合を占めているため、子どもに関わることに對しての意欲がないわけではないと考えられます。

■地域別の特徴

・南部地域

挨拶・声掛けは特に南部地域で割合が高く、他の設問でも学校行事の支援の割合も高いため、子どもとの交流が多いと考えられます。

※下記は全市平均値（総数に対して 4.0 ポイント以上の差がついたものから抽出しています。）

番号	問	北部	中部	南部	東部
問5	学校に対して協力していること	<該当なし>	<該当なし>	・学校行事の支援	<該当なし>
問6	学校に対して協力してもよいと思うこと	<該当なし>	<該当なし>	・学校行事の支援	<該当なし>
問11	普段の地域の子どもとの接し方	<該当なし>	<該当なし>	・挨拶・声掛けをしている	<該当なし>
問12	地域の子どもと接していない理由	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>

■年代別の特徴

・地域の子どもとの接し方

40 歳代、70 歳代以上で挨拶・声掛けをしている方が多くなっています。

・地域の子どもと接していない理由

10 歳代から 20 歳代で関わる時間や接する機会がないと回答した方が多く、70 歳代では体力的に難しい方が多くみられました。

※下記は全市平均値（総数に対して 5.0 ポイント以上の差がついたものから抽出しています。）

番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問11	普段の地域の子どもとの接し方	・接していない	・接していない	<該当なし>	・挨拶・声掛けをしている
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		<該当なし>	・接していない	・挨拶・声掛けをしている	
番号	問	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代
問12	地域の子どもと接していない理由	・時間がない ・興味がない	・接する機会がない ・子どもとの関わりがストレスになる	<該当なし>	・時間がない
		50歳代	60歳代	70歳以上	
		・その他	<該当なし>	・体力的に難しい	

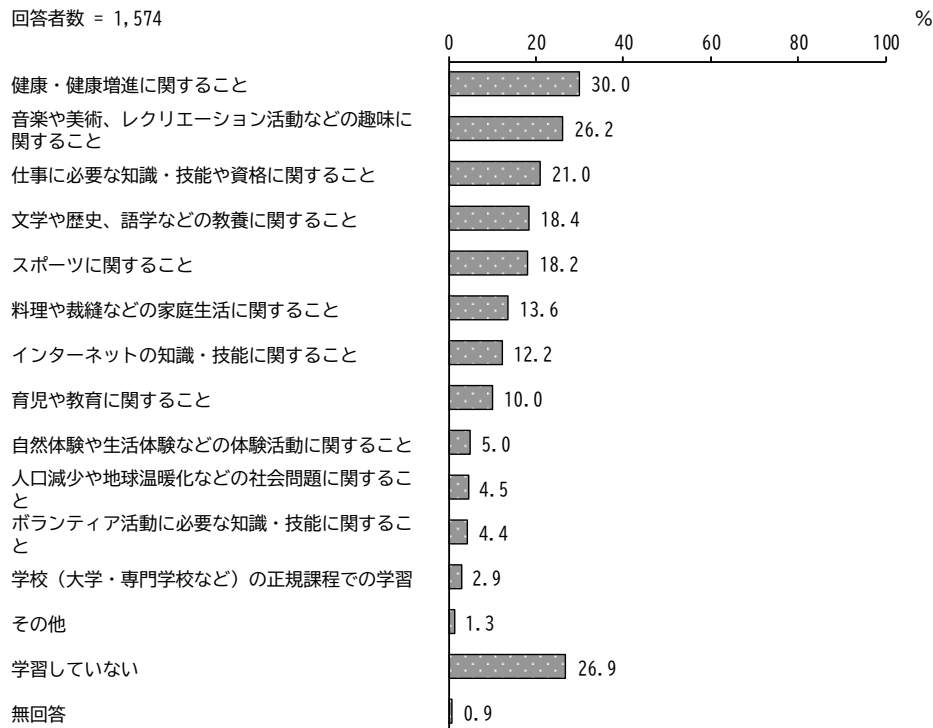
3 生涯学習

■ 柏市の特徴

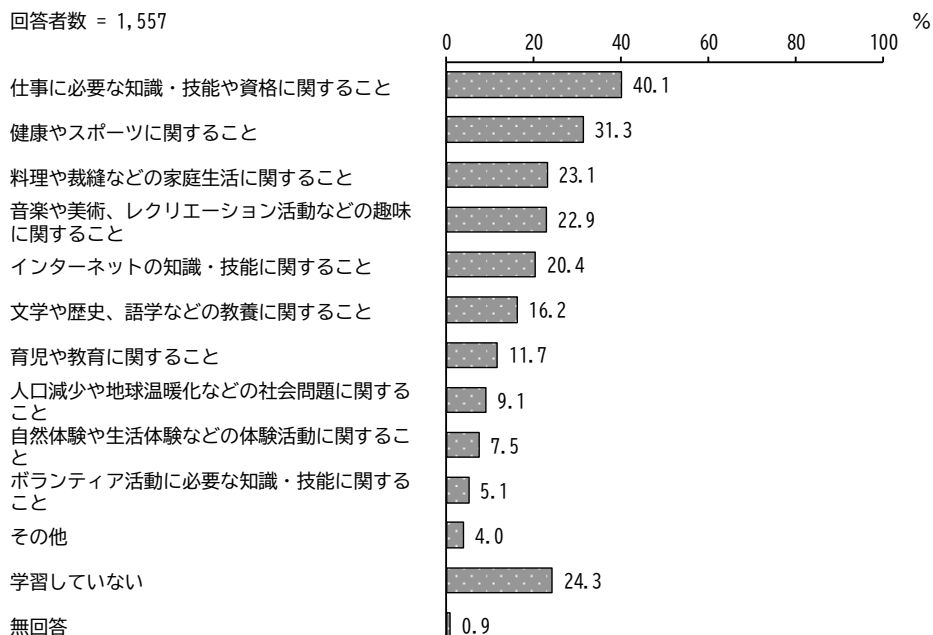
・ 生涯学習の経験と形態

柏市では、全国調査（令和4年度 内閣府「生涯学習に関する世論調査」）と同様に、生涯学習を行っている最上位の回答割合が「学習していない」の割合を上回りました。生涯学習の内容については「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」や「健康・健康増進に関すること」、「スポーツに関すること」が多いことは全国と共通していますが、仕事に必要な知識・技能や資格に関すること「インターネットの知識・技能に関すること」「料理や裁縫などの家庭生活に関すること」などについて、全国より低い割合となっています。個人の健康や趣味に関する学習内容について関心が高いことが柏市の特徴ともいえます。

【柏市（本調査）】



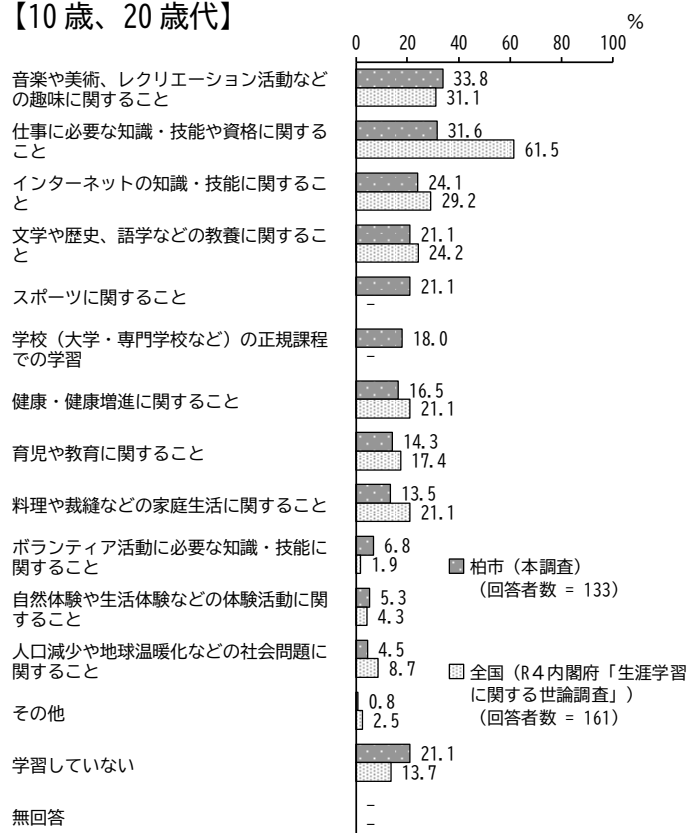
【全国（R4内閣府「生涯学習に関する世論調査」）】



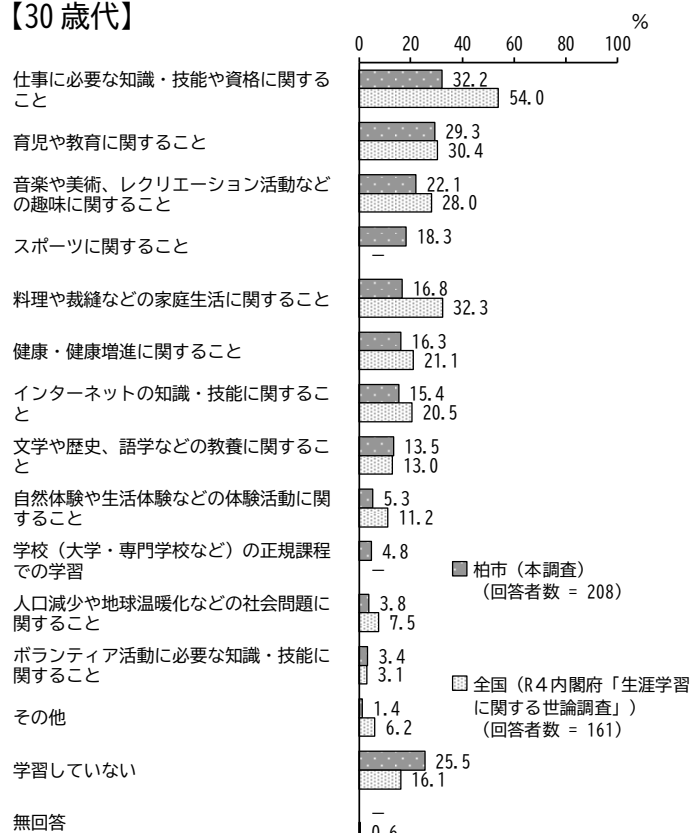
・生涯学習の経験

柏市・全国ともに、30 歳代から 50 歳代では「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」の割合が高く、60 歳代以上では「健康・健康増進に関すること」の割合が高くなっています。また、10 歳、20 歳代では「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」の割合が高くなっています。

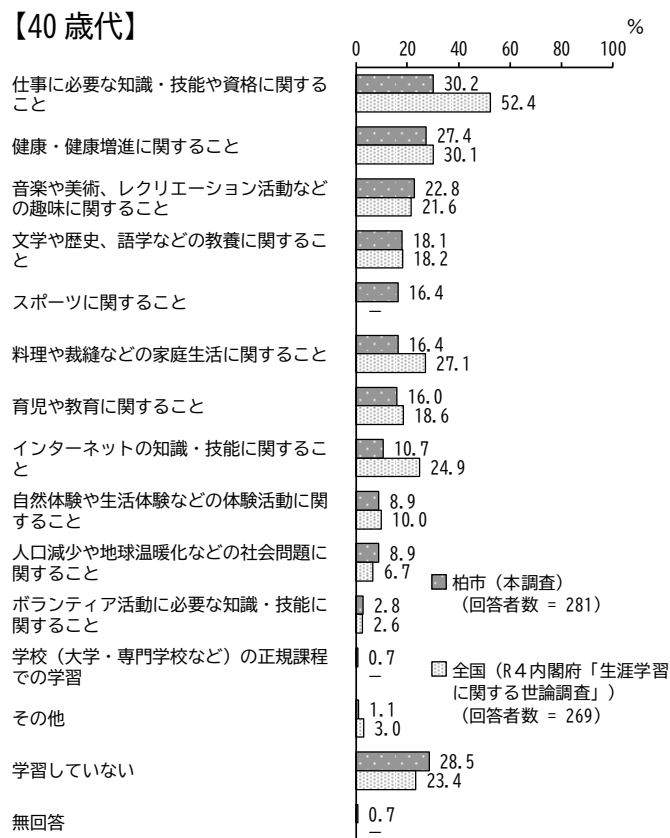
【10 歳、20 歳代】



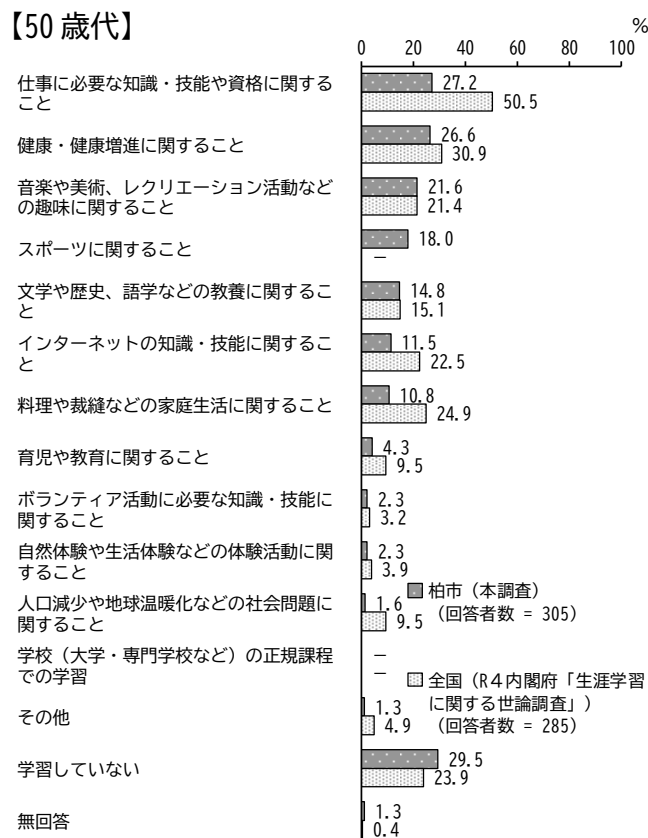
【30 歳代】



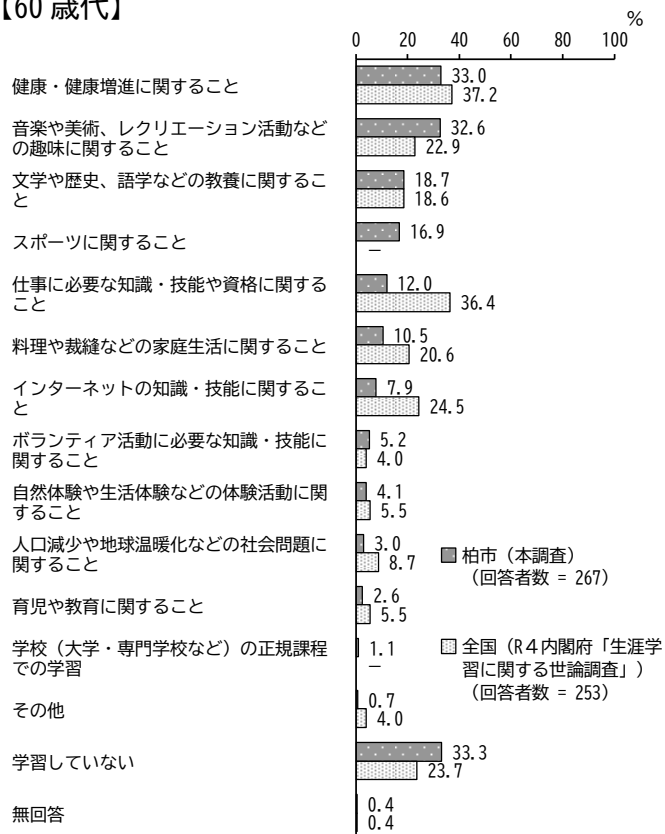
【40 歳代】



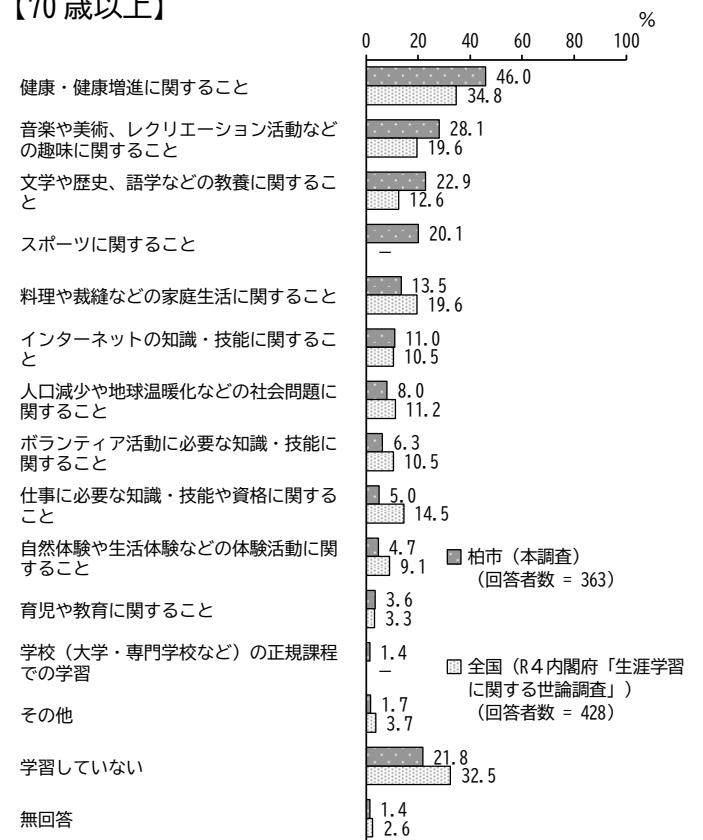
【50 歳代】



【60 歳代】



【70 歳以上】



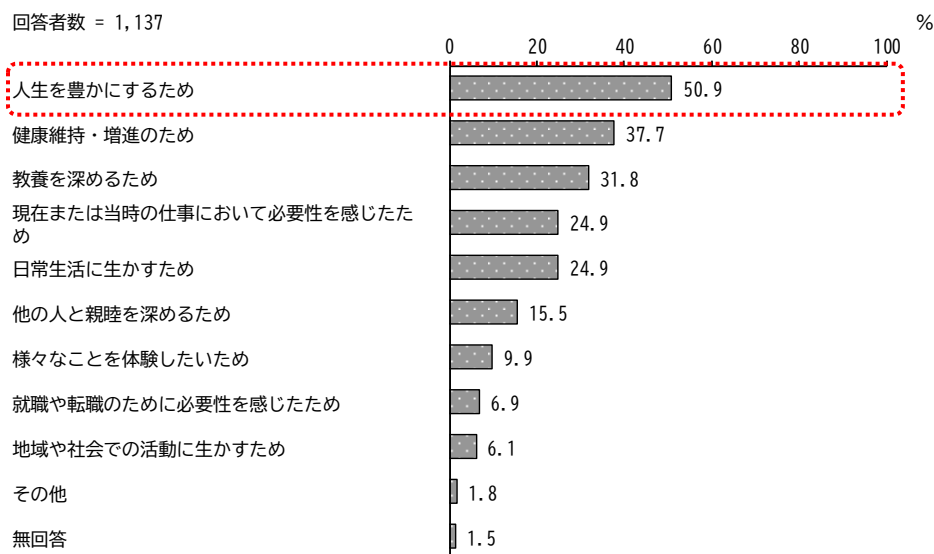
※全国の調査では、「健康・健康増進に関すること」「スポーツに関すること」の選択肢は「健康やスポーツに関すること」となっていました。また、「学校（大学・専門学校など）の正規課程での学習」の選択肢はありませんでした。

・学習目的

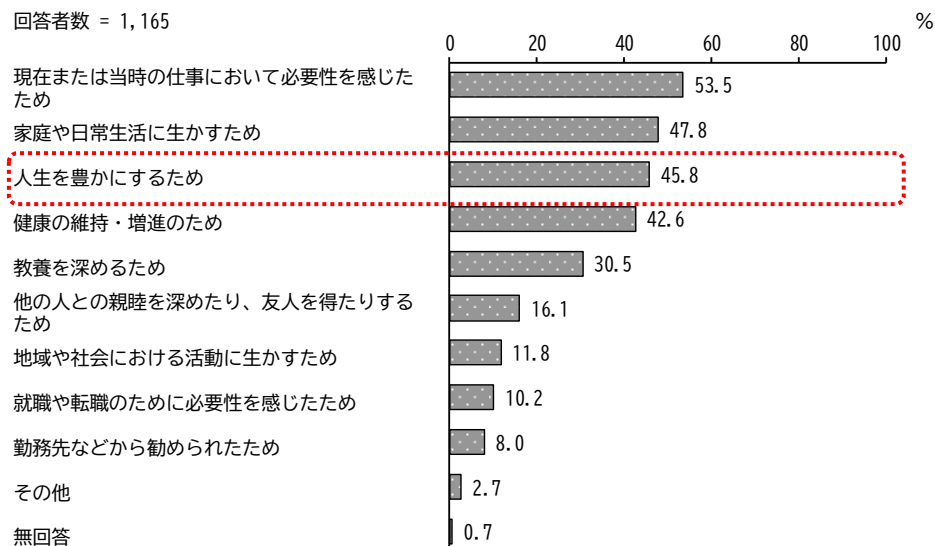
生涯学習を行っている理由について、柏市は、全国調査結果と比べて、「人生を豊かにするため」が多くなっている。また、「健康を維持・増進している」が2番目に多くっており、生涯学習が健康増進に活かされている傾向もあることがうかがえます。

柏市においては「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」「日常生活に生かすため」というよりは、「人生を豊かにするため」や「健康のため」、「教養を深めるため」に生涯学習を行っている人が多いと思われます。

【柏市（本調査）】



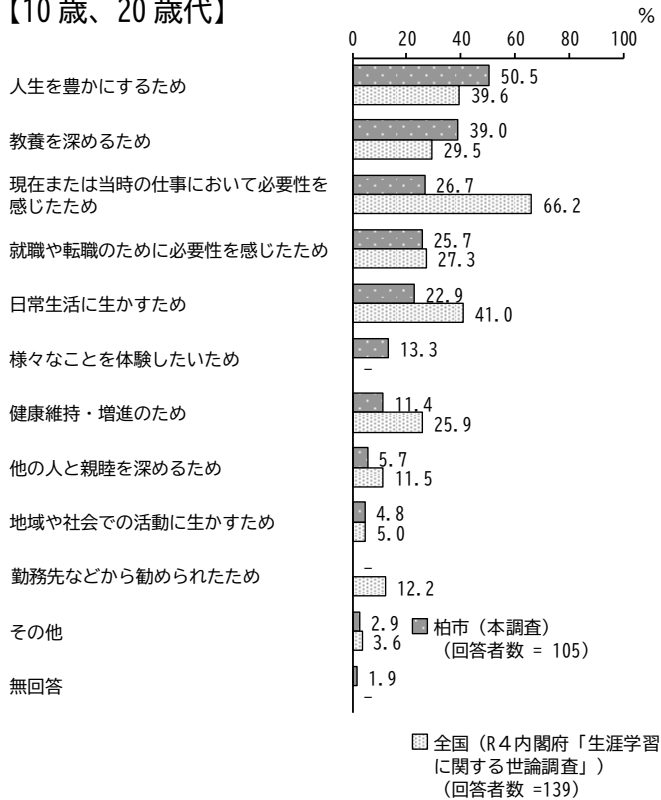
【全国（R4内閣府「生涯学習に関する世論調査」）】



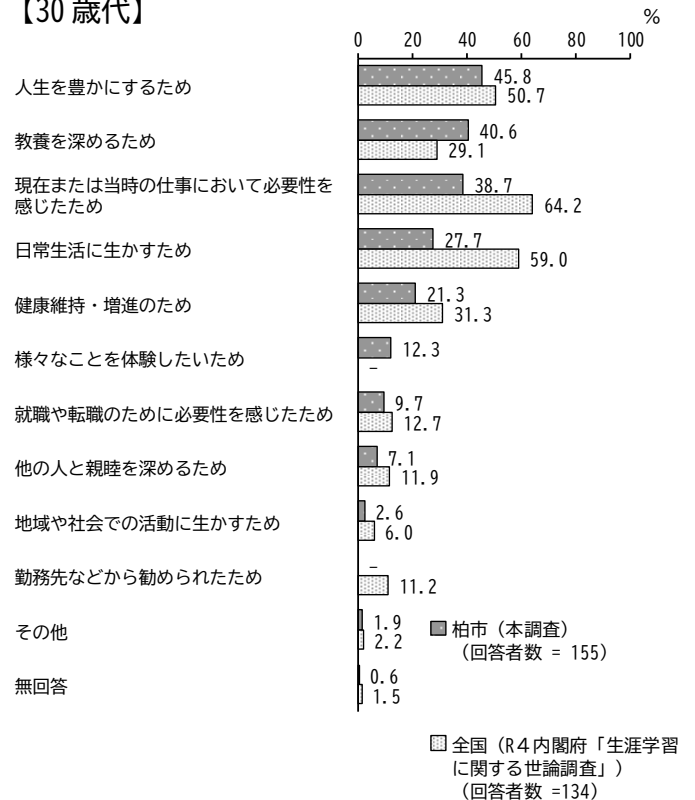
・学習の目的

10歳、20歳代から60歳代について、柏市では「人生を豊かにするため」の割合が最も高くなっており、全国では「現在または当時の仕事において必要性を感じたため」の割合が最も高くなっています。また、70歳代については、柏市・全国ともに「健康維持・増進のため」の割合が最も高くなっています。

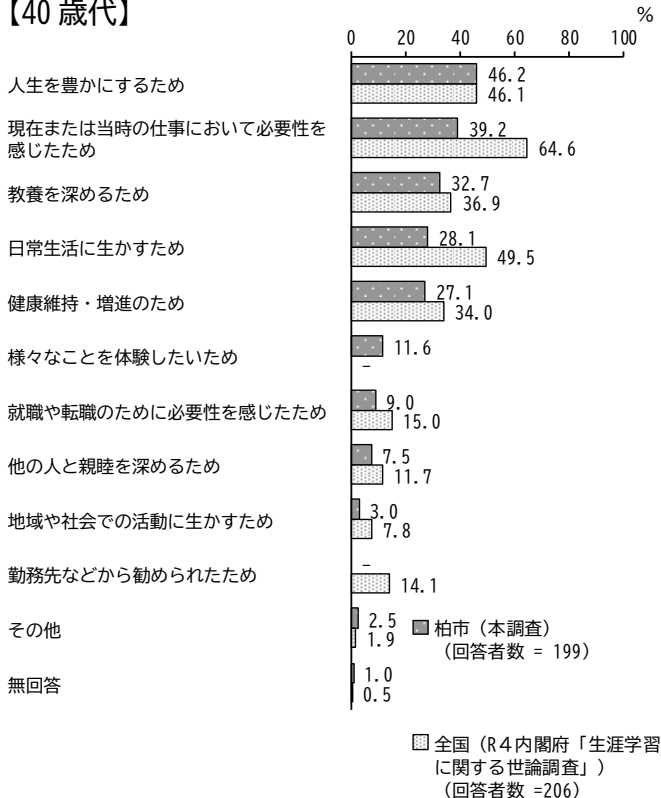
【10歳、20歳代】



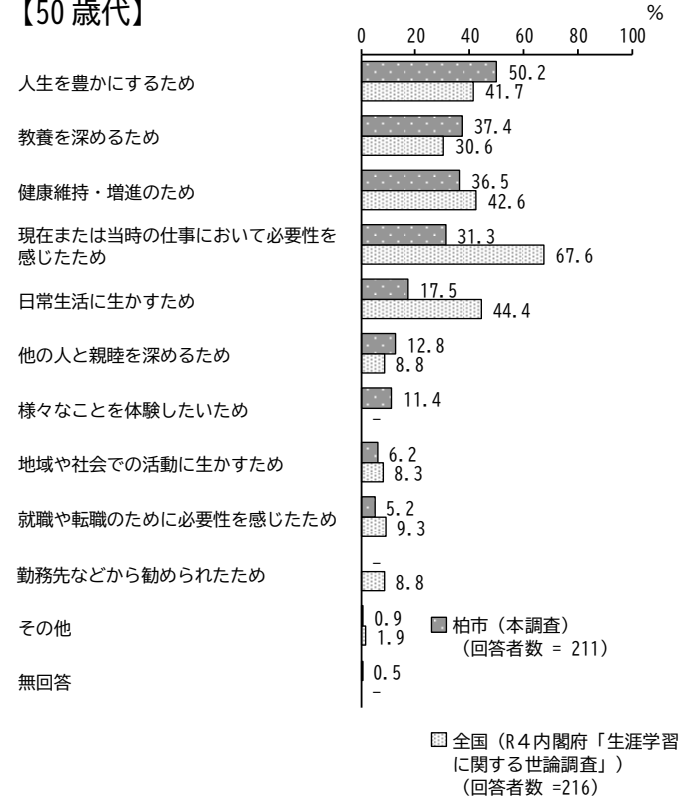
【30歳代】



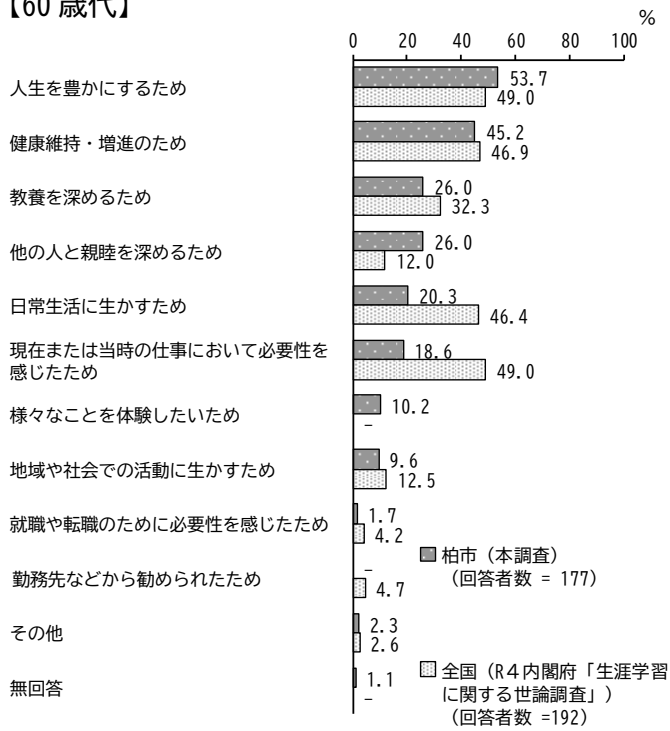
【40歳代】



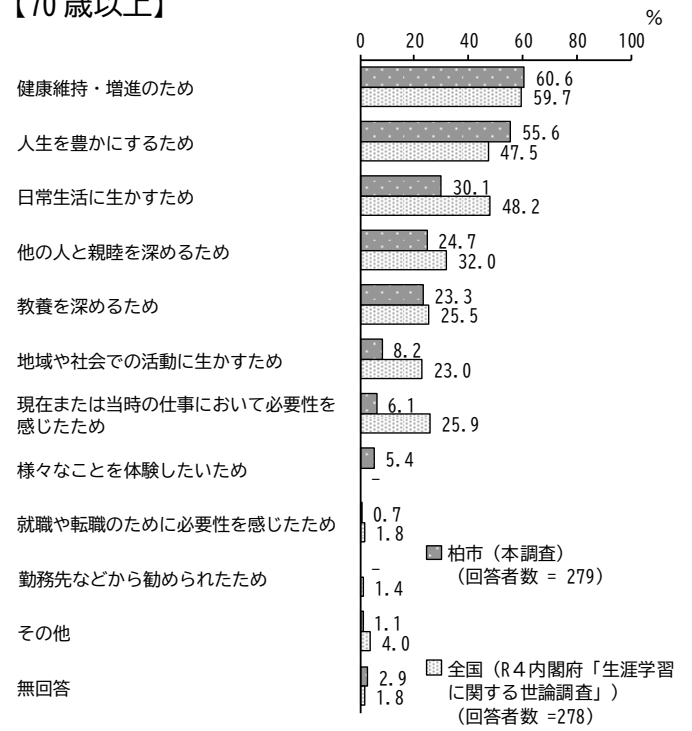
【50歳代】



【60 歳代】



【70 歳以上】



※全国の調査では、「日常生活に生かすため」の選択肢は「家庭や日常生活に生かすため」、「他の人と親睦を深めるため」の選択肢は「他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため」、「地域や社会での活動に生かすため」の選択肢は「地域や社会における活動に生かすため」となっていました。また、「様々なことを体験したいため」の選択肢はありませんでした。

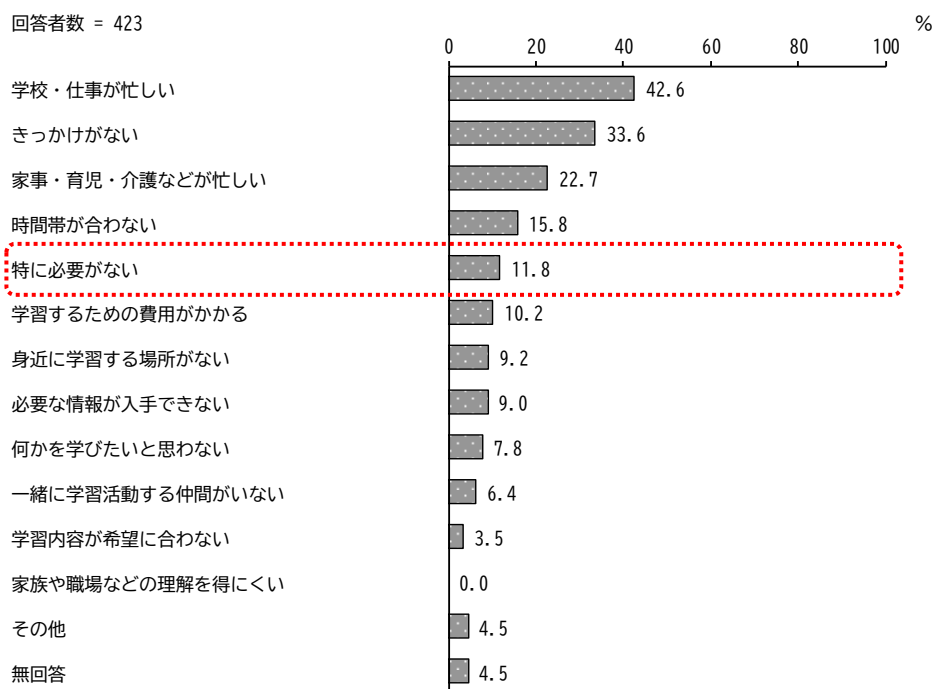
※柏市の調査では、「勤務先などから勧められたため」の選択肢はありませんでした。

・学習しない理由

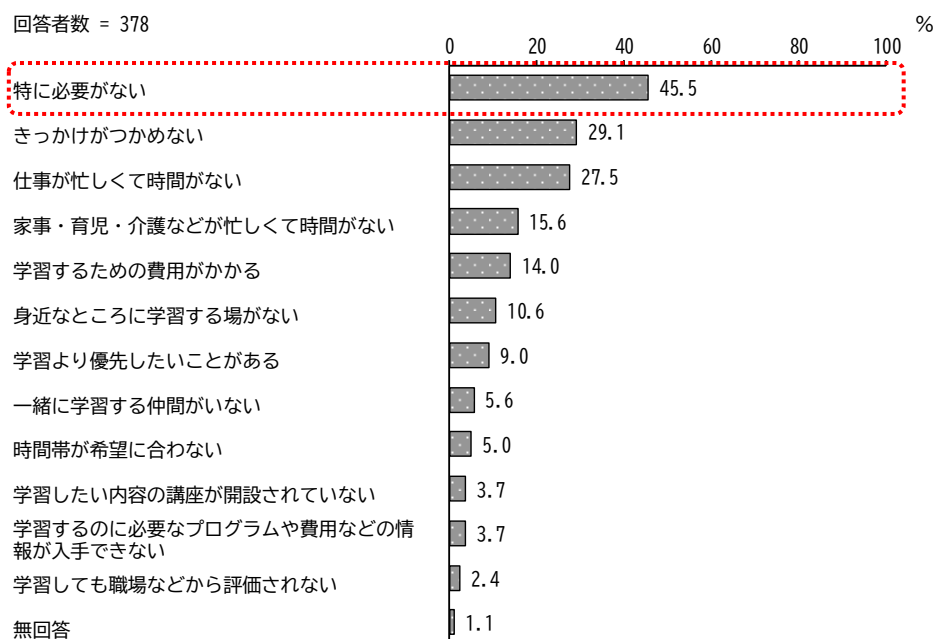
生涯学習を行わない理由としては、全国調査結果と同様に「仕事が忙しい」「きっかけがない」「家事・育児・介護などが忙しい」等が上位となっています。また、「特に必要がない」が全国では最上位である一方で、柏市ではそこまで上位には挙げられていません。

このことから、柏市では、生涯学習の必要性は感じるものの、仕事や家事・育児等の忙しい人、きっかけを見つけられない人が多いと考えられ、こうした市民への支援が課題となります。

【柏市（本調査）】



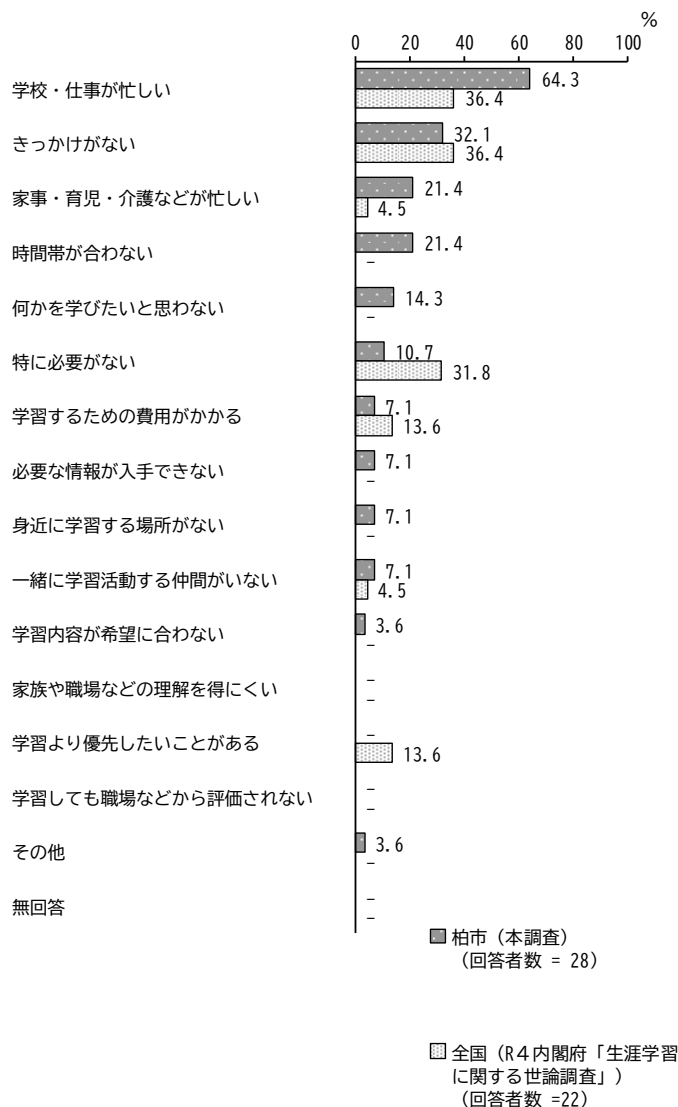
【全国（R4内閣府「生涯学習に関する世論調査」）】



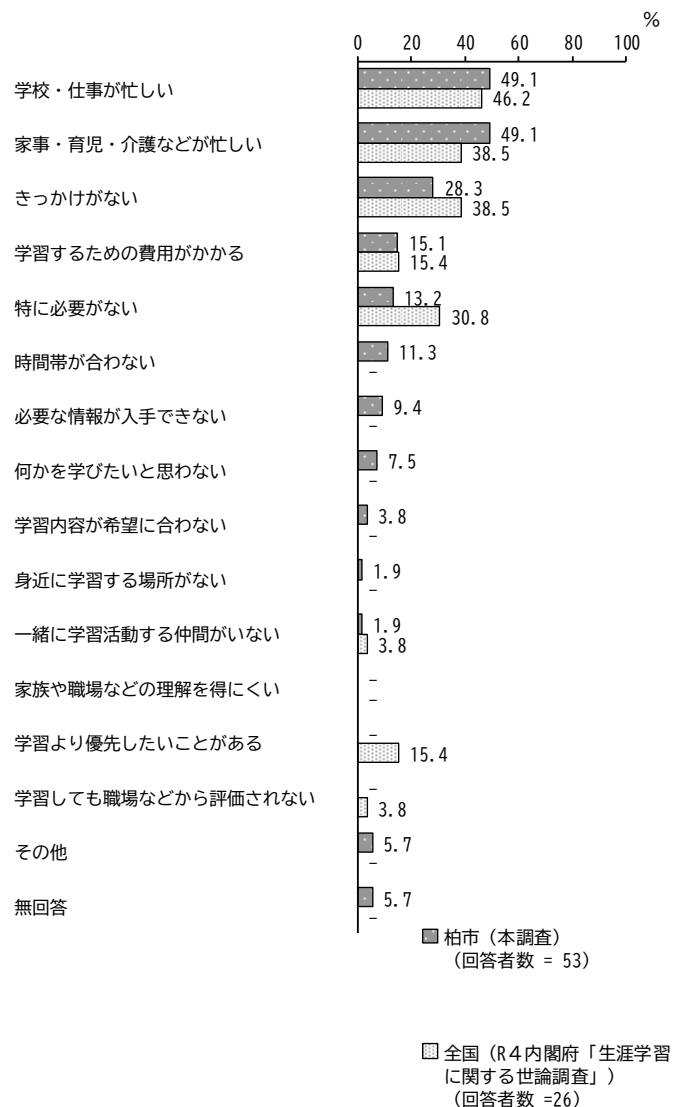
・学習しない理由

柏市・全国ともに、10 歳、20 歳代から 50 歳代では「学校・仕事が忙しい」の割合が高く、60 歳代、70 歳以上では「きっかけがない」の割合が高くなっています。また、柏市の 60 歳代では「学校・仕事が忙しい」の割合も高くなっています。

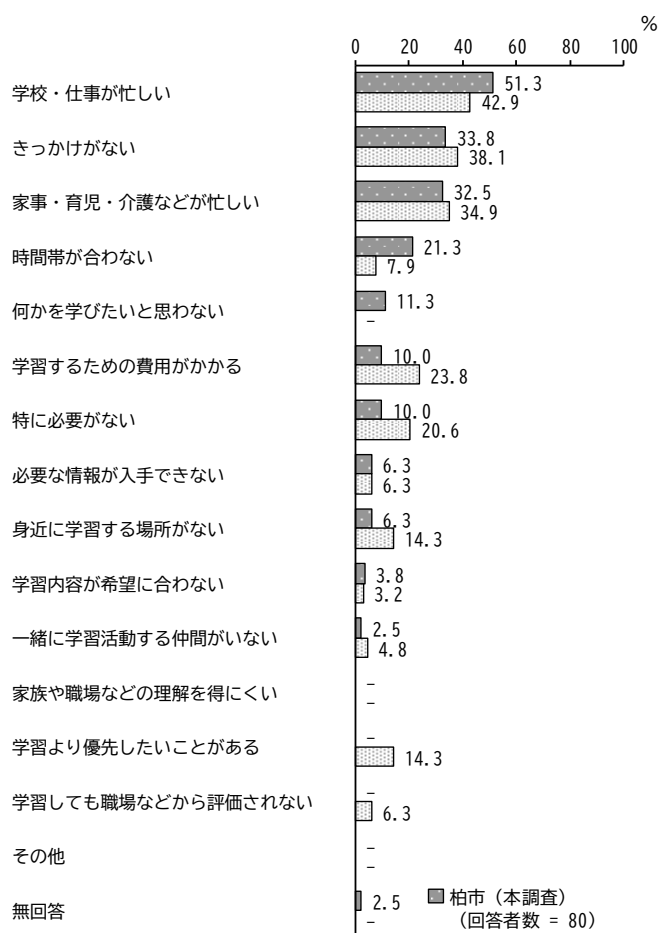
【10 歳、20 歳代】



【30 歳代】

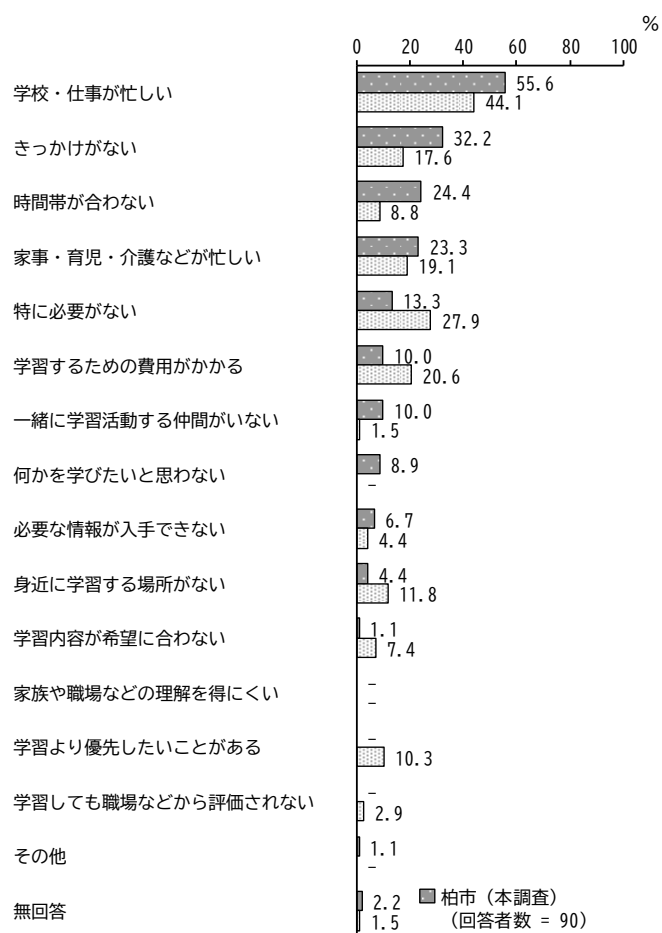


【40 歳代】



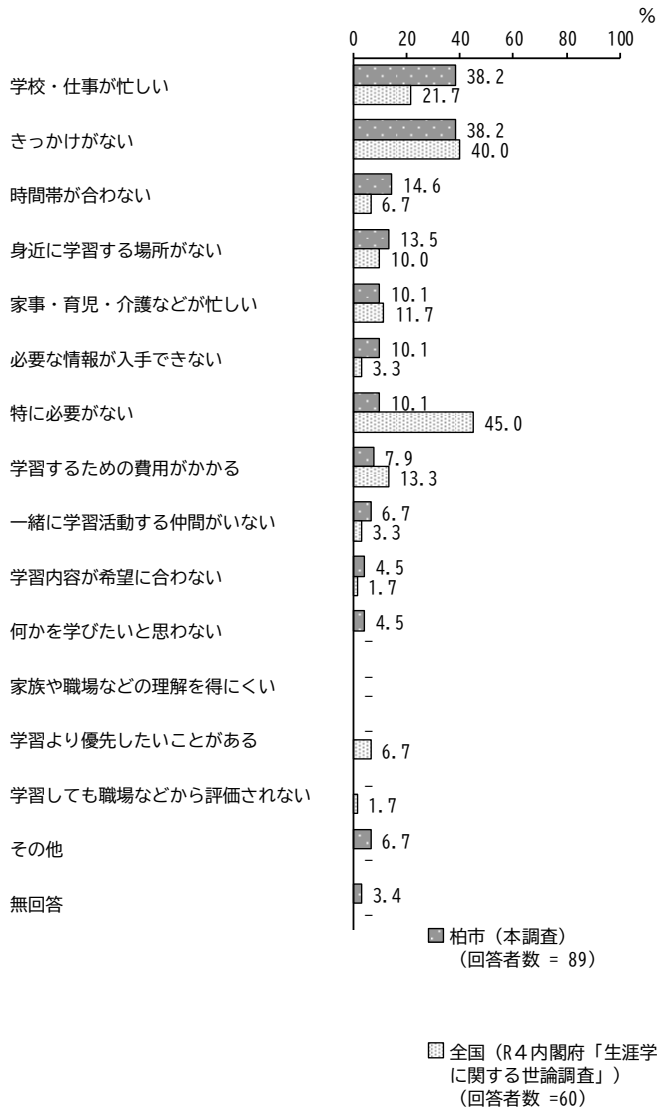
全国 (R4内閣府「生涯学習に関する世論調査」)
(回答者数 = 63)

【50 歳代】

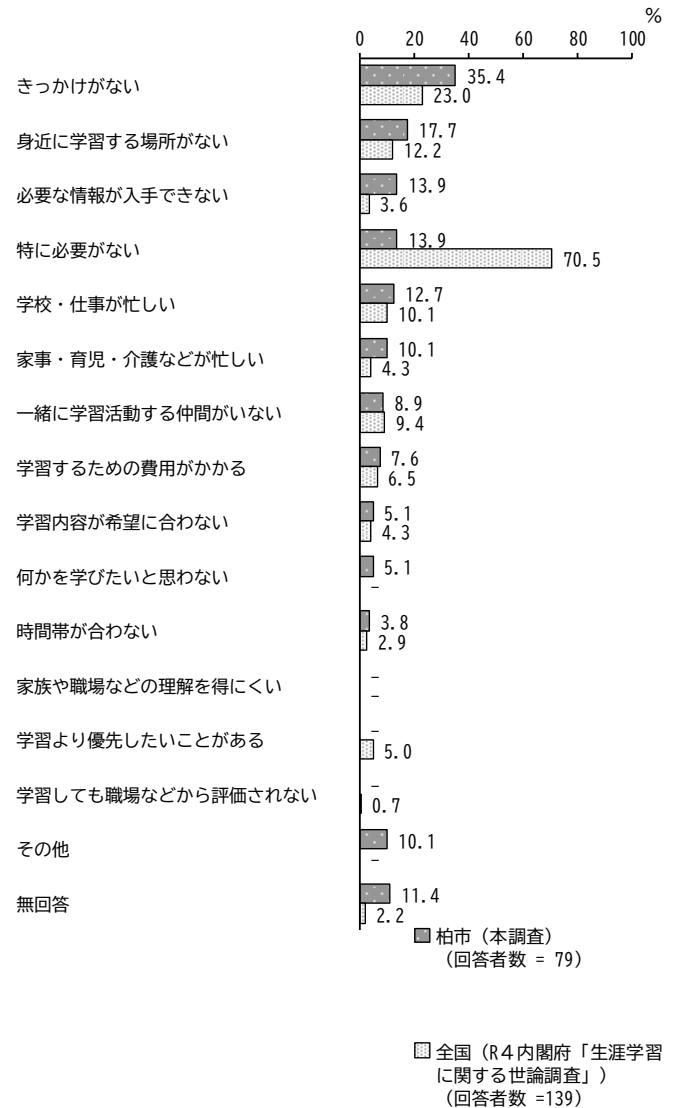


全国 (R4内閣府「生涯学習に関する世論調査」)
(回答者数 = 68)

【60 歳代】



【70 歳以上】



※全国の調査では、「きっかけがない」の選択肢は「きっかけがつかめない」、「身近に学習する場所がない」の選択肢は「身近なところに学習する場がない」、「必要な情報が入手できない」の選択肢は「学習するのに必要なプログラムや費用などの情報が入手できない」、「家事・育児・介護などが忙しい」の選択肢は「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」、「一緒に学習活動する仲間がいない」の選択肢は「一緒に学習する仲間がいない」、「学習内容が希望に合わない」の選択肢は「学習したい内容の講座が開設されていない」、「時間帯が合わない」の選択肢は「時間帯が希望に合わない」となっていました。また、「何かを学びたいと思わない」、「家族や職場などの理解を得にくい」の選択肢はありませんでした。

※柏市の調査では、「学習より優先したいことがある」、「学習しても職場などから評価されない」の選択肢はありませんでした。

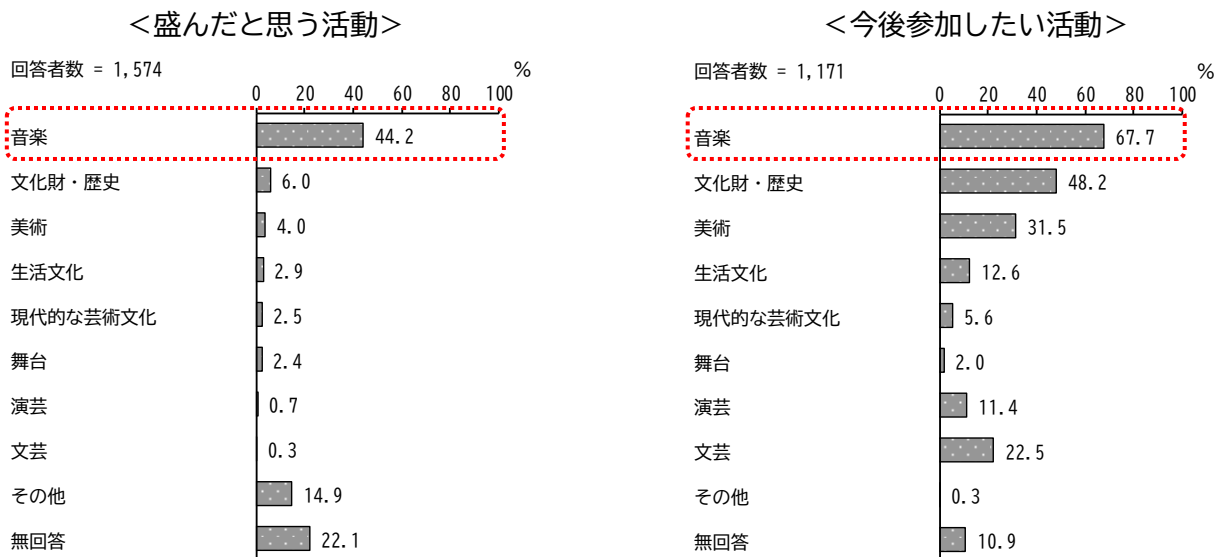
4 芸術文化

■ 柏市の特徴

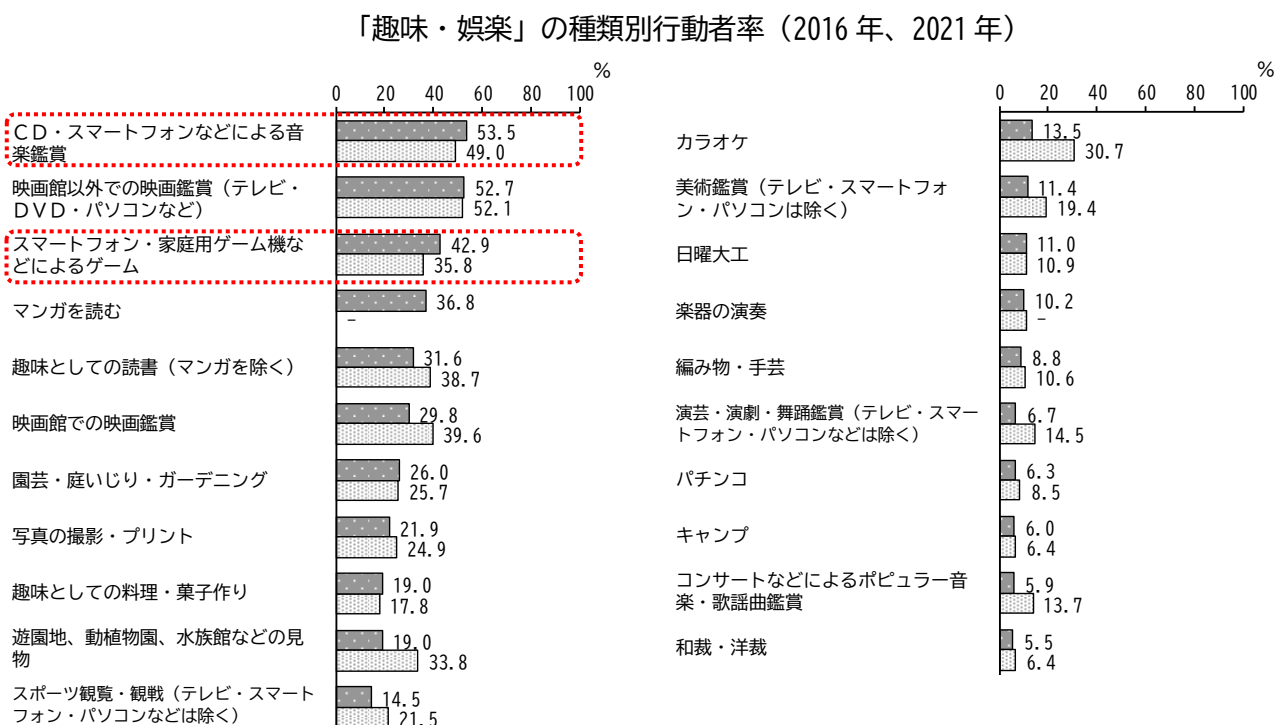
・ 活動のジャンル

柏市では、市民が「盛んだと思う」活動のジャンルについて、「音楽活動」が突出して上位にある一方で、今後参加したい活動については「音楽」だけでなく「文化財・歴史」や「美術」も一定数見られます。このことから、柏市は「音楽のまち」として高く評価され、そのイメージが市民にも概ね浸透しています。音楽以外の活動についてもある程度のニーズがあると考えられ、偏りのない芸術文化行政の推進が求められます。

【柏市（本調査）】



【全国（R3総務省「社会生活基本調査」）】



・活動形態

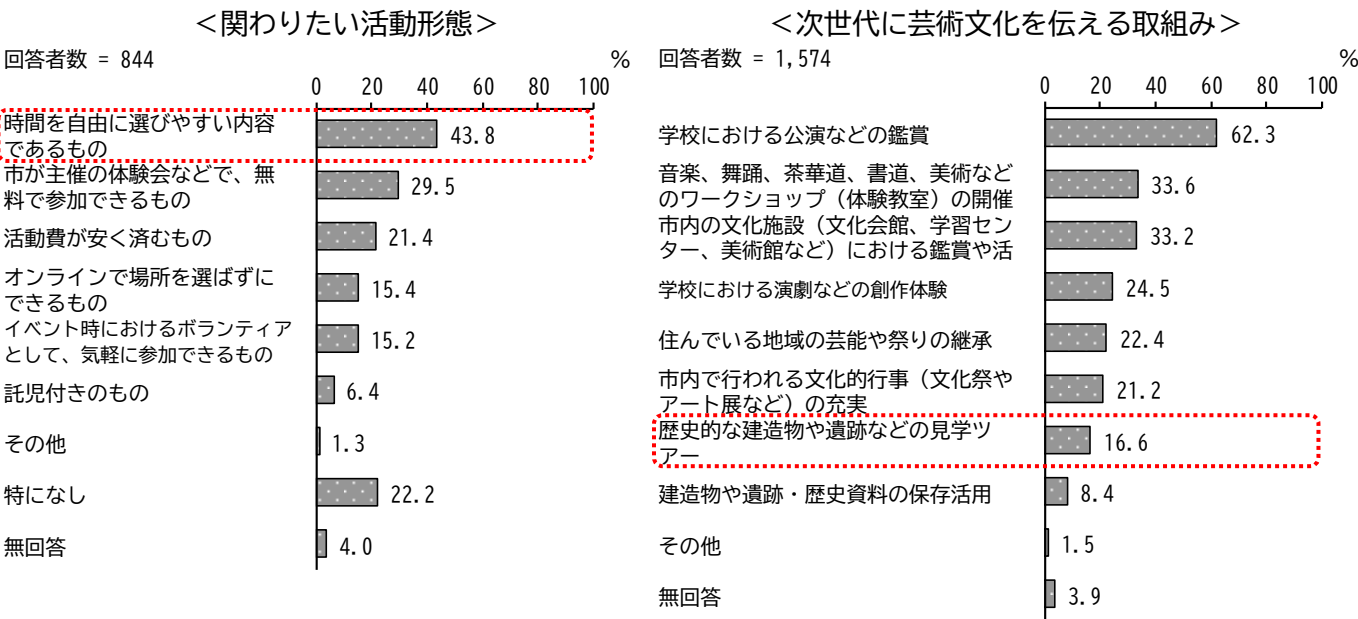
柏市では、関わりたい活動形態として「時間を自由に選びやすい内容であるもの」が最上位であり、時間の融通さが求められていることが特徴的であると考えられます。

・芸術文化の伝承

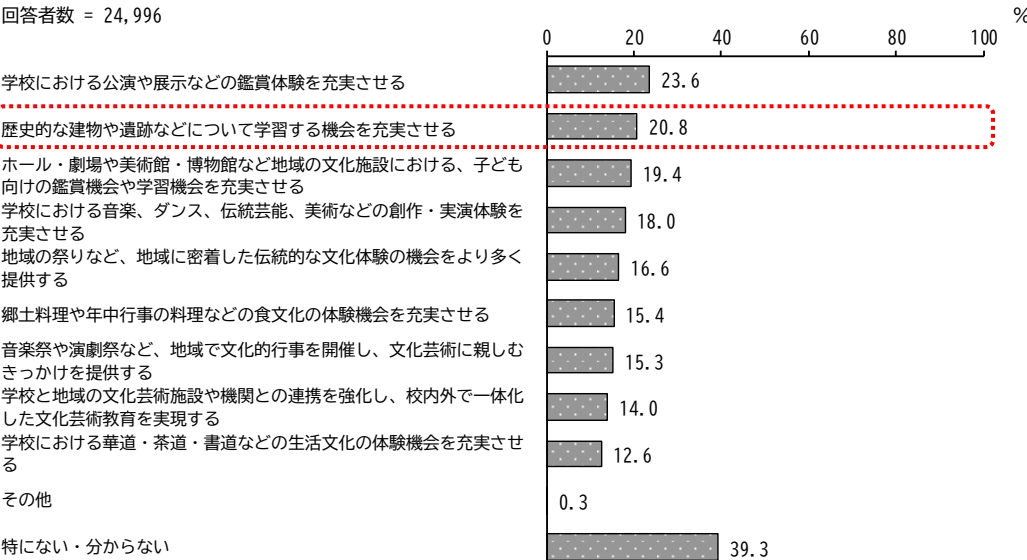
柏市では次世代に芸術文化を伝える取組として、全国調査（令和5年度 総務省「文化に関する世論調査」）と同様に「学校における公演などの鑑賞」が最上位で、その他「音楽、舞踊、茶華道、書道、美術などのワークショップ（体験教室）の開催」が上位である。一方で「市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実」や「歴史的な建造物や遺跡などの見学ツアー」は全国と比べて下位となっています。

このことから、柏市の特徴として、市民感覚では、まずはプロのパフォーマンスを通じて芸術文化に触れる機会を重視しており、その後の体験活動についても、学校よりも体験教室等で本格的に参加することが望んでいる傾向にあると考えられます。また、歴史については全国と比べて意識があまり高くなく、芸術文化としてはこの分野は柏市の強みではないと考えられていることがうかがえます。

【柏市（本調査）】



【全国（R5総務省「文化に関する世論調査」）】



■ 柏市の特徴

相対的な比較から地域ごとの特徴として以下のようなことが挙げられます。

・ 北部地域

芸術文化で吹奏楽を鑑賞したい方が高いことが特徴的であり、歴史・文化財系のイベントで参加したい内容ではお住まいの身近な地域の見学ツアーが多かったことから芸術文化活動に対する意欲は比較的高いように考えられます。

・ 中央地域

市での芸術文化活動が盛んだと思う割合が高く、その中でも音楽の活動が盛んな地域であり、その理由として「芸術文化関連のイベントが多く開催されるから」が挙げられています。一方、芸術文化で鑑賞したい分野では「建造物や遺跡」、芸術文化活動に関わるために必要な条件では「オンラインで場所を選ばずにできるもの」「活動費が安く済むもの」などが挙げられています。

・ 南部地域

市での芸術文化活動が盛んだと思う割合が高い地域です。その理由として「芸術文化関連のイベントが多く開催されるから」が挙げられています。一方、芸術文化で鑑賞したい分野では合唱、アニメソング、映画など、参加または活動したい分野では写真、落語、茶道などいろいろな分野で興味を持っている地域であり、今後も芸術文化活動の盛り上がりがあるように考えられます。

・ 東部地域

芸術文化活動を始めたり、参加したいと思わない理由として「学校や仕事などで時間がない」が多く挙げられています。芸術文化活動に興味を持っていただくための機会を作る時間が課題と考えられます。

※下記は全市平均値（総数に対して 4.0 ポイント以上の差がついたものから抽出しています。）

番号	問	北部	中部	南部	東部
問 24	市での芸術文化活動が盛んだと思うか	<該当なし>	・ やや思う	・ やや思う	<該当なし>
問 25	問 24 の理由	<該当なし>	・ 芸術文化関連のイベントが多く開催されるから	・ 芸術文化関連のイベントが多く開催されるから	<該当なし>
問 26	市で盛んだと思う活動内容	<該当なし>	・ 音楽	<該当なし>	<該当なし>
問 27	芸術文化の鑑賞意向	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問 28	芸術文化で鑑賞したい分野	・ 吹奏楽	・ 建造物や遺跡	・ 合唱 ・ アニメソング ・ 映画	<該当なし>
問 29	芸術文化活動に対する意向	<該当なし>	<該当なし>	・ わからない	<該当なし>
問 30	芸術文化で参加または活動したい分野	<該当なし>	<該当なし>	・ 合唱 ・ その他の音楽活動 ・ 写真 ・ 落語 ・ 茶道	<該当なし>
問 31	芸術文化活動を始めたり、参加したいと思わない理由	<該当なし>	<該当なし>	・ 費用がかかりすぎる	・ 学校や仕事などで時間がない

番号	問	北部	中部	南部	東部
問 32	芸術文化活動に関わるために必要な条件	<該当なし>	・ オンラインで場所を選ばずにできるもの ・ 活動費が安く済むもの	・ 特になし	<該当なし>
問 33	芸術文化関連情報の入手手段	・ ホームページ（ウェブサイト）	・ SNS	<該当なし>	<該当なし>
問 34	「芸術文化」のイメージ	<該当なし>	<該当なし>	・ 自己啓発のため（教養を深める）	<該当なし>
問 35	子どもたちにとっての芸術文化の鑑賞や活動の重要性	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問 36	次世代に芸術文化を伝えていくために必要な取組	・ 市内で行われる文化的行事（文化祭やアート展など）の充実	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問 37	歴史への興味	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問 38	柏の歴史で興味があるテーマ	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>
問 39	歴史・文化財系のイベントで参加したい内容	・ お住まいの身近な地域の見学ツアー	<該当なし>	・ 市内全域を対象とする見学ツアー	<該当なし>

5 基本属性

※下記は全市平均値（総数に対して 4.0 ポイント以上の差がついたものから抽出しています。）

番号	問	北部	中部	東部	南部
問 41	年齢	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	・ 60歳代
問 42	居住地域	・ 田中 ・ 柏の葉 ・ 西原 ・ 富勢 ・ 松葉 ・ 高田・松ヶ崎	・ 豊四季台 ・ 新富 ・ 旭町 ・ 柏中央 ・ 新田原 ・ 富里 ・ 永楽台	・ 増尾 ・ 南部 ・ 藤心 ・ 光ヶ丘 ・ 酒井根	・ 手賀 ・ 風早北部 ・ 風早南部
問 43	就業状況	<該当なし>	・ 勤め人（会社や公的機関など）	・ パート・アルバイトなど	<該当なし>
問 44	世帯構成	<該当なし>	<該当なし>	<該当なし>	・ 小学生の子ども
問 45	生活における幸福度	<該当なし>	<該当なし>	・ 5点 ・ 7点 ・ 10点	<該当なし>

令和7年3月

柏市教育委員会 教育政策課・生涯学習課・文化課
〒277-8503 柏市大島田48-1
電 話：04-7197-2630（教育政策課）
04-7191-7393（生涯学習課）
04-7191-7403（文化課）
FAX：04-7190-8292